

# 水質汚濁の現況

(平成17年度)

# 1 水質汚濁の現況

## (1) 水質汚濁の現況

県では、水環境の状況を監視するため、図 1-1 のとおり、27 河川で 51 水域 90 地点、3 湖沼で 3 水域 6 地点、2 海域で 7 水域 28 地点の合計 61 水域 124 地点で定期的に測定を行っている。河川、湖沼、海域等の公共用水域における環境基準の達成状況は、カドミウムや水銀などの人の健康に関して定められた項目（健康項目）については、調査を開始した 46 年度以降全ての水域で環境基準を達成している。

また、生物化学的酸素要求量（BOD）などの生活環境の保全に関連して、水域の利用目的に応じて定められた項目（生活環境項目）の環境基準の達成状況については、表 1-1 のとおり、17 年度は河川及び湖沼では 100%の達成率であったが、海域では 76%で、全体では 93%の達成率となっている。

水質の推移を見ると、図 1-2 のとおり、過去に著しい汚濁がみられた小矢部川や神通川などは大幅に改善され、近年は清浄になっている。また、庄川や常願寺川、黒部川などは現在もその清流を保っている。さらに、中小の河川のうち、生活排水の影響がみられた都市河川でも、徐々に改善されている。それぞれの河川の水質の状況は、ほとんど環境基準の AA～A 類型に相当する清浄な水質を維持している。

湖沼については、清浄な水質を維持しており、すべての湖沼で継続して環境基準を達成している。

海域については、9～13 年度にかけて環境基準達成率が低い状況で推移していたが、14～16 年度は 80%以上を維持し、17 年度は 76%にやや低下したものの、以前に比べ改善傾向がみられる。しかしながら、汚濁メカニズムなど未解明な部分もあり、今後とも調査研究を継続していくことにしている。

さらに、地下水については、2 年度から計画的にカドミウムや水銀などの人の健康に関する項目の水質測定を実施してきており、現在、平野部の 76 地点で測定している。その結果、全ての調査地点で環境基準を達成していた。さらに、過去に汚染が判明した地域においても 42 地点で地下水の測定を行った結果、汚染範囲の拡大はみられていない。

これらの公共用水域及び地下水の水質を保全するため、「クリーンウォーター計画」に基づき、公共下水道、農村下水道の整備や浄化槽の設置などの事業を積極的に行っていくとともに、有害化学物質等汚染防止対策、国際環境協力の推進などの施策を推進していくことにしている。

また、富山湾の水質汚濁については、学識者で構成する「富山湾水質保全研究会」で汚濁メカニズムの解明と改善対策について検討した結果、汚濁の原因は窒素、りん起因する内部生産であるとされた。このため、クリーンウォーター計画の改定において富山湾に窒素、りんの水質環境目標を設定し、海域の水質保全対策を推進するとともに、平成 16 年度から引き続き全国で初めて海上保安庁（第九管区海上保安本部）と連携して、神通川・小矢部川河口海域等で海潮流や栄養塩類の拡散状況の共同調査を実施した。これらの調査結果は、学識者で構成する検討会において総合的に解析してきており、18 年度中に取りまとめることにしている。

表 1-1 河川、湖沼、海域における環境基準達成率の推移

(単位：%)

区分	51年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
河川	81	100	100	100	100	100
湖沼	—	100	100	100	100	100
海域	85	44	84	88	92	76
全体	83	83	95	96	98	93

注1 有機汚濁の代表的な水質指標であるBOD（河川）、COD（湖沼及び海域）による。

2 環境基準達成率は、環境基準点数に対する環境基準達成地点数の割合である。

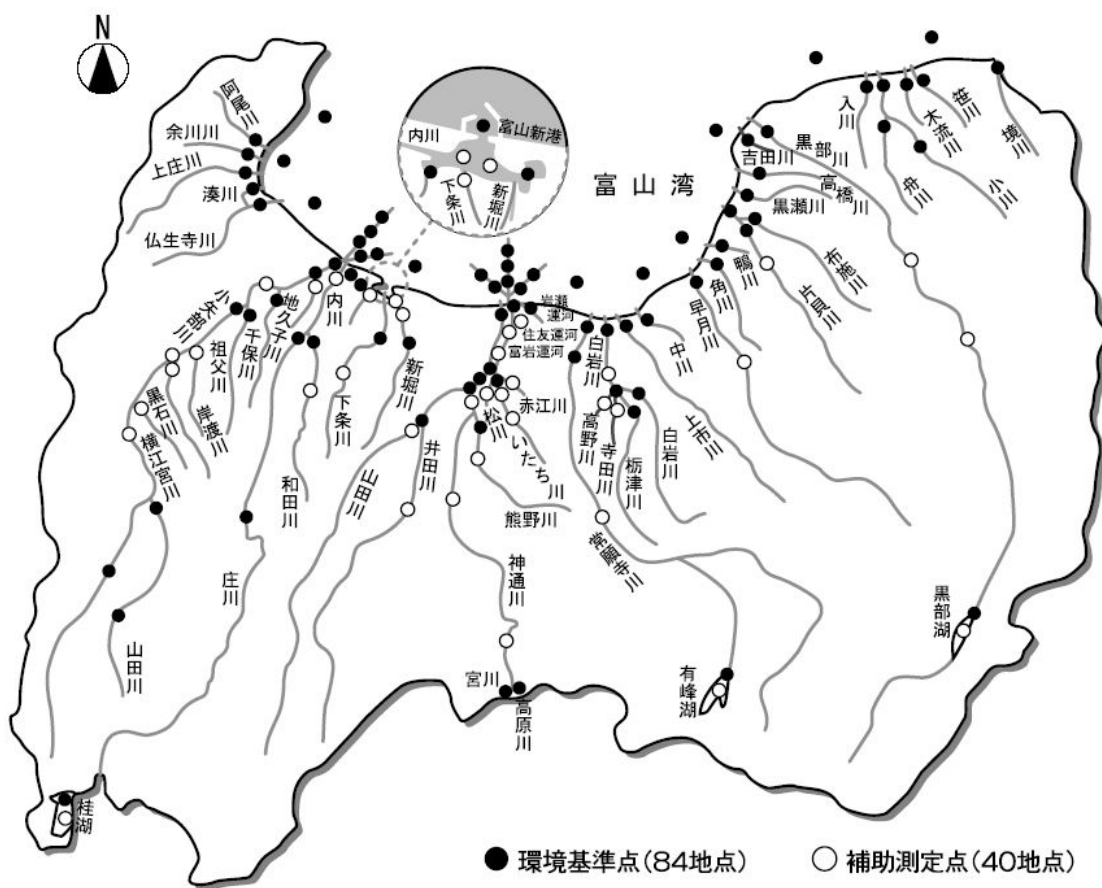
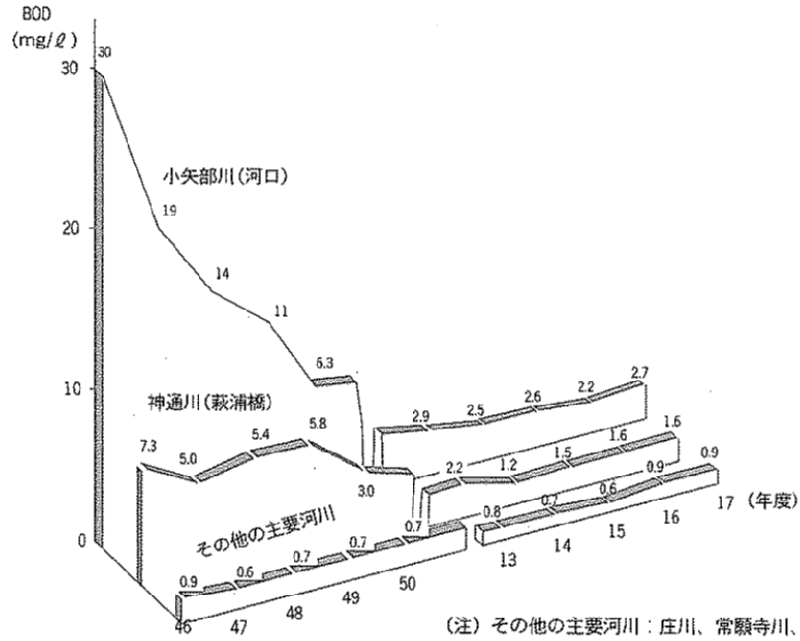
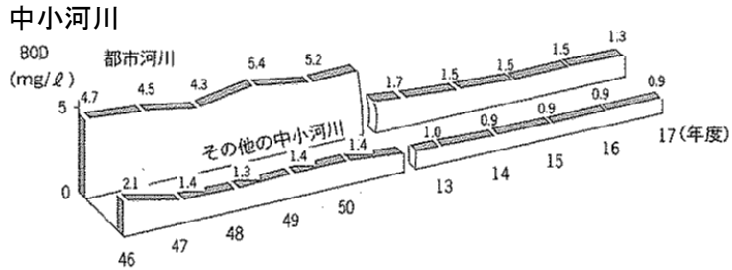


図 1-1 水質の監視測定地点

(1) 主要河川

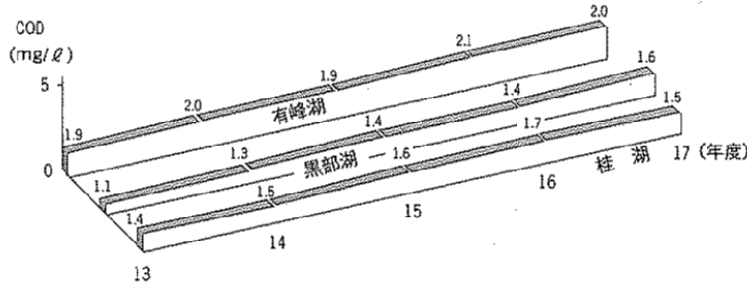


(2) 中小河川

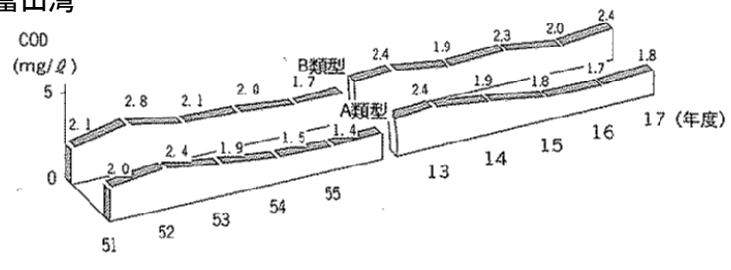


(注) 都市河川：上庄川、仏生寺川(湊川)、内川、下条川、中川、角川、鴨川、黒瀬川、高橋川、木流川  
 その他の中小河川：阿尾川、余川川、新堀川、白岩川、上市川、早月川、片貝川(布施川)、吉田川、入川、小川、笹川、境川

(3) 湖沼



(4) 富山湾



(注) B類型：小矢部川河口及び神通川河口海域のうちB類型海域  
 A類型：小矢部川河口及び神通川河口海域のうちA類型海域並びにその他地先海域

図 1-2 公共用水域における水質の経年変化

表 1-2 河川末端における水質 (BOD) の経年変化

(単位 : mg/l )

水域名	水域類型		1 3 年度	1 4 年度	1 5 年度	1 6 年度	1 7 年度		
		基準値							
主要5河川	小矢部川	D	8	2.9	2.5	2.6	2.2	2.7	
	神通川	C	5	2.2	1.2	1.5	1.6	1.6	
	庄川	A	2	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	
	常願寺川	A	2	0.9	0.9	0.7	1.1	1.2	
	黒部川	AA	1	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7	
中小河川	都市河川	上庄川	B	3	2.7	1.8	1.6	2.1	1.5
		仏生寺川(湊川)	C	5	2.7	2.4	2.7	2.7	2.0
		内川	C	5	1.2	2.0	1.6	1.9	1.1
		下条川	B	3	2.2	1.4	1.6	1.3	1.1
		中川	B	3	2.0	1.9	1.5	1.5	1.3
		角川	A	2	1.0	1.2	0.9	1.1	0.9
		鴨川	B	3	1.8	1.4	1.3	1.2	1.4
		黒瀬川	A	2	1.3	1.1	1.4	1.4	1.3
		高橋川	B	3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8
	その他の河川	木流川	B	3	1.3	1.5	1.1	1.1	1.1
		阿尾川	A	2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.1
		余川川	A	2	1.5	1.2	1.0	1.0	1.5
		新堀川	B	3	1.9	1.5	1.6	1.5	2.0
		白岩川	B	3	1.3	1.3	1.2	1.4	1.0
		上市川	A	2	0.6	0.7	0.9	0.6	0.5
		早月川	AA	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
		片貝川(布施川)	A	2	0.9	0.8	0.8	0.8	0.5
		吉田川	B	3	1.4	1.0	1.0	1.2	0.9
		入川	A	2	0.9	0.8	0.8	0.9	1.1
小川	A	2	0.6	0.7	0.5	0.7	0.5		
笹川	A	2	0.5未満	0.5	0.6	0.6	0.5		
境川	A	2	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満		

注 測定値は、75%水質値である。

※ 「75%水質値」

全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$  番目 ( $n$  はデータ数) の値。

( $0.75 \times n$  が整数でない場合は、端数を切り上げた整数番目の値をとる。)

表 1-3 湖沼における水質（COD、全りん）の経年変化

(単位：mg/l)

水域名	項目	水域類型		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
		A	基準値					
桂湖	COD	A	3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.5
	全りん	II	0.01	0.003	0.003	0.004	0.005	0.005
有峰湖	COD	A	3	1.9	2.0	1.9	2.1	2.0
	全りん	II	0.01	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
黒部湖	COD	A	3	1.1	1.3	1.4	1.4	1.6
	全りん	II	0.01	0.004	0.008	0.008	0.004	0.005

注 測定値は、年平均値である。(ただし、CODの測定値は75%水質値である。)

表 1-4 海域における水質（COD）の経年変化

(単位：mg/l)

水域		水域類型		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
		A	基準値					
富山湾沿岸海域 (下記を除く富山湾全域)		A	2	2.4	2.0	1.6	1.6	1.6
小矢部川 河口海域	河口から1,200mの 範囲内	B	3	2.5	1.8	2.1	2.1	2.4
	河口から2,200mの 範囲内(上記を除く)	A	2	2.5	1.9	1.9	1.7	2.3
神通川 河口海域	河口から1,800mの 範囲内	B	3	2.3	2.0	2.4	1.9	2.4
	河口から2,400mの 範囲内(上記を除く)	A	2	2.6	1.9	2.2	2.1	2.1
富山新港 海域	第1貯木場及び 中野整理場	C	8	4.2	4.2	4.0	3.2	3.8
	富山新港港内 (上記を除く)	B	3	3.2	2.6	2.9	2.3	3.2

注 各調査地点の75%水質値を各水域毎に平均した値である。

## (2) 水域別の水質汚濁状況

### ア 河川の汚濁状況

公共用水域の水質測定計画に基づき、県、国土交通省、富山市が 17 年度に調査を実施し、河川の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果は、表 1-5 のとおりであった。

環境基準の達成状況を BOD でみると、全 56 地点で達成しており、また、それぞれの河川の水質状況は、図 1-4 のとおり、ほとんどの河川で環境基準の AA～A 類型に相当する清浄な水質であった。

なお、カドミウム、水銀等の健康項目については、全ての地点で環境基準を達成していた。

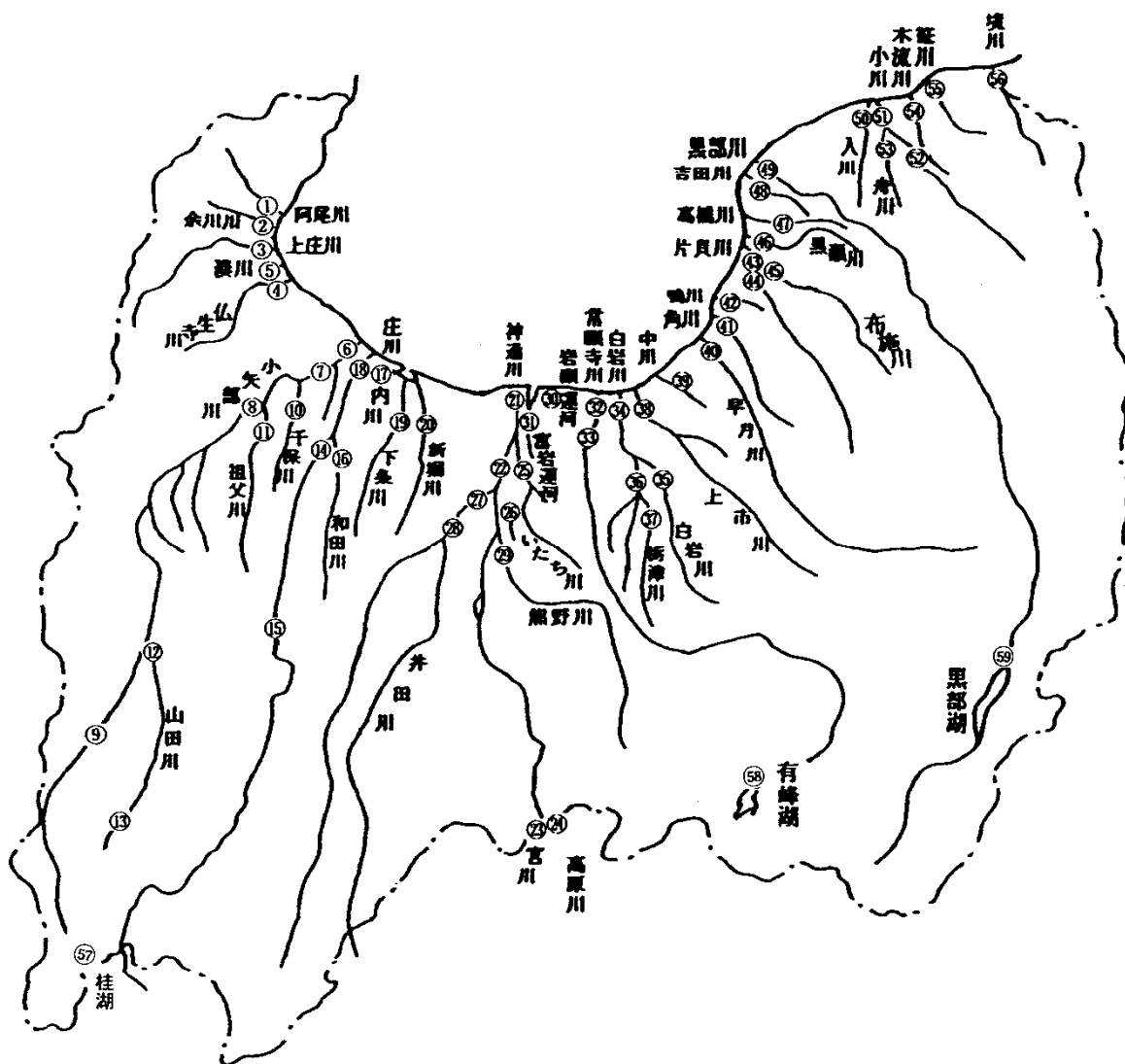


図 1-3 河川及び湖沼の主要測定地点（環境基準点）

表 1-5 河川の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（17年度）

水域名	調査地点	水域 類型	pH	DO (mg/l)	SS (mg/l)	BOD (mg/l)	適否	
							○	
阿尾川	阿尾橋	A	7.3	9.7	8	1.1	○	
余川	間島橋	A	7.6	9.6	7	1.5	○	
上庄川	北の橋	B	7.4	9.2	5	1.5	○	
仏生寺川	八幡橋	C	7.6	8.7	5	2.1	○	
湊川	中の橋	C	7.6	8.7	10	2.0	○	
小矢部川	河口	D	7.1	8.8	6	2.7	○	
	城光寺橋	C	7.3	9.1	7	2.1	○	
	国条橋	A	7.4	10	11	1.6	○	
	太美橋	AA	7.7	10	13	0.6	○	
	千保川	地子木橋	D	7.3	9.3	5	2.2	○
	祖父川	新祖父川橋	B	7.3	11	3	0.8	○
	山田川	福野橋	A	7.6	11	6	1.1	○
		二ヶ淵えん堤	AA	7.8	10	4	0.5	○
	庄川	大門大橋	A	7.7	11	2	0.7	○
雄神橋		AA	7.7	11	11	0.8	○	
和田川	末端	A	7.3	11	5	0.6	○	
内川	山王橋	C	7.2	8.7	10	3.1	○	
	西橋	C	7.4	9.2	9	1.1	○	
下条川	稲積橋	B	6.9	9.1	8	1.1	○	
新堀川	白石橋	B	6.8	8.8	15	2.0	○	
神通川	萩浦橋	C	7.4	10	7	1.6	○	
	神通大橋	A	7.5	11	6	1.0	○	
	宮川	新国境橋	A	7.8	11	14	0.7	○
	高原川	新猪谷橋	A	7.8	11	2	0.7	○
	いたち川	四ッ屋橋	C	7.6	11	3	1.0	○
	松川	桜橋	B	7.6	10	3	1.2	○
	井田川	高田橋	B	7.5	11	9	2.6	○
		落合橋	A	7.7	11	8	1.1	○
	熊野川	八幡橋	A	7.6	11	8	1.4	○
	富岩運河	千原崎地内水路橋	E	7.0	8.5	3	1.1	○
岩瀬運河	岩瀬橋	E	7.0	8.0	4	1.7	○	
常願寺川	今川橋	A	7.4	10	7	1.2	○	
	常願寺橋	AA	7.6	10	6	0.8	○	
白岩川	東西橋	B	7.3	10	5	1.0	○	
	泉正橋	A	7.7	10	15	1.0	○	
	栃津川	流観橋	C	7.5	11	8	2.6	○
寺田橋		A	7.5	11	21	0.8	○	
上市川	魚躬橋	A	6.8	10	7	0.5	○	
中川	落合橋	B	6.9	10	5	1.3	○	
早月川	早月橋	AA	7.2	11	5	<0.5	○	
角川	角川橋	A	7.3	11	7	0.9	○	
鴨川	港橋	B	7.3	11	4	1.4	○	
片貝川	末端	A	7.4	10	5	0.6	○	
	落合橋	AA	7.5	11	5	0.6	○	
布施川	落合橋	A	7.4	11	3	0.5	○	
黒瀬川	石田橋	A	7.5	11	9	1.3	○	
高橋川	堀切橋	B	7.5	11	8	0.8	○	
吉田川	吉田橋	B	7.6	11	6	0.9	○	
黒部川	下黒部橋	AA	7.5	11	9	0.7	○	
入川	末端	A	7.6	11	9	1.1	○	
小川	赤川橋	A	7.4	11	6	0.5	○	
	上朝日橋	AA	7.3	11	8	<0.5	○	
舟川	舟川橋	A	7.1	11	5	0.5	○	
木流川	末端	B	7.5	11	7	1.1	○	
笹川	笹川橋	A	7.6	10	3	0.5	○	
境川	境橋	A	7.4	10	3	<0.5	○	

- 注 1 測定値は、年平均値である。（ただし、BODの測定値は、75%水質値である。）  
 2 「75%水質値」とは、全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$  番目（ $n$ はデータ数）の値であり、適否は、全データのうち75%以上のデータが環境基準を満足しているものを適（○印）とした。  
 3 「水域類型」のAA、A、B、C、D及びEは、「水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）」に示された「河川」の類型をいう。



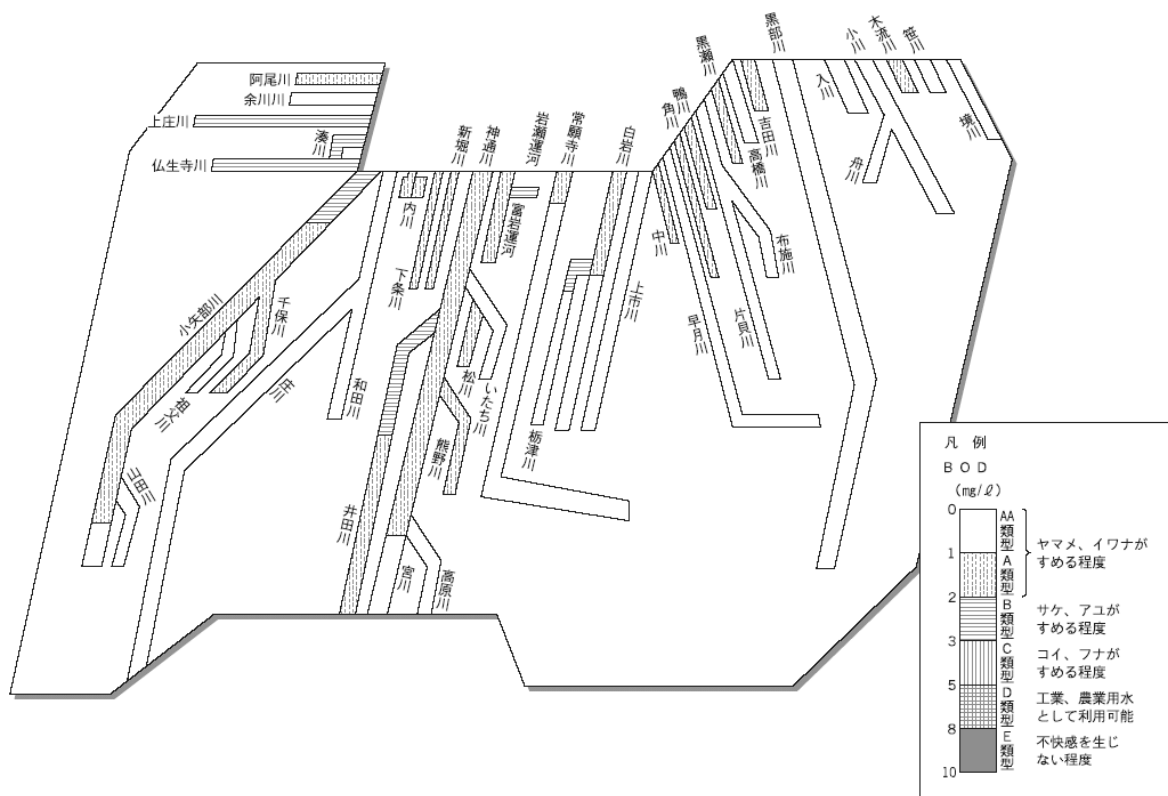


図 1-4 河川の水質状況 (17 年度)

(ア) 小矢部川水域

本水域については、46 年度に県下で初めて環境基準の水域類型が指定され、上乗せ排水基準を設定した。その後、50 年度に環境基準の見直しを行い、本川下流部及び千保川を E 類型 (BOD 10 mg/ℓ) から D 類型 (BOD 8 mg/ℓ) に格上げするとともに、上乗せ排水基準を強化した。

主要地点における水質は図 1-5 のとおりで、本川河口及び千保川 (地子木橋) の汚濁状況を BOD についてみると、河口部 2.7 mg/ℓ、地子木橋 2.2 mg/ℓ で、いずれも環境基準を達成していた。

また、その他の地点においても、全て環境基準を達成していた。

(イ) 神通川水域

本水域については、47 年度に小矢部川に次いで環境基準の水域類型を指定し、併せて上乗せ排水基準を設定した。

さらに、56 年度には、松川についても水域類型の指定を行い、浄化用水の導入、下水道の整備等により水質の改善を図ってきた。

主要地点における水質は図 1-6 のとおりで、本川 (萩浦橋、神通大橋) 及びいたち川 (四ツ屋橋) の汚濁状況を BOD についてみると、萩浦橋が 1.6 mg/ℓ、神通大橋が 1.0mg/ℓ、四ツ屋橋が 1.0 mg/ℓ で、いずれも環境基準を達成していた。

また、その他の地点においても、全て環境基準を達成していた。

なお、神岡鉱業（株）との「環境保全に関する基本協定」に基づきカドミウムについて、神通川第一発電所ダムで毎月、1日5回の測定を実施した。その結果、不検出（0.0001 mg/ℓ 未満）～0.0001 mg/ℓ であり、環境基準値（0.01 mg/ℓ 以下）に比べて極めて低い値であった。

（ウ）その他の河川

小矢部川、神通川以外の25河川についても、50年度までに全ての環境基準水域類型を指定し、併せて上乘せ排水基準を設定した。

汚濁状況をBODについてみると、主要河川の庄川、常願寺川及び黒部川については、いずれも環境基準のAA～A類型に相当する良好な水質であった。

また、他の中小河川については、生活排水の影響がみられた都市河川でも、徐々に水質が改善されてきており、全て環境基準を達成していた。

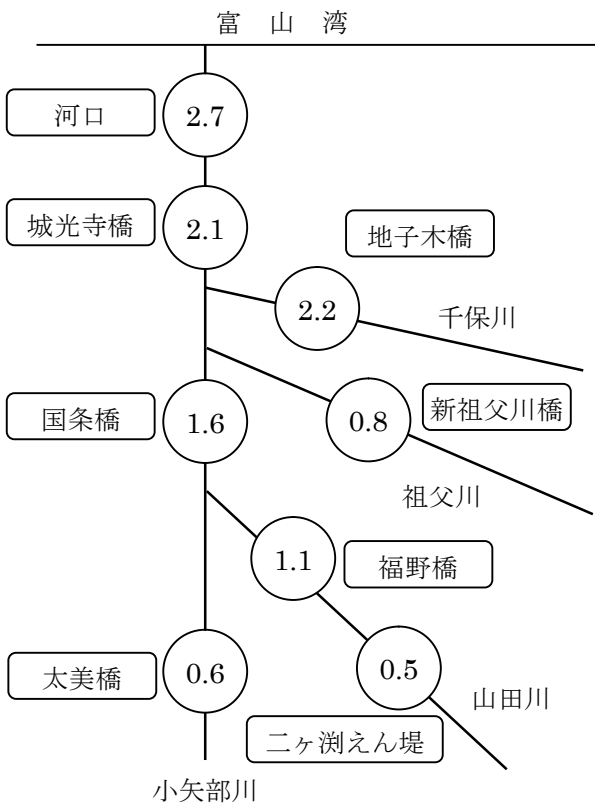


図 1-5 小矢部川主要地点の水質測定結果 (17年度、BOD75%水質値 (mg/ℓ))

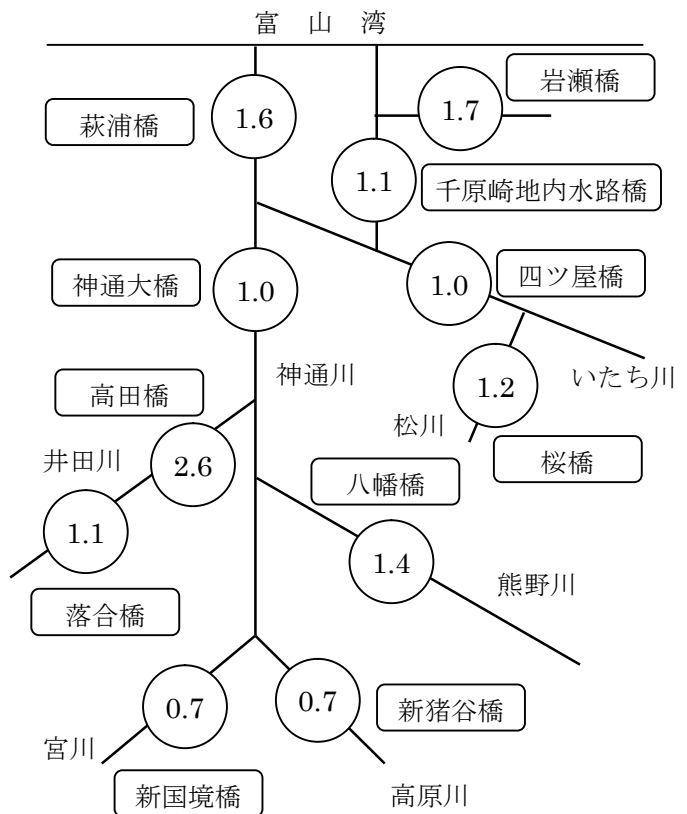


図 1-6 神通川主要地点の水質測定結果 (17年度、BOD75%水質値 (mg/ℓ))

## イ 湖沼の汚濁状況

公共用水域の水質測定計画に基づいて、17 年度に調査した湖沼の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果は、表 1-6 のとおりであった。

環境基準の達成状況を COD 及び全りんについてみると、いずれの項目も環境基準を達成していた。

表 1-6 湖沼の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（17 年度）

水域名	調査地点	水域 類型	pH	DO (mg/l)	SS (mg/l)	COD (mg/l)		全りん (mg/l)	
							適否		適否
桂湖	えん堤付近	A II	7.0	8.3	6	1.5	○	0.005	○
有峰湖	えん堤付近	A II	7.0	9.5	1	2.0	○	0.004	○
黒部湖	えん堤付近	A II	7.0	9.2	13	1.6	○	0.005	○

注 1 測定値は、年平均値である。（ただし、COD の測定値は 75%水質値である。）

2 「75%水質値」とは、全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$  番目（ $n$  はデータ数）の値であり、適否は、全データのうち 75%以上のデータが環境基準を満足しているものを適（○印）とした。

3 「水域類型」の A 及び II は、「水質汚濁に係る環境基準（昭和 46 年環境庁告示第 59 号）」に示された「湖沼」の類型をいう。

## ウ 海域の汚濁状況

### （ア）概況

公共用水域の水質測定計画に基づいて 17 年度に調査した海域の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果は、表 1-7 のとおりであった。

環境基準の達成状況を COD についてみると、25 地点中 6 地点で未達成であった。

なお、カドミウム、水銀等の健康項目については、河川・湖沼と同様に、全ての地点で環境基準を達成していた。

表 1-7 海域の主要測定地点（環境基準点）における水質測定結果（17年度）

水域名		調査地点	水域 類型	p H	D O (mg/l)	C O D (mg/l)	適否
							○
富 山	小矢部川 河口海域	小矢部川河口海域No2	B	8.3	8.6	2.5	○
		小矢部川河口海域No3	B	8.3	8.6	2.2	○
		小矢部川河口海域No5	A	8.3	8.6	2.0	○
		小矢部川河口海域No6	A	8.3	8.7	2.5	×
	神通川 河口海域	神通川河口海域No1	B	8.3	8.7	1.9	○
		神通川河口海域No2	B	8.3	8.9	3.1	×
		神通川河口海域No3	B	8.3	8.8	2.3	○
		神通川河口海域No4	A	8.3	8.7	2.0	○
		神通川河口海域No5	A	8.3	8.7	2.0	○
		神通川河口海域No6	A	8.3	8.7	2.2	×
湾	その他 富山湾海域	小矢部川河口海域No7	A	8.3	8.6	2.1	×
		神通川河口海域No7	A	8.3	8.6	2.0	○
		その他地先海域No1	A	8.2	8.2	1.3	○
		その他地先海域No2	A	8.2	8.1	1.6	○
		その他地先海域No3	A	8.3	8.3	1.9	○
		その他地先海域No4	A	8.2	8.4	2.1	×
		その他地先海域No5	A	8.3	8.5	1.3	○
		その他地先海域No6	A	8.3	8.6	1.4	○
		その他地先海域No7	A	8.3	8.7	1.4	○
		その他地先海域No8	A	8.3	8.5	1.2	○
その他地先海域No9	A	8.3	8.4	1.5	○		
その他地先海域No10	A	8.3	8.4	1.3	○		
富山新港海域	富山新港No1	B	8.1	8.5	3.2	×	
第一貯木場	姫野橋	C	7.7	8.4	3.7	○	
中野整理場	中央	C	7.5	7.0	3.9	○	

注 1 測定値は、年平均値である。（ただし、COD の測定値は、75%水質値である。）

2 「75%水質値」とは、全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$  番目（ $n$  はデータ数）の値であり、適否は、全データのうち 75%以上のデータが環境基準を満足しているものを適（○印）とした。

3 「水域類型」の A、B 及び C は、「水質汚濁に係る環境基準（昭和 46 年環境庁告示第 59 号）」に示された「海域」の類型をいう。

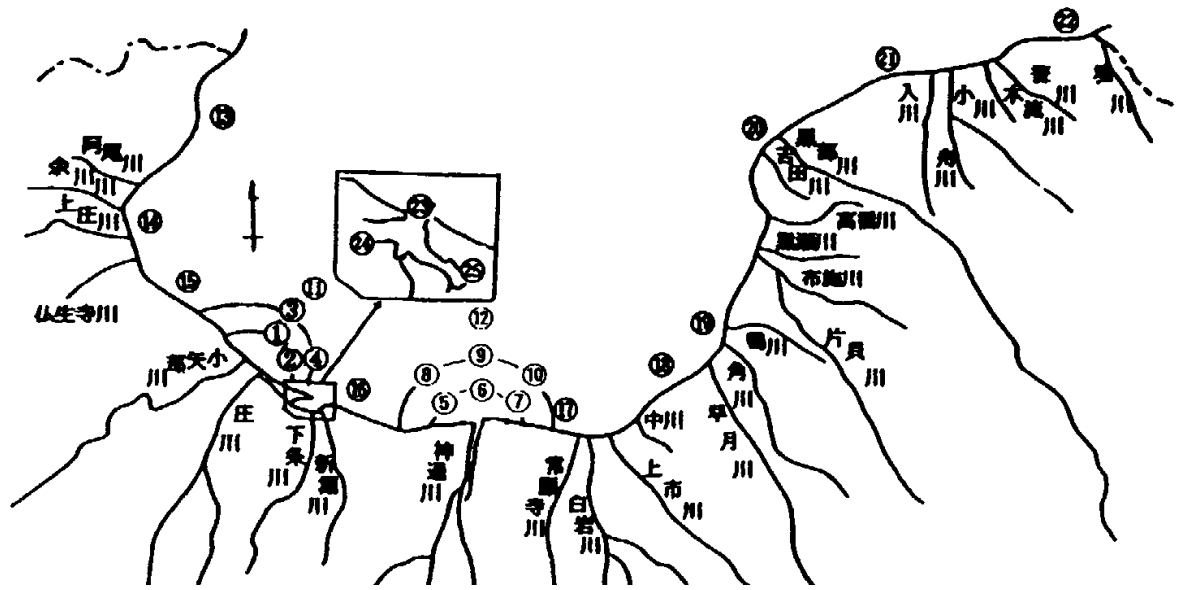


図 1-7 海域の主要測定地点（環境基準点）

### (3) 地下水の汚染状況

#### ア 環境監視調査

地下水の水質測定計画に基づいて、17年度に実施した県下の平野部76地点（4kmメッシュに1地点）における水質測定結果は、表1-8のとおりであった。

健康項目24項目のうち、検出された項目はひ素、ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の4項目であった。

ひ素は1地点、ふっ素は22地点、ほう素は2地点、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は69地点で検出されたが、いずれも環境基準値以下であった。

表1-8 地下水の環境監視（定期モニタリング）調査結果（17年度）

（単位：mg/l）

調査項目	調査地点数	検出地点数	測定結果	環境基準超過地点数	環境基準値	定量限界
カドミウム	76	0	ND	0	0.01	0.001
全シアン	76	0	ND	0	検出されないこと	0.1
鉛	76	0	ND	0	0.01	0.005
六価クロム	76	0	ND	0	0.05	0.04
ひ素	76	1	ND~0.009	0	0.01	0.005
総水銀	76	0	ND	0	0.0005	0.0005
アルキル水銀	0	-	-	-	検出されないこと	0.0005
ジクロロメタン	76	0	ND	0	0.02	0.002
四塩化炭素	76	0	ND	0	0.002	0.0002
1,2-ジクロロエタン	76	0	ND	0	0.004	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	76	0	ND	0	0.02	0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	76	0	ND	0	0.04	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	76	0	ND	0	1	0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	76	0	ND	0	0.006	0.0006
トリクロロエチレン	76	0	ND	0	0.03	0.002
テトラクロロエチレン	76	0	ND	0	0.01	0.0005
1,3-ジクロロプロペン	76	0	ND	0	0.002	0.0002
チウラム	76	0	ND	0	0.006	0.0006
シマジン	76	0	ND	0	0.003	0.0003
チオベンカルブ	76	0	ND	0	0.02	0.002
ベンゼン	76	0	ND	0	0.01	0.001
セレン	76	0	ND	0	0.01	0.002
ほう素	76	2	ND~0.1	0	1	0.1
ふっ素	76	22	ND~0.57	0	0.8	0.08
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	76	69	ND~10	0	10	0.10

注 ND（検出されず）とは、定量限界未満をいう。

#### イ 汚染井戸調査

過去の調査で汚染が明らかになった15地域で、汚染の推移をみるために調査を実施した結果は、表1-9及び1-10のとおりで、いずれの地域においても汚染の拡大はみられなかった。

(ア) ひ素

小矢部市埴生、南砺市三清西、射水市堀江千石、射水市黒河、射水市加茂及び射水市摺出寺の6地域6地点において、環境基準値を超えていた。

小矢部市五郎丸、南砺市舘及び射水市小杉白石の3地域では、それぞれ2地点のうち1地点で検出されたが、いずれも環境基準値以下であった。

(イ) トリクロロエチレン

小矢部市埴生地域では、3地点のうち2地点で検出され、富山市八尾町福島地域では、3地点のうち1地点で検出されたが、いずれも環境基準値以下であった。

(ウ) テトラクロロエチレン

小矢部市埴生地域では、3地点のうち2地点で検出され、1地点で環境基準値を超えていた。

南砺市本町地域では、3地点のうち1地点で検出され、環境基準値を超えていた。

高岡市戸出地域では、3地点のうち2地点で検出されたが、環境基準値以下であった。

(エ) ほう素

高岡市長慶寺地域の2地点で検出され、1地点で環境基準値を超えていた。

(オ) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

射水市黒河及び射水市生源寺地域の2地点で検出され、射水市大江では、2地点のうち1地点で検出されたが、環境基準値以下であった。

表 1-9 汚染井戸調査結果 (17年度)

(単位 : mg/l)

調査項目	調査地域	調査地点数	検出地点数	測定結果	環境基準超過地点数	環境基準値	定量限界
ひ素	小矢部市埴生	2	1	ND~0.012	1	0.01	0.005
	小矢部市五郎丸	2	1	ND~0.008	0		
	小矢部市棚田	2	0	ND	0		
	南砺市三清西	2	1	ND~0.019	1		
	南砺市舘	2	1	ND~0.009	0		
	射水市堀江千石 (新湊市堀江千石)	2	1	ND~0.012	1		
	射水市小杉白石 (小杉町白石)	2	1	ND~0.006	0		
	射水市黒河 (小杉町黒河)	2	1	ND~0.028	1		
	射水市加茂 (下村加茂)	2	1	ND~0.014	1		
	射水市摺出寺 (下村摺出寺)	1	1	0.016	1		
トリクロロエチレン	富山市八尾町福島	3	1	ND~0.002	0	0.03	0.002
	小矢部市埴生	3	2	ND~0.017	0		
テトラクロロエチレン	高岡市戸出	3	2	ND~0.0064	0	0.01	0.0005
	魚津市三ヶ	3	0	ND	0		
	小矢部市埴生	3	2	ND~0.028	1		
	南砺市本町	3	1	ND~0.039	1		
ほう素	高岡市長慶寺	2	2	0.3~1.2	1	1	0.1
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	射水市黒河 (小杉町黒河)	2	2	3.5~8.4	0	10	0.1
	射水市大江 (小杉町大江)	2	1	ND~6.0	0		
	射水市生源寺 (大門町生源寺)	2	2	2.3~2.6	0		

注 1 ND (検出されず) とは、定量限界未満をいう。

2 測定結果は年平均値である。

表 1-10 汚染井戸における水質の年度別推移（17年度）

（単位：mg/ℓ）

調査項目	調査地域	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
ひ素 [0.01]	小矢部市埴生	ND～0.019 (0.019)	ND～0.024 (0.024)	ND～0.029 (0.029)	ND～0.028 (0.028)	<b>ND～0.012</b> <b>(0.012)</b>
	小矢部市五郎丸	ND～0.008 (0.008)	ND～0.007 (0.007)	ND～0.008 (0.008)	ND～0.008 (0.008)	<b>ND～0.008</b> <b>(0.008)</b>
	小矢部市棚田	ND～0.005 (0.005)	ND	ND～0.005 (0.005)	ND～0.005 (0.005)	<b>ND</b>
	南砺市三清西	ND～0.024 (0.024)	ND～0.019 (0.019)	ND～0.021 (0.021)	ND～0.020 (0.020)	<b>ND～0.019</b> <b>(0.019)</b>
	南砺市館	ND～0.008 (0.008)	ND～0.008 (0.008)	ND～0.010 (0.010)	ND～0.009 (0.009)	<b>ND～0.009</b> <b>(0.009)</b>
	射水市堀江千石 (新湊市堀江千石)	ND～0.036 (0.036)	ND～0.035 (0.035)	ND～0.032 (0.032)	ND～0.037 (0.037)	<b>ND～0.012</b> <b>(0.012)</b>
	射水市小杉白石 (小杉町白石)	ND～0.008 (0.008)	ND～0.006 (0.006)	ND～0.009 (0.009)	ND～0.007 (0.007)	<b>ND～0.006</b> <b>(0.006)</b>
	射水市黒河 (小杉町黒河)	ND～0.006 (0.006)	ND～0.007 (0.007)	ND～0.019 (0.019)	ND～0.026 (0.026)	<b>ND～0.028</b> <b>(0.028)</b>
	射水市加茂 (下村加茂)	ND～0.014 (0.014)	ND～0.012 (0.012)	ND～0.013 (0.013)	ND～0.012 (0.012)	<b>ND～0.014</b> <b>(0.014)</b>
	射水市摺出寺 (下村摺出寺)	—	—	—	—	<b>0.016</b> <b>(0.016)</b>
トリクロロエチレン [0.03]	富山市八尾町福島	ND～0.011 (0.009)	ND～0.014 (0.012)	ND～0.010 (0.008)	ND～0.004 (0.003)	<b>ND～0.002</b> <b>(0.002)</b>
	小矢部市埴生	ND～0.056 (0.045)	ND～0.040 (0.021)	ND～0.028 (0.028)	ND～0.021 (0.019)	<b>ND～0.022</b> <b>(0.017)</b>
テトラクロロエチレン [0.01]	高岡市戸出	ND～0.033 (0.020)	ND～0.0067 (0.0058)	ND～0.011 (0.0073)	ND～0.0098 (0.0061)	<b>ND～0.010</b> <b>(0.0064)</b>
	魚津市三ヶ	ND～0.0008 (0.0008)	ND～0.0015 (0.0013)	ND～0.0009 (0.0009)	ND～0.0020 (0.0013)	<b>ND</b>
	小矢部市埴生	ND～0.10 (0.078)	ND～0.049 (0.044)	ND～0.030 (0.029)	ND～0.029 (0.015)	<b>ND～0.028</b> <b>(0.028)</b>
	南砺市本町	ND～0.12 (0.10)	ND～0.10 (0.068)	ND～0.22 (0.14)	ND～0.21 (0.14)	<b>ND～0.059</b> <b>(0.039)</b>
ほう素[1]	高岡市長慶寺	—	0.40～2.5 (2.5)	0.25～1.3 (1.3)	0.3～1.0 (1.0)	<b>0.3～1.2</b> <b>(1.2)</b>
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 [10]	射水市黒河 (小杉町黒河)	—	—	—	—	<b>3.4～8.4</b> <b>(8.4)</b>
	射水市大江 (小杉町大江)	—	—	—	—	<b>ND～10</b> <b>(6.0)</b>
	射水市生源寺 (大門町生源寺)	—	—	—	—	<b>2.1～3.0</b> <b>(2.6)</b>

- 注1 NDとは、定量限界（ひ素 0.005mg/ℓ、トリクロロエチレン 0.002mg/ℓ、テトラクロロエチレン 0.0005mg/ℓ、ほう素 0.1mg/ℓ、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 0.1mg/ℓ）未満をいう。
- 2 測定結果の上段は、最小値～最大値を表す。下段の（ ）内は最高濃度検出地点における年平均値である。



## 2 公共用水域及び地下水の監視測定体制

### (1) 公共用水域の水質測定計画

#### ア 測定地点

水質汚濁防止法第 16 条の規定に基づき、富山県の区域に属する公共用水域（河川、湖沼、港湾、沿岸海域等）の水質測定計画を定め、県、富山市、国土交通省が調査を実施した。

測定地点は、表 2-1 に掲げる 27 河川、3 湖沼及び 2 海域の 124 地点である。

#### イ 測定項目

##### (ア) 生活環境項目

pH、BOD、COD、SS、DO、大腸菌群数、油分等、全窒素、全りん

##### (イ) 健康項目

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀（総水銀が検出された地点のみ実施）、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

##### (ウ) 要監視項目

フェノール、クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、フェニトロチオン、イソプロチオラン、オキシ銅、フェノブカルブ、トルエン、キシレン、ニッケル、モリブデン、アンチモン、全マンガン

##### (エ) 特殊項目等

亜鉛、銅、鉄、マンガン、クロム、フェノール類、クロロフィル a

表 2-1 測定地点総括表（17年度）

区分	水域名	水域数	測定地点数			
			富山県	富山市	国土交通省	計
河川	阿尾川、余川川、上庄川、仏生寺川	4	5 ( 5)			5 ( 5)
	小 矢 部 川	1	9 ( 5)		6 ( 3)	15 ( 8)
	庄川	1	2 ( 1)		3 ( 2)	5 ( 3)
	内川、下条川、新堀川 (主幹排水路を含む。)	3	8 ( 4)			8 ( 4)
	神通川 (運河を含む。)	1		16 ( 6)	8 ( 5)	24 (11)
	常願寺川	1			3 ( 2)	3 ( 2)
	白岩川	1	5 ( 3)	2 ( 1)		7 ( 4)
	上市川、中川、早月川、角川、鴨川、 片貝川	6	10 ( 8)			10 ( 8)
	黒部川	1			3 ( 1)	3 ( 1)
	黒瀬川、高橋川、吉田川、入川、 小川、木流川、笹川、境川	8	10 (10)			10 (10)
小 計	27	49 (36)	18 ( 7)	23 (13)	90 (56)	
湖沼	境川ダム貯水池(桂湖)	1	2 ( 1)			2 ( 1)
	有峰ダム貯水池(有峰湖)	1		2 ( 1)		2 ( 1)
	黒部ダム貯水池(黒部湖)	1	2 ( 1)			2 ( 1)
小 計	3	4 ( 2)	2 ( 1)		6 ( 3)	
海域	富山新港	1	6 ( 3)			6 ( 3)
	富山湾	1	22 (22)			22 (22)
小 計	2	28 (25)			28 (25)	
合 計	32	81 (63)	20 ( 8)	23 (13)	124 (84)	

注 ( ) 内は環境基準点数である。

## (2) 地下水の水質測定計画

### ア 調査区分、調査地点

水質汚濁防止法に基づき、地下水の水質測定計画を作成し、次の区分で水質調査を実施した。調査は表 2-2 のとおり、環境監視調査を県下の平野部 10 市 4 町の 76 地点、汚染井戸調査を 6 市の 42 地点で実施した。

#### (ア) 定期モニタリング調査

##### a 環境監視調査 (年 1 回)

平野部を 4 km 程度のメッシュに区分し、各メッシュの代表的な井戸で、健康項目等についての調査を実施した。

##### b 汚染井戸調査 (年 1~2 回)

過去の調査で明らかになった汚染を監視していくため、汚染地域の代表的な井戸で、汚染項目についての調査を実施した。

#### (イ) 汚染井戸周辺地区調査

環境監視調査等により新たな汚染が明らかになった場合は、検出された項目について、その汚染範囲を確認するため、検出地点の周辺で詳細な調査を実施する。なお、17 年度は該当する事例はなく実施しなかった。

### イ 測定項目

#### (ア) 定期モニタリング調査

##### a 環境監視調査

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀（総水銀が検出された地点のみ実施）、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

##### b 汚染井戸調査

ひ素、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

#### (イ) 汚染井戸周辺地区調査

環境監視調査等により汚染が明らかとなった項目

表 2-2 地下水の水質測定地点数（17 年度）

市町村	環境監視調査		汚染井戸調査	
	地点数	測定機関	地点数	測定機関
富山市	20	富山市	3	富山市
高岡市	8	富山県	5	富山県
魚津市	3	富山県	3	富山県
氷見市	3	富山県	-	-
滑川市	3	富山県	-	-
黒部市	5	富山県	-	-
砺波市	6	富山県	-	-
小矢部市	5	富山県	9	富山県
南砺市	7	富山県	7	富山県
射水市	8	富山県	15	富山県
上市町	1	富山県	-	-
立山町	2	富山県	-	-
入善町	4	富山県	-	-
朝日町	1	富山県	-	-
合計	76		42	

### (3) 水質常時監視所

河川の水質を常時監視するため、表 2-3 のとおり、小矢部川の城光寺橋及び国条橋、庄川の高岡大橋、神通川の萩浦橋、常願寺川の常願寺橋、黒部川の愛本橋の各監視所において、水質測定を実施している。

県が管理している小矢部川の城光寺橋における、測定装置及びデータ処理装置の概略は図 2-1 のとおりである。

表 2-3 水質常時監視所の概要

測定地点		測定項目	設置年度	管理者
小矢部川	城光寺橋	水温、pH、DO、導電率、濁度、COD	46年度 (元年度更新)	富山県
	国条橋	水温、pH、DO、導電率、濁度、有害物質、TOC	51年度 (14年度更新)	国土交通省
庄川	高岡大橋	水温、pH、DO、導電率、濁度、有害物質	12年度	国土交通省
神通川	萩浦橋	水温、pH、DO、濁度、塩素、シアン	48年度 (11年度更新)	国土交通省
常願寺川	常願寺橋	水温、pH、DO、導電率、濁度、有害物質	12年度	国土交通省
黒部川	愛本橋	水温、pH、DO、導電率、濁度、有害物質	12年度	国土交通省

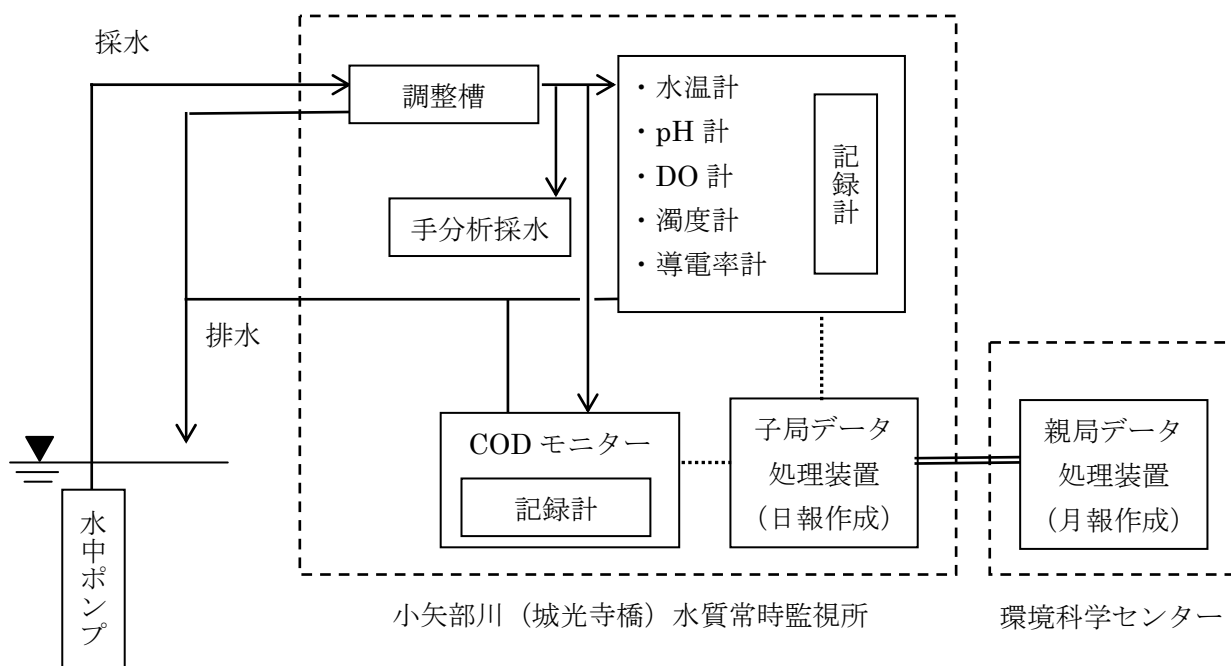


図 2-1 測定装置及びデータ処理装置の概略

ア 小矢部川水質常時監視所（城光寺橋）測定結果

17年度の項目別の水質は、表2-4及び図2-2～2-7のとおりであった。

表2-4 小矢部川水質常時監視所（城光寺橋）測定結果（17年度）

項目		水温 (°C)	pH	DO (mg/l)	濁度 (mg/l)	導電率 (mS/m)	COD (mg/l)
平成17年	平均	12.2	7.1	9.6	10	13.9	2.3
4月	範囲	9~15.4	7.1~7.2	8.2~10.5	5~21	10.3~27.6	1.4~3
	平均	16.2	7.0	8.2	8	18.7	3.1
5月	範囲	14.3~18.3	7~7.2	7~9.3	2~27	13.2~49.1	2.4~5.2
	平均	20.8	6.8	6.3	14	37.5	4.6
6月	範囲	18.1~23.5	6.8~7.1	5.5~7.3	2~88	10.2~93	2.8~9.8
	平均	21.7	6.8	7.4	24	24.3	3.7
7月	範囲	19.3~24	6.8~7.2	6.3~8.3	2~106	8.5~96.9	1.8~12
	平均	23.6	6.6	8.6	17	35.1	4.4
8月	範囲	21.9~26	6.6~7.4	6.1~9.8	1~69	9.1~100	1.6~10.6
	平均	21.9	6.7	8.3	4	47.8	4.2
9月	範囲	19.3~24	6.7~7.1	7.1~9.4	1~14	13.7~100	1.7~10.5
	平均	17.9	6.9	9.1	5	67.4	5.6
10月	範囲	15.3~19.9	6.9~7.5	8.1~10.4	1~17	17.5~100	1.8~11.9
	平均	13.4	7.1	10.3	3	66.2	6.2
11月	範囲	10.6~16.3	7.1~7.4	8.3~11.9	1~12	17.7~100	1.7~13.2
	平均	6.6	7.0	11.7	7	17.8	2.8
12月	範囲	3.6~11	7~7.2	10.2~12.8	2~35	12~46	1.3~5.8
平成18年	平均	5.7	7.1	11.0	4	16.9	2.3
1月	範囲	3.9~7.3	7.1~7.3	10.2~11.8	1~21	10.2~19.6	1.9~5.1
	平均	6.2	7.1	11.0	4	13.5	2.0
2月	範囲	4.1~7.7	7.1~7.3	10.3~11.9	11.9~11	9.1~17.2	1.3~3.4
	平均	8.1	7.2	10.4	9	12.1	2.7
3月	範囲	6.2~10.9	7.2~7.4	9.4~11.1	3~78	8.2~14.5	1.5~9.2
年間	平均	14.5	7.1	9.3	9	30.9	3.7
	範囲	3.6~26	6.6~7.5	5.5~12.8	1~106	8.2~100	1.3~13.2
環境基準	C類型	—	6.5~8.5	5以上	—	—	—

注1 範囲は、日間平均値の最小値～最大値を表す。

2 濁度については、測定値が200 mg/l を超える場合、数値を200 mg/l として評価した。

3 導電率については、測定値が100 mS/m を超える場合、数値を100 mS/m として評価した。

4 CODについては、測定値が20.0 mg/l を超える場合は、数値を20.0 mg/l として評価した。

5 実測率は、88.6～99.9 %であった。

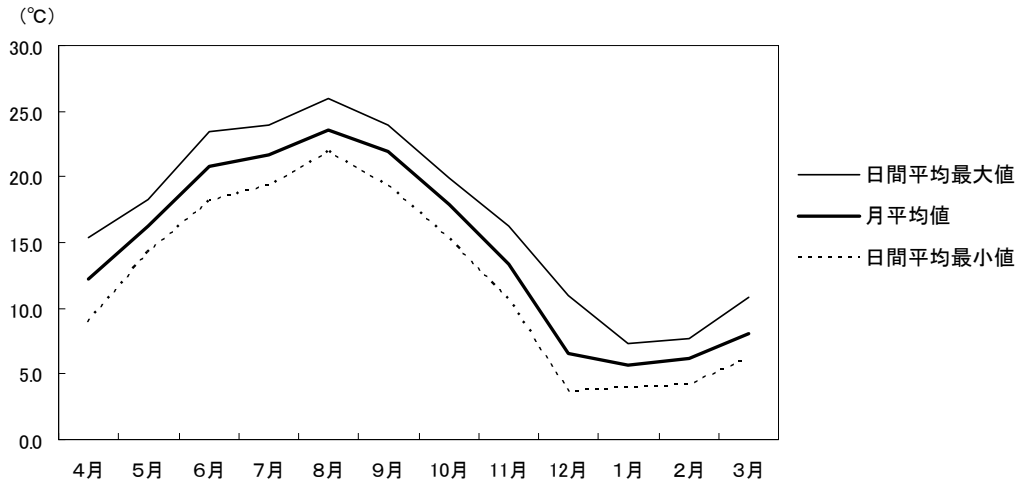


図2-2 水温の月別推移

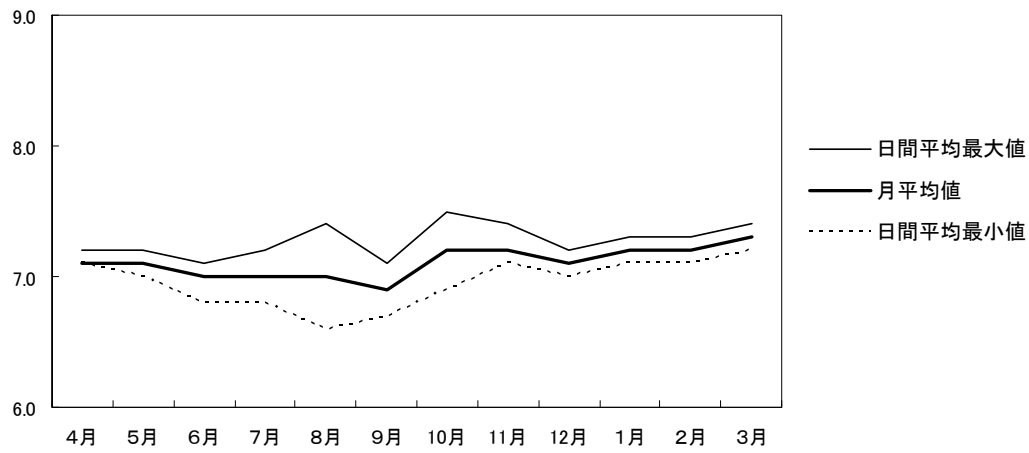


図2-3 pHの月別推移

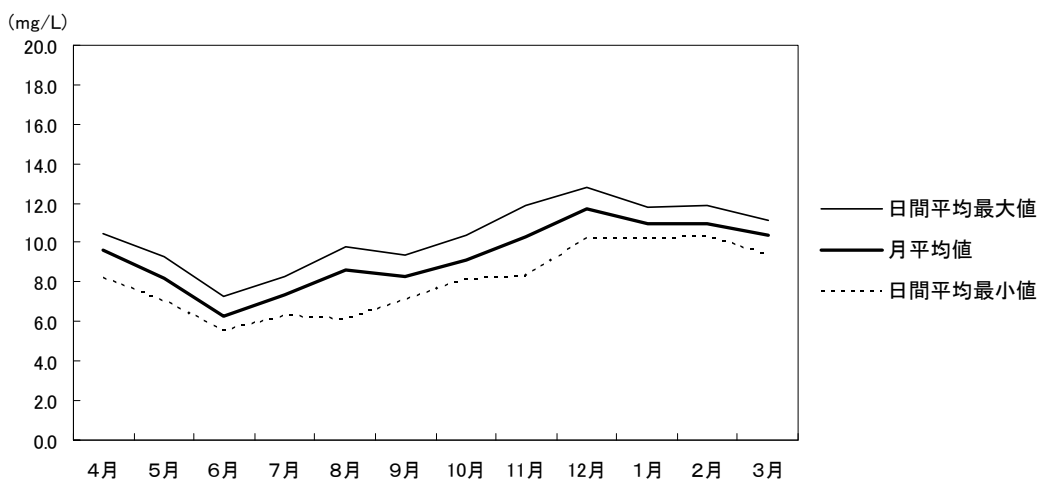


図2-4 DOの月別推移

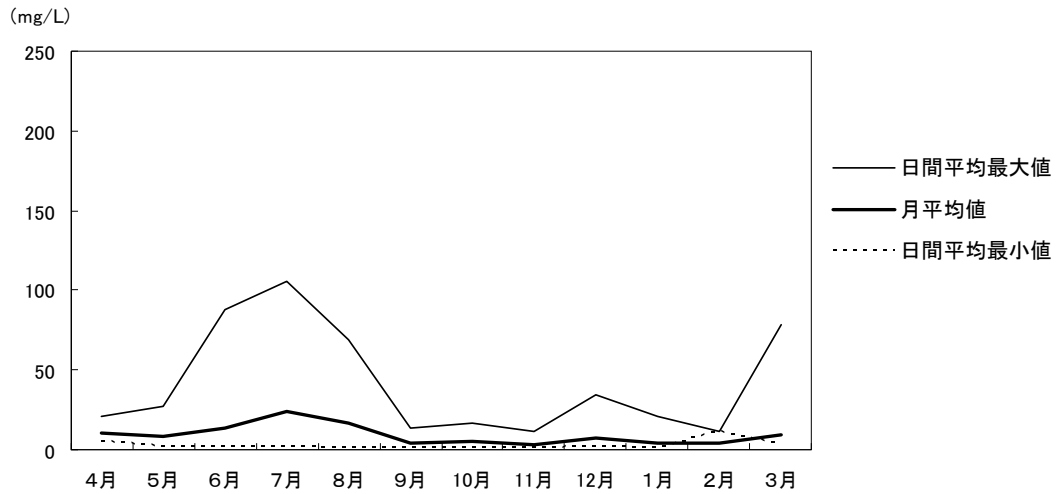


図2-5 濁度の月別推移

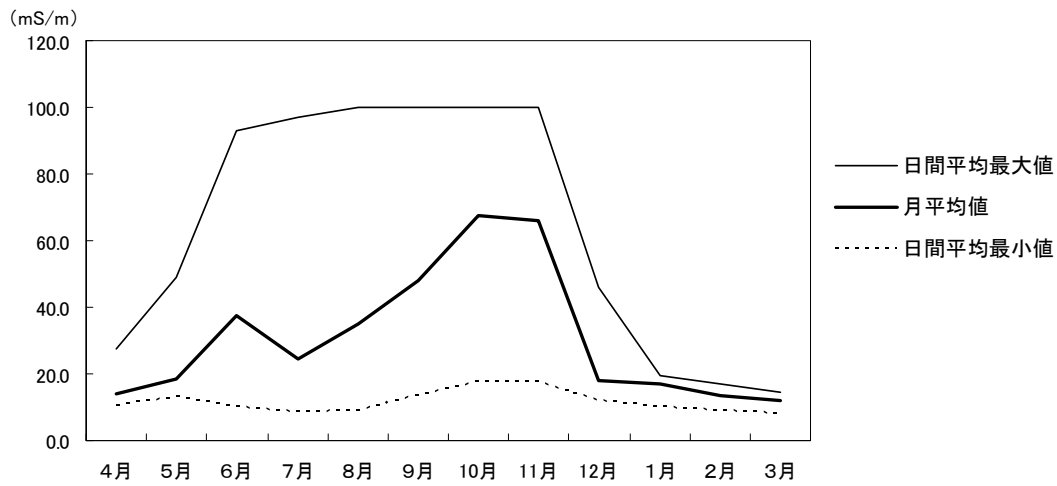


図2-6 導電率の月別推移

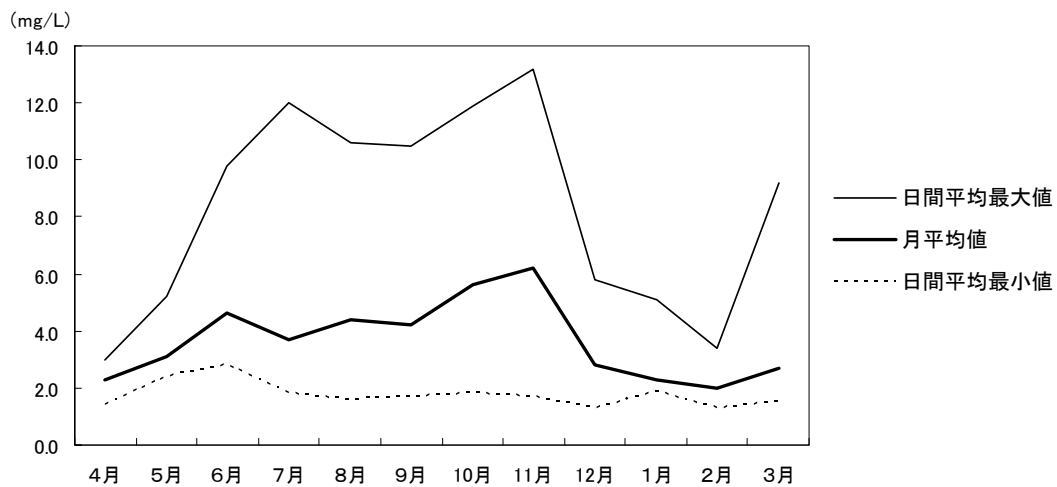


図2-7 CODの月別推移



### 3 水質汚濁防止法の施行状況

#### (1) 水質汚濁防止法に基づく届出状況

特定施設を設置して公共用水域に水を排出する工場・事業場（特定事業場）は、水質汚濁防止法に基づき、届出が義務付けられている。

17年度末における届出状況は表3-1のとおりで、県下全体の特定事業場数は3412であり、これを地域別にみると富山市（旧富山市の区域）が929（構成比27%）、高岡市が426（同12%）と両市で全体の約40%を占めている。

業種別では、旅館業が636（構成比19%）、食料品製造業が534（同16%）、洗濯・理容・浴場業が364（同11%）、農業が326（同10%）となっており、この4業種で全体の約55%を占めている。

#### (2) 排水基準が適用される特定事業場

排水量が50m<sup>3</sup>/日以上又は有害物質を排出する特定事業場は、水質汚濁防止法に基づく排水基準が適用される。

17年度末における排水基準が適用される特定事業場数は821で、特定事業場全体の24%を占めている。

表3-1 水質汚濁防止法に基づく特定事業

業種																				計		
	農業	鉱業	食料品製造業	飲料・タバコ・飼料製造業	木材・木製品製造業	化学工業	窯業・土石製品製造業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	電気機械器具製造業	水道業	飲食品小売業	その他の小売業	洗濯・理容・美容・浴場業	その他の生活関連サービス	旅館業	娯楽業	廃棄物処理業	学校教育		学術・開発研究機関	その他
市郡名																						
富山市	46	23	74	17	5	38	46	2	15	5	35	0	76	148	3	149	10	18	13	7	199	929
高岡市	18	7	49	5	14	9	17	10	51	0	9	5	66	44	7	55	2	0	3	2	53	426
魚津市	8	4	62	1	1	3	1	0	0	1	6	1	7	23	4	24	3	0	3	0	22	174
氷見市	41	1	64	2	2	0	6	0	6	1	5	1	8	16	4	99	2	0	1	0	16	275
滑川市	13	2	31	5	2	6	4	1	5	5	4	2	7	9	0	4	0	0	3	1	6	110
黒部市	36	4	39	3	1	0	7	1	5	0	11	1	9	10	5	58	0	0	2	0	15	207
砺波市	35	4	31	4	1	1	15	2	6	2	5	2	13	10	2	20	2	0	4	1	27	187
小矢部市	12	11	36	1	0	0	8	0	4	0	4	1	18	15	4	14	2	0	3	0	21	154
南砺市	42	4	48	5	2	2	14	0	5	4	13	1	19	24	2	120	2	0	5	1	26	339
射水市	9	2	47	1	9	6	12	4	18	0	15	4	31	34	4	12	2	0	2	1	38	251
中新川郡	39	11	28	1	0	5	17	0	3	4	4	0	3	12	3	48	2	0	2	1	24	207
下新川郡	27	2	25	3	2	0	5	0	3	3	3	0	5	19	3	33	2	0	1	1	16	153
計	326	75	534	48	39	70	152	20	121	25	114	18	262	364	41	636	29	18	42	15	463	3412

## 4 工場・事業場監視調査

### (1) 工場・事業場立入調査

水質汚濁防止法及び富山県公害防止条例に基づく規制工場・事業場等を対象に排水基準の適合状況及び排水処理施設の維持管理状況等について、表 4-1 のとおり立入調査を行い、改善を要する 11 事業場に対しては、表 4-2 のとおり改善指導を行った。(富山市実施分を除く。)

表 4-1 水質関係立入調査状況 (17 年度)

業種 区分	食料品製造業	飲料・たばこ・飼料製造業	繊維工業	パルプ・紙・紙加工品製造業	化学工業	プラスチック製品製造業	窯業・土石製品製造業	鉄鋼業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	一般機械器具製造業	電気機械器具製造業	輸送用機械器具製造業	水道業	洗濯・理容・浴場業	旅館、その他の宿泊所	廃棄物処理業	その他	計
立入調査件数	38	11	10	9	32	4	11	12	9	48	7	15	7	44	2	9	10	36	314
排水に係る指導件数	4	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	11

表 4-2 改善指導内容 (17 年度)

業種	対象項目	指導内容
食料品製造業	pH	特定施設の維持管理の徹底
化学工業	BOD	原料の性状把握と漏洩防止策の報告
食料品製造業	BOD	処理設備の改善並びに原因及び対策の報告
水道業	BOD	処理設備の維持管理徹底並びに原因及び対策の報告
水道業	BOD	処理設備の維持管理徹底並びに原因及び対策の報告
ゴム製品製造業	n-ヘキサン抽出物質	処理設備の維持管理徹底及び対策の報告
非鉄金属製造業	COD	処理設備方法及び設備の改善並びに対策の報告
繊維工業	BOD	処理設備の維持管理徹底並びに原因及び対策の報告
飲料・たばこ・飼料製造業	pH	処理設備の改善及び維持管理徹底並びに対策の報告
食料品製造業	BOD	薬品の取扱い作業の改善
食料品製造業	BOD	処理設備の維持管理徹底並びに原因及び対策の報告

## (2) ゴルフ場農薬実態調査

### ア 農薬使用状況

ゴルフ場農薬安全使用指導要綱に基づき、16ヶ所のゴルフ場から報告された、平成17年1月～12月の農薬使用総量は、表4-3のとおりであった。

表 4-3 ゴルフ場農薬使用総量（平成17年）

	殺虫剤	殺菌剤	殺虫殺菌剤	除草剤
使用量（t）	1267	673	2100	1307
種類数	194	204	73	220

### イ 水質調査

ゴルフ場排水の農薬による汚染の実態を把握するため、水質調査を実施した。調査結果は表4-4のとおりである。調査した16ゴルフ場中1ゴルフ場から、殺菌剤1種類が検出されたが、環境省の暫定指導指針値及び県の指導値以下であった。

表 4-4 ゴルフ場排水の農薬調査結果 (17 年度)

(単位: mg/l)

分類	農薬名	検出ゴルフ場数 / 調査ゴルフ場数	検出数/ 検体数	調査結果	暫定指導 指針値	県指導値	定量限界
殺虫剤	アセフェート	0/16	0/16	ND	0.8	0.08	0.001
	イソキサチオン	0/16	0/16	ND	0.08	0.008	0.001
	イソフェンホス	0/16	0/16	ND	0.01	0.001	0.001
	エトフェンプロックス	0/1	0/1	ND	0.8	-	0.008
	クロルピリホス	0/16	0/16	ND	0.04	0.004	0.001
	ダイアジノン	0/16	0/16	ND	0.05	0.005	0.001
	チオジカルブ	0/8	0/8	ND	0.8	-	0.008
	トリクロロホン (DEP)	0/16	0/16	ND	0.3	0.03	0.001
	ピリダフェンチオン	0/16	0/16	ND	0.02	0.002	0.001
	フェニトロチオン (MEP)	0/16	0/16	ND	0.03	0.003	0.001
	殺菌剤	アゾキシストロビン	0/16	0/16	ND	5	-
イソプロチオラン		0/16	0/16	ND	0.4	0.04	0.001
イプロジオン		0/16	0/16	ND	3	0.3	0.001
イミノクタジン酢酸塩		0/3	0/3	ND	0.06	-	0.006
エトリジアゾール (エクロメゾール)		0/16	0/16	ND	0.04	0.004	0.001
オキシ銅 (有機銅)		0/16	0/16	ND	0.4	0.04	0.001
キャプタン		0/16	0/16	ND	3	0.3	0.001
クロタロニル (TPN)		0/16	0/16	ND	0.4	0.04	0.001
クロロネブ		0/16	0/16	ND	0.5	0.05	0.001
チウラム (チラム)		0/16	0/16	ND	0.06	0.006	0.001
トルクロホスメチル		0/16	0/16	ND	0.8	0.08	0.001
フルトラニル		0/16	0/16	ND	2	0.2	0.001
プロピコナゾール		0/16	0/16	ND	0.5	-	0.005
ペンシクロン		0/16	0/16	ND	0.4	0.04	0.001
ホセチル		0/6	0/6	ND	23	-	0.23
ポリカーバメート		0/6	0/6	ND	0.3	-	0.003
メタラキシル	1/16	1/16	ND~ 0.002	0.5	0.05	0.001	
メプロニル	0/16	0/16	ND	1	0.1	0.001	
除草剤	アシュラム	0/16	0/16	ND	2	0.2	0.001
	ジチオピル	0/16	0/16	ND	0.08	0.008	0.001
	シデュロン	0/16	0/16	ND	3	-	0.03
	シマジン (CAT)	0/16	0/16	ND	0.03	0.003	0.001
	テルブカルブ (MBPMC)	0/16	0/16	ND	0.2	0.02	0.001
	トリクロピル	0/16	0/16	ND	0.06	0.006	0.001
	ナプロパミド	0/16	0/16	ND	0.3	0.03	0.001
	ハロスルフロメチル	0/16	0/16	ND	0.3	-	0.003
	ピリブチカルブ	0/16	0/16	ND	0.2	0.02	0.001
	ブタミホス	0/16	0/16	ND	0.04	0.004	0.001
	フラザスルフロ	0/16	0/16	ND	0.3	-	0.003
	プロピザミド	0/16	0/16	ND	0.08	0.008	0.001
	ベンスリド (SAP)	0/16	0/16	ND	1	0.1	0.001
	ペンディメタリン	0/16	0/16	ND	0.5	0.05	0.001
	ベンフルラリン (バスロジン)	0/16	0/16	ND	0.8	0.08	0.001
	メコプロップ (MCP)	0/16	0/16	ND	0.05	0.005	0.001
メチルダイムロン	0/16	0/16	ND	0.3	0.03	0.001	

注 ND (検出されず) とは、定量下限値未満をいう。

### (3) 毒物劇物の監視指導

毒物及び劇物取締法に基づく届出対象である毒物劇物業務上取扱者延べ50工場・事業場を対象に、飛散、流出等の防止措置及び保管管理の状況等について立入検査を実施し、表4-5のとおり、延べ1工場・事業場について法に基づく表示や保管管理の徹底を指導した。また、講習会を開催し、適正な毒物劇物の保管管理について指導した。

表4-5 要届出毒物劇物業務上取扱者監視状況（17年度）

	電気めっき業	金属熱処理業	運送業	合計
工場・事業場	31	1	23	55
立入件数	35 (3)	2 (0)	13 (0) [6]	50 (1) [6]

注1 ( )内は指導件数である。

2 [ ]内は、県警の依頼により実施した路上取締り件数である。

## 5 水質環境の保全施策

### (1) 「とやまの名水」の追加選定について

#### ア 概要

富山の水が持つきれいさ、豊かさ、優れた水環境等を県民に紹介することを目的に、昭和61年2月に選定した「とやまの名水」(55件)は、選定後、20年近く経過したことから、「深層水」や優れた水環境を追加選定した。

追加選定にあたっては、科学・文化の関連分野の専門家、有識者で構成する「とやまの名水検討委員会」を新たに設置し、単に水質の清浄さだけでなく、地域住民による保全活動や故事来歴、自然性や希少性などの観点から総合的な検討を行った。

その結果、17年9月には全国で初めて海水である「富山湾の深層水」を追加選定し、また、18年4月には、市町村から推薦のあった湧水7件、農業用水2件、水環境公園1件の陸水10件を追加選定した。

#### 追加選定した名水一覧

名 称	名水の形態	所在地
高瀬湧水の庭	湧水	入善町 高瀬
墓ノ木自然公園	その他(水環境公園)	入善町 墓ノ木
名水公園の清水	湧水	黒部市 生地中区
月見嶋の清水	湧水(池)	黒部市 生地山新
村椿(飛騨)の清水	湧水	黒部市 飛騨
箱根の清水	井戸	黒部市 長屋
下立の霊水	湧水	黒部市 宇奈月町下立
上市川沿岸円筒分水場円筒分水槽	農業用水	上市町 釈泉寺
朝日の滝	湧水	富山市 婦中町安田
旧六ヶ用水	農業用水	高岡市 滝
富山湾の深層水	その他(海水)	取水地:滑川市、入善町

#### イ 普及・啓発の取組み

「とやまの名水」を優良な水環境として守り育て、より価値を高めていくため、市町村と連携して以下の取組みを進めている。特に、「とやまの名水」は本県が誇る水環境のシンボルであり、また、後世に引き継ぐべき貴重な財産であることから、県内外に向け積極的にPRしている。

- ① 新「とやまの名水」(66件)のPR  
PR冊子を改訂し、県内外の各種イベント・会合、インターネット等において周知・普及している。  
([http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1706/kj00004346.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00004346.html) )

- ② 市町村への要請  
「とやまの名水」の選定意義を踏まえ、市町村等において適切な保全、活用が行われるよう要請した。
- (3) 定期的な点検・見直し  
名水の維持管理状況等を定期的に点検し、必要に応じて選定を見直すことにしている。



## ○ 「とやまの名水」選定基準

- ① きれいな水で、古くから生活形態や水利用等において、水質保全のための社会的配慮が払われているもの
- ② 湧水等で、ある程度の水量を有する良質なものであり、地方公共団体等において、その保全に力を入れているもの
- ③ いわゆる名水として、故事来歴を有するもの
- ④ その他、特に自然性が豊かであり、希少性や特異性を有するなど、優良な水環境として後世に残したいもの

## (2) 水質環境計画の推進

### ア 水質環境計画(クリーンウォーター計画)の概要

水質環境計画は、「富山県環境基本条例」に定める水質汚濁の防止に関する個別計画であり、河川、湖沼、海域及び地下水の水質環境を保全するための基本となる方向を示すとともに、県及び市町村の事業、事業者の活動など水環境を利用する際の指針となるものである。

計画では、将来にわたって確保すべき望ましい環境目標として、「きれいな水」及び「うるおいのある水辺」を定めるとともに、具体的な目標を表5-1のとおり設定し、長期的展望に立って目標の実現を目指している。また、表5-2に示す施策を、行政、事業者、県民が一体となって、総合的、計画的に推進することとしている。

県では、13年度に近年の富山湾の水質汚濁の顕在化やダイオキシン類等の有害化学物質による新たな環境問題に適切に対応するため、計画の改訂を行った。

改訂に際しては、河川の水質の具体的な目標をこれまでのC類型相当以上から、B類型相当以上としてよりよい水質を目指すほか、富山湾の水質改善対策として、海域へ流入する窒素、リンの削減対策を総合的、計画的に推進するとともに、有害化学物質対策として有害化学物質の環境への排出状況の把握や適正な管理を推進することとした。

表 5-1 水質環境計画の具体的な目標

きれいな水	公共用水域	有害物質	環境基準
		河川の水質	環境基準の B 類型相当以上※
		湖沼の水質	環境基準の A 類型相当以上
	海域の水質	環境基準の B 類型相当以上※	
	地下水域	有害物質	環境基準
うるおいのある水辺	水辺空間	周辺の景観と調和が図られ、 水や緑、魚などの自然と触れ合うことができ、 散策など憩いの場が確保されていること。	

※ 環境基準が AA 類型や A 類型に指定されている水域については、その環境基準の達成維持を目標とする。

表 5-2 水質環境計画の推進施策

①水質調査	公共用水域等の水質監視及び調査、有害化学物質等の調査
②排水対策	生活系排水対策、産業系排水対策、面源系排水対策、有害化学物質等汚染防止対策
③水域の保全	水域浄化対策、水辺の保全対策、海域の水質保全対策、国際環境協力の推進
④環境保全活動等	水辺の美化、調査研究の推進、その他関連対策

## イ 計画の推進

### (ア) 水質環境計画推進協議会の開催

推進協議会を開催し、生活排水対策等の具体的な推進について検討を行った。

#### a 委員の構成（表 5-5）

関係団体……富山県消費者協会等 10 団体

行政機関……国土交通省北陸地方整備局等 7 機関

#### b 17 年度推進事業

##### (a) 「きれいな水」の確保

- ・下水道・農村下水道の整備・促進
- ・合併処理浄化槽の普及促進
- ・生活排水対策推進事業の推進
- ・工場・事業場排水対策の推進
- ・浚渫等の実施、河川流量の確保
- ・地下水の水質保全対策の推進

##### (b) 「うるおいのある水辺」の確保

- ・河川環境整備事業等の推進
- ・「親子の水とのふれあいバス教室」の開催
- ・県土美化推進運動の展開



(ウ) 富山湾水質改善対策

富山湾海域の水質保全対策を推進するため、13年度に水質環境計画を改定し、表5-3のとおり、県独自に富山湾海域に窒素、りんの水質環境目標値を設定するとともに、海域に流入する窒素、りんの排出負荷量の削減を図るための排水対策を推進している。

工場・事業場対策として、主要な10工場・事業場において排水中の窒素、りん含有量を調査し、窒素、りん削減の技術指導を行った。

また、排出量が50m<sup>3</sup>/日以上 of 工場・事業場を対象に窒素、りんの排出量実態調査を実施したところ、表5-4のとおりであった。近年の窒素、りんの年間排出量は、水質環境計画の基準年度である11年度と比較すると窒素で31%、りんでは19%減少していた。

さらに、事業者、行政等から構成する「富山湾水質改善対策推進協議会」において、窒素、りんの削減に関する効率的、効果的な技術の情報交換、事例紹介等を行い、工場・事業場に対する意識啓発を行った。

表5-3 富山湾海域における窒素・りんの水質環境目標

水域名	窒素	りん
小矢部川河口海域(乙)	0.17 mg/ℓ 以下	0.016 mg/ℓ以下
神通川河口海域(乙)	0.23 mg/ℓ 以下	0.017 mg/ℓ以下
その他富山湾海域	0.14 mg/ℓ 以下	0.010 mg/ℓ以下

表5-4 水質汚濁防止法の規制対象工場・事業場からの排出負荷量(50m<sup>3</sup>/日以上)

(単位:t/日)

区分	BOD				COD			
	11年度	15年度	16年度	17年度	11年度	15年度	16年度	17年度
産業系	15.1	11.2	11.4	12.8	22.7	16.9	15.4	18.1
生活系(下水道等)	2.1	1.9	1.5	1.6	2.6	2.8	3.0	3.1
合計	17.2	13.1	13.0	14.5	25.3	19.7	18.4	21.2

区分	窒素				りん			
	11年度	15年度	16年度	17年度	11年度	15年度	16年度	17年度
産業系	23	14.8	15.2	13.9	0.84	0.70	0.67	0.60
生活系(下水道等)	3.7	4.7	4.6	4.5	0.28	0.36	0.37	0.31
合計	26.7	19.5	19.8	18.4	1.12	1.06	1.04	0.91

表 5-5 富山県水質環境計画推進協議会 委員

関係団体	行政機関
富山県商工会議所連合会	北陸農政局
富山県商工会連合会	中部経済産業局
富山県農業協同組合中央会	北陸地方整備局
富山県土地改良事業団体連合会	富山県生活環境文化部
富山県森林組合連合会	富山県農林水産部
富山県漁業協同組合連合会	富山県土木部
富山県環境保健衛生連合会	富山市
富山県消費者協会	富山県市長会
富山県婦人会	富山県町村会
社団法人富山県浄化槽協会	

表 5-6 富山湾水質改善対策推進協議会 会員

工場・事業場	行政機関
JFE マテリアル(株)	富山県生活環境文化部環境政策課
第一ファインケミカル(株)	富山県生活環境文化部環境保全課
中越パルプ工業(株)能町工場	富山県環境科学センター
東洋紡績(株)富山事業所庄川工場	富山県農林水産部農産食品課
(株)トッパン NEC サーキットソリューションズ 富山工場	富山県農林水産部農村環境課
神通川左岸浄化センター	富山県農林水産部水産漁港課
富山市浜黒崎浄化センター	富山県土木部都市計画課
日産化学工業(株)富山工場	富山市環境部環境保全課
日本高周波鋼業(株)富山製造所	富山市上下水道局下水道課
日本製紙(株)伏木工場	
日本曹達(株)高岡工場	
細川機業(株)精練工場	
松下電器産業(株)半導体社魚津工場	
YKK(株)黒部事業所黒部工場	

(3) ゴルフ場における農薬安全使用指導要綱に基づく指導

ア 経緯

ゴルフ場農薬の使用による周辺住民の健康や環境に与える影響についての懸念、ゴルフ場開発計画の急増等を踏まえて、ゴルフ場における農薬の適切な使用について総合的に指導する必要がある。

このため、ゴルフ場における農薬の安全かつ適正な使用を確保し、農薬の使用に伴う被害の防止及び環境の保全を図るため、ゴルフ場農薬安全使用指導要綱を制定し、2年4月から施行した。

また、農薬による水質汚濁の防止を強化するため、同要綱を改正し、4年3月に30種類の農薬について指導値を定め、さらに10年3月には5種類の農薬について追加した。この指導値は、表5-7のとおり環境省の定めた暫定指導指針値の1/10の濃度に定められている。

表 5-7 ゴルフ場排出水中の農薬濃度指導値

(単位：mg/ℓ)

農薬名	暫定指導指針値	県指導値	農薬名	暫定指導指針値	県指導値
(殺虫剤)			(殺菌剤)		
アセフェート	0.8	0.08	ペンシクロン	0.4	0.04
イソキサチオン	0.08	0.008	ホセチル	23	—
イソフェンホス	0.01	0.001	ポリカーバメート	0.3	—
エトフェンプロックス	0.8	—	メタラキシル	0.5	0.05
クロルピリホス	0.04	0.004	メプロニル	1	0.1
ダイアジノン	0.05	0.005	(除草剤)		
チオジカルブ	0.8	—	アシュラム	2	0.2
トリクロルホン(DEP)	0.3	0.03	ジチオピル	0.08	0.008
ピリダフェンチオン	0.02	0.002	シデュロン	3	—
フェニトロチオン(MEP)	0.03	0.003	シマジン(CAT)	0.03	0.003
(殺菌剤)			テルブカルブ(MBPMC)	0.2	0.02
アゾキシストロビン	5	—	トリクロピル	0.06	0.006
イソプロチオラン	0.4	0.04	ナプロパミド	0.3	0.03
イプロジオン	3	0.3	ハロスルフロンメチル	0.3	—
イミノクタジン酢酸塩	0.06	—	ピリブチカルブ	0.2	0.02
エトリジアゾール(エクロメゾール)	0.04	0.004	ブタミホス	0.04	0.004
オキシシン銅(有機銅)	0.4	0.04	フラザスルフロン	0.3	—
キャプタン	3	0.3	プロピザミド	0.08	0.008
クロロタロニル(TPN)	0.4	0.04	ベンスリド(SAP)	1	0.1
クロロネブ	0.5	0.05	ペンディメタリン	0.5	0.05
チウラム(チラム)	0.06	0.006	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.8	0.08
トルクロホスメチル	0.8	0.08	メコプロップ(MCPP)	0.05	0.005
フルトラニル	2	0.2	メチルダイムロン	0.3	0.03
プロピコナゾール	0.5	—			

#### イ 要綱の概要

- ・登録農薬の使用及び表示事項の遵守
- ・農薬使用管理責任者の設置
- ・農薬の使用状況等の記録と報告
- ・農薬使用による被害の防止
- ・水質の監視測定及び報告
- ・排水水の指導値
- ・農薬による事故時の措置及び報告
- ・知事の指導及び立入検査

#### ウ 水質の監視測定等

ゴルフ場農薬安全使用指導要綱の遵守状況について、16ヶ所のゴルフ場に立入検査を行った結果、全てのゴルフ場において、調整池に魚類を飼育することによる水質の常時監視が行われていたほか、排水の自主測定についても年2回以上実施されており、測定結果はいずれも環境省の暫定指導指針値及び県の指導値以下であった。

一方、県が行ったゴルフ場の水質調査結果もすべて環境省の暫定指針値及び県の指導値以下であった。

### (3) 「水ふれあいバス教室」の開催

「とやまの名水」巡り、川の水生生物の観察、下水道終末処理施設の見学などの体験学習を通じて、水への関心を高め、水質環境の保全意識の高揚や水の大切さに対する啓発を行うことを目的とし、小学生とその親を対象として、「水ふれあいバス教室」を開催した。

17年度は、表5-8のとおり実施したところ、33名の参加があった。

表5-8 「水ふれあいバス教室」の開催状況（17年度）

コース名	運行日	見学場所等
百瀬川	① 7月25日	①水生生物調査（利賀少年自然の家、百瀬川）
	② 7月29日	②瓜裂清水（全国名水百選）

## 6 水質関係の各種調査

### (1) 重金属底質調査

#### ア 調査概要

公共用水域における底質の重金属の状況を把握し、水質汚濁の未然防止に資するため、河川 16 地点、運河 4 地点及び港湾 3 地点において、カドミウム、鉛、総水銀等 5 項目について調査を実施した。

#### イ 調査結果

調査結果は、表 6-1 のとおりであり、総水銀については、暫定除去基準（河川 25ppm）を超える地点はなかった。

表 6-1 重金属底質調査結果（17 年度）

（単位：mg/kg）

区分	水域名	調査地域名	カドミウム	鉛	ひ素	総水銀	総クロム	
河川	神通川	宮川	万歳橋	0.1	8	5	0.02	37
		高原川	新猪谷橋	0.7	240	12	0.01	79
			成子橋	0.2	14	11	0.01	20
	白岩川	東西橋	0.1	6	3.4	0.03	10	
	上市川	魚躬橋	0.2	17	7.2	0.04	35	
	早月川	早月橋	0.1	8	4.8	ND	21	
	鴨川	港 橋	0.1	14	3.3	0.1	15	
	片貝川	落合橋	ND	8	3.8	0.01	13	
	黒瀬川	石田橋	6	78	22	0.36	100	
	黒部川	下黒部橋	0.1	6	5.3	ND	130	
	小川		赤川橋	ND	7	9.6	0.05	51
			上朝日橋	0.2	10	12	0.04	35
		舟川	舟川橋	0.2	7	5.4	0.05	57
	木流川	末 端	0.1	27	5.1	0.06	140	
	笹川	笹川橋	0.1	8	6.1	0.03	40	
	境川	境川橋	0.2	13	9.9	0.02	140	
運河	岩瀬運河	岩瀬橋	0.6	57	15	25	70	
	住友運河	前川橋	0.3	33	18	0.53	220	
	富岩運河	千原崎地内水路橋	1.8	72	30	14	540	
下新橋		1.2	43	13	1.2	90		
港湾	富山港	港 口	0.2	13	9.6	0.05	20	
		港中央	0.3	41	16	0.32	40	
		港 奥	0.5	100	23	1.5	120	
定量限界			0.1	1	0.5	0.01	10	

注 ND（検出されず）とは、定量限界未満をいう。

## (2) 窒素・りん環境調査

### ア 調査概要

河川や海域における全窒素及び全りんの実態を把握するため、河川 61 地点、海域 28 地点の合計 89 地点で調査を実施した。

### イ 調査結果

調査結果は、表 6-2 のとおりであった。

河川における全窒素及び全りんの濃度は、一般的に人為的汚染源の多い河川で高く、有機汚濁の状況とほぼ類似した傾向を示していた。

また、海域における全窒素は、環境基準のⅠ類型 (0.2mg/ℓ 以下)～Ⅱ類型 (0.3mg/ℓ 以下)、全りんの濃度は環境基準のⅠ類型 (0.02mg/ℓ 以下)～Ⅱ類型 (0.03mg/ℓ 以下)に相当する水質であり、水質環境計画の適合率は、全窒素で 29%、全りんは 42%だった。

## (3) 要監視項目環境調査

### ア 調査概要

公共用水域における要監視項目の実態を把握するため、河川 52 地点で調査を実施した。

### イ 調査結果

調査した要監視項目 15 項目のうち、ニッケル、モリブデン及び全マンガンの 3 項目が検出されたが、環境省の指針値を超えた地点はなかった。

検出された 3 項目の調査結果は、表 6-3 のとおりであった。

表 6-2 公共用水域の主要測定地点における全窒素・全りんの水質測定結果（17年度）

(単位：mg/l)

水域名	調査地点名	全窒素	全りん
阿尾川	阿尾橋	0.53	0.044
余川川	間島橋	0.51	0.039
上庄川	北の橋	0.66	0.059
仏生寺川	八幡橋	1.7	0.13
湊川	中の橋	1.1	0.15
小矢部川	河口	1.3	0.070
	城光寺橋	1.4	0.087
	国条橋	0.74	0.045
	太美橋	0.45	0.014
千保川	地子木橋	0.57	0.054
祖父川	新祖父川橋	0.78	0.036
山田川	福野橋	0.58	0.044
	ニヶ渕えん堤	0.42	0.004
庄川	大門大橋	0.35	0.009
	雄神橋	0.38	0.009
和田川	末端	0.36	0.019
内川	山王橋	3.4	0.12
	西橋	0.43	0.043
下条川	稲積橋	1.1	0.084
新堀川	白石橋	1.4	0.12
西部主幹排水路	西部排水機場	0.62	0.072
東部主幹排水路	東部排水機場	0.78	0.087
神通川	萩浦橋	1.6	0.026
	神通大橋	1.1	0.026
宮川	新国境橋	1.2	0.059
高原川	新猪谷橋	0.98	0.031
いたち川	四ッ屋橋	1.2	0.042
松川	桜橋	1.2	0.035
井田川	高田橋	2.8	0.033
	落合橋	0.54	0.022
熊野川	八幡橋	0.68	0.036
富岩運河	千原崎地内水路橋	1.3	0.049
岩瀬運河	岩瀬橋	2.9	0.044
常願寺川	今川橋	0.48	0.024
	常願寺橋	0.37	0.020
白岩川	東西橋	1.2	0.052
	泉正橋	0.95	0.080
栢津川	流観橋	0.83	0.050
	寺田橋	0.86	0.043
上市川	魚躬橋	0.86	0.029

水域名	調査地点名	全窒素	全りん
中川	落合橋	1.1	0.057
早月川	早月橋	1.0	0.011
角川	角川橋	0.90	0.044
鴨川	港橋	0.85	0.043
片貝川	落合橋	1.6	0.16
布施川	落合橋	0.77	0.023
黒瀬川	石田橋	0.73	0.065
高橋川	堀切橋	0.45	0.048
吉田川	吉田橋	0.72	0.036
黒部川	下黒部橋	0.28	0.017
入川	末端	0.37	0.046
小川	赤川橋	0.37	0.019
	上朝日橋	0.42	0.011
舟川	舟川橋	0.38	0.021
木流川	末端	0.64	0.049
笹川	笹川橋	0.51	0.016
境川	境橋	0.63	0.012
富山新港海域	富山新港No.1	0.41	0.045
小矢部川 河口海域	小矢部川河口海域No.2	0.22	0.019
	小矢部川河口海域No.3	0.28	0.022
	小矢部川河口海域No.5	0.20	0.017
	小矢部川河口海域No.6	0.19	0.015
神通川 河口海域	神通川河口海域No.1	0.22	0.014
	神通川河口海域No.2	0.29	0.014
	神通川河口海域No.3	0.25	0.016
	神通川河口海域No.4	0.20	0.014
	神通川河口海域No.5	0.28	0.014
	神通川河口海域No.6	0.20	0.013
富山湾 その他 富山湾海域	小矢部川河口海域No.7	0.18	0.015
	神通川河口海域No.7	0.20	0.014
	その他地先海域No.1	0.12	0.009
	その他地先海域No.2	0.13	0.011
	その他地先海域No.3	0.15	0.013
	その他地先海域No.4	0.19	0.017
	その他地先海域No.5	0.20	0.013
	その他地先海域No.6	0.18	0.012
	その他地先海域No.7	0.20	0.011
	その他地先海域No.8	0.16	0.011
その他地先海域No.9	0.15	0.009	
その他地先海域No.10	0.14	0.009	

注 測定値は、年平均値である。

表 6-3 河川の主要測定地点における要監視項目測定結果（17年度）

（単位：mg/l）

水 域 名		ニ ッ ケ ル	モ リ ブ デ ン	全 マ ン ガ ン	
阿 尾 川	阿 尾 橋	0.001	0.007	0.02	
余 川	川 間 島 橋	0.001	0.007	ND	
上 庄 川	北 の 橋	0.001	ND	0.02	
仏 生 寺 川	八 幡 橋	0.001	ND	ND	
	湊 川	中 の 橋	0.002	ND	0.11
小 矢 部 川	河 口	0.007	ND	0.03	
	城 光 寺 橋	0.005	ND	0.02	
	国 条 橋	ND	ND	ND	
	千 保 川	地 子 木 橋	0.015	ND	ND
	祖 父 川	新 祖 父 川 橋	0.018	ND	0.05
山 田 川	福 野 橋	0.001	ND	0.03	
	大 門 大 橋	ND	ND	ND	
	雄 神 橋	ND	ND	0.02	
和 田 川	末 端	0.001	ND	0.07	
	山 王 橋	0.002	0.025	0.03	
内 川	西 橋	0.001	ND	0.05	
	下 条 川	稲 積 橋	0.002	ND	0.08
新 堀 川	白 石 橋	0.003	ND	0.08	
	神 通 川	荻 浦 橋	ND	ND	0.01
神 通 大 橋		ND	ND	0.01	
宮 川	新 国 境 橋	ND	ND	ND	
	高 原 川	新 猪 谷 橋	ND	ND	ND
	い ち 川	四 ツ 屋 橋	ND	ND	ND
	松 川	桜 橋	ND	ND	ND
		高 田 橋	ND	ND	0.02
	井 田 川	落 合 橋	ND	ND	0.01
		熊 野 川	八 幡 橋	ND	ND
	富 岩 運 河	千 原 崎 地 内 水 路	0.002	ND	ND
岩 瀬 運 河	岩 瀬 橋	0.007	0.020	ND	
常 願 寺 川	今 川 橋	ND	ND	0.01	
	常 願 寺 橋	ND	ND	0.01	
白 岩 川	東 西 橋	ND	ND	ND	
	泉 正 橋	ND	ND	0.03	
	枳 津 川	流 観 橋	0.002	ND	0.03
	寺 田 橋	ND	ND	0.02	
上 市 川	魚 躬 橋	ND	ND	0.05	
中 川	落 合 橋	0.002	ND	0.10	
早 月 川	早 月 橋	ND	ND	0.02	
角 川	角 川 橋	ND	ND	0.02	
鴨 川	港 橋	ND	ND	ND	
片 貝 川	落 合 橋	ND	ND	0.02	
	布 施 川	落 合 橋	ND	ND	0.02
黒 瀬 川	石 田 橋	0.001	ND	0.02	
高 橋 川	堀 切 橋	0.001	ND	ND	
吉 田 川	吉 田 橋	0.001	ND	ND	
黒 部 川	下 黒 部 橋	0.002	ND	-	
入 川	末 端	0.001	ND	0.02	
小 舟 川	赤 川 橋	ND	ND	ND	
	舟 川 橋	0.001	ND	ND	
木 流 川	末 端	ND	ND	ND	
笹 川	笹 川 橋	ND	ND	ND	
境 川	境 川 橋	ND	ND	ND	
富 山 新 港 海 域	新 港 1	-	-	ND	
指 針 値		-	0.07	0.2	
定 量 限 界		0.001	0.007	0.02	

注 ND（検出されず）とは、定量限界未満をいう。



#### (4) 海水浴場水質調査

##### ア 調査概要

海水浴シーズンを迎えるにあたり、事前に海水浴場の実態調査を把握するため調査を実施した。

##### ・調査時期

5月中旬から下旬

##### ・調査海水浴場

小境（氷見市）、島尾（氷見市）、雨晴・松太枝浜（高岡市）、八重津浜（富山市）、岩瀬浜（富山市）、浜黒崎（富山市）、石田浜（黒部市）、宮崎・境海岸（朝日町）

##### ・調査項目

ふん便性大腸菌群数、COD、油膜、透明度、病原性大腸菌 O-157

##### イ 調査結果

調査結果は、表 6-4 のとおりであり、すべての海水浴場が水浴に適した良好な水質であった。

海水浴場の判定基準によれば、小境、島尾、雨晴・松太枝浜、石田浜、宮崎・境海岸の海水浴場については「適、水質 AA」であり、それ以外の 3 海水浴場については「適、水質 A」であった。

表 6-4 海水浴場水質測定結果（17 年度）

海水浴場	判定	判定項目				
		ふん便性 大腸菌群数 (個/100ml)	COD (mg/l)	油膜 の有無	透明度 (m)	病原性 大腸菌 O-157
小 境(氷見市)	適、水質 AA	2 未満	1.4	なし	全透	不検出
島 尾(氷見市)	適、水質 AA	2 未満	1.7	なし	全透	不検出
雨晴・松太枝浜(高岡市)	適、水質 AA	2 未満	1.8	なし	全透	不検出
八 重 津 浜(富山市)	適、水質 A	2	1.3	なし	全透	不検出
岩 瀬 浜(富山市)	適、水質 A	3	1.2	なし	全透	不検出
浜 黒 崎(富山市)	適、水質 A	37	1.8	なし	全透	不検出
石 田 浜(黒部市)	適、水質 AA	2 未満	1.5	なし	全透	不検出
宮 崎・境 海 岸(朝日町)	適、水質 AA	2 未満	1.4	なし	全透	不検出

## (5) 湖沼水質調査

### ア 調査概要

湖沼の水質汚濁の未然防止に資するため、主要な湖沼の水質調査を実施した。

#### (ア) 調査湖沼

調査は表 6-5 に示す 3 湖沼で実施した。

#### (イ) 調査地点及び調査回数

湖中央及びダムえん堤付近の 2 地点で、7～8 月及び 11 月に調査を実施した。

#### (ウ) 調査項目

透明度、pH、COD、SS、DO、全窒素、全りん、クロロフィル a

### イ 調査結果

調査結果は、表 6-6 のとおりであった。

有機汚濁の指標である COD については、3 湖沼とも環境基準の A 類型 (3 mg/・以下) に相当する水質であった。

表 6-5 調査対象湖沼 (17 年度)

湖沼名	所在地	有効貯水量 (千m <sup>3</sup> )	湛水面積 (k m <sup>2</sup> )	主な利水目的
布瀬川ダム貯水池	黒部市福平	1,000	0.10	洪水調節、不特定用水、 河川維持用水、消流雪 用水
白岩川ダム貯水池	立山町白岩	1,700	0.19	洪水調節、不特定用水、 河川維持用水
利賀川ダム貯水池	南砺市利賀村水無	1,350	0.17	洪水調節、節電

表 6-6 湖沼水質調査結果 (17 年度)

湖沼名	調査 回数	測 定 項 目							
		透明度	pH	COD (mg/λ)	SS (mg/λ)	DO (mg/λ)	全窒素 (mg/λ)	全りん (mg/λ)	クロロフィル a (μg/λ)
布瀬川ダム貯水池	2回	4.1	7.6	1.4	1	9.2	0.41	0.009	1.1
白岩川ダム貯水池	2回	0.6	7.7	2.7	23	9.5	0.57	0.026	6.1
利賀川ダム貯水池	2回	5.4	7.8	1.3	1	9.1	0.14	0.009	3.7

(6) 立山環境調査

立山地区の環境保全を図るため、常願寺川上流部の河川等の環境 13 地点及び発生源 10 事業場の水質調査を実施した。

その結果、環境においては BOD（または COD）についていずれも環境基準 A 類型に相当する良好な水質であり、発生源についてもいずれの事業場も排水水質に問題はなかった。

表 6-7 立山環境調査（河川等環境調査）結果（17 年度）

区分	名 称	pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)
称名滝上流	みくりが池	5.2	0.1	1
	雷鳥沢	6.2	ND	ND
	紺谷川合流点下流	3.8	1.5	4
	大谷上流	6.3	ND	ND
	一の谷	7.1	ND	ND
	ハンノキ谷	5.2	ND	ND
称名滝下流	称名第二発電所上流	5.2	ND	ND
	称名川藤橋	6.9	ND	3
	真川末端	7.0	ND	6
	牛首谷川末端	7.0	ND	3
	和田川末端	7.1	ND	3
	小口川末端	6.6	ND	16
	常願寺川瓶岩橋	7.1	0.5	13
定量限界		—	0.5	1

注 1 ND（検出されず）とは、定量限界未満をいう。

注 2 BOD 欄中、「みくりが池」は COD の値である。

注 3 「紺谷川合流点下流」は、地獄谷からの流水の影響を受けている。

(7) 水生生物調査

水質保全意識の普及啓発を図るため、中学校や高等学校の科学部等の各種団体の協力を得て、河川の水生生物調査を実施しており、17年度は、表6-8のとおり、11団体215名の参加により、12河川の18地点で調査を実施した。

表6-8 水生生物調査結果(17年度)

調査河川	調査地点	水質階級	調査団体名(参加団体数、参加延べ人数)
泉川	泉川下流	I	氷見市立西條中学校
小矢部川	向田橋(下流100m)	III	福岡町地域活動推進員連絡会 小矢部川に学ぶ会
	土屋橋(上流80m左岸)	II	
	三日市橋(下流右岸)	II	
	五位橋下流500m	II	高岡市立五位中学校 科学部
山田川	城山中学校横	I	富山市立城山中学校 科学部
	城山中学校下流500m	I	
	城山中学校下流1000m	I	
本堂川	小矢部市東蟹谷地区	I	そらまめエコクラブ
庄川	南郷大橋下流1km	I	高岡市立五位中学校 科学部
神通川	新婦大橋上流西側	I	富山市立大沢野中学校
いたち川	ドンドコ公園	I	こどもエコクラブ 「元気マン」
熊野川	八幡橋下流(100m)	I	こどもエコクラブ 「元気マン」
	任海橋	I	富山市立興南中学校
土川	悪王寺	II	富山市立興南中学校
太田用水	石坪橋下流	II	ドングリエコクラブ
常願寺川	立山駅周辺	I	富山第一高等学校
清水川	入善町古黒部地内	II	こどもエコクラブ 「桃李ふるさと探検隊」 (入善町立桃李小学校 子どもかがやき教室)
計	12河川	18地点	11団体、215名

注 水質階級の判定と主な指標生物は以下のとおりである。

- I (きれいな水) : ウズムシ類、カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類等
- II (少しきたない水) : ヒラタドロムシ類等
- III (きたない水) : サホコカゲロウ、ヒル類等
- IV (大変きたない水) : セスジュスリカ、イトミミズ類等

(8) ダイオキシン類環境調査

河川水、河川底質、海水及び地下水について、ダイオキシン類の環境調査を実施した。調査結果は表 6-9 のとおりであった。

河川水質については、富山市の富岩運河 1 地点で環境基準値を超えていたが、その他の地点では環境基準を達成していた。

河川底質、海域水質、海域底質及び地下水質については、すべての調査地点で環境基準を達成していた。

表 6-9 ダイオキシン類環境調査 (17 年度)

ア 河川 (水質)

(単位 : pg-TEQ/λ)

水 域 名	調査地点名	調査結果	調査機関	
阿 尾 川	阿 尾 橋	0.22	富山県	
余 川	間 島 橋	0.069	〃	
上 庄 川	北 の 橋	0.14	〃	
仏 生 寺 川	八 幡 橋	0.20	〃	
	湊 川	0.49	〃	
小 矢 部 川	河 口	0.17	国土交通省(富山)	
	城 光 寺 橋	0.10	〃	
	千 保 川	地 子 木 橋	0.11	高岡市
	祖 父 川	新 祖 父 川 橋	0.11	〃
	横江宮川	末 端	0.49	富山県
庄 川	大 門 大 橋	0.070	国土交通省(富山)	
内 川	山 王 橋	0.20	富山県	
	西	橋	0.12	〃
下 条 川	稻 積 橋	0.31	〃	
新 堀 川	白 石 橋	0.21	〃	
神 通 川	菖 浦 橋	0.10	国土交通省(富山)	
	神 通 大 橋	0.10	〃	
	いたち川	四 ツ 屋 橋	0.090	富山市
	松 川	桜 橋	0.14	〃
富 岩 運 河	千 原 崎 地 内 水 路 橋	1.4	〃	
岩 瀬 運 河	岩 瀬 橋	0.19	〃	
常 願 寺 川	今 川 橋	0.075	国土交通省(富山)	
	常 願 寺 橋	0.080	〃	
白 岩 川	東 西 橋	0.078	富山市	
上 市 川	魚 躬 橋	0.038	富山県	
中 川	落 合 橋	0.10	〃	
早 月 川	早 月 橋	0.017	〃	
角 川	角 川 橋	0.049	〃	
鴨 川	港 橋	0.031	〃	
片 貝 川	落 合 橋	0.15	〃	
	布 施 川	落 合 橋	0.20	〃
黒 瀬 川	石 田 橋	0.084	〃	
高 橋 川	堀 切 橋	0.070	〃	
吉 田 川	吉 田 橋	0.10	〃	
黒 部 川	下 黒 部 橋	0.071	国土交通省(黒部)	
入 川	末 端	0.050	富山県	
小 川	赤 川 橋	0.029	〃	
木 流 川	末 端	0.062	〃	
笹 川	笹 川 橋	0.12	〃	
境 川	境 橋	0.14	〃	
環境基準			1	

イ 河川（底質）

（単位：pg-TEQ/g）

水域名	調査地点名	調査結果	調査機関
小矢部川	河口	17	国土交通省(富山)
	城光寺橋	0.95	〃
庄川	大門大橋	0.30	〃
新堀川	白石橋	5.1	富山県
神通川	萩浦橋	1.1	国土交通省(富山)
	神通大橋	1.0	〃
松川	桜橋	1.5	富山市
岩瀬運河	岩瀬橋	39	〃
常願寺川	今川橋	0.24	国土交通省(富山)
	常願寺橋	0.24	〃
上市川	魚躬橋	0.23	富山県
中川	落合橋	2.3	〃
早月川	早月橋	0.37	〃
角川	角川橋	0.45	〃
鴨川	港橋	0.52	〃
片貝川	落合橋	0.047	〃
	布施川	落合橋	0.75
黒部川	下黒部橋	0.24	国土交通省(黒部)
環境基準		150	

注 調査結果は、年平均値である。

ウ 海域（水質）

（単位：pg-TEQ/λ）

水域名	調査地点名	調査結果	調査機関
富山新港海域	新港 1	0.096	富山県
小矢部川河口海域	小矢部 2	0.025	〃
神通川河口海域	神通 2	0.053	〃
その他富山湾海域	その他 2	0.022	〃
〃	その他 4	0.026	〃
〃	その他 8	0.029	〃
環境基準			1

エ 海域（底質）

（単位：pg-TEQ/g）

水域名	調査地点名	調査結果	調査機関
小矢部川河口海域	小矢部 2	0.56	富山県
神通川河口海域	神通 2	3.7	〃
その他富山湾海域	その他 1	5.0	〃
〃	その他 6	6.3	〃
〃	その他 8	3.0	〃
環境基準			150

## 才 地下水

(単位：pg-TEQ/λ)

市 町 村 名	調 査 地 点 名	調 査 結 果	調 査 機 関
富 山 市	四 方 南 町	0.066	富 山 市
"	水 橋 東 天 神 町	0.067	"
"	大 江 千	0.066	"
"	西 田 地 方	0.067	"
"	婦 中 町 田 屋	0.067	"
"	婦 中 町 安 田	0.066	"
"	八 尾 町 上 新 田	0.067	"
"	下 大 久 保	0.066	"
高 岡 市	駒 方	0.021	高 岡 市
"	城 東	0.017	"
"	麻 生 谷	0.017	富 山 県
"	福 岡 町 矢 部	0.022	"
魚 津 市	三 ヶ	0.020	"
黒 部 市	栗 寺	0.024	"
"	飯 沢	0.020	"
砺 波 市	三 郎 丸	0.020	"
小 矢 部 市	石 王 丸	0.020	"
"	高 木	0.017	"
南 砺 市	川 上 中	0.034	"
"	高 儀	0.024	"
射 水 市	作 道	0.017	"
"	片 口	0.020	"
"	白 石	0.020	"
立 山 町	道 源 寺	0.031	"
入 善 町	春 日	0.021	"
環 境 基 準		1	

(9) 内分泌かく乱化学物質実態調査

内分泌かく乱化学物質（いわゆる環境ホルモン）の環境汚染の状況を把握するため、県内の6河川において実態調査を行った。

調査結果は、表6-10のとおりであり、アルキルフェノール類が1河川、ビスフェノールAが1河川、17β-エストロジオールが2河川で検出されたが、全国調査結果と比較して低い濃度であった。

表6-10 内分泌かく乱化学物質実態調査結果（17年度）

(単位：μg/l)

河川名	アルキルフェノール類 (8項目)	フタル酸エステル類 (8項目)	ビスフェノールA	ベンゾ(a)ピレン	2,4-ジクロロフェノール	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	ベンゾフェノン	17β-エストロジオール
早月川	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
鴨川	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0001
高橋川	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
吉田川	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	0.0001
入川	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
小川	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
検出下限値	0.01~0.1	0.1~0.3	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.0001
全国(環境省)	ND~21	ND~16	ND~19	ND~0.07	ND~0.88	ND~1.8	ND~0.18	ND~0.28
全国(国土交通省)	ND~3.3	ND~9.4	ND~2.1	ND	ND~0.07	ND~0.16	ND~0.84	ND~0.027

注) 1 NDとは、検出下限値未満をいう。

2 全国(環境省)の欄は、環境省の10~16年度の調査全体での最小値~最大値を示す。

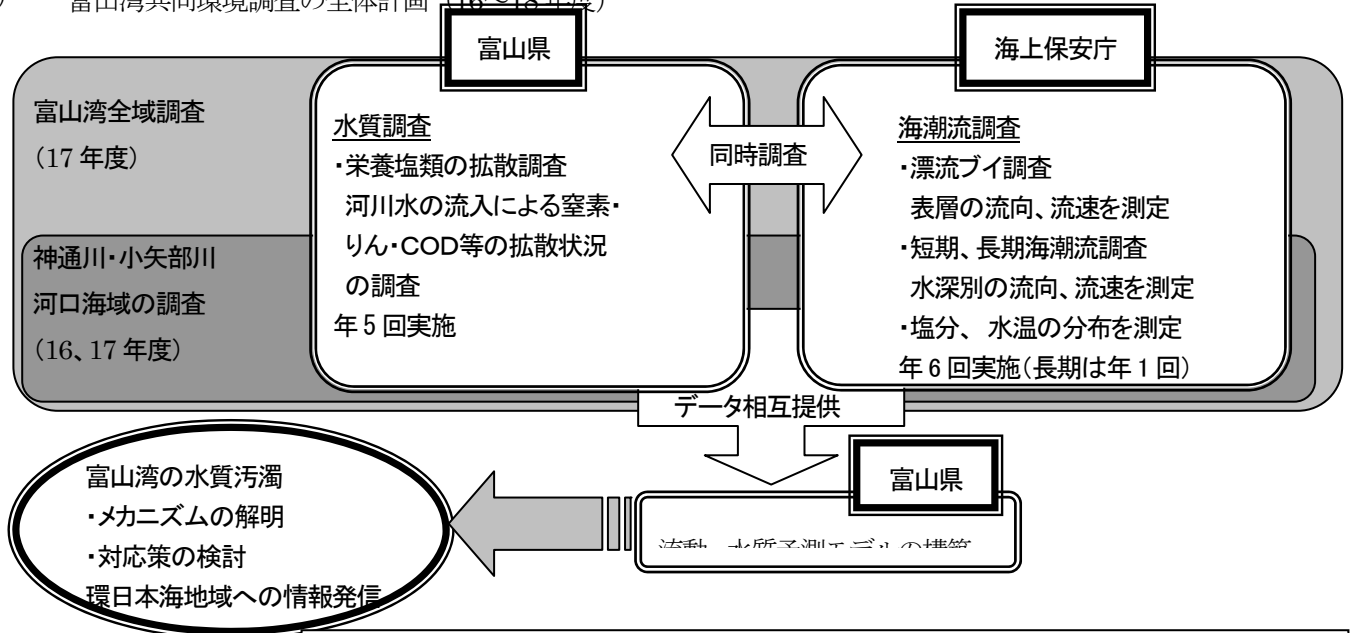
3 全国(国土交通省)の欄は、国土交通省の10~16年度の調査全体での最小値~最大値を示す。



(10) 富山湾共同環境調査

富山湾沿岸部の流入河川水の拡散状況、栄養塩類の挙動を把握するため、16年度から全国で初めて海上保安庁（第九管区海上保安本部）と連携して、神通川・小矢部川河口海域等で海潮流や栄養塩類の拡散状況の共同調査を実施している。なお、調査結果については、17年度から開催する「富山湾共同環境調査検討会」において総合的解析を行い、18年度中に取りまとめることにしている。

ア 富山湾共同環境調査の全体計画（16～18年度）



**効果**  
富山県は、**水質汚濁のメカニズムの解明や精度の高い対応策**が可能となる。  
また、海上保安庁は富山湾の海水の流動を解明し、富山湾の海難・救助、海上防災活動等に役立てる。

イ 調査概要

富山湾への流入汚濁負荷量の寄与率が6～7割を占める神通川・小矢部川の河口海域を中心に水質調査・海潮流調査を同時に実施し、両河川河口海域における栄養塩類の拡散挙動および河口付近の潮流の実態を把握する。

(ア) 水質調査 [富山県]

各河口海域（それぞれ10地点）及び富山湾全域調査地点において、形態別窒素、りん、COD等の調査を実施。

(イ) 海潮流調査 [第九管区海上保安本部]

河口付近の潮流の実態を把握するため、①漂流ブイ調査②短期、長期海潮流調査③塩分、水温調査を実施。

ウ 富山湾共同環境調査検討会の開催

(ア) 開催予定 平成17～18年度の2ヵ年で各年2回開催予定

(イ) 検討委員 海洋環境・水質の専門学識者8名

(ウ) 検討事項 富山湾の水質汚濁メカニズムの解明と富山湾水質保全対策への提言

エ 調査内容及び結果（17年度）

(ア) 調査海域及び調査日等

調査海域	神通川河口	小矢部川河口	富山湾全域
調査日	平成17年6月29日	平成17年6月28日	平成17年8月28日 ～29日
	平成17年9月1日	平成17年8月31日	
	平成17年11月16日	平成17年11月15日	
	平成18年2月21日	平成18年2月22日	

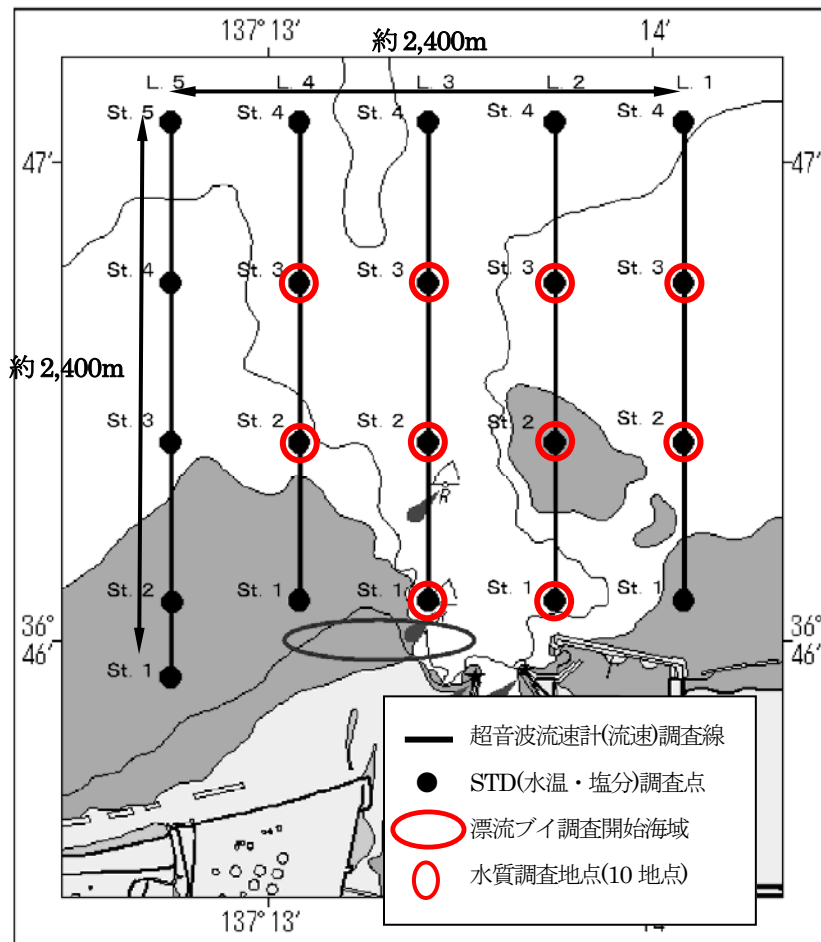


図6-1 神通川河口海域の調査地点

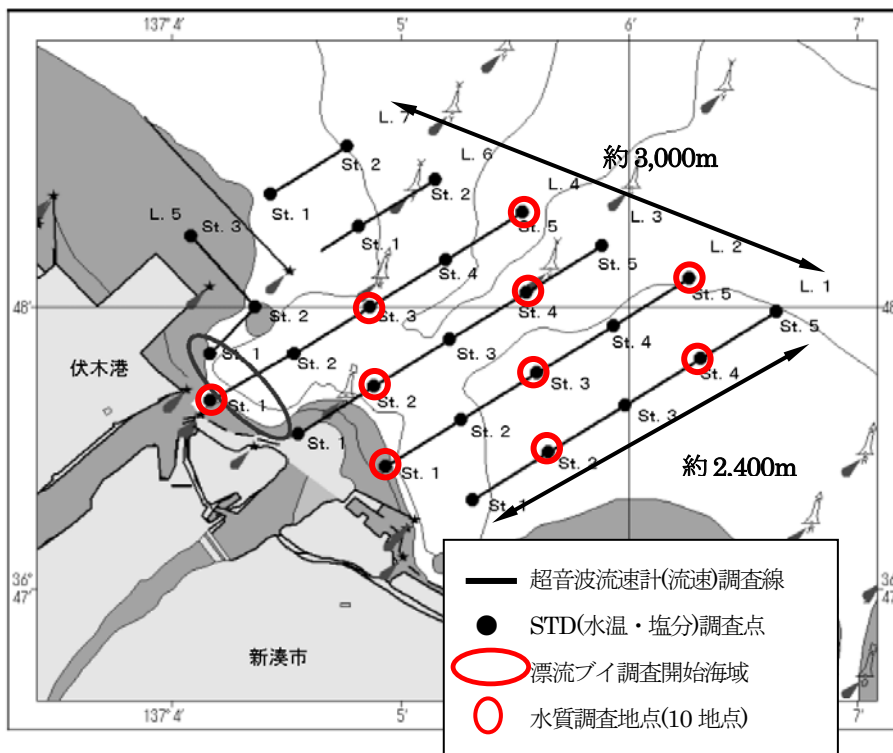
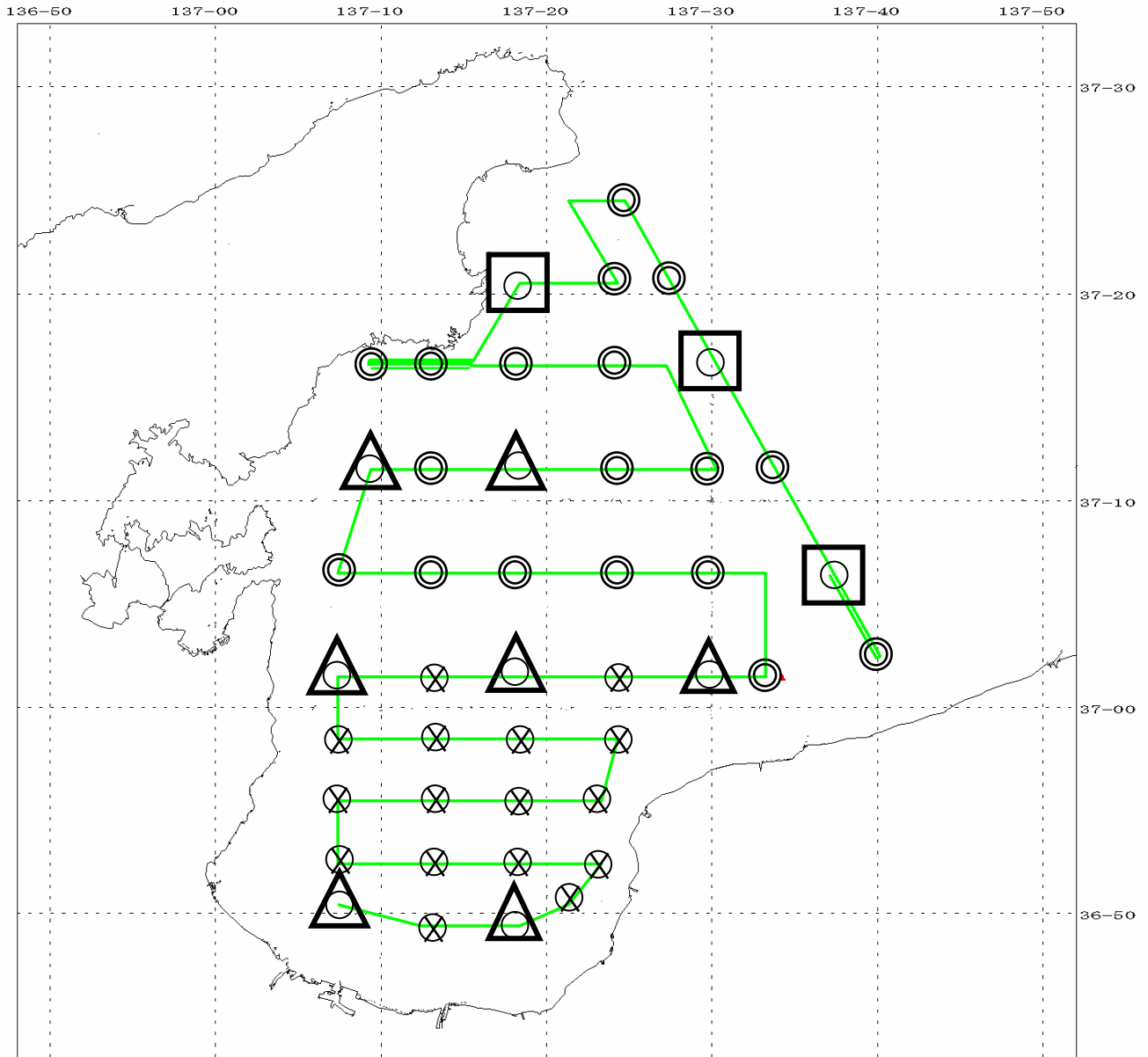


図6-2 小矢部川河口海域の調査地点



- : ADCP(流速)調査線
- : STD(水温・塩分)調査点      26点
- ◎ : XBT(水温)調査点      18点
- × : 表面水温・塩分調査点      16点
- △ : 水質調査点(表層のみ)      7点
- : 水質調査点(表層、10m )      3点

図6-3 富山湾全体の調査地点図

## (イ) 水質調査について

## ①採水方法

表中層：表層(海面下 0.5m)及び中層(海面下 2m)から採水したものを等量混合したもの

下層：海面下 10m から採水したもの

## ②測定方法と記載下限値

測定項目	測定方法	記載下限値	
COD	日本工業規格 K0102(以下規格という。)の 17 に定める方法	0.5 mg/l	
溶存態 COD	1.2 $\mu$ m ガラス繊維ろ紙でろ過後、COD 測定。	0.5 mg/l	
形態別窒素	全窒素	規格 45.4 銅カドミウムカラム還元ナフチルエチレンジアミン吸光光度法	0.02 mg/l
	溶存態全窒素	1.2 $\mu$ m ガラス繊維ろ紙でろ過後、全窒素測定	0.02 mg/l
	アンモニア性窒素	規格 42.1、42.2 インドフェノール青吸光光度法	0.01 mg/l
	亜硝酸性窒素	規格 43.1.1 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法	0.01 mg/l
	硝酸性窒素	規格 43.2.3 銅カドミウムカラム還元ナフチルエチレンジアミン吸光光度法	0.01 mg/l
形態別りん	全りん	規格 46.3.1 ペルオキシ二硫酸カリウム分解モリブデン青吸光光度法	0.003 mg/l
	溶存態全りん	1.2 $\mu$ m ガラス繊維ろ紙でろ過後、全りん測定	0.003 mg/l
	溶存態無機性りん	1.2 $\mu$ m ガラス繊維ろ紙でろ過後、規格 46.1.1 備考 6 モリブデン青吸光光度法	0.003 mg/l
	りん酸性りん	規格 46.1.1 備考 6 モリブデン青吸光光度法	0.003 mg/l
クロロフィル a	海洋観測指針(第 1 部)6.3.3.1(1999) 抽出蛍光法	0.1 $\mu$ g/l	
塩分	サリノメーター法(伝導度比による測定)	2	
透明度	透明度板による観測	—	

項目	調査地点	L. 1		L. 2			L. 3			L. 4		
		採取層	St. 2	St. 3	St. 1	St. 2	St. 3	St. 1	St. 2	St. 3	St. 2	St. 3
COD (mg/L)	表中層	2.4	3.1	3.0	3.0	2.9	6.1	4.7	3.6	4.2	3.7	
	下層	1.7	1.5	2.2	1.5	1.2	3.5	1.3	1.1	1.4	1.5	
溶存態COD (mg/l)	表中層	2.0	2.2	2.4	1.9	2.2	3.3	3.2	2.6	2.8	2.7	
	下層	1.3	1.2	1.6	1.3	0.9	2.1	0.9	0.8	0.9	1.3	
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.4	0.9	0.6	1.1	0.7	2.8	1.5	1.0	1.4	1.0	
	下層	0.4	0.3	0.6	0.2	0.3	1.4	0.4	0.3	0.5	0.2	
懸濁態COD (%)	表中層	16.7	29.0	20.0	36.7	24.1	45.9	31.9	27.8	33.3	27.0	
	下層	23.5	20.0	27.3	13.3	25.0	40.0	30.8	27.3	35.7	13.3	
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.34	0.47	0.40	0.45	0.57	0.92	0.57	0.48	0.53	0.57
		下層	0.17	0.22	0.17	0.23	0.14	0.30	0.18	0.12	0.16	0.27
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.23	0.35	0.31	0.29	0.38	0.51	0.37	0.33	0.39	0.43
		下層	0.14	0.20	0.12	0.20	0.10	0.17	0.13	0.11	0.11	0.22
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	0.01	0.02	0.09	0.05	0.06	0.12	0.07	0.04	0.05	0.06
		下層	<0.01	0.01	<0.01	0.04	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.07	0.15	0.14	0.14	0.18	0.25	0.20	0.15	0.20	0.22
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.026	0.035	0.047	0.041	0.042	0.15	0.080	0.055	0.062	0.062
		下層	0.009	0.005	0.022	0.012	0.007	0.063	0.006	0.005	0.005	0.006
	H17溶存態全りん (mg/l)	表中層	0.011	0.013	0.027	0.015	0.017	0.020	0.019	0.014	0.015	0.018
		下層	0.005	0.005	0.007	0.006	0.004	0.014	0.005	0.004	0.003	0.005
	溶存態無機性りん (mg/l)	表中層	<0.003	<0.003	0.004	0.003	0.003	0.007	0.005	0.003	0.006	0.008
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.004	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	りん酸性りん (mg/l)	表中層	0.003	<0.003	0.011	0.008	0.004	0.015	0.008	0.005	0.012	0.010
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	クロロフィルa (μg/l)	表中層	3.5	4.7	3.8	4.5	4.8	8.2	7.1	4.5	4.0	6.3
		下層	0.8	0.3	1.8	1.0	0.4	4.1	0.5	0.5	0.5	0.4
塩分 ( - )	表中層	27.95	22.88	24.17	22.85	19.90	12.04	16.51	21.99	17.50	15.43	
	下層	34.18	34.35	33.96	34.08	34.31	34.22	34.18	34.21	34.24	34.28	
透明度(m)	—	2.8	1.8	1	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	

平成17年9月1日

項目	調査地点	L. 1		L. 2			L. 3		L. 4			
		採取層	St. 2	St. 3	St. 1	St. 2	St. 3	St. 1	St. 2	St. 3	St. 2	St. 3
COD (mg/L)	表中層	2.4	2.3	2.5	2.9	2.4	2.8	2.6	2.3	2.7	2.7	
	下層	1.7	1.8	1.7	1.8	1.7	1.9	1.9	1.9	1.1	2.0	
溶存態COD (mg/l)	表中層	2.2	1.8	2.1	1.9	1.7	1.9	2.0	1.7	1.8	2.0	
	下層	1.4	1.3	1.4	1.6	1.4	1.5	1.7	1.7	0.9	1.6	
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.2	0.5	0.4	1.0	0.7	0.9	0.6	0.6	0.9	0.7	
	下層	0.3	0.5	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2	0.4	
懸濁態COD (%)	表中層	8.3	21.7	16.0	34.5	29.2	32.1	23.1	26.1	33.3	25.9	
	下層	17.6	27.8	17.6	11.1	17.6	21.1	10.5	10.5	18.2	20.0	
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.41	0.36	0.39	0.47	0.59	0.81	0.64	0.39	0.34	0.44
		下層	0.20	0.18	0.18	0.21	0.18	0.18	0.18	0.14	0.14	0.16
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.35	0.33	0.28	0.37	0.49	0.54	0.50	0.28	0.25	0.37
		下層	0.19	0.16	0.18	0.18	0.18	0.15	0.13	0.11	0.14	0.12
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	0.02	<0.01	0.05	0.10	0.09	0.09	<0.01	<0.01	0.03
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.06	0.08	0.09	0.12	0.16	0.21	0.20	0.08	0.06	0.10
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.012	0.013	0.014	0.014	0.015	0.018	0.015	0.013	0.012	0.014
		下層	0.005	0.011	0.007	0.005	0.006	0.013	0.007	0.004	0.004	0.004
	H17溶存態全りん (mg/l)	表中層	0.007	0.006	0.007	0.008	0.005	0.007	0.008	0.007	0.005	0.007
		下層	0.005	0.005	0.007	0.004	0.004	0.007	0.004	0.003	0.004	0.004
	溶存態無機性りん (mg/l)	表中層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	りん酸性りん (mg/l)	表中層	0.005	0.005	0.006	0.006	0.005	0.007	0.005	0.005	0.004	0.004
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.004	<0.003	<0.003	<0.003	0.003
	クロロフィルa (μg/l)	表中層	7.9	7.2	10	10	6.2	9.5	7.8	8.3	10	7.7
		下層	0.5	0.4	0.6	0.6	0.8	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5
塩分 ( - )	表中層	25.57	24.01	23.95	22.40	21.25	18.41	19.18	23.49	25.94	23.87	
	下層	32.41	32.42	32.45	32.14	32.05	32.43	32.21	32.16	32.25	32.21	
透明度(m)	—	4.6	4.5	4.5	4	4	3.7	4.7	5	4.7	4.7	

項目	調査地点	L.1		L.2			L.3		L.4			
		採取層	St.2	St.3	St.1	St.2	St.3	St.1	St.2	St.3	St.2	St.3
COD (mg/L)	表中層	1.7	1.5	1.1	1.3	1.1	1.4	1.4	1.5	1.3	1.4	
	下層	1.4	1.3	1.0	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8	0.9	1.0	
溶存態COD (mg/l)	表中層	1.0	1.3	1.1	1.2	1.0	1.3	1.1	1.1	1.2	1.3	
	下層	0.7	1.2	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.7	0.8	0.8	
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.7	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.1	0.1	
	下層	0.7	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	
懸濁態COD (%)	表中層	41.2	13.3	0.0	7.7	9.1	7.1	21.4	26.7	7.7	7.1	
	下層	50.0	7.7	20.0	0.0	0.0	11.1	0.0	12.5	11.1	20.0	
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.20	0.27	0.29	0.44	0.17	0.34	0.45	0.32	0.39	0.37
		下層	0.15	0.17	0.19	0.10	0.13	0.09	0.29	0.15	0.21	0.13
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.20	0.21	0.25	0.44	0.15	0.27	0.45	0.28	0.32	0.35
		下層	0.11	0.16	0.16	0.09	0.11	0.09	0.23	0.13	0.18	0.10
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	0.04	0.05	0.06	0.12	0.06	0.12	0.12	0.12	0.09	0.11
		下層	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.03	0.03	0.06	0.12	0.06	0.13	0.11	0.12	0.10	0.11
		下層	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.011	0.011	0.019	0.020	0.013	0.021	0.018	0.018	0.018	0.018
		下層	0.005	0.006	0.012	0.007	0.006	0.011	0.008	0.007	0.008	0.007
	H17溶存態全りん (mg/l)	表中層	0.006	0.005	0.011	0.010	0.006	0.009	0.010	0.009	0.009	0.009
		下層	0.004	0.004	0.005	0.004	0.004	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005
	溶存態無機性りん (mg/l)	表中層	<0.003	<0.003	0.003	0.003	<0.003	0.003	0.003	<0.003	0.003	0.003
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
りん酸性りん (mg/l)	表中層	0.006	0.005	0.011	0.011	0.006	0.011	0.010	0.010	0.009	0.009	
	下層	0.003	<0.003	0.005	0.003	<0.003	0.003	0.003	<0.003	0.003	<0.003	
クロロフィルa (μg/l)	表中層	0.5	0.5	0.8	0.9	0.6	1.2	1.0	0.9	1.1	1.2	
	下層	0.3	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	
塩分 ( - )	表中層	31.50	31.40	30.61	27.65	30.69	27.71	27.96	27.99	28.71	28.57	
	下層	33.23	33.15	33.03	33.02	33.17	32.82	33.05	33.12	33.20	33.10	
透明度(m)	—	7.3	8.6	4.4	4.3	7.2	3.6	4	5.3	3.8	6.3	

項目	調査地点	L.1		L.2			L.3		L.4			
		採取層	St.2	St.3	St.1	St.2	St.3	St.1	St.2	St.3	St.2	St.3
COD (mg/L)	表中層	1.2	2.5	1.4	1.4	1.6	1.3	1.1	1.3	1.1	1.5	
	下層	1.1	1.3	0.9	1.0	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	1.3	
溶存態COD (mg/l)	表中層	0.9	1.9	0.7	0.6	0.8	0.6	<0.5	0.6	0.6	0.8	
	下層	0.8	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.3	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6	0.7	0.5	0.7	
	下層	0.3	0.7	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.7	
懸濁態COD (%)	表中層	25.0	24.0	50.0	57.1	50.0	53.8	54.5	53.8	45.5	46.7	
	下層	27.3	53.8	44.4	50.0	44.4	50.0	44.4	44.4	44.4	53.8	
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.34	0.85	0.39	0.47	0.55	0.41	0.40	0.29	0.28	0.27
		下層	0.17	0.33	0.17	0.16	0.18	0.16	0.20	0.17	0.17	0.17
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.34	0.77	0.39	0.43	0.55	0.36	0.30	0.26	0.24	0.27
		下層	0.16	0.31	0.17	0.16	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.16
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	0.07	0.17	0.08	0.08	0.11	0.07	0.06	0.06	0.04	0.09
		下層	0.02	0.08	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.04	0.03
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.15	0.31	0.18	0.20	0.27	0.18	0.16	0.13	0.10	0.12	
	下層	0.07	0.13	0.08	0.07	0.07	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	
形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.021	0.030	0.021	0.039	0.022	0.022	0.017	0.020	0.016	0.017
		下層	0.014	0.021	0.017	0.015	0.014	0.015	0.016	0.014	0.014	0.014
	H17溶存態全りん (mg/l)	表中層	0.016	0.025	0.018	0.018	0.018	0.017	0.015	0.014	0.014	0.014
		下層	0.014	0.017	0.017	0.013	0.013	0.015	0.014	0.014	0.014	0.013
	溶存態無機性りん (mg/l)	表中層	0.009	0.012	0.010	0.010	0.012	0.014	0.009	0.008	0.009	0.009
		下層	0.008	0.010	0.010	0.010	0.010	0.011	0.009	0.007	0.009	0.009
りん酸性りん (mg/l)	表中層	0.012	0.012	0.013	0.013	0.013	0.014	0.011	0.010	0.010	0.011	
	下層	0.012	0.012	0.011	0.010	0.010	0.011	0.010	0.010	0.010	0.011	
クロロフィルa (μg/l)	表中層	0.7	0.7	0.4	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.7	0.7	
	下層	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.7	0.7	0.6	0.8	
塩分 ( - )	表中層	30.53	19.76	27.44	26.82	23.78	28.36	29.18	30.57	32.15	31.01	
	下層	33.86	30.33	33.79	33.68	33.82	33.79	33.56	33.67	33.66	33.73	
透明度(m)	—	9	7.8	9	8.3	7.4	2.7	6.2	7.2	8.4	6.7	

小矢部川河口

平成17年6月28日

項目	調査地点 採取層	L.1		L.2			L.3		L.4				
		St.2	St.4	St.1	St.3	St.5	St.2	St.4	St.1	St.3	St.5		
COD (mg/l)	表中層	2.5	2.4	1.7	2.1	1.5	2.5	1.6	3.6	1.9	1.4		
	下層	2.1	2.3	1.4	1.6	1.4	1.1	1.1	1.8	1.4	0.9		
溶存態COD (mg/l)	表中層	1.6	1.8	1.3	1.6	1.1	1.5	1.3	2.6	1.4	1.1		
	下層	1.4	0.9	0.8	1.2	1.0	0.8	0.7	1.0	1.1	0.6		
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.9	0.6	0.4	0.5	0.4	1.0	0.3	1.0	0.5	0.3		
	下層	0.7	1.4	0.6	0.4	0.4	0.3	0.4	0.8	0.3	0.3		
懸濁態COD (%)	表中層	36.0	25.0	23.5	23.8	26.7	40.0	18.8	27.8	26.3	21.4		
	下層	33.3	60.9	42.9	25.0	28.6	27.3	36.4	44.4	21.4	33.3		
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.27	0.27	0.30	0.29	0.24	0.39	0.29	0.62	0.28	0.25	
		下層	0.19	0.21	0.17	0.20	0.18	0.15	0.15	0.15	0.13	0.13	
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.22	0.17	0.26	0.24	0.19	0.36	0.27	0.52	0.27	0.20	
		下層	0.16	0.12	0.16	0.15	0.13	0.12	0.11	0.10	0.11	0.11	
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	0.04	0.08	0.06	0.02	<0.01	0.07	0.03	0.21	0.02	0.01	
		下層	0.04	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.03	0.02	0.08	0.05	0.03	0.11	0.05	0.21	0.06	0.01	
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.012	0.013	0.021	0.016	0.014	0.030	0.019	0.057	0.019	0.010
			下層	0.009	0.008	0.005	0.007	0.009	0.007	0.005	0.008	0.006	0.005
H17溶存態全りん (mg/l)		表中層	0.010	0.010	0.015	0.015	0.007	0.021	0.014	0.038	0.016	0.009	
		下層	0.007	0.005	0.005	0.006	0.007	0.006	0.004	0.004	0.004	0.004	
溶存態無機性りん (mg/l)		表中層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.006	0.003	0.018	0.003	<0.003	
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
りん酸性りん (mg/l)		表中層	0.003	0.004	0.007	0.007	0.005	0.015	0.009	0.035	0.009	0.003	
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.004	<0.003	<0.003	
クロロフィルa (μg/l)		表中層	1.5	1.3	2.1	1.1	1.2	1.4	1.0	3.5	1.4	0.7	
		下層	0.5	0.3	0.6	0.4	0.6	0.6	0.4	1.9	0.7	0.5	
塩分 ( - )		表中層	29.47	31.59	26.10	30.35	31.39	26.51	29.63	19.54	29.14	32.36	
		下層	33.82	33.78	34.08	33.84	33.25	33.76	34.13	33.35	33.96	34.02	
透明度 (m)	—	10.5	12.1	6.8	9.8	10.8	9.8	9	2.1	8.9	9.1		

平成17年8月31日

項目	調査地点 採取層	L.1		L.2			L.3		L.4				
		St.2	St.4	St.1	St.3	St.5	St.2	St.4	St.1	St.3	St.5		
COD (mg/l)	表中層	2.3	2.6	1.9	2.3	2.3	2.3	2.3	2.8	2.8	2.8		
	下層	2.1	2.0	1.3	1.3	1.7	1.5	1.8	1.7	1.9	2.0		
溶存態COD (mg/l)	表中層	1.8	1.9	1.4	1.7	1.7	1.9	1.8	2.6	2.2	2.5		
	下層	1.7	1.5	0.8	0.9	1.2	1.2	1.5	1.4	1.5	1.6		
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.5	0.7	0.5	0.6	0.6	0.4	0.5	0.2	0.6	0.3		
	下層	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4		
懸濁態COD (%)	表中層	21.7	26.9	26.3	26.1	26.1	17.4	21.7	7.1	21.4	10.7		
	下層	19.0	25.0	38.5	30.8	29.4	20.0	16.7	17.6	21.1	20.0		
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.50	0.32	0.39	0.38	0.27	0.34	0.35	0.99	0.36	0.31	
		下層	0.37	0.26	0.22	0.17	0.23	0.31	0.35	0.20	0.24	0.22	
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.41	0.26	0.35	0.30	0.24	0.24	0.27	0.53	0.28	0.22	
		下層	0.29	0.17	0.16	0.13	0.18	0.20	0.25	0.12	0.15	0.16	
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01	0.01	0.11	0.01	<0.01	
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.04	<0.01	0.04	0.08	0.03	0.06	0.05	0.18	0.07	0.01	
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.016	0.010	0.009	0.018	0.013	0.018	0.011	0.032	0.016	0.010
			下層	0.007	0.007	0.012	0.005	0.004	0.006	0.006	0.007	0.003	0.005
H17溶存態全りん (mg/l)		表中層	0.007	0.009	0.005	0.012	0.007	0.011	0.010	0.025	0.011	0.007	
		下層	0.004	0.006	0.007	0.005	0.003	0.005	0.005	0.006	0.003	0.005	
溶存態無機性りん (mg/l)		表中層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.012	0.003	<0.003	
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
りん酸性りん (mg/l)		表中層	0.003	<0.003	<0.003	0.007	<0.003	0.005	0.004	0.021	0.007	<0.003	
		下層	<0.003	<0.003	0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
クロロフィルa (μg/l)		表中層	3.8	1.9	0.8	2.3	2.0	1.1	1.7	0.6	0.7	2.1	
		下層	0.5	0.4	0.8	0.5	0.4	0.5	0.4	0.7	0.3	0.5	
塩分 ( - )		表中層	27.67	30.90	26.06	25.57	29.40	27.67	27.83	19.64	27.05	30.64	
		下層	32.69	32.55	32.41	32.66	32.48	32.60	32.53	32.13	32.50	32.51	
透明度 (m)	—	7.2	11.2	10.2	10.3	11.2	13.7	13.9	6	10.6	11.3		

平成17年11月15日

項目	調査地点 採取層	L.1		L.2			L.3		L.4				
		St.2	St.4	St.1	St.3	St.5	St.2	St.4	St.1	St.3	St.5		
COD (mg/l)	表中層	2.6	2.7	2.0	2.9	2.0	2.4	2.9	3.8	1.8	1.8		
	下層	1.9	1.3	1.2	1.6	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.6		
溶存態COD (mg/l)	表中層	1.8	1.8	1.2	2.3	0.7	1.3	2.0	3.3	1.5	1.4		
	下層	0.9	1.0	0.9	1.2	<0.5	<0.5	0.5	0.6	1.0	0.9		
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.8	0.9	0.8	0.6	1.3	1.1	0.9	0.5	0.3	0.4		
	下層	1.0	0.3	0.3	0.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.7		
懸濁態COD (%)	表中層	30.8	33.3	40.0	20.7	65.0	45.8	31.0	13.2	16.7	22.2		
	下層	52.6	23.1	25.0	25.0	58.3	58.3	58.3	53.8	28.6	43.8		
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.61	0.45	0.39	0.73	0.39	0.41	0.77	0.97	0.39	0.37	
		下層	0.18	0.21	0.23	0.24	0.19	0.24	0.23	0.18	0.19	0.17	
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.49	0.42	0.36	0.67	0.30	0.35	0.70	0.96	0.36	0.33	
		下層	0.15	0.21	0.19	0.21	0.15	0.21	0.21	0.17	0.14	0.14	
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	0.15	0.14	0.09	0.18	0.10	0.10	0.17	0.21	0.11	0.08	
		下層	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.23	0.20	0.15	0.38	0.13	0.19	0.39	0.59	0.23	0.16	
		下層	0.03	0.03	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	
	形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.035	0.036	0.023	0.051	0.027	0.031	0.052	0.077	0.034	0.027
			下層	0.013	0.008	0.012	0.011	0.008	0.010	0.008	0.016	0.010	0.007
H17溶存態全りん (mg/l)		表中層	0.023	0.022	0.012	0.033	0.015	0.018	0.037	0.048	0.022	0.016	
		下層	0.006	0.004	0.005	0.005	0.004	0.006	0.004	0.007	0.005	0.003	
溶存態無機性りん (mg/l)		表中層	0.008	0.010	0.004	0.012	0.004	0.007	0.014	0.028	0.007	0.005	
		下層	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.004	0.005	<0.003	
りん酸性りん (mg/l)	表中層	0.022	0.023	0.014	0.034	0.014	0.020	0.035	0.056	0.022	0.015		
	下層	0.005	0.003	0.005	0.005	<0.003	0.005	<0.003	0.008	0.005	0.003		
クロロフィルa (μg/l)	表中層	1.1	2.1	0.8	1.8	2.4	1.4	1.7	3.1	1.4	2.0		
	下層	1.2	1.2	0.7	1.2	1.3	1.2	1.1	1.3	0.9	1.1		
塩分 ( - )	表中層	21.93	23.01	21.17	15.52	27.23	21.12	16.13	7.24	21.02	24.60		
	下層	32.63	32.55	33.08	32.64	32.52	32.77	32.73	32.74	32.95	32.93		
透明度 (m)	—	4.3	3.5	2.3	3.4	3.7	3.4	3.4	2.3	3.2	5		

平成18年 2月22日

項目	調査地点 採取層	L.1		L.2			L.3		L.4				
		St.2	St.4	St.1	St.3	St.5	St.2	St.4	St.1	St.3	St.5		
COD (mg/l)	表中層	1.7	1.4	1.2	2.0	1.0	1.4	1.5	2.4	1.7	1.0		
	下層	1.2	1.0	1.2	1.3	0.7	1.0	1.0	0.9	0.7	0.6		
溶存態COD (mg/l)	表中層	1.3	1.2	0.9	1.3	0.8	0.6	1.0	1.7	0.7	0.8		
	下層	0.9	0.8	<0.5	0.7	0.6	<0.5	0.7	0.5	0.5	0.6		
懸濁態COD (mg/L)	表中層	0.4	0.2	0.3	0.7	0.2	0.8	0.5	0.7	1.0	0.2		
	下層	0.3	0.2	0.7	0.6	0.1	0.5	0.3	0.4	0.2	0.0		
懸濁態COD (%)	表中層	23.5	14.3	25.0	35.0	20.0	57.1	33.3	29.2	58.8	20.0		
	下層	25.0	20.0	58.3	46.2	14.3	50.0	30.0	44.4	28.6	0.0		
形態別窒素	全窒素 (mg/l)	表中層	0.31	0.23	0.23	0.42	0.22	0.32	0.24	0.70	0.40	0.18	
		下層	0.13	0.11	0.14	0.11	0.11	0.12	0.11	0.15	0.12	0.10	
	H17溶存態全窒素 (mg/l)	表中層	0.29	0.21	0.21	0.40	0.20	0.25	0.22	0.56	0.35	0.13	
		下層	0.12	0.10	0.13	0.09	0.08	0.10	0.08	0.12	0.10	0.06	
	アンモニア性窒素 (mg/l)	表中層	0.04	0.04	0.02	0.09	0.02	0.05	0.05	0.22	0.09	0.03	
		下層	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	<0.01	0.01	
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		下層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	硝酸性窒素 (mg/l)	表中層	0.12	0.11	0.11	0.22	0.09	0.14	0.13	0.29	0.19	0.09	
		下層	0.05	0.01	0.06	0.01	0.02	0.04	0.03	0.06	0.04	<0.01	
	形態別りん	全りん (mg/l)	表中層	0.021	0.018	0.029	0.027	0.016	0.021	0.018	0.035	0.024	0.014
			下層	0.014	0.012	0.016	0.012	0.013	0.013	0.013	0.018	0.014	0.011
H17溶存態全りん (mg/l)		表中層	0.016	0.014	0.008	0.021	0.013	0.016	0.015	0.025	0.019	0.011	
		下層	0.012	0.010	0.006	0.006	0.008	0.011	0.009	0.016	0.011	0.006	
溶存態無機性りん (mg/l)		表中層	0.006	0.007	0.006	0.009	0.006	0.008	0.006	0.016	0.009	0.005	
		下層	0.006	<0.003	0.006	<0.003	<0.003	0.005	0.003	0.009	0.005	<0.003	
りん酸性りん (mg/l)	表中層	0.007	0.008	0.010	0.013	0.007	0.010	0.008	0.021	0.012	0.007		
	下層	0.006	<0.003	0.008	<0.003	0.003	0.005	0.004	0.010	0.006	<0.003		
クロロフィルa (μg/l)	表中層	0.7	0.6	0.7	0.9	0.8	0.7	0.7	1.2	0.8	0.8		
	下層	0.4	0.8	0.2	1.6	0.5	0.3	0.4	0.3	0.6	2.0		
塩分 ( - )	表中層	30.30	30.76	29.37	25.24	31.69	28.93	29.69	19.89	26.26	32.00		
	下層	33.85	33.78	33.62	33.58	33.70	33.87	33.77	33.53	33.89	33.80		
透明度 (m)	—	9.5	9.6	9.3	8	9.1	8.9	9.3	5	10.6	9.3		



富山湾全域

平成17年8月28日～29日

項目 地点	COD(mg/l)	溶存態COD (mg/l)	形態別窒素(mg/l)					形態別りん(mg/l)				クロロフィル a (μg/l)	塩分
			全窒素	溶存態全窒素	アンモニア性窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	全りん	溶存態全りん	溶存態無機性りん	りん酸性りん		
T-1 表	1.4	1.3	0.13	0.10	0.09	<0.01	<0.01	0.007	0.004	<0.003	<0.003	2.5	31.03
T-2 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24.87
T-3 表	3.3	2.8	0.31	0.23	<0.01	<0.01	0.03	0.017	0.005	<0.003	0.010	20	23.92
T-4 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.63
T-5 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.46
T-6 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27.94
T-7 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.63
T-8 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.51
T-9 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.87
T-10 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30.04
T-11 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28.67
T-12 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.54
T-13 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23.36
T-14 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28.59
T-15 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30.57
T-16 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32.10
T-17 表	1.6	1.5	0.08	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.005	0.003	<0.003	<0.003	0.7	32.12
T-18 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32.24
T-19 表	2.3	2.0	0.13	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	0.009	0.004	<0.003	0.003	1.4	29.55
T-20 表塩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.64
T-21 表	3.3	2.5	0.20	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	0.011	0.005	<0.003	0.007	14	24.79
T-28 表	1.7	1.4	0.11	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.005	0.004	<0.003	<0.003	<0.1	32.45
T-30 表	1.3	1.2	0.09	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.003	0.003	<0.003	<0.003	<0.1	32.49
T-37 表	1.5	1.4	0.11	0.07	0.02	<0.01	<0.01	0.004	0.004	<0.003	<0.003	0.1	32.50
T-37 下	1.4	1.2	0.10	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	0.003	0.003	<0.003	<0.003	0.1	32.53
T-41 表	1.4	1.3	0.13	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	0.004	0.003	<0.003	<0.003	0.1	32.45
T-41 下	1.2	1.2	0.09	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.004	0.003	<0.003	<0.003	0.1	32.43
T-43 表	1.9	1.7	0.12	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.005	0.004	<0.003	<0.003	0.5	31.74
T-43 下	1.5	1.4	0.10	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.004	0.004	<0.003	<0.003	0.4	32.53

(ウ) 海潮流調査について

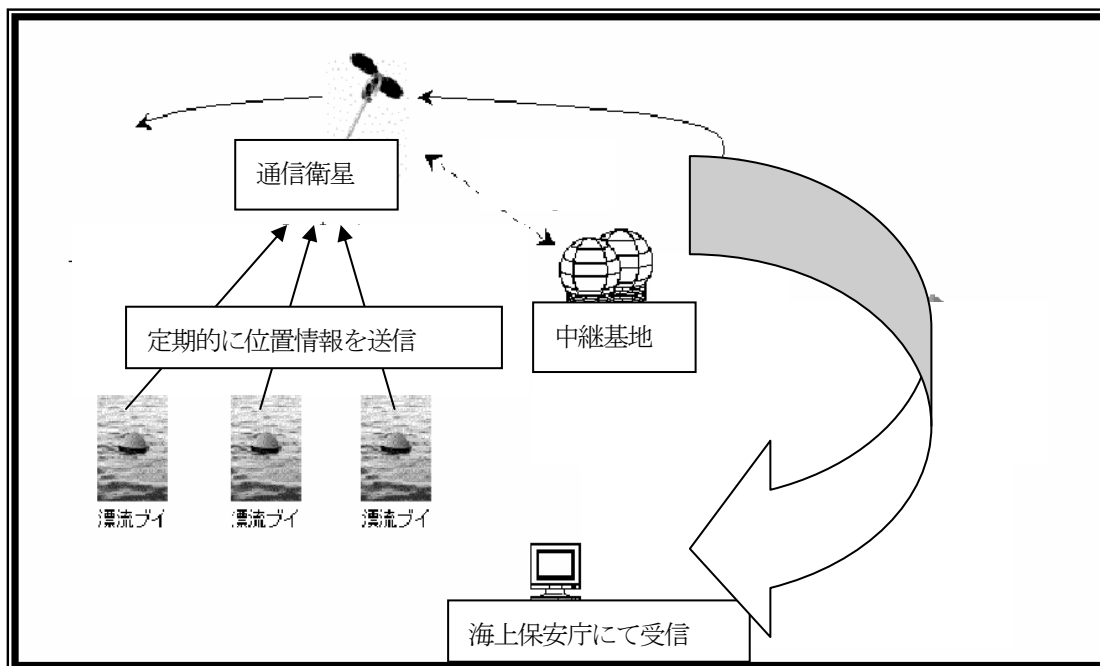
①漂流ブイ調査

・全球測位システム (GPS) を内蔵した漂流ブイから定期的に送信される位置情報を通信衛星を介して、逐次受信し追跡調査を行う。

<特徴> 天候の影響を受けず、表層の流れを正確に広範囲に測定することができる。

( GPS→Global Positioning Satellite System : 位置情報を常に確認できる衛星システム )

【漂流ブイ調査のイメージ】



②短期・長期海潮流調査

・短期海潮流調査：超音波流向流速計 (ADCP) を観測船に設置し、移動しながら直下の流れを連続測定する。

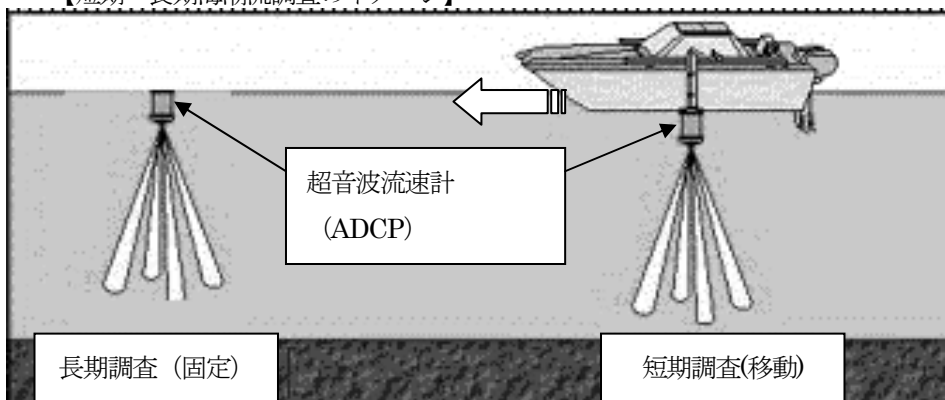
<特徴> 短期間に広範囲にわたる水深別の流れのデータを得ることができる。

・長期海潮流調査： ADCP を固定点に設置し、連続測定する。

<特徴> ある地点の水深別の流れの時間的変化を観測することができ、河口付近の潮流に及ぼす潮汐 (潮の満ち引き) の影響を調べることができる。(1地点のみ、測定日数16日、年1回実施)

( ADCP→Acoustic Doppler Current Profilers : 超音波を用いて水深別の流れを測定できる計器)

【短期・長期海潮流調査のイメージ】



③塩分・水温調査

・塩分・水温水深記録計 (STD) を各調査地点で投下し、水深別の塩分、水温の測定を行う。

<特徴> 海表面からある深さまでの塩分、水温分布を連続的に測定できる。

( STD→Salinity Temperature Depth recorder:塩分、水温、水深を自動記録できる計器)

④調査結果

第九管区海上保安本部 海洋情報部のホームページを参照ください。

URL <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/gaiho/gaiho.htm>

## 7 水質汚濁に係る事故等

### (1) 17年度の水質事故等の概要

17年度の水質汚濁に係る事故等は、図7-1のとおり63件（うち、工場・事業場における事故は27件）にも上り、昨年度に引き続き非常に多い件数であった。その内訳は、「油の流出」が54件と最も多く、ついで「製品、薬品、廃液等の流出」の8件であった。

12～2月の冬期は、暖房を使用する機会の増加とともに、一般家庭等からの灯油等の流出事故が頻発した。

県では、事業者及び各種事業団体に対し、施設及び配管等の管理を徹底するよう注意喚起を実施した。また市町村に対しても、事故時の迅速な対応を依頼した。

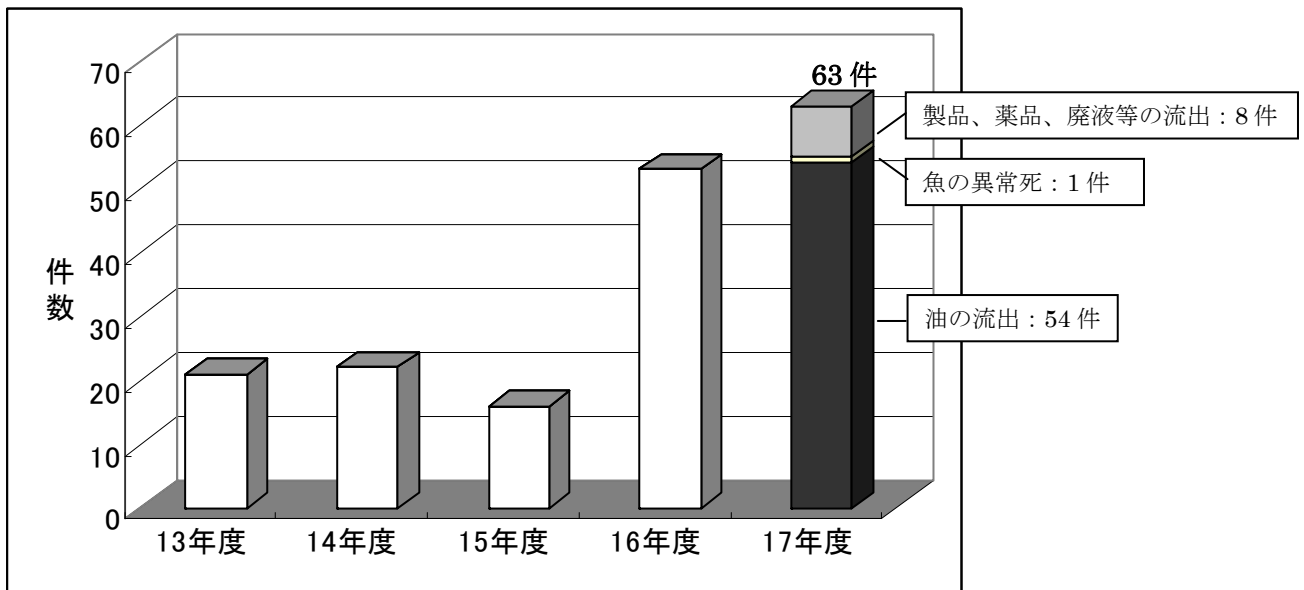


図 7-1 事故発生件数の経年変化

### (2) 水質事故等の個々の事例

#### 1. 富山市内の松川における薬液の流出

- ア 発生年月日 17年4月6日  
 イ 通報者 地元住民  
 ウ 概況 富山市太郎丸本町の事業場において、容器に残っていた防虫剤の希釈液を含んだ洗浄液が、冷川を経て松川へ流出した。  
 エ 措置 事業者が、側溝に残っていた薬剤を回収した。また、市が使用薬剤の適正な処理を指導した。

#### 2. 小矢部市綾子地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年4月12日  
 イ 通報者 維持作業員  
 ウ 概況 小矢部市綾子地内の小矢部川水系洪江川支川藪波川において、油膜が確認された。油種及び油の量は不明である。  
 エ 措置 国交省が吸着マットによる回収を行った。

3. 富山市港入船町における油の流出

- ア 発生年月日 17年5月30日  
イ 通報者 公園管理者  
ウ 概況 富山市湊入船町の神通川水系いたち川において、油膜が確認された。油種及び油の量は不明である。  
エ 措置 富山土木センターが吸着マットによる回収を行った。

4. 小矢部市矢水町における油の流出

- ア 発生年月日 17年6月2日  
イ 通報者 小矢部市職員  
ウ 概況 小矢部市矢水町の事業場において発生した火災の消火活動に伴い、油を含んだ水が道路側溝を経て小矢部川水系渋江川に流出した。  
エ 措置 小矢部市消防本部及び小矢部市生活環境課が中和剤及び吸着マット設置による処理を行った。

5. 高岡市伏木地内における薬液の流出

- ア 発生年月日 17年6月7日  
イ 通報者 事業者  
ウ 概況 高岡市伏木地内の事業場において、人為ミスにより薬液が排水路へ流出した。  
エ 措置 事業場が吸着マットによる回収を行った。

6. 富山市金屋地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年7月8日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 富山市一本木地内の常願寺川中川排水路において、アユが多数へい死した。  
エ 措置 原因が特定できず、処置は行われなかった。

7. 滑川市柳原地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年7月20日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 滑川市柳原地内の事業場において、送油ホースの破損により切削油約300リットルが中川排水路に流出した。  
エ 措置 事業者が土のうによる流出防止及び回収作業を行った。

8. 南砺市城端地内における白濁水の流出

- ア 発生年月日 16年7月21日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 南砺市城端地内の事業場において、発酵タンクの破損により白濁水約3000リットルが用水路を経て小矢部川水系桜が池用水に流出した。  
エ 措置 事業者が用水の清掃を行った。また、県及び南砺市が事業場に対する指導を行った。

9. 高岡市戸出栄町地内における排水の流出

- ア 発生年月日 17年7月25日  
イ 通報者 事業場  
ウ 概況 高岡市戸出栄町地内の事業場において、劣化により配管が破損し、排水約200リットルが漏洩し、一部が占用排水路を経て小矢部川水系千保川へ流出した、  
エ 措置 事業者がバキューム吸引による廃液の回収、漏洩箇所付近の土壌の入れ替えを行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

10. 砺波市中央町における油の流出

- ア 発生年月日 17年8月13日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 砺波市中央町の工事現場において、灯油地下埋設タンク時撤去中に灯油約80リットルが漏洩し、一部道路側溝へ流出した。  
エ 措置 工事業者が中和剤及び吸着マットによる回収を行い、周辺土壌を掘削し、拠出处分を行った。また、県が工事依頼者に対する指導を行った。

11. 高岡市赤祖父地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年8月15日  
イ 通報者 県職員  
ウ 概況 高岡市赤祖父地内の事業場において、地下タンクより油が漏洩し、地久子川へ流出した。  
エ 措置 高岡土木センターが吸着マットによる回収を行った。また、高岡消防署及び県が事業場に対し指導を行った。

12. 射水市大島町における油の流出

- ア 発生年月日 17年8月15日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 射水市大島町の事業場において、油水分離槽の不適切な管理により廃油が西部一号排水路へ流出した。  
エ 措置 射水消防署が吸着マットによる回収を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

13. 高岡市福岡町における油の流出

- ア 発生年月日 17年8月26日  
イ 通報者 国交省河川巡視員  
ウ 概況 高岡市福岡町において、自動車事故が発生し、事故車両から油が漏洩し小矢部川水系黒石川へ流出した。  
エ 措置 小矢部土木事務所が吸着マットによる回収を行った。

14. 高岡市本郷地内における薬液の流出

- ア 発生年月日 17年8月26日  
イ 通報者 事業者  
ウ 概況 高岡市本郷地内の事業場において、バルブの閉め忘れにより薬液（電着液）が漏洩し、約1500リットルが小矢部川水系四屋川を経て小矢部川へ流出した。

エ 措 置 事業者がバキューム吸引による回収を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

15. 魚津市本江元町地内における油の流出

ア 発生年月日 17年9月5日

イ 通 報 者 付近住民

ウ 概 況 魚津市本江元町地内の事業場において、エンジンオイルタンクの管理不備により、エンジンオイル約30リットルが鴨川へ流出した。

エ 措 置 事業者及び魚津消防署が中和剤による処理を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

16. 射水市二口地内における油の流出

ア 発生年月日 17年9月5日

イ 通 報 者 付近住民

ウ 概 況 射水市二口地内の一般家庭において、取扱い不注意により灯油15リットルが庄川水系和田川へ流出した。

エ 措 置 高岡土木センターが中和剤及び吸着マットによる処理を行った。

17. 小矢部市西中野地内における油の流出

ア 発生年月日 17年9月7日

イ 通 報 者 付近住民

ウ 概 況 小矢部市西中野地内の小矢部川水系子撫川で油膜が確認された。

エ 措 置 小矢部市が吸着マットによる回収を行った。

18. 小矢部市小神地内における油の流出

ア 発生年月日 17年11月30日

イ 通 報 者 小矢部市職員

ウ 概 況 小矢部市小神地内の事業場において、廃トラックより軽油20リットルが漏洩し、農業用水を経て小矢部川水系横江宮川へ流出した。

エ 措 置 小矢部土木事務所、小矢部市、小矢部市消防署及び事業者が吸着マットによる回収を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

19. 黒部市正光寺新地内における油の流出

ア 発生年月日 17年12月3日

イ 通 報 者 ー

ウ 概 況 黒部市正光寺新地内の一般家庭で、灯油の移し変え作業中に灯油が漏洩し、約200リットルが黒瀬川水系石田背戸川を経て黒瀬川へ流出した。

エ 措 置 黒部市及び黒部消防本部が吸着マットによる回収を行った。

20. 黒部市正光寺新地内における油の流出

ア 発生年月日 17年12月7日

イ 通 報 者 国交省委託職員

ウ 概 況 黒部市正光寺新地内の一般家庭で、灯油の移し変え作業中に灯油が漏洩し、約20リットルが用水を経て黒瀬川水系黒瀬川へ流出した

エ 措 置 黒部市及び黒部消防本部が吸着マットによる回収を行った。

2 1. 黒部市吉田地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月12日  
イ 通報者 ー  
ウ 概況 黒部市吉田地内の一般家庭において、灯油の移し変え作業中に灯油が漏洩し、約120リットルが用水へ流出した。  
エ 措置 黒部市消防本部が中和剤及び吸着マットによって回収を行った。また、県及び黒部市が灯油の取り扱い時の注意喚起を行った。

2 2. 高岡市上関地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月14日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 高岡市上関地内の事業場において、除雪作業中誤って屋外タンクを破損し、灯油約20リットルが上関用水へ流出した。  
エ 措置 高岡市消防本部が中和剤による処理を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

2 3. 砺波市宮森地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月14日  
イ 通報者 用水管理組合  
ウ 概況 砺波市宮森地内の事業場において、除雪作業中誤って配管を破損し、灯油約200リットルが六箇用水を経て庄川水系和田川へ流出した。  
エ 措置 事業者が吸着マットによる回収及び中和剤による処理を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

2 4. 小矢部市五社地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月14日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 小矢部市五社地内の事業場において、降雪により灯油配管が破損し、灯油約500リットルが用水を経て小矢部川水系岸渡川に流出した。  
エ 措置 小矢部市消防本部及び小矢部市が吸着マットによる回収を行った。また、小矢部市消防本部および県が事業場に対する指導を行った。

2 5. 富山市呉羽地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月16日  
イ 通報者 ー  
ウ 概況 富山市呉羽地内の一般宅において、不注意により灯油タンクが転倒し、道路側溝へ流出した。  
エ 措置 富山土木センター及び富山市消防局が吸着マットによる回収を行った。

2 6. 射水市黒河地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月18日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 射水市黒河地内の事業場において、設備不良によりボイラタンクから重油が漏洩し、約200リットルが用水路に流出した。  
エ 措置 射水市及び射水市消防本部が中和剤及び吸着マットによる処理を行った。

また、県による指導を行った。

#### 27. 立山町榎地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月19日
- イ 通報者 立山町職員
- ウ 概況 立山町榎地内の一般宅において、給油車の不注意により灯油約30リットルが道路上に漏洩し、一部用水へ流出した。
- エ 措置 立山町消防本部が中和剤による処理を行った。

#### 28. 黒部市三日市地内における油の流出

- ア 発生年月日 17年12月25日
- イ 通報者 付近事業者
- ウ 概況 黒部市三日市地内の事業場において、灯油の移し替え作業中に約20リットルが漏洩し、用水へ流出した。
- エ 措置 黒部市及び黒部市消防本部が吸着マットによる回収を行った。

#### 29. 黒部市堀切新地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月4日
- イ 通報者 付近住民
- ウ 概況 黒部市堀切新地内の一般宅において、灯油タンクの閉め忘れにより、灯油約20リットルが用水へ流出した。
- エ 措置 黒部市消防本部が吸着マットによる回収を行った。

#### 30. 射水市犬内地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月5日
- イ 通報者 付近住民
- ウ 概況 射水市犬内地内の牧野用水において、油膜が確認された。
- エ 措置 原因が特定できなかった。射水市消防本部が吸着マットによる回収を行った。

#### 31. 射水市三ヶ地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月5日
- イ 通報者 事業場職員
- ウ 概況 射水市三ヶ地内の事業場において、地下灯油タンクの送油配管の老朽化により灯油が漏洩し、道路側溝へ流出した。
- エ 措置 射水市消防本部が吸着マットによる回収を行い、事業場が土嚢及び吸着マットの設置及び中和剤による処理を行い、地下水の浄化を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

#### 32. 射水市二口地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月7日
- イ 通報者 付近住民
- ウ 概況 射水市二口地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油約150リットルが漏洩し、道路側溝へ流出した。
- エ 措置 射水市消防本部が中和剤による処理を行った。



### 33. 高岡市本郷地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月8日
- イ 通報者 付近住民
- ウ 概況 高岡市本郷地内の事業場において、除雪作業によって配管が破損し、重油約6キロリットルが小矢部川水系千保川を経て小矢部川へ流出した。
- エ 措置 事業場、国交省及び高岡市消防本部が吸着マットによる回収を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

### 34. 氷見市小杉地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月10日
- イ 通報者 ー
- ウ 概況 氷見市小杉地内の一般宅において、降雪により倉庫が倒壊し、燃料タンクから軽油約20リットルが用水へ流出した。
- エ 措置 氷見市消防本部、警察及び氷見市環境課が処理を行った。

### 35. 射水市下条地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月10日
- イ 通報者 射水平野土地改良区
- ウ 概況 射水市下条地内における六ヶ用水において、油膜が確認された。
- エ 措置 原因は特定できなかった。射水市消防本部が吸着マットによる回収を行った。

### 36. 黒部市植木地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月11日
- イ 通報者 付近事業者
- ウ 概況 黒部市植木地内の一般宅において、落雪によって灯油タンクの蛇口が破損し灯油約250リットルが漏洩し、道路側溝に流出した。
- エ 措置 黒部市消防本部が中和剤による処理を行った。

### 37. 富山市蓮町地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月12日
- イ 通報者 ー
- ウ 概況 富山市蓮町地内の事業場において、灯油タンクの設備不良により灯油が漏洩し、同地内の用水に流出した。
- エ 措置 富山市が吸着マットによる回収を行った。

### 38. 小矢部市岡地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月12日
- イ 通報者 高岡市職員
- ウ 概況 小矢部市岡地内の小矢部川水系黒石川において、油膜が確認された。
- エ 措置 原因が特定できなかった、国交省、県及び小矢部市が吸着マットを設置し、回収を行った。

### 39. 高岡市西藤平蔵地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月13日  
イ 通報者 ー  
ウ 概況 高岡市西藤平蔵地内の駐車場において、重機より油が漏洩し、小矢部川水系玄手川に流出した。  
エ 措置 高岡市及び高岡消防本部が吸着マットによる回収を行った。

### 40. 高岡市蓮花寺地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月14日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 高岡市蓮花寺地内の道路側溝において油膜が確認され、同地内の牧野用水に流出していた。  
エ 措置 減員が特定できなかった。高岡市消防本部が中和剤による処理を行った。

### 41. 高岡市波岡地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月14日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 高岡市波岡地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油が漏洩し、約40リットルが五十玉用水に流出した。  
エ 措置 高岡市及び高岡市消防本部が吸着マット及び中和剤による処理を行った。

### 42. 小矢部市了輪地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月15日  
イ 通報者 小矢部市消防本部  
ウ 概況 小矢部市了輪地内の小矢部川水系子撫川において油膜が確認された。  
エ 措置 原因は特定できなかった。小矢部市が吸着マットによる回収を行った。

### 43. 射水市新生町地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月16日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 射水市新生町地内の一般家庭において、不注意により灯油タンクから灯油が漏洩し、約80リットルが西部主幹排水路に流出した。  
エ 措置 射水市新湊消防署及び射水市が吸着マットによる回収を行った。

### 44. 富山市永楽町地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月17日  
イ 通報者 付近住民  
ウ 概況 富山市永楽町地内の神通川水系赤江川において、油膜が確認された。  
エ 措置 原因は特定できなかった。県及び国交省が吸着マットによる回収を行った。

### 45. 高岡市二上地内における油の流出

- ア 発生年月日 18年1月19日  
イ 通報者 高岡市職員  
ウ 概況 高岡市長慶寺地内の事業場において、降雪により送油配管が破損し、重

エ 措 置 油が漏洩し、約 150 リットルが小矢部川水系古川用水に流出した。  
事業者がバキュームカーによる回収を行い、高岡市消防本が中和剤による処理を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

#### 4 6. 高岡市井口本江地内における油の流出

ア 発生年月日 18 年 1 月 26 日  
イ 通 報 者 付近住民  
ウ 概 況 高岡市井口本江地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れに灯油が漏洩し、約 70 リットルが小矢部川水系地久子川へ流出した。  
エ 措 置 高岡市が吸着マットによる回収を行った。

#### 4 7. 砺波市苗加地内における油の流出

ア 発生年月日 18 年 1 月 27 日  
イ 通 報 者 砺波警察署  
ウ 概 況 砺波市苗加地内の一般家庭において、ボイラーから灯油が漏洩し、約 450 リットルが苗加用水へ流出した。  
エ 措 置 砺波消防本部が中和剤による処理を行った。

#### 4 8. 魚津市東尾崎地内における油の流出

ア 発生年月日 18 年 1 月 27 日  
イ 通 報 者 事業者  
ウ 概 況 魚津市東尾崎地内の事業場において、油の入ったドラム缶が取扱い不注意により破損し、約 10 リットルが道路側溝に流出した。  
エ 措 置 事業場がハキューム吸引による回収を行った。また、魚津市消防本部が中和剤による処理を行った。

#### 4 9. 富山市布瀬地内における油の流出

ア 発生年月日 18 年 2 月 3 日  
イ 通 報 者 付近事業者  
ウ 概 況 富山市布瀬地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油が漏洩し、約 200 リットルが神通川水系松川に流出した。  
エ 措 置 県及び国交省が吸着マットによる回収を行った。

#### 5 0. 小矢部市矢水町地内における油の流出

ア 発生年月日 18 年 2 月 3 日  
イ 通 報 者 小矢部市土地改良区  
ウ 概 況 小矢部市矢水町地内の事業場において、貯油施設から軽油が漏洩し、約 15 リットルが排水路へ流出した。  
エ 措 置 県及び小矢部市が吸着マットによる回収を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

#### 5 1. 高岡市大源寺地内における油の流出

ア 発生年月日 18 年 2 月 6 日  
イ 通 報 者 高岡警察署  
ウ 概 況 高岡次第源寺地内の一般家庭において、不注意により灯油タンクより灯油が漏洩し、約 20 リットルが小矢部川水系小矢部川へ流出した。

- エ 措 置 国交省及び高岡市が吸着マットによる回収を行った。
- 5 2. 魚津市本新地内における薬液の流出
- ア 発生年月日 18年2月6日
- イ 通 報 者 事業者
- ウ 概 況 魚津市本新地内の事業場において、バルブの閉め忘れにより薬液約 800 リットルが漏洩し、内約 400 リットルが富山湾に流出した。
- エ 措 置 事業場が吸着マット及び消臭剤による処理を行った。また、県が指導を行った。
- 5 3. 高岡市立野地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月9日
- イ 通 報 者 高岡市消防本部
- ウ 概 況 高岡市立野地内において、交通事故により車両から軽油が漏洩し、約 30 リットルが道路側溝を経て小矢部川水系中側へ流出した。
- エ 措 置 高岡市消防本部及び県が吸着マット及び中和剤による処理を行った。
- 5 4. 富山市新庄町地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月12日
- イ 通 報 者 付近住民
- ウ 概 況 富山市新庄町地内の事業場において、油の入ったドラム缶が取扱い不注意により破損し、約 10 リットルが道路側溝に流出した。
- エ 措 置 事業場がハキューム吸引による回収を行った。また、魚津市消防本部が中和剤による処理を行った。
- 5 5. 富山市八尾町福島地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月14日
- イ 通 報 者 付近住民
- ウ 概 況 富山市八尾町福島地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油が漏洩し、約 50 リットルが新田用水を経て神通川水系井田川へ流出した。
- エ 措 置 既に下流側へ流れてしまっていたため、処置を行わなかった。
- 5 6. 砺波市中央町地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月14日
- イ 通 報 者 付近住民
- ウ 概 況 砺波市中央町地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油が漏洩し、約 60 リットルが小矢部川水系若林口用水路へ流出した。
- エ 措 置 砺波広域圏消防本部が吸着マット及び中和剤による処理を行った。また、同消防本部が関係者に対し注意並びに事後指導を行った。
- 5 7. 小矢部市小神地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月15日
- イ 通 報 者 付近住民
- ウ 概 況 小矢部市小神地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油が漏洩し、約 400 リットルが玉村用水を経て小矢部川水系横江宮川へ流出した。

- エ 措 置 国交省、県及び小矢部市が吸着マットによる回収を行った。
58. 富山市上大久保地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月27日
- イ 通 報 者 事業者
- ウ 概 況 富山市上大久保地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油が漏洩し、約50リットルが大久保用水に流出した。
- エ 措 置 富山市消防局が吸着マット及び中和剤による処理を行った。
59. 高岡市立野地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月27日
- イ 通 報 者 付近事業者
- ウ 概 況 高岡市立野地内の用水において、油膜が確認された。
- エ 措 置 原因は特定できなかった。高岡市消防本部が中和剤による処理を行った。
60. 砺波市内における油の流出
- ア 発生年月日 18年2月28日
- イ 通 報 者 富山県職員
- ウ 概 況 砺波市内の庄川水系和田川において、油膜が確認された。
- エ 措 置 原因は特定できなかった。富山県が吸着マットによる回収を行った。
61. 南砺市中畑における汚水の流出
- ア 発生年月日 18年3月6日
- イ 通 報 者 付近住民
- ウ 概 況 南砺市中畑地内の事業場において、降雪により配管が破損し、約26トンの汚水が庄川へ流出した。
- エ 措 置 事業者がバキューム吸引による回収を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。
62. 高岡市上叢地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年3月20日
- イ 通 報 者 付近事業者
- ウ 概 況 高岡市上叢地内の一般家庭において、灯油タンクの閉め忘れにより灯油が漏洩し、約30リットルが小矢部川水系亀川へ流出した。
- エ 措 置 県及び小矢部市が吸着マットによる回収を行った。また、県が指導を行った。
63. 小矢部市矢水町地内における油の流出
- ア 発生年月日 18年3月29日
- イ 通 報 者 小矢部市職員
- ウ 概 況 小矢部市矢水町地内の事業場において、不注意により灯油タンクより灯油が漏洩し、約150リットルが用水を経て小矢部川水系渋江川へ流出した。
- エ 措 置 小矢部市消防本部、富山県及び小矢部市が吸着マット及び中和剤による処理を行った。また、県が事業場に対し指導を行った。

## 8 18年度において実施する主な取組み

### (1) 豊かで清らかな水環境の確保に向けた取組み

- ・「きれいな水」と「うるおいのある水辺」の確保を目指すとともに、環境基準の達成維持に向けて、水質環境計画を推進する。
- ・富山湾の水質改善を図るため、事業者、行政等からなる「富山湾水質改善対策推進協議会」を開催し、窒素、リンの削減対策を推進する。
- ・学識者で構成する「富山湾共同環境調査検討会」において、16、17年度に実施した富山湾共同環境調査の総合的な解析を行い、富山湾水質保全対策への提言をとりまとめる。
- ・環境基準の達成状況を把握するため、公共用水域及び地下水の水質測定計画に基づき、河川、湖沼及び海域の124地点と地下水76地点において、水質調査を実施する。
- ・工場排水の排水基準の遵守状況を監視するため、立入検査を実施する。

### (2) 化学物質による環境リスクの低減に向けた取組み

- ・ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、水質（水底の底質を含む。）、地下水質のダイオキシン類濃度の環境調査を実施する。
- ・内分泌攪乱化学物質（いわゆる環境ホルモン）の実態を把握するため、主要7河川において水質調査を実施する。
- ・ゴルフ場における農薬の実態を把握するため、排水の水質調査を実施する。

# 資料 1

## 公共用水域水質測定結果 (測定地点別)

## 公共用水域水質測定結果

平成 17 年度公共用水域水質測定計画に基づく水質測定は、図の測定地点において実施し、その結果は別表のとおりであった。

なお、測定結果表の記載要領は次のとおりである。

### <記載要領>

- (1) 「水域名」欄中、( ) は支川名をいう。
- (2) 「測定地点名」欄は、地点番号、測定地点名、水域種類の順で、水域類型に ( ) が付いているものは補助監視点を示す。
- (3) 「平均」は、日間平均値の年平均値を示す。
- (4) 「75%値」は、全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$  番目 (n はデータ数) の値を示す。(  $0.75 \times n$  が整数でない場合は、端数を切り上げた整数番目の値をとる。)
- (5) 「m/n」
  - ・生活環境項目及び健康項目については、環境基準に適合しない日数/総測定日数を示す。
  - ・その他の項目については、n は総検体数を示す。
- (6) 数値の取り扱いは、平成 13 年 5 月 31 日付け、環境省環境管理局水環境部長通知「環境基本法に基づく環境基準の水域種類の指定及び水質汚濁防止法に基づく常時監視等の処理基準について」に基づくとともに、記載下限値については、一部の地点を除いて、以下の「記載下限値等一覧」のとおりとした。

### <記載下限値等一覧>

項目	記載 下限値	記載下限値未満の 数値の記載方法	項目	記載 下限値	記載下限値未満の 数値の記載方法
DO	0.5	<0.5	1, 1, 1-トリクロエタン	0.0005	<0.0005
BOD	0.5	<0.5	1, 1, 2-トリクロエタン	0.0006	<0.0006
COD	0.5	<0.5	トリクロロエチレン	0.002	<0.002
SS	1	<1	テトラクロロエチレン	0.0005	<0.0005
全窒素	0.05	<0.05	1, 3-ジクロロプロペン	0.0002	<0.0002
全りん	0.003	<0.003	チウラム	0.0006	<0.0006
油分等	0.5	<0.5	シマジン	0.0003	<0.0003
カドミウム	0.001	<0.001	チオベンカルブ	0.002	<0.002
全シアン	0.1	<0.1	ベンゼン	0.001	<0.001
鉛	0.005	<0.005	セレン	0.002	<0.002
六価クロム	0.04	<0.04	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.1	<0.1
ひ素	0.005	<0.005	ふっ素	0.08	<0.08
総水銀	0.0005	<0.0005	ほう素	0.1	<0.1
アルキル水銀	0.0005	<0.0005	フェノール類	0.005	<0.005
PCB	0.0005	<0.0005	銅	0.1	<0.1
ジクロロメタン	0.002	<0.002	亜鉛	0.001	<0.001
四塩化炭素	0.0002	<0.0002	溶解性鉄	1	<1
1, 2-ジクロロエタン	0.0004	<0.0004	溶解性マンガン	0.01	<0.01
1, 1-ジクロロエチレン	0.002	<0.002	クロム	0.2	<0.2
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.004	<0.004			





測定項目	水域名 測定地点名 測定値	阿尾川			余川川			上庄川			仏生寺川		
		1. 阿尾橋 A			2. 間島橋 A			3. 北の橋 B			4. 八幡橋 C		
		平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.3	7.0 8.0	0/12	7.6	7.0 8.3	0/12	7.4	7.0 8.0	0/12	7.6	7.3 7.9	0/12
	DO (mg/l)	9.7	5.5 13	2/12	9.6	6.7 13	2/12	9.2	5.4 13	0/12	8.7	4.5 13	1/12
	BOD (mg/l)	1.2 (1.1)	0.7 2.9	1/12	1.3 (1.5)	0.7 2.6	2/12	1.3 (1.5)	0.7 1.9	0/12	1.6 (2.1)	0.8 3.9	0/12
	COD (mg/l)	2.5	1.4 6.9	/12	2.3	1.6 4.7	/12	2.9	2.1 3.9	/12	3.2	2.2 7.2	/12
	SS (mg/l)	8	3 24	0/12	7	2 11	0/12	5	4 7	0/12	5	3 9	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	2.7E+04	7.9E+02 7.9E+04	5/6	1.2E+04	1.7E+02 3.3E+04	5/6	2.7E+04	2.2E+03 4.9E+04	3/6			
	全窒素 (mg/l)	0.53	0.23 0.75	/4	0.51	0.25 0.70	/4	0.66	0.36 0.85	/4	1.7	0.77 2.7	/4
	全燐 (mg/l)	0.044	0.024 0.080	/4	0.039	0.027 0.066	/4	0.059	0.039 0.084	/4	0.13	0.037 0.28	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)		<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ひ素 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)		<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
シマジン (mg/l)		<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
チオベンカルブ (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3
ベンゼン (mg/l)		<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4
セレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)		0.39	<0.1 0.72	0/4	0.39	<0.1 0.68	0/4	0.40	0.12 0.61	0/4	0.46	0.24 0.69	0/4
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2
	亜鉛 (mg/l)	0.002	0.002 0.002	/2	0.005	0.001 0.009	/2	0.007	0.005 0.009	/2	0.007	0.001 0.013	/2
	溶解性鉄 (mg/l)	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	

測定項目	水域名 測定地点名	仏生寺川(湊川)			小矢部川			小矢部川			小矢部川		
		5. 中の橋 C			6. 河口 D			7. 城光寺橋 C			8. 守山橋 (A)		
		測定値	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値
生活環境項目	pH	7.6	7.2 8.3	0/12	7.1	6.9 7.2	0/12	7.3	7.0 7.6	0/12	7.4	6.9 7.7	0/12
	DO (mg/l)	8.7	5.6 12	0/12	8.8	6.4 11	0/12	9.1	6.6 12	0/12	10	8.3 12	0/12
	BOD (mg/l)	1.8 (2.0)	1.0 3.8	0/12	2.4 (2.7)	1.6 3.6	0/12	1.7 (2.1)	1.1 2.4	0/12	1.4 (1.5)	0.9 2.3	1/12
	COD (mg/l)	5.6	3.7 11	/12	4.2	3.0 5.5	/12	2.9	2.9 2.9	/2			
	SS (mg/l)	10	6 24	0/12	6	3 12	0/12	7	2 16	0/12	7	3 14	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)												
	全窒素 (mg/l)	1.1	0.86 1.3	/4	1.3	0.75 1.7	/12	1.4	0.74 1.8	/4			
	全燐 (mg/l)	0.15	0.092 0.19	/4	0.070	0.043 0.11	/12	0.087	0.050 0.12	/4			
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/12	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
	全シアン (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/12	<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
	鉛 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/12	<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
	六価クロム (mg/l)	<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.01	<0.01 <0.01	0/12	<0.01	<0.01 <0.01	0/4			
	ひ素 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/12	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
	総水銀 (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/12	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
	アルキル水銀 (mg/l)												
	PCB (mg/l)				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
	ジクロロメタン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
	四塩化炭素 (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4			
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4			
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4			
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4			
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3			
	チウラム (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3			
	シマジン (mg/l)	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3			
	チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3			
	ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
	セレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.52	0.25 0.73	0/4	0.59	0.39 0.78	0/4	0.68	0.34 0.99	0/4			
	ふっ素 (mg/l)							0.10	0.09 0.11	0/4			
	ほう素 (mg/l)							0.03	0.02 0.03	0/4			
	特殊項目	フェノール類 (mg/l)				<0.005	<0.005 <0.005	/1	<0.005	<0.005 <0.005	/1		
銅 (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2			
亜鉛 (mg/l)		0.005	0.004 0.005	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2			
溶解性鉄 (mg/l)		<1	<1 <1	/2	0.14	0.12 0.15	/2	0.12	0.12 0.12	/2			
溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2				

測定項目	測定値	小矢部川			小矢部川			小矢部川			小矢部川		
		9. 国条橋 A			10. 聖人橋 (A)			11. 津沢大橋 (A)			12. 太美橋 AA		
		平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.4	7.1 8.0	0/12	7.4	6.9 7.7	0/12	7.6	6.9 8.0	0/12	7.7	7.2 8.2	0/12
	DO (mg/l)	10	8.9 13	0/12	11	8.7 13	0/12	11	8.8 13	0/12	10	8.8 13	0/12
	BOD (mg/l)	1.4 (1.6)	0.9 3.7	1/12	1.1 (1.2)	0.7 2.0	0/12	1.3 (1.4)	0.6 2.7	1/12	0.6 (0.6)	<0.5 1.1	1/12
	COD (mg/l)	3.3	2.3 4.2	/2				2.8	1.9 3.7	/2			
	SS (mg/l)	11	4 59	1/12	6	3 11	0/12	6	3 11	0/12	13	2 76	1/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	2.9E+04	1.4E+03 1.3E+05	12/12							3.4E+03	7.8E+01 1.3E+04	12/12
	全窒素 (mg/l)	0.74	0.63 0.98	/4				0.71	0.62 0.90	/4	0.45	0.37 0.58	/4
	全燐 (mg/l)	0.045	0.022 0.10	/4				0.044	0.022 0.091	/4	0.014	0.008 0.018	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4									
	全シアン (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	0/4									
	鉛 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	0/4									
	六価クロム (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	0/4									
	ひ素 (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4									
	総水銀 (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
	アルキル水銀 (mg/l)												
	PCB (mg/l)												
	ジクロロメタン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4									
	四塩化炭素 (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4									
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4									
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4									
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004 <0.004	0/4									
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4									
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4									
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3									
	チウラム (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3									
	シマジン (mg/l)	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3									
	チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/3									
	ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4									
	セレン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4									
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.51	0.31 0.78	0/4									
	ふっ素 (mg/l)	0.09	0.07 0.10	0/4									
	ほう素 (mg/l)	0.02	<0.01 0.03	0/4									
特殊項目	フェノール類 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	/1	<0.005	<0.005 <0.005	/1	<0.005	<0.005 <0.005	/1			
	銅 (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	/2									
	亜鉛 (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	/2									
	溶解性鉄 (mg/l)	0.13	0.12 0.14	/2									
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	/2										

測定項目	水域名 測定地点名	小矢部川(地久子川)			小矢部川(千保川)			小矢部川(祖父川)			小矢部川(岸渡川)		
		13. 港東橋			14. 地子木橋 D			15. 新祖父川橋 B			16. 五位橋		
		測定値	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値
生活環境項目	pH	7.4	7.2 7.6	/4	7.3	7.1 7.4	0/12	7.3	7.0 7.5	0/12	7.4	7.3 7.5	/4
	DO (mg/l)	9.2	5.7 12	/4	9.3	7.8 12	0/12	11	10 14	0/12	11	10 12	/4
	BOD (mg/l)	2.8 (2.1)	1.3 5.9	/4	1.7 (2.2)	1.0 2.8	0/12	0.8 (0.8)	<0.5 1.3	0/12	0.7 (0.7)	<0.5 0.8	/4
	COD (mg/l)												
	SS (mg/l)	20	2 62	/4	5	1 15	0/12	3	<1 11	0/12	3	<1 7	/4
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)							3.2E+04	7.9E+03 1.3E+05	12/12			
	全窒素 (mg/l)				0.57	0.54 0.61	/4	0.78	0.70 0.88	/4			
	全燐 (mg/l)				0.054	0.047 0.059	/4	0.036	0.015 0.066	/4			
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4		
全シアン (mg/l)					<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4			
鉛 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
六価クロム (mg/l)					<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4			
ひ素 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
総水銀 (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4			
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4			
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4			
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4			
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3			
チウラム (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3			
シマジン (mg/l)					<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3			
チオベンカルブ (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3			
ベンゼン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
セレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)					0.47	0.38 0.62	0/4	0.76	0.64 0.84	0/4			
ふっ素 (mg/l)					0.10	<0.08 0.13	0/4	0.08	<0.08 0.09	0/4			
ほう素 (mg/l)				<0.1	<0.1 <0.1	0/4	0.2	<0.1 0.3	0/4				
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)				<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2			
	亜鉛 (mg/l)				0.005	0.002 0.007	/2	0.004	0.001 0.007	/2			
	溶解性鉄 (mg/l)				<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2			
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)				<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2				

測定項目	水域名 測定地点名	小矢部川(黒石川)			小矢部川(横江宮川)			小矢部川(山田川)			小矢部川(山田川)		
		17. 土屋橋			18. 末端			19. 福野橋 A			20. 二ヶ渕えん堤 AA		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.5	7.0 7.9	/4	7.7	7.2 8.2	/4	7.6	7.0 8.4	0/12	7.8	7.1 8.4	0/12
	DO (mg/l)	11	9.8 13	/4	10	8.6 13	/4	11	8.9 14	0/12	10	8.1 13	0/12
	BOD (mg/l)	1.5 (1.5)	1.3 1.7	/4	1.7 (1.8)	1.5 1.9	/4	1.0 (1.1)	<0.5 1.8	0/12	0.5 (0.5)	<0.5 0.6	0/12
	COD (mg/l)												
	SS (mg/l)	5	1 9	/4	6	2 16	/4	6	1 20	0/12	4	<1 18	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)							2.2E+04	7.9E+02 1.3E+05	11/12	7.8E+03	7.0E+00 5.4E+04	9/12
	全窒素 (mg/l)							0.58	0.36 0.82	/4	0.42	0.32 0.50	/4
	全燐 (mg/l)							0.044	0.020 0.097	/4	0.004	0.003 0.007	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/2		
全シアン (mg/l)								<0.1	<0.1 <0.1	0/2			
鉛 (mg/l)								<0.005	<0.005 <0.005	0/2			
六価クロム (mg/l)								<0.04	<0.04 <0.04	0/2			
ひ素 (mg/l)								<0.005	<0.005 <0.005	0/2			
総水銀 (mg/l)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/2			
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)								<0.002	<0.002 <0.002	0/2			
四塩化炭素 (mg/l)								<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/2			
1,2-ジクロロエタン (mg/l)								<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/2			
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)								<0.002	<0.002 <0.002	0/2			
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)								<0.004	<0.004 <0.004	0/2			
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/2			
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)								<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/2			
トリクロロエチレン (mg/l)								<0.002	<0.002 <0.002	0/2			
テトラクロロエチレン (mg/l)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/2			
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)								<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/2			
チウラム (mg/l)								<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/2			
シマジン (mg/l)								<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/2			
チオベンカルブ (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/2				
ベンゼン (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/2				
セレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/2				
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)							0.59	0.30 0.87	0/2				
ふっ素 (mg/l)							<0.08	<0.08 <0.08	0/2				
ほう素 (mg/l)							0.2	<0.1 0.2	0/2				
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)							<0.1	<0.1 <0.1	/2			
	亜鉛 (mg/l)							0.001	<0.001 0.001	/2			
	溶解性鉄 (mg/l)							<1	<1 <1	/2			
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)							<0.2	<0.2 <0.2	/2				

測定項目	水域名 測定地点名	庄川			庄川			庄川			庄川(和田川)		
		21. 新庄川橋 (A)			22. 大門大橋 A			23. 雄神橋 AA			24. 末端 A		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.3	6.9 7.6	0/12	7.7	7.2 8.0	0/12	7.7	7.2 8.0	0/12	7.3	6.9 7.8	0/12
	DO (mg/l)	10	8.1 12	0/12	11	9.2 13	0/12	11	9.6 13	0/12	11	9.6 13	0/12
	BOD (mg/l)	1.0 (1.0)	0.6 1.8	0/12	0.7 (0.7)	<0.5 1.0	0/12	0.7 (0.8)	<0.5 1.0	0/12	0.6 (0.6)	<0.5 1.0	0/12
	COD (mg/l)	1.6	1.1 2.7	/12	1.1	1.0 1.1	/2						
	SS (mg/l)	4	1 7	0/12	2	<1 6	0/12	11	1 79	1/12	5	<1 11	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)				1.2E+03	1.3E+02 4.9E+03	5/12	6.6E+02	1.7E+01 3.3E+03	10/12	2.1E+03	4.9E+01 4.9E+03	8/12
	全窒素 (mg/l)				0.35	0.28 0.42	/12	0.38	0.29 0.61	/4	0.36	0.28 0.51	/4
	全燐 (mg/l)				0.009	0.004 0.014	/12	0.009	0.007 0.013	/4	0.019	0.017 0.019	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)					<0.01	<0.01 <0.01	0/4	<0.01	<0.01 <0.01	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ヒ素 (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
シマジン (mg/l)					<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
チオベンカルブ (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3
ベンゼン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4
セレン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)					0.28	0.23 0.34	0/4	0.26	0.22 0.29	0/4	0.34	0.26 0.47	0/4
ふっ素 (mg/l)					0.11	0.10 0.12	0/4	0.12	0.10 0.14	0/4	0.09	<0.08 0.10	0/4
ほう素 (mg/l)					0.01	0.01 0.02	0/4	0.01	<0.01 0.01	0/4	0.1	<0.1 0.2	0/4
特殊項目	フェノール類 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	/1	<0.005	<0.005 <0.005	/1	<0.005	<0.005 <0.005	/1			
	銅 (mg/l)				<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2
	亜鉛 (mg/l)				<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2	0.001	0.001 0.001	/2
	溶解性鉄 (mg/l)				0.01	<0.01 0.01	/2	0.05	0.02 0.07	/2	<1	<1 <1	/2
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)				<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	

測定項目	水域名 測定地点名	庄川(和田川)			内川			内川			下条川			
		25. 荒町橋 (A)			26. 山王橋 C			27. 西橋 C			28. 稲積橋 B			
		測定値	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.8	7.3 8.3	0/4	7.2	6.6 8.4	0/12	7.4	6.5 7.9	0/12	6.9	6.6 7.4	0/12	
	DO (mg/l)	11	8.9 13	0/4	8.7	5.9 11	0/12	9.2	6.4 12	0/12	9.1	6.9 12	0/12	
	BOD (mg/l)	<0.5 (<0.5)	<0.5 <0.5	0/4	2.3 (3.1)	<0.5 6.1	1/12	1.1 (1.1)	<0.5 2.4	0/12	1.1 (1.1)	0.7 1.5	0/12	
	COD (mg/l)				4.5	2.4 7.5	/12	2.1	1.4 3.0	/12	3.2	2.3 4.2	/12	
	SS (mg/l)	5	2 8	0/4	10	2 20	0/12	9	5 17	0/12	8	3 19	0/12	
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)										6.3E+04	3.3E+03 2.4E+05	4/6	
	全窒素 (mg/l)				3.4	1.1 7.5	/4	0.43	0.33 0.51	/4	1.1	0.72 1.9	/4	
	全燐 (mg/l)				0.12	0.049 0.21	/4	0.043	0.030 0.065	/4	0.084	0.045 0.12	/4	
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)													
	健康項目	カドミウム (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4
全シアン (mg/l)					<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	
鉛 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	
六価クロム (mg/l)					<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4	
ヒ素 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	
総水銀 (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
アルキル水銀 (mg/l)														
PCB (mg/l)														
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	
チウラム (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	
シマジン (mg/l)					<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	
チオベンカルブ (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	
ベンゼン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
セレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)					0.84	0.34 1.5	0/4	0.27	0.17 0.36	0/4	0.87	0.53 1.7	0/4	
ふっ素 (mg/l)											0.11	<0.08 0.15	0/4	
ほう素 (mg/l)											0.2	<0.1 0.4	0/4	
特殊項目		フェノール類 (mg/l)												
		銅 (mg/l)				<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2
		亜鉛 (mg/l)				0.012	0.011 0.012	/2	0.005	0.005 0.005	/2	0.003	0.002 0.003	/2
		溶解性鉄 (mg/l)				<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2
	溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)				<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2		



測定項目	水域名 測定地点名	下条川			新堀川			新堀川			西部主幹排水路		
		29. 下条橋 (B)			30. 八講橋 (B)			31. 白石橋 B			32. 西部排水機場		
		測定値	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値
生活環境項目	pH	7.4	7.0 8.0	0/4	7.1	6.8 7.2	0/4	6.8	6.6 7.0	0/12	7.4	7.0 7.7	/4
	DO (mg/l)	10	8.5 12	0/4	8.4	6.0 12	0/4	8.8	6.3 12	0/12	9.5	8.3 11	/4
	BOD (mg/l)	0.9 (0.8)	0.6 1.3	0/4	1.1 (1.3)	0.8 1.4	0/4	1.5 (2.0)	0.8 2.3	0/12	1.0 (1.0)	0.7 1.3	/4
	COD (mg/l)							4.5	2.9 9.9	/12	2.7	2.6 2.7	/4
	SS (mg/l)	8	4 11	0/4	7	2 14	0/4	15	2 74	2/12	7	3 12	/4
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)							2.8E+05	2.4E+04 7.9E+05	6/6			
	全窒素 (mg/l)							1.4	0.83 2.0	/4	0.62	0.38 0.85	/4
	全燐 (mg/l)							0.12	0.046 0.17	/4	0.072	0.061 0.089	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
健康項目	カドミウム (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
	全シアン (mg/l)							<0.1	<0.1 <0.1	0/4			
	鉛 (mg/l)							<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
	六価クロム (mg/l)							<0.04	<0.04 <0.04	0/4			
	ひ素 (mg/l)							<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
	総水銀 (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
	アルキル水銀 (mg/l)												
	PCB (mg/l)												
	ジクロロメタン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
	四塩化炭素 (mg/l)							<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4			
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)							<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4			
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)							<0.004	<0.004 <0.004	0/4			
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4			
	トリクロロエチレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
	テトラクロロエチレン (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)							<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3			
	チウラム (mg/l)							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3			
	シマジン (mg/l)							<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3			
	チオベンカルブ (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/3			
	ベンゼン (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
	セレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)							1.2	0.49 1.9	0/4			
	ふっ素 (mg/l)							0.10	<0.08 0.14	0/4			
	ほう素 (mg/l)							0.2	<0.1 0.3	0/4			
	特殊項目	フェノール類 (mg/l)											
銅 (mg/l)								<0.1	<0.1 <0.1	/2			
亜鉛 (mg/l)								0.006	0.002 0.010	/2			
溶解性鉄 (mg/l)								<1	<1 <1	/2			
溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)							<0.2	<0.2 <0.2	/2				

測定項目	水域名 測定地点名	東部主幹排水路			神通川			神通川			神通川		
		33. 東部排水機場			34. 萩浦橋 C			35. 神通大橋 A			36. 有沢橋 (A)		
		測定値	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値
生活環境項目	pH	7.3	7.1 7.5	/4	7.4	7.1 7.7	0/12	7.5	7.2 7.9	0/12	7.6	7.1 7.9	0/12
	DO (mg/l)	8.8	6.7 10	/4	10	8.4 12	0/12	11	9.2 12	0/12	11	9.3 12	0/12
	BOD (mg/l)	1.6 (2.2)	0.6 2.6	/4	1.4 (1.6)	0.9 1.9	0/12	1.0 (1.0)	0.6 1.8	0/12	0.8 (0.9)	<0.5 1.1	0/12
	COD (mg/l)	4.2	3.4 4.8	/4	2.0	1.5 2.5	/12	1.5	1.5 1.5	/2			
	SS (mg/l)	10	6 13	/4	7	3 15	0/12	6	3 11	0/12	5	2 10	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)							9.5E+03	1.1E+03 3.3E+04	12/12			
	全窒素 (mg/l)	0.78	0.38 1.2	/4	1.6	0.84 2.0	/12	1.1	0.8 1.3	/4			
	全燐 (mg/l)	0.087	0.064 0.12	/4	0.026	0.015 0.032	/12	0.026	0.021 0.028	/4			
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/12	<0.001	<0.001 <0.001	0/4		
全シアン (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/12	<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
鉛 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/12	<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
六価クロム (mg/l)					<0.01	<0.01 <0.01	0/12	<0.01	<0.01 <0.01	0/4			
ヒ素 (mg/l)					0.001	<0.001 0.001	0/12	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
総水銀 (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/12	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4			
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4			
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4			
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4			
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3			
チウラム (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3			
シマジン (mg/l)					<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3			
チオベンカルブ (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3			
ベンゼン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
セレン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)					0.80	0.65 0.89	0/4	0.62	0.44 0.77	0/4			
ふっ素 (mg/l)					0.11	0.08 0.18	0/4	0.09	0.08 0.09	0/4			
ほう素 (mg/l)				0.06	<0.01 0.14	0/4	0.03	0.02 0.05	0/4				
特殊項目	フェノール類 (mg/l)				<0.005	<0.005 <0.005	/1	<0.005	<0.005 <0.005	/1			
	銅 (mg/l)				<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2			
	亜鉛 (mg/l)				0.01	<0.01 0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2			
	溶解性鉄 (mg/l)				0.07	0.06 0.08	/2	0.08	0.04 0.11	/2			
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)				<0.01	<0.01 <0.01	/2	<0.01	<0.01 <0.01	/2				

測定項目	水域名 測定地点名	神通川			神通川			神通川(宮川)			神通川(高原川)		
		37. 成子大橋 (A)			38. 神通第一ダム (A)			39. 新国境橋 A			40. 新猪谷橋 A		
		測定値	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値
生活環境項目	pH	7.7	7.2 7.9	0/12	7.7	7.3 8.0	0/4	7.8	7.2 8.5	0/12	7.8	7.5 8.3	0/12
	DO (mg/l)	11	9.2 13	0/12	9.7	8.4 12	0/4	11	8.1 15	0/12	11	8.8 13	0/12
	BOD (mg/l)	0.7 (0.8)	0.5 1.2	0/12	0.7 (<0.5)	<0.5 1.1	0/4	0.7 (0.7)	<0.5 1.4	0/12	0.6 (0.7)	<0.5 0.9	0/12
	COD (mg/l)												
	SS (mg/l)	6	3 10	0/12	5	3 6	0/4	14	2 90	1/12	2	<1 3	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)							2.0E+03	2.6E+02 3.3E+03	10/12	1.6E+03	1.7E+02 4.9E+03	7/12
	全窒素 (mg/l)							1.2	0.76 2.1	/4	0.98	0.7 1.3	/4
	全燐 (mg/l)							0.059	0.017 0.14	/4	0.031	0.013 0.057	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
健康項目	カドミウム (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4
	全シアン (mg/l)							<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4
	鉛 (mg/l)							<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
	六価クロム (mg/l)							<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4
	ひ素 (mg/l)							<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
	総水銀 (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	アルキル水銀 (mg/l)												
	PCB (mg/l)												
	ジクロロメタン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	四塩化炭素 (mg/l)							<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)							<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)							<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
	トリクロロエチレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	テトラクロロエチレン (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)							<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
	チウラム (mg/l)							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
	シマジン (mg/l)							<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
	チオベンカルブ (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3
	ベンゼン (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4
	セレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)							0.47	0.34 0.64	0/4	0.46	0.29 0.59	0/4
	ふっ素 (mg/l)							0.13	<0.08 0.25	0/4	0.26	0.11 0.36	0/4
	ほう素 (mg/l)							<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4
	特殊項目	フェノール類 (mg/l)											
銅 (mg/l)								<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2
亜鉛 (mg/l)								0.006	0.004 0.008	/2	0.034	0.030 0.038	/2
溶解性鉄 (mg/l)								<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2
溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)							<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	

測定項目	水域名 測定地点名	神通川(いたち川)			神通川(いたち川)			神通川(いたち川)			神通川(いたち川)		
		41. 興人橋 (C)			42. 四ツ屋橋 C			43. 今木橋 (C)			44. いたち橋 (C)		
		測定値	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値
生活環境項目	pH	7.6	7.4 8.0	0/4	7.6	7.3 8.1	0/12	7.5	7.4 7.6	0/4	7.4	7.1 7.7	0/4
	DO (mg/l)	10	8.8 12	0/4	11	8.4 13	0/12	9.9	8.4 12	0/4	11	9.2 13	0/4
	BOD (mg/l)	2.4 (3.5)	1.0 3.8	0/4	0.8 (1.0)	<0.5 1.5	0/12	0.9 (0.7)	0.5 1.5	0/4	0.9 (0.7)	<0.5 1.5	0/4
	COD (mg/l)												
	SS (mg/l)	5	2 7	0/4	3	1 7	0/12	5	2 8	0/4	7	4 11	0/4
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)												
	全窒素 (mg/l)				1.2	0.91 1.5	/4						
	全燐 (mg/l)				0.042	0.039 0.044	/4						
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
健康項目	カドミウム (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4						
	全シアン (mg/l)				<0.1	<0.1 <0.1	0/4						
	鉛 (mg/l)				<0.005	<0.005 <0.005	0/4						
	六価クロム (mg/l)				<0.04	<0.04 <0.04	0/4						
	ひ素 (mg/l)				<0.005	<0.005 <0.005	0/4						
	総水銀 (mg/l)				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
	アルキル水銀 (mg/l)												
	PCB (mg/l)				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
	ジクロロメタン (mg/l)				<0.002	<0.002 <0.002	0/4						
	四塩化炭素 (mg/l)				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4						
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4						
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)				<0.002	<0.002 <0.002	0/4						
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)				<0.004	<0.004 <0.004	0/4						
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4						
	トリクロロエチレン (mg/l)				<0.002	<0.002 <0.002	0/4						
	テトラクロロエチレン (mg/l)				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3						
	チウラム (mg/l)				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3						
	シマジン (mg/l)				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3						
	チオベンカルブ (mg/l)				<0.002	<0.002 <0.002	0/3						
	ベンゼン (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4						
	セレン (mg/l)				<0.002	<0.002 <0.002	0/4						
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)				0.54	0.40 0.75	0/4						
	ふっ素 (mg/l)				0.09	<0.08 0.12	0/4						
	ほう素 (mg/l)				<0.1	<0.1 <0.1	0/4						
	特殊項目	フェノール類 (mg/l)											
銅 (mg/l)					<0.1	<0.1 <0.1	/2						
亜鉛 (mg/l)					0.016	0.007 0.025	/2						
溶解性鉄 (mg/l)					<1	<1 <1	/2						
溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)				<0.2	<0.2 <0.2	/2							

測定項目	水域名 測定地点名	神通川(赤江川)			神通川(松川)			神通川(松川)			神通川(井田川)			
		45. 赤江川橋			46. 桜橋 B			47. 布瀬橋 (B)			48. 高田橋 B			
		平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	
生活環境項目	pH	7.7	7.4 8.0	/4	7.6	7.1 7.9	0/12	7.4	7.1 7.6	0/4	7.5	7.2 7.7	0/12	
	DO (mg/l)	10	8.3 12	/4	10	8.5 13	0/12	11	9.4 13	0/4	11	9.1 12	0/12	
	BOD (mg/l)	1.3 (1.7)	0.5 1.9	/4	0.9 (1.2)	<0.5 1.9	0/12	1.2 (1.7)	<0.5 1.9	0/4	1.9 (2.6)	0.9 3.0	0/12	
	COD (mg/l)										2.0	1.9 2.0	/2	
	SS (mg/l)	3	3 3	/4	3	2 7	0/12	3	1 6	0/4	9	4 31	1/12	
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)				8.4E+03	2.4E+03 1.7E+04	6/12					1.5E+04	7.9E+02 7.9E+04	5/12
	全窒素 (mg/l)				1.2	0.99 1.5	/4					2.8	1.2 4.6	/12
	全燐 (mg/l)				0.035	0.027 0.041	/4					0.033	0.027 0.048	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)													
	健康項目	カドミウム (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4
全シアン (mg/l)					<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4	
鉛 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4	
六価クロム (mg/l)					<0.04	<0.04 <0.04	0/4				<0.01	<0.01 <0.01	0/4	
ひ素 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
総水銀 (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
アルキル水銀 (mg/l)														
PCB (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/1				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4				<0.004	<0.004 <0.004	0/4	
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	
チウラム (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	
シマジン (mg/l)					<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	
チオベンカルブ (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/3				<0.002	<0.002 <0.002	0/3	
ベンゼン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
セレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)					0.64	0.47 0.78	0/4				1.12	0.89 1.3	0/4	
ふっ素 (mg/l)					0.09	<0.08 0.12	0/4				0.08	0.08 0.09	0/4	
ほう素 (mg/l)					<0.1	<0.1 <0.1	0/4				0.03	0.02 0.04	0/4	
特殊項目		フェノール類 (mg/l)										<0.005	<0.005 <0.005	/1
		銅 (mg/l)				<0.1	<0.1 <0.1	/2				<0.01	<0.01 <0.01	/2
	亜鉛 (mg/l)				0.021	0.011 0.030	/2				<0.01	<0.01 <0.01	/2	
	溶解性鉄 (mg/l)				<1	<1 <1	/2				0.09	0.07 0.11	/2	
	溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)				<0.2	<0.2 <0.2	/2				<0.01	<0.01 <0.01	/2		

測定項目	水域名 測定地点名	神通川(井田川)			神通川(井田川)			神通川(山田川)			神通川(熊野川)			
		49. 落合橋 A			50. 杉原橋 (A)			51. 婦中橋			52. 八幡橋 A			
		測定値	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値～ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.7	7.5 7.9	0/12	7.7	7.4 8.0	0/12	7.4	7.1 7.8	/4	7.6	7.2 7.9	0/12	
	DO (mg/l)	11	9.5 13	0/12	11	9.4 12	0/12	11	9.1 13	/4	11	9.2 13	0/12	
	BOD (mg/l)	0.9 (1.1)	0.6 1.3	0/12	0.8 (0.9)	<0.5 1.4	0/12	1.1 (1.1)	0.6 1.9	/4	1.2 (1.4)	0.7 2.1	1/12	
	COD (mg/l)	1.9	1.7 2.0	/2										
	SS (mg/l)	8	5 27	1/12	12	4 41	1/12	7	2 16	/4	8	3 19	0/12	
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	9.3E+03	4.9E+02 3.3E+04	11/12								1.4E+04	1.3E+03 4.9E+04	12/12
	全窒素 (mg/l)	0.54	0.40 0.70	/12								0.68	0.61 0.81	/4
	全燐 (mg/l)	0.022	0.019 0.023	/4								0.036	0.029 0.048	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)													
健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4							<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
	全シアン (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	0/4							<0.005	<0.005 <0.005	0/4	
	鉛 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	0/4							<0.005	<0.005 <0.005	0/4	
	六価クロム (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	0/4							<0.01	<0.01 <0.01	0/4	
	ヒ素 (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4							<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
	総水銀 (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	
	アルキル水銀 (mg/l)													
	PCB (mg/l)											<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	ジクロロメタン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4								<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	四塩化炭素 (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4								<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4								<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4								<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004 <0.004	0/4								<0.004	<0.004 <0.004	0/4
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4								<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4								<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3								<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
	チウラム (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3								<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
	シマジン (mg/l)	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3								<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
	チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/3								<0.002	<0.002 <0.002	0/3
	ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4								<0.001	<0.001 <0.001	0/4
	セレン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4								<0.001	<0.001 <0.001	0/4
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.34	0.28 0.43	0/4								0.47	0.36 0.65	0/4
	ふっ素 (mg/l)	0.08	0.07 0.09	0/4								0.07	0.06 0.08	0/4
	ほう素 (mg/l)	0.03	0.02 0.04	0/4								0.03	0.02 0.04	0/4
	特殊項目	フェノール類 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	/1							<0.005	<0.005 <0.005	/1
銅 (mg/l)		<0.01	<0.01 <0.01	/2							<0.01	<0.01 <0.01	/2	
亜鉛 (mg/l)		<0.01	<0.01 <0.01	/2							<0.01	<0.01 <0.01	/2	
溶解性鉄 (mg/l)		0.07	0.04 0.10	/2							0.07	0.05 0.08	/2	
溶解性マンガン (mg/l)														
クロム (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	/2								<0.01	<0.01 <0.01	/2	

測定項目	水域名 測定地点名	神通川(熊野川)			富岩運河			富岩運河			岩瀬運河		
		53. 熊野橋 (A)			54. 千原崎地内水路橋 E			55. 下新橋 (E)			56. 岩瀬橋 E		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.6	7.3 7.9	0/4	7.0	6.6 7.5	0/12	7.9	7.3 8.9	1/4	7.0	6.5 7.4	0/12
	DO (mg/l)	9.8	8.2 12	0/4	8.5	6.5 11	0/12	11	8.9 13	0/4	8.0	5.9 10	0/12
	BOD (mg/l)	1.0 (1.1)	0.5 1.6	0/4	0.9 (1.1)	<0.5 1.3	0/12	1.6 (2.2)	<0.5 2.6	0/4	1.6 (1.7)	0.9 2.6	0/12
	COD (mg/l)												
	SS (mg/l)	5	3 8	0/4	3	1 5	/12	4	1 8	/4	4	3 5	/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	4.9E+03	4.9E+03 4.9E+03	2/2									
	全窒素 (mg/l)				1.3	0.69 2.0	/4				2.9	1.1 4.2	/4
	全燐 (mg/l)				0.049	0.036 0.065	/4				0.044	0.037 0.050	/4
	油分等 n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)					<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)					<0.04	<0.04 <0.04	0/4				<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ひ素 (mg/l)					<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4				<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
シマジン (mg/l)					<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
チオベンカルブ (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/3				<0.002	<0.002 <0.002	0/3
ベンゼン (mg/l)					<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4
セレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)					0.47	0.29 0.76	0/4				0.45	0.38 0.57	0/4
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目		フェノール類 (mg/l)											
	銅 (mg/l)				<0.1	<0.1 <0.1	/2				<0.1	<0.1 <0.1	/2
	亜鉛 (mg/l)				0.018	0.007 0.028	/2				0.026	0.014 0.037	/2
	溶解性鉄 (mg/l)				<1	<1 <1	/2				<1	<1 <1	/2
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)				<0.2	<0.2 <0.2	/2				<0.2	<0.2 <0.2	/2	

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	中川			早月川			早月川			角川		
		69. 落合橋 B			70. 早月橋 AA			71. 入会橋 (AA)			72. 角川橋 A		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	6.9	6.6 7.3	0/12	7.2	6.7 7.6	0/12	7.7	7.5 8.1	0/4	7.3	7.0 7.7	0/12
	DO (mg/l)	10	8.4 12	0/12	11	9.4 13	0/12	10	9.4 12	0/4	11	9.1 12	0/12
	BOD (mg/l)	1.1 (1.3)	0.5 2.6	0/12	0.5 (<0.5)	<0.5 0.9	0/12	>8.4 (8.5)	<0.5 >24	2/4	0.8 (0.9)	0.5 1.0	0/12
	COD (mg/l)	2.6	1.3 4.4	/12	0.9	0.5 2.0	/12				2.1	1.4 2.8	/12
	SS (mg/l)	5	<1 15	0/12	5	<1 25	0/12	17	3 31	1/4	7	1 21	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	8.9E+04	7.0E+03 2.8E+05	6/6	2.2E+03	7.0E+01 7.9E+03	6/6				8.0E+04	2.2E+03 3.3E+05	6/6
	全窒素 (mg/l)	1.1	0.88 1.3	/4	1.0	0.42 2.4	/4				0.90	0.73 1.1	/4
	全磷 (mg/l)	0.057	0.030 0.085	/4	0.011	0.003 0.025	/4				0.044	0.025 0.054	/4
	油分等 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)		<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4				<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ヒ素 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)		<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4				<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
シマジン (mg/l)		<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3				<0.002	<0.002 <0.002	0/3	
ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
セレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.72	0.70 0.75	0/4	0.72	0.42 1.6	0/4				0.65	0.49 0.71	0/4	
ふっ素 (mg/l)	0.09	0.08 0.10	0/4	0.09	0.08 0.10	0/4				<0.08	<0.08 <0.08	0/4	
ほう素 (mg/l)	0.2	<0.1 0.3	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.1	<0.1 <0.1	0/4	
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2				<0.1	<0.1 <0.1	/2
	亜鉛 (mg/l)	0.010	0.003 0.017	/2	0.003	0.001 0.004	/2				0.005	0.002 0.007	/2
	溶解性鉄 (mg/l)	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2				<1	<1 <1	/2
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2				<0.2	<0.2 <0.2	/2	



測定項目	水域名 測定地点名 測定値	鴨川			片貝川			片貝川			片貝川		
		73. 港橋 B			74. 末端 A			75. 落合橋 AA			76. 東山橋 (AA)		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.3	6.7 7.8	0/12	7.4	7.0 7.8	0/9	7.5	7.0 7.9	0/12	7.6	7.2 8.3	0/4
	DO (mg/l)	11	9 13	0/12	10	9.1 12	0/9	11	9.3 12	0/12	11	9.5 13	0/4
	BOD (mg/l)	1.5 (1.4)	0.7 3.5	1/12	0.7 (0.6)	<0.5 1.3	0/9	0.6 (0.6)	<0.5 0.7	0/12	0.5 (<0.5)	<0.5 0.6	0/4
	COD (mg/l)	2.5	1.4 3.6	/12				1.3	0.7 2.5	/12			
	SS (mg/l)	4	1 21	0/12	5	1 19	0/9	5	<1 15	0/12	4	<1 12	0/4
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	3.1E+05	7.9E+03 1.7E+06	6/6	1.1E+04	2.2E+03 2.4E+04	4/4	7.2E+03	1.1E+03 3.3E+04	6/6			
	全窒素 (mg/l)	0.85	0.79 0.94	/4				1.6	0.83 3.0	/4			
	全磷 (mg/l)	0.043	0.037 0.048	/4				0.16	0.044 0.47	/4			
	油分等 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4		
全シアン (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.1	<0.1 <0.1	0/4			
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
六価クロム (mg/l)		<0.04	<0.04 <0.04	0/4				<0.04	<0.04 <0.04	0/4			
ヒ素 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/4			
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4			
1,2-ジクロロエタン (mg/l)		<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4			
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.004	<0.004 <0.004	0/4				<0.004	<0.004 <0.004	0/4			
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4			
トリクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
テトラクロロエチレン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4			
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3			
チウラム (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3			
シマジン (mg/l)		<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3			
チオベンカルブ (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/3				<0.002	<0.002 <0.002	0/3			
ベンゼン (mg/l)		<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
セレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4			
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)		0.62	0.46 0.80	0/4				0.77	0.47 1.1	0/4			
ふっ素 (mg/l)		<0.08	<0.08 <0.08	0/4				0.14	<0.08 0.28	0/4			
ほう素 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.1	<0.1 <0.1	0/4				
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	/2				<0.1	<0.1 <0.1	/2			
	亜鉛 (mg/l)	0.010	0.001 0.018	/2				0.002	<0.001 0.003	/2			
	溶解性鉄 (mg/l)	<1	<1 <1	/2				<1	<1 <1	/2			
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2				<0.2	<0.2 <0.2	/2				

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	片貝川(布施川)			黒瀬川			高橋川			吉田川		
		77. 落合橋 A			78. 石田橋 A			79. 堀切橋 B			80. 吉田橋 B		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.4	7.0 7.9	0/12	7.5	7.0 7.9	0/12	7.5	7.0 7.9	0/12	7.6	7.0 7.9	0/12
	DO (mg/l)	11	8.9 12	0/12	11	8.6 13	0/12	11	9.1 13	0/12	11	9.3 12	0/12
	BOD (mg/l)	0.6 (0.5)	<0.5 1.0	0/12	1.2 (1.3)	<0.5 3.0	1/12	0.8 (0.8)	<0.5 1.6	0/12	0.8 (0.9)	<0.5 1.7	0/12
	COD (mg/l)	1.7	1.2 2.9	/12	2.8	1.8 4.0	/12	2.2	1.3 2.8	/12	2.3	1.6 3.4	/12
	SS (mg/l)	3	1 13	0/12	9	4 18	0/12	8	2 18	0/12	6	2 15	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	1.5E+04	3.3E+03 3.3E+04	6/6	1.3E+04	2.4E+03 3.1E+04	6/6	1.6E+04	1.1E+03 4.9E+04	3/6	7.6E+03	6.3E+02 3.3E+04	1/6
	全窒素 (mg/l)	0.77	0.61 0.96	/4	0.73	0.53 0.98	/4	0.45	0.35 0.60	/4	0.72	0.59 0.78	/4
	全燐 (mg/l)	0.023	0.003 0.042	/4	0.065	0.045 0.099	/4	0.048	0.030 0.070	/4	0.036	0.029 0.043	/4
	油分等 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)		<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ヒ素 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
健康項目	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
	チウラム (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
	シマジン (mg/l)	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
	チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3
	ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4
	セレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.59	0.40 0.70	0/4	0.52	0.34 0.75	0/4	0.33	0.21 0.43	0/4	0.41	0.29 0.46	0/4
	ふっ素 (mg/l)	<0.08	<0.08 <0.08	0/4	0.10	0.08 0.12	0/4	0.14	0.10 0.17	0/4	0.16	0.11 0.22	0/4
ほう素 (mg/l)	0.1	<0.1 0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2
	亜鉛 (mg/l)	0.002	0.001 0.002	/2	0.005	0.002 0.008	/2	0.002	0.001 0.003	/2	<0.001	<0.001 <0.001	/2
	溶解性鉄 (mg/l)	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	黒部川			黒部川			黒部川			入川		
		81. 下黒部橋 AA			82. 愛本橋 (AA)			83. 山彦橋 (AA)			84. 末端 A		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.5	7.0 8.0	0/12	7.4	6.8 8.0	0/12	7.5	6.9 7.9	0/12	7.6	7.2 8.0	0/12
	DO (mg/l)	11	9.3 13	0/12	11	10 13	0/12	11	10 12	0/12	11	8.6 13	0/12
	BOD (mg/l)	0.7 (0.7)	<0.5 1.1	1/12	0.5 (<0.5)	<0.5 0.6	0/12	0.6 (0.6)	<0.5 1.5	1/12	1.0 (1.1)	<0.5 1.8	0/12
	COD (mg/l)	1.4	0.8 1.8	/12	1.3	1.0 1.6	/2				2.6	1.7 3.8	/12
	SS (mg/l)	9	2 20	0/12	6	2 20	0/12	8	2 34	1/12	9	2 19	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	1.8E+03	7.0E+01 4.9E+03	12/12	5.4E+02	2.7E+01 2.2E+03	9/12	3.4E+02	8.0E+00 1.7E+03	6/12	1.5E+04	7.9E+02 4.9E+04	5/6
	全窒素 (mg/l)	0.28	0.17 0.39	/12	0.24	0.17 0.28	/4	0.23	0.22 0.24	/4	0.37	0.25 0.52	/4
	全磷 (mg/l)	0.017	0.008 0.033	/12	0.017	0.008 0.033	/4	0.018	0.009 0.039	/4	0.046	0.029 0.065	/4
	油分等 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4							<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4							<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4							<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)		<0.01	<0.01 <0.01	0/4							<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ヒ素 (mg/l)		0.001	<0.001 0.001	0/4							<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4							<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4							<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)		<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4							<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4							<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.004	<0.004 <0.004	0/4							<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4							<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3							<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
シマジン (mg/l)		<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3							<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
チオベンカルブ (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/3							<0.002	<0.002 <0.002	0/3
ベンゼン (mg/l)		<0.001	<0.001 <0.001	0/4							<0.001	<0.001 <0.001	0/4
セレン (mg/l)		<0.001	<0.001 <0.001	0/4							<0.002	<0.002 <0.002	0/4
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)		0.23	0.13 0.30	0/4							0.30	0.17 0.42	0/4
ふっ素 (mg/l)		0.18	0.14 0.27	0/4							0.15	0.11 0.21	0/4
ほう素 (mg/l)		0.04	0.01 0.07	0/4							<0.1	<0.1 <0.1	0/4
特殊項目		フェノール類 (mg/l)	<0.005	<0.005 <0.005	/2								
	銅 (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	/2							<0.1	<0.1 <0.1	/2
	亜鉛 (mg/l)	0.008	0.003 0.01	/4							0.002	0.001 0.002	/2
	溶解性鉄 (mg/l)	0.05	0.04 0.05	/2							<1	<1 <1	/2
	溶解性マンガン (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	/1									
クロム (mg/l)	<0.01	<0.01 <0.01	/2							<0.2	<0.2 <0.2	/2	

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	小川			小川			小川(舟川)			木流川		
		85. 赤川橋 A			86. 上朝日橋 AA			87. 舟川橋 A			88. 末端 B		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.4	6.9 7.9	0/12	7.3	6.8 7.8	0/12	7.1	6.7 7.9	0/12	7.5	6.8 8.0	0/12
	DO (mg/l)	11	8.6 13	0/12	11	8.5 13	0/12	11	8.8 13	0/12	11	9.1 14	0/12
	BOD (mg/l)	0.5 (0.5)	<0.5 0.7	0/12	0.5 (<0.5)	<0.5 0.5	0/12	0.6 (0.5)	<0.5 0.9	0/12	0.9 (1.1)	<0.5 1.7	0/12
	COD (mg/l)	1.5	0.9 2.6	/12							2.6	1.6 4.1	/12
	SS (mg/l)	6	2 19	0/12	8	<1 68	1/12	5	1 12	0/12	7	1 17	0/12
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	1.4E+03	1.7E+02 2.4E+03	4/6	5.6E+02	3.3E+01 1.3E+03	4/6	6.4E+03	7.0E+02 1.3E+04	5/6	1.6E+04	1.7E+03 3.3E+04	5/6
	全窒素 (mg/l)	0.37	0.26 0.58	/4	0.42	0.26 0.70	/4	0.38	0.23 0.49	/4	0.64	0.43 0.89	/4
	全燐 (mg/l)	0.019	0.014 0.024	/4	0.011	0.006 0.016	/4	0.021	0.016 0.029	/4	0.049	0.040 0.061	/4
	油分等 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/2	<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.1	<0.1 <0.1	0/2	<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/2	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)		<0.04	<0.04 <0.04	0/4				<0.04	<0.04 <0.04	0/2	<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ヒ素 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4				<0.005	<0.005 <0.005	0/2	<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/2	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/2	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/2	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
健康項目	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/2	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/2	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004 <0.004	0/4				<0.004	<0.004 <0.004	0/2	<0.004	<0.004 <0.004	0/4
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/2	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/2	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/2	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/2	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/2	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
	チウラム (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/2	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
	シマジン (mg/l)	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/2	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
健康項目	チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/3				<0.002	<0.002 <0.002	0/2	<0.002	<0.002 <0.002	0/3
	ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/2	<0.001	<0.001 <0.001	0/4
	セレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/2	<0.002	<0.002 <0.002	0/4
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.35	0.24 0.55	0/4				0.33	0.18 0.48	0/2	0.50	0.27 0.73	0/4
	ふっ素 (mg/l)	0.12	<0.08 0.16	0/4				0.15	0.13 0.17	0/2	<0.08	<0.08 <0.08	0/4
	ほう素 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	0/4				<0.1	<0.1 <0.1	0/2	<0.1	<0.1 <0.1	0/4
	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	/2				<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2
	亜鉛 (mg/l)	0.002	0.001 0.002	/2				0.001	<0.001 0.001	/2	0.004	0.001 0.007	/2
	溶解性鉄 (mg/l)	<1	<1 <1	/2				<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2
溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2				<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2	

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	笹川			境川			境川ダム貯水池			境川ダム貯水池		
		89. 笹川橋 A			90. 境橋 A			91. えん堤付近 AII			92. 湖中央 (AII)		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	7.6	7.0 8.2	0/12	7.4	6.8 7.7	0/12	7.0	6.5 7.6	0/6	6.9	6.5 7.3	0/4
	DO (mg/l)	10	8.0 13	0/12	10	8.2 12	0/12	8.3	6.2 10	2/6	8.0	6.3 10	2/4
	BOD (mg/l)	0.5 (0.5)	<0.5 0.6	0/12	<0.5 (<0.5)	<0.5 <0.5	0/12						
	COD (mg/l)	1.6	1.0 2.5	/12	0.8	<0.5 1.7	/12	1.3 (1.5)	0.9 1.6	0/6	1.4 (1.5)	1.0 1.8	0/4
	SS (mg/l)	3	<1 11	0/12	3	<1 15	0/12	6	1 13	3/6	7	1 15	2/4
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	1.9E+03	2.2E+02 4.9E+03	2/6	4.0E+02	4.0E+00 2.2E+03	1/6	7.7E+00	0.0E+00 3.3E+01	0/6	2.8E+00	0.0E+00 1.1E+01	0/4
	全窒素 (mg/l)	0.51	0.36 0.77	/4	0.63	0.41 0.95	/4	0.36	0.27 0.57	/6	0.28	0.27 0.31	/4
	全燐 (mg/l)	0.016	0.011 0.020	/4	0.012	0.006 0.018	/4	0.005	<0.003 0.008	0/6	0.005	<0.003 0.006	0/4
	油分等 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4					
全シアン (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4						
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4						
六価クロム (mg/l)		<0.04	<0.04 <0.04	0/4	<0.04	<0.04 <0.04	0/4						
ヒ素 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4	<0.005	<0.005 <0.005	0/4						
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4						
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/1			
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/1			
健康項目	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/1			
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/1			
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/4	<0.004	<0.004 <0.004	0/1			
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/1			
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/1			
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/1			
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/1			
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/1			
	チウラム (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3						
	シマジン (mg/l)	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3						
特殊項目	チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/3	<0.002	<0.002 <0.002	0/3						
	ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/4	<0.001	<0.001 <0.001	0/1			
	セレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/4	<0.002	<0.002 <0.002	0/4						
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.47	0.31 0.70	0/4	0.59	0.43 0.89	0/4						
	ふっ素 (mg/l)	0.09	<0.08 0.11	0/4	<0.08	<0.08 <0.08	0/4	<0.08	<0.08 <0.08	0/1			
	ほう素 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/4	<0.1	<0.1 <0.1	0/1			
	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	/2	<0.1	<0.1 <0.1	/2						
	亜鉛 (mg/l)	0.001	0.001 0.001	/2	<0.001	<0.001 <0.001	/2	0.004	0.004 0.004	/1			
	溶解性鉄 (mg/l)	<1	<1 <1	/2	<1	<1 <1	/2						
溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2	<0.2	<0.2 <0.2	/2							

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	有峰ダム貯水池			有峰ダム貯水池			黒部ダム貯水池			黒部ダム貯水池		
		93. えん堤付近 AII	94. 湖中央 (AII)	95. えん堤付近 AII	96. 湖中央 (AII)	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値
生活環境項目	pH	7.0	6.8 7.0	0/6	6.9	6.5 7.1	0/4	7.0	6.6 7.5	0/6	7.0	6.5 7.4	0/4
	DO (mg/l)	9.5	9.1 10	0/6	9.4	9.0 9.8	0/4	9.2	8.7 10	0/6	9.1	8.8 9.9	0/4
	BOD (mg/l)												
	COD (mg/l)	1.7 (2.0)	1.3 2.2	0/6	1.7 (1.9)	1.4 2.0	0/4	1.4 (1.6)	0.9 1.8	0/6	1.4 (1.5)	1.0 1.9	0/4
	SS (mg/l)	1	1 3	0/6	2	1 3	0/4	13	2 36	4/6	19	3 45	3/4
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	2.8E+00	0.0E+00 7.0E+00	0/6	5.0E+00	2.0E+00 7.0E+00	0/4	1.5E+01	2.0E+00 2.3E+01	0/6	8.3E+00	0.0E+00 1.3E+01	0/4
	全窒素 (mg/l)	0.28	0.19 0.51	/6	0.30	0.20 0.40	/4	0.28	0.21 0.33	/6	0.31	0.28 0.33	/4
	全磷 (mg/l)	0.004	<0.003 0.010	0/6	0.005	<0.003 0.012	1/4	0.005	0.003 0.008	0/6	0.006	0.004 0.009	0/4
	油分等 (mg/l)												
	健康項目	カドミウム (mg/l)											
全シアン (mg/l)													
鉛 (mg/l)													
六価クロム (mg/l)													
ヒ素 (mg/l)													
総水銀 (mg/l)													
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/1				<0.002	<0.002 <0.002	0/1			
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/1				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/1			
特殊項目	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/1			<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/1				
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/1			<0.002	<0.002 <0.002	0/1				
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004 <0.004	0/1			<0.004	<0.004 <0.004	0/1				
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/1			<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/1				
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/1			<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/1				
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002 <0.002	0/1			<0.002	<0.002 <0.002	0/1				
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/1			<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/1				
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/1			<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/1				
	チウラム (mg/l)												
	シマジン (mg/l)												
チオベンカルブ (mg/l)													
ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/1				<0.001	<0.001 <0.001	0/1				
セレン (mg/l)													
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)													
ふっ素 (mg/l)	<0.08	<0.08 <0.08	0/1				<0.08	<0.08 <0.08	0/1				
ほう素 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	0/1				<0.1	<0.1 <0.1	0/1				
フェノール類 (mg/l)													
銅 (mg/l)													
亜鉛 (mg/l)	0.007	0.007 0.007	/1				0.001	0.001 0.001	/1				
溶解性鉄 (mg/l)													
溶解性マンガン (mg/l)													
クロム (mg/l)													

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	富山新港(富山新港)			富山新港(富山新港)			富山新港(富山新港)			富山新港(富山新港)		
		97. 新港1 (B)	98. 新港2 (B)	99. 新港3 (B)	100. 新港4 (B)								
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	8.1	7.9 8.3	0/12	8.1	7.9 8.2	0/4	8.0	7.9 8.1	0/4	8.0	7.9 8.1	0/4
	DO (mg/l)	8.5	6.9 10	0/12	8.7	7.6 9.5	0/4	8.1	7.0 9.1	0/4	8.2	6.9 9.5	0/4
	BOD (mg/l)												
	COD (mg/l)	2.9 (3.2)	0.9 8.8	4/12	2.7 (3.2)	1.5 3.9	2/4	2.6 (2.6)	2.1 3.5	1/4	2.3 (2.2)	1.9 3.1	1/4
	SS (mg/l)												
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)												
	全窒素 (mg/l)	0.41	0.21 1.2	/12	0.50	0.37 0.61	/4	0.40	0.22 0.64	/4	0.39	0.26 0.49	/4
	全燐 (mg/l)	0.045	0.026 0.079	/12	0.049	0.037 0.063	/4	0.059	0.047 0.069	/4	0.068	0.040 0.11	/4
	油分等 (mg/l)	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/4	<0.5	<0.5 <0.5	0/4	<0.5	<0.5 <0.5	0/4
	健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001 <0.001	0/4								
全シアン (mg/l)		<0.1	<0.1 <0.1	0/4									
鉛 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4									
六価クロム (mg/l)		<0.04	<0.04 <0.04	0/4									
ヒ素 (mg/l)		<0.005	<0.005 <0.005	0/4									
総水銀 (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4									
四塩化炭素 (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4									
1,2-ジクロロエタン (mg/l)		<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4									
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4									
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)		<0.004	<0.004 <0.004	0/4									
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4									
トリクロロエチレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4									
テトラクロロエチレン (mg/l)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4									
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3									
チウラム (mg/l)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3									
シマジン (mg/l)		<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3									
チオベンカルブ (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/3									
ベンゼン (mg/l)		<0.001	<0.001 <0.001	0/4									
セレン (mg/l)		<0.002	<0.002 <0.002	0/4									
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)		0.15	0.12 0.18	0/4									
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)	<0.1	<0.1 <0.1	/2									
	亜鉛 (mg/l)	0.006	0.005 0.007	/2									
	溶解性鉄 (mg/l)	<1	<1 <1	/2									
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)	<0.2	<0.2 <0.2	/2										

測定項目	水域名 測定地点名 測定値	富山新港(富山新港(第一貯木場))			富山新港(富山新港(中野整理場))			富山湾(小矢部川河口海域)			富山湾(小矢部川河口海域)			
		101. 姫野橋 C			102. 中央 C			103. 小矢部2 B			104. 小矢部3 B			
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	
生活環境項目	pH	7.7	7.3 8.2	0/12	7.5	7.2 7.9	0/12	8.3	8.1 8.5	1/12	8.3	8.1 8.4	3/12	
	DO (mg/l)	8.4	4.7 10	0/12	7.0	3.9 10	0/12	8.6	6.5 12	0/12	8.6	6.4 11	0/12	
	BOD (mg/l)													
	COD (mg/l)	3.2 (3.7)	2.2 5.3	0/12	3.5 (3.9)	2.4 4.8	0/12	2.0 (2.5)	0.7 4.3	2/12	2.0 (2.2)	1.0 4.5	1/12	
	SS (mg/l)													
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)													
	全窒素 (mg/l)	0.62	0.34 1.0	/12	0.54	0.30 0.71	/12	0.22	0.13 0.37	/12	0.28	0.17 0.37	/12	
	全燐 (mg/l)	0.088	0.047 0.18	/12	0.081	0.041 0.17	/12	0.019	0.006 0.038	/12	0.022	0.014 0.029	/12	
	油分等 (mg/l)							<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	
	健康項目	カドミウム (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/4			
全シアン (mg/l)								<0.1	<0.1 <0.1	0/4				
鉛 (mg/l)								<0.005	<0.005 <0.005	0/4				
六価クロム (mg/l)								<0.04	<0.04 <0.04	0/4				
ヒ素 (mg/l)								<0.005	<0.005 <0.005	0/4				
総水銀 (mg/l)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				
アルキル水銀 (mg/l)														
PCB (mg/l)														
ジクロロメタン (mg/l)								<0.002	<0.002 <0.002	0/4				
四塩化炭素 (mg/l)								<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				
健康項目	1,2-ジクロロエタン (mg/l)							<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4				
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)							<0.004	<0.004 <0.004	0/4				
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				
	トリクロロエチレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4				
	テトラクロロエチレン (mg/l)							<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)							<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				
	チウラム (mg/l)							<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3				
	シマジン (mg/l)							<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3				
健康項目	チオベンカルブ (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/3				
	ベンゼン (mg/l)							<0.001	<0.001 <0.001	0/4				
	セレン (mg/l)							<0.002	<0.002 <0.002	0/4				
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)							0.09	<0.06 0.16	0/4				
	ふっ素 (mg/l)													
	ほう素 (mg/l)													
	特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
		銅 (mg/l)												
		亜鉛 (mg/l)							0.002	<0.001 0.002	/2			
		溶解性鉄 (mg/l)												
溶解性マンガン (mg/l)														
クロム (mg/l)														



測定項目	測定値	富山湾(小矢部川河口海域)			富山湾(小矢部川河口海域)			富山湾(神通川河口海域)			富山湾(神通川河口海域)		
		105. 小矢部5 A	106. 小矢部6 A	107. 神通1 B	108. 神通2 B	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値
生活環境項目	pH	8.3	8.1 8.6	3/12	8.3	8.1 8.4	2/12	8.3	8.1 8.5	3/12	8.3	8.1 8.6	4/12
	DO (mg/l)	8.6	6.4 12	2/12	8.7	6.6 11	1/12	8.7	6.4 12	0/12	8.9	6.8 12	0/12
	BOD (mg/l)												
	COD (mg/l)	1.7 (2.0)	0.7 3.8	3/12	1.9 (2.5)	0.8 3.7	6/12	1.9 (1.9)	0.6 5.1	2/12	2.0 (3.1)	0.8 4.7	4/12
	SS (mg/l)												
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	3.1E+02	2.2E+01 7.9E+02	0/4	6.2E+01	2.1E+01 1.7E+02	0/4						
	全窒素 (mg/l)	0.20	0.13 0.31	/12	0.19	0.13 0.29	/12	0.22	0.13 0.29	/12	0.29	0.16 0.37	/12
	全燐 (mg/l)	0.017	0.009 0.028	/12	0.015	0.007 0.027	/12	0.014	0.007 0.023	/12	0.014	0.008 0.024	/12
	油分等 (mg/l)	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12
	健康項目	カドミウム (mg/l)										<0.001	<0.001 <0.001
全シアン (mg/l)											<0.1	<0.1 <0.1	0/4
鉛 (mg/l)											<0.005	<0.005 <0.005	0/4
六価クロム (mg/l)											<0.04	<0.04 <0.04	0/4
ヒ素 (mg/l)											<0.005	<0.005 <0.005	0/4
総水銀 (mg/l)											<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)											<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)											<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)											<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)											<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)											<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)											<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)											<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)											<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)											<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)											<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)											<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/3
シマジン (mg/l)											<0.0003	<0.0003 <0.0003	0/3
チオベンカルブ (mg/l)										<0.002	<0.002 <0.002	0/3	
ベンゼン (mg/l)										<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
セレン (mg/l)										<0.002	<0.002 <0.002	0/4	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)										0.10	<0.06 0.18	0/4	
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)												
	亜鉛 (mg/l)										0.001	<0.001 0.001	/2
	溶解性鉄 (mg/l)												
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)													

測定項目	水域名 測定地点名	富山湾(神通川河口海域)			富山湾(神通川河口海域)			富山湾(神通川河口海域)			富山湾(神通川河口海域)		
		109. 神通3 B			110. 神通4 A			111. 神通5 A			112. 神通6 A		
		平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n	平均 (75%値)	最小値~ 最大値	m/n
生活環境項目	pH	8.3	8.1 8.5	1/12	8.3	8.1 8.5	4/12	8.3	8.1 8.5	1/12	8.3	8.1 8.5	2/12
	DO (mg/l)	8.8	6.9 11	0/12	8.7	6.2 12	2/12	8.7	6.7 10	1/12	8.7	6.7 10	2/12
	BOD (mg/l)												
	COD (mg/l)	2.2 (2.3)	0.6 8.3	1/12	1.8 (2.0)	0.7 5.3	3/12	1.7 (2.0)	0.7 3.8	3/12	1.9 (2.2)	0.6 5.4	4/12
	SS (mg/l)												
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)				3.4E+01	2.0E+00 7.0E+01	0/4	3.3E+02	1.1E+01 1.1E+03	1/4	1.3E+02	0.0E+00 3.3E+02	0/4
	全窒素 (mg/l)	0.25	0.14 0.54	/12	0.20	0.13 0.30	/12	0.28	0.17 0.38	/12	0.20	0.09 0.26	/12
	全燐 (mg/l)	0.016	0.009 0.028	/12	0.014	0.007 0.021	/12	0.014	0.008 0.020	/12	0.013	0.004 0.022	/12
	油分等 (mg/l)	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12
	健康項目	カドミウム (mg/l)											
全シアン (mg/l)													
鉛 (mg/l)													
六価クロム (mg/l)													
ヒ素 (mg/l)													
総水銀 (mg/l)													
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)													
四塩化炭素 (mg/l)													
1,2-ジクロロエタン (mg/l)													
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)													
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)													
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)													
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)													
トリクロロエチレン (mg/l)													
テトラクロロエチレン (mg/l)													
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)													
チウラム (mg/l)													
シマジン (mg/l)													
チオベンカルブ (mg/l)													
ベンゼン (mg/l)													
セレン (mg/l)													
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/l)													
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)												
	亜鉛 (mg/l)												
	溶解性鉄 (mg/l)												
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)													

測定項目	測定値	富山湾(その他富山湾海域)			富山湾(その他富山湾海域)			富山湾(その他富山湾海域)			富山湾(その他富山湾海域)		
		113. 小矢部7 A	114. 神通7 A	115. その他1 A	116. その他2 A	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値
生活環境項目	pH	8.3	8.1 8.5	3/12	8.3	8.2 8.4	2/12	8.2	8.0 8.4	1/12	8.2	8.0 8.4	1/12
	DO (mg/l)	8.6	6.6 11	2/12	8.6	6.8 9.8	1/12	8.2	6.5 10	3/12	8.1	6.4 10	2/12
	BOD (mg/l)												
	COD (mg/l)	1.8 (2.1)	0.8 4.8	4/12	1.7 (2.0)	0.7 3.9	3/12	1.2 (1.3)	0.5 2.3	1/12	1.3 (1.6)	0.6 2.1	1/12
	SS (mg/l)												
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	4.2E+01	1.7E+01 8.4E+01	0/4	8.0E+01	4.0E+00 1.7E+02	0/4	5.8E+00	0.0E+00 2.3E+01	0/4	2.0E+01	2.0E+00 7.0E+01	0/4
	全窒素 (mg/l)	0.18	0.14 0.24	/12	0.20	0.12 0.29	/12	0.12	0.09 0.16	/12	0.13	0.11 0.17	/12
	全燐 (mg/l)	0.015	0.006 0.021	/12	0.014	0.008 0.028	/12	0.009	0.004 0.017	/12	0.011	0.004 0.019	/12
	油分等 (mg/l)	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/12	<0.5	<0.5 <0.5	0/6	<0.5	<0.5 <0.5	0/6
	健康項目	カドミウム (mg/l)											
全シアン (mg/l)													
鉛 (mg/l)													
六価クロム (mg/l)													
ヒ素 (mg/l)													
総水銀 (mg/l)													
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)											<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)											<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)											<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)											<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)											<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)											<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)											<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)											<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)											<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)											<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)													
シマジン (mg/l)													
チオベンカルブ (mg/l)													
ベンゼン (mg/l)										<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
セレン (mg/l)													
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)										0.07	<0.06 0.09	0/4	
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)												
	亜鉛 (mg/l)									0.001	<0.001 0.001	/2	
	溶解性鉄 (mg/l)												
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)													

測定項目	測定値	富山湾(その他富山湾海域)			富山湾(その他富山湾海域)			富山湾(その他富山湾海域)			富山湾(その他富山湾海域)		
		117. その他3 A	118. その他4 A	119. その他5 A	120. その他6 A								
		平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n
生活環境項目	pH	8.3	8.1 8.4	1/12	8.2	8.1 8.3	0/12	8.3	8.2 8.4	1/12	8.3	8.2 8.6	2/12
	DO (mg/l)	8.3	6.5 10	2/12	8.4	7.2 10	2/12	8.5	7.4 10	1/12	8.6	7.4 10	1/12
	BOD (mg/l)												
	COD (mg/l)	1.5 (1.9)	0.6 2.5	3/12	1.6 (2.1)	0.7 3.0	4/12	1.3 (1.3)	0.7 2.3	2/12	1.2 (1.4)	0.7 2.1	1/12
	SS (mg/l)												
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	6.3E+00	0.0E+00 1.3E+01	0/4	9.1E+01	1.3E+01 2.4E+02	0/4	1.1E+02	1.0E+00 2.8E+02	0/4	1.0E+01	0.0E+00 2.7E+01	0/4
	全窒素 (mg/l)	0.15	0.12 0.23	/12	0.19	0.14 0.33	/12	0.20	0.11 0.36	/12	0.18	0.09 0.32	/12
	全燐 (mg/l)	0.013	0.004 0.021	/12	0.017	0.008 0.026	/12	0.013	0.008 0.018	/12	0.012	0.006 0.019	/12
	油分等 (mg/l)	<0.5	<0.5 <0.5	0/6	<0.5	<0.5 <0.5	0/6	<0.5	<0.5 <0.5	0/6	<0.5	<0.5 <0.5	0/6
	健康項目	カドミウム (mg/l)											
全シアン (mg/l)													
鉛 (mg/l)													
六価クロム (mg/l)													
ヒ素 (mg/l)													
総水銀 (mg/l)													
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4				<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)													
シマジン (mg/l)													
チオベンカルブ (mg/l)													
ベンゼン (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
セレン (mg/l)													
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)				0.07	<0.06 0.11	0/4				0.07	<0.06 0.10	0/4	
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)												
	亜鉛 (mg/l)				0.005	0.003 0.006	/2				0.002	0.001 0.003	/2
	溶解性鉄 (mg/l)												
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)													

測定項目	測定値	富山湾(その他富山湾海域) 121. その他7 A			富山湾(その他富山湾海域) 122. その他8 A			富山湾(その他富山湾海域) 123. その他9 A			富山湾(その他富山湾海域) 124. その他10 A		
		平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n	平均(75%値)	最小値~最大値	m/n
生活環境項目	pH	8.3	8.2 8.5	2/12	8.3	8.2 8.6	2/12	8.3	8.2 8.7	2/12	8.3	8.2 8.7	2/12
	DO (mg/l)	8.7	6.9 11	1/12	8.5	7.0 10	3/12	8.4	7.1 10	2/12	8.4	7.1 10	3/12
	BOD (mg/l)												
	COD (mg/l)	1.3 (1.4)	0.7 2.4	1/12	1.2 (1.2)	0.7 2.4	1/12	1.2 (1.5)	<0.5 2.2	2/12	1.2 (1.3)	<0.5 1.9	0/12
	SS (mg/l)												
	大腸菌群数 (MPN / 100ml)	1.0E+01	2.0E+00 1.4E+01	0/4	3.3E+01	0.0E+00 1.3E+02	0/4	8.4E+01	0.0E+00 3.3E+02	0/4	5.0E-01	0.0E+00 2.0E+00	0/4
	全窒素 (mg/l)	0.20	0.10 0.33	/12	0.16	0.08 0.26	/12	0.15	0.07 0.25	/12	0.14	0.07 0.23	/12
	全燐 (mg/l)	0.011	0.004 0.018	/12	0.011	0.004 0.021	/12	0.009	0.004 0.020	/12	0.009	0.003 0.017	/12
	油分等 (mg/l)	<0.5	<0.5 <0.5	0/6	<0.5	<0.5 <0.5	0/6	<0.5	<0.5 <0.5	0/6	<0.5	<0.5 <0.5	0/6
	健康項目	カドミウム (mg/l)											
全シアン (mg/l)													
鉛 (mg/l)													
六価クロム (mg/l)													
ヒ素 (mg/l)													
総水銀 (mg/l)													
アルキル水銀 (mg/l)													
PCB (mg/l)													
ジクロロメタン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
四塩化炭素 (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン (mg/l)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)					<0.004	<0.004 <0.004	0/4				<0.004	<0.004 <0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0/4
トリクロロエチレン (mg/l)					<0.002	<0.002 <0.002	0/4				<0.002	<0.002 <0.002	0/4
テトラクロロエチレン (mg/l)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0/3
チウラム (mg/l)													
シマジン (mg/l)													
チオベンカルブ (mg/l)													
ベンゼン (mg/l)				<0.001	<0.001 <0.001	0/4				<0.001	<0.001 <0.001	0/4	
セレン (mg/l)													
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)				0.07	<0.06 0.11	0/4				0.07	<0.06 0.09	0/4	
ふっ素 (mg/l)													
ほう素 (mg/l)													
特殊項目	フェノール類 (mg/l)												
	銅 (mg/l)												
	亜鉛 (mg/l)				0.002	0.002 0.002	/2				0.004	0.003 0.004	/2
	溶解性鉄 (mg/l)												
	溶解性マンガン (mg/l)												
クロム (mg/l)													

## 資料 2

### (資料 2)

1	水質汚濁に係る環境基準	103
2	環境基準の水域類型の指定	113
3	水質汚濁防止関係法令の概要	122
4	水質汚濁防止法に基づく届出について	124
	水質汚濁防止法に基づく特定施設	125
	富山県公害防止条例に基づく特定施設（水質関係）	131
5	水質汚濁防止法に基づく一律排水基準	132
6	水質汚濁防止法に基づく上乘せ排水基準	137
7	水質汚濁防止法に基づく地下浸透基準	154
8	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出について	155
9	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排水基準	158
10	その他の基準等	159
(1)	海水浴場の水質判定基準	159
(2)	底質の暫定除去基準	160
(3)	土壌の汚染に係る環境基準	160
(4)	ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る基準	162
(5)	公共用水域等における農薬の水質評価指針	163
(6)	下水道基準	164
(7)	し尿浄化槽及び合併処理浄化槽における処理性能基準	165
(8)	飲料水基準等	166
(9)	水産用水基準	169
(10)	農業用水基準	172
(11)	食品中の PCB 暫定的規制値	172
(12)	魚介類の水銀暫定的規制値	172
(13)	悪臭防止法に基づく排出水中における特定悪臭物質の規制基準	173
(14)	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）の概要	174
(15)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する対応	177
11	水質環境計画の概要	179
12	窒素・りん削減対策技術マニュアルの概要	181
13	とやまの名水	186
14	下水道の普及状況	189
15	水質年表（昭和 33 年～平成 17 年）	190

# 1 水質汚濁に係る環境基準

## (1) 水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）

公共用水域の水質汚濁に係る環境基準は、人の健康の保護及び生活環境の保全に関し、それぞれ次のとおりとする。

### ① 人の健康の保護に関する環境基準

人の健康の保護に関する環境基準は、全公共用水域につき、別表1の項目の欄に掲げる項目ごとに、同表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

環境基準は、設定後直ちに達成され、維持されるように努めるものとする。

なお、人の健康の保護に関連する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況等からみて、現時点では直ちに環境基準健康項目とせず、引き続き知見の集積に努めるべきと判断されるものについて、別表3のとおり「要監視項目」として示されている。

### ② 生活環境の保全に関する環境基準

生活環境の保全に関する環境基準は、各公共用水域につき、別表2の水域類型の欄に掲げる水域類型のうち当該公共用水域が該当する水域類型ごとに、同表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

環境基準は、各公共用水域ごとに、施策の推進とあいまちつつ、可及的速やかにその達成維持を図るものとする。

なお、有用な水生生物及びその餌生物並びにそれらの生息又は生育環境の保全に関連する物質で、公共用水域等における検出状況等からみて、現時点では直ちに環境基準生活環境項目とせず、引き続き知見の集積に努めるべきと判断されるものについて、別表3のとおり「要監視項目」として示されている。

## (2) 地下水の水質汚濁に係る環境基準（平成9年環境庁告示第10号）

地下水の水質汚濁に係る環境基準は、人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として、すべての地下水につき、別表4の項目の欄に掲げる項目ごとに、同表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

環境基準は、設定後直ちに達成され、維持されるように努めるものとする。（ただし、汚染が専ら自然的原因によることが明らかであると認められる場合を除く。）

## (3) ダイオキシン類による水質の汚濁に係る環境基準（平成11年環境庁告示第68号）

ダイオキシン類による水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）に係る環境基準は、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として、次のとおりとする。

水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）に係る環境基準は公共用水域及び地下水に適用する。

また、水底の底質の汚染に係る環境基準は公共用水域の水底の底質について適用する。

達成期間については、環境基準が達成されていない水域にあっては可及的速やかに達成されるように努めることとする。環境基準が現に達成されている水域又は達成された水域にあっては、その維持に努めることとする。

媒体	基準値	測定方法
水質(水底の底質を除く。)	1 pg-TEQ/l 以下	日本工業規格 K0312 に定める方法
水底の底質	150 pg-TEQ/g 以下	水底の底質中に含まれるダイオキシン類をソックスレー抽出し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法

備考1 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。  
2 水質(水底の底質を除く。)の基準値は、年間平均値とする。

表1 人の健康の保護に関する環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）

項目	基準値	測定方法
カドミウム	0.01 mg/l以下	日本工業規格K0102（以下「規格」という。）55に定める方法
全シアン	検出されないこと。	規格38.1.2及び38.2に定める方法又は規格38.1.2及び38.3に定める方法
鉛	0.01 mg/l以下	規格54に定める方法
六価クロム	0.05 mg/l以下	規格65.2に定める方法
砒素	0.01 mg/l以下	規格61.2又は61.3に定める方法
総水銀	0.0005mg/l以下	付表1に掲げる方法
アルキル水銀	検出されないこと。	付表2に掲げる方法
P C B	検出されないこと。	付表3に掲げる方法
ジクロロメタン	0.02 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	0.002 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1,1-ジクロロエチレン	0.02 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
シス1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	0.03 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	0.01 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	0.006 mg/l以下	付表4に掲げる方法
シマジン	0.003 mg/l以下	付表5の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	0.02 mg/l以下	付表5の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	0.01 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	0.01 mg/l以下	規格67.2又は67.3に定める方法
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/l以下	硝酸性窒素にあつては規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5に定める方法、亜硝酸性窒素にあつては規格43.1に定める方法
ふっ素	0.8 mg/l以下	規格34.1に定める方法又は付表6に掲げる方法
ほう素	1 mg/l以下	規格47.1若しくは47.3に定める方法又は付表7に掲げる方法
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。</li> <li>2 「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。</li> <li>3 海域については、ふっ素、ほう素の基準値は適用しない。</li> <li>4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。</li> </ol>		

注 「付表」とは、水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年12月28日 環境庁告示第59号）の告示の付表をいう。



表2 生活環境の保全に関する環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）

1 河川

(1) 河川（湖沼を除く。）

ア

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級 自然環境保全及び A以下の欄に掲げるもの	6.5以上	1mg/l	25mg/l	7.5mg/l	50MPN/ 100ml
		8.5以下	以下	以下	以上	以下
A	水道2級 水産1級 水浴及び B以下の欄に掲げるもの	6.5以上	2mg/l	25mg/l	7.5mg/l	1,000MPN/ 100ml
		8.5以下	以下	以下	以上	以下
B	水道3級 水産2級及び C以下の欄に掲げるもの	6.5以上	3mg/l	25mg/l	5mg/l	5,000MPN/ 100ml
		8.5以下	以下	以下	以上	以下
C	水産3級 工業用水1級及び D以下の欄に掲げるもの	6.5以上	5mg/l	50mg/l	5mg/l	—
		8.5以下	以下	以下	以上	
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの	6.0以上	8mg/l	100mg/l	2mg/l	—
		8.5以下	以下	以下	以上	
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上	10mg/l	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/l	—
		8.5以下	以下		以上	

備考1 基準値は、日間平均値とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）。

- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/l以上とする（湖沼もこれに準ずる。）。

注 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

2 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

〃 2級：沈澱ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

〃 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産 1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

〃 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

〃 3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級：沈澱等による通常の浄水操作を行うもの

〃 2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

〃 3級：特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

イ

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全垂鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/ l 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/ l 以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/ l 以下
生物特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/ l 以下

備考 基準値は、年間平均値とする。

(2) 湖沼（天然湖沼及び貯水量が1,000万立方メートル以上であり、かつ、水の滞留時間が4日間以上である人工湖）

ア

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素 量 (DO)	大腸菌 群数
AA	水道1級 水産1級 自然環境保全及び A以下の欄に掲げるもの	6.5以上	1mg/l	1mg/l	7.5mg/l	50MPN/ 100ml 以下
		8.5以下	以下	以下	以上	
A	水道2、3級 水産2級 水浴及び B以下の欄に掲げるもの	6.5以上	3mg/l	5mg/l	7.5mg/l	1,000MPN/ 100ml 以下
		8.5以下	以下	以下	以上	
B	水産3級 工業用水1級 農業用水 及びCの欄に掲げるもの	6.5以上	5mg/l	15mg/l	5mg/l	—
		8.5以下	以下	以下	以上	
C	工業用水2級 環境保全	6.0以上	8mg/l	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/l	—
		8.5以下	以下		以上	

備考 水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、浮遊物質量の項目の基準値は適用しない。

- 注 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- 2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの  
 // 2、3級：沈澱ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用  
 // 2級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用及び水産3級の  
 水産生物用  
 // 3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
- 4 工業用水1級：沈澱等による通常の浄水操作を行うもの  
 // 2級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
- 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

イ

類型	利用目的の適応性	基準値		該当水域
		全窒素	全りん	
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの	0.1 mg/l 以下	0.005 mg/l 以下	水域類型ごとに指定する水域
II	水道1、2、3級（特殊なものを除く。） 水産1種、水浴及びIII以下の欄に掲げるもの	0.2 mg/l 以下	0.01 mg/l 以下	
III	水道3級（特殊なもの） 及びIV以下の欄に掲げるもの	0.4 mg/l 以下	0.03 mg/l 以下	
IV	水産2種 及びVの欄に掲げるもの	0.6 mg/l 以下	0.05 mg/l 以下	
V	水産3種、工業用水 農業用水、環境保全	1 mg/l 以下	0.1 mg/l 以下	

- 備考 1 基準値は、年間平均値とする。  
 2 水域類型の指定は、湖沼植物プランクトンの著しい増殖を生じるおそれがある湖沼について行うものとし、全窒素の項目の基準値は、全窒素が湖沼植物プランクトンの増殖の要因となる湖沼について適用する。  
 3 農業用水については、全磷の項目の基準値は適用しない。

- 注 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全  
 2 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの  
 // 2級：沈澱ろ過等による通常の浄水操作を行うもの  
 // 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの（「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。）  
 3 水産 1種：サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用  
 // 2種：ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用  
 // 3種：コイ、フナ等の水産生物用  
 4 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

ウ

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/l 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/l 以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/l 以下
生物特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/l 以下

備考 基準値は、年間平均値とする。

## 2 海域

ア

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出物質 (油分)
A	水産1級浴水 自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2mg/1 以下	7.5mg/1 以上	1,000MPN/ 100ml 以下	検出されないこと。
B	水産2級工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	3mg/1 以下	5mg/1 以上	—	検出されないこと。
C	環境保全	7.0以上 8.3以下	8mg/1 以下	2mg/1 以上	—	—

備考 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数70MPN/100ml以下とする。

- 注 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全  
 2 水産1級：マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用  
 “ 2級：ボラ、ノリ等の水産生物用  
 3 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

イ

類型	利用目的の適応性	基準値		該当水域
		全窒素	全りん	
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.2 mg/1 以下	0.02 mg/1 以下	水域類型ごとに指定する水域
II	水産1種水浴及びIII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.3 mg/1 以下	0.03 mg/1 以下	
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの (水産3種を除く。)	0.6 mg/1 以下	0.05 mg/1 以下	
IV	水産3種、工業用水生物生息環境保全	1 mg/1 以下	0.09 mg/1 以下	

- 備考 1 基準値は、年間平均値とする。  
 2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生じるおそれがある海域について行うものとする。

- 注 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- 2 水産 1 種：底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される
- 水産 2 種：一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される
- 水産 3 種：汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される
- 3 生物生息環境保全：年間を通して底生生物が生息できる限度

ウ

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全垂鉛
生物A	水生生物の生息する水域	0.02 mg/l 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01 mg/l 以下

備考 基準値は、年間平均値とする。

表3 要監視項目及び指針値

(1) 人の健康の保護に関する要監視項目

項目	指針値	項目	指針値
クロロホルム	0.06 mg/l以下	イプロベンホス (IBP)	0.008 mg/l以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l以下	クロルニトロフェン (CNP)	- ※
1,2-ジクロロプロパン	0.06 mg/l以下	トルエン	0.6 mg/l以下
p-ジクロロベンゼン	0.2 mg/l以下	キシレン	0.4 mg/l以下
イソキサチオン	0.008 mg/l以下	フタル酸ジエチルヘキシル	0.06 mg/l以下
ダイアジノン	0.005 mg/l以下	ニッケル	- ※
フェニトロチオン (MEP)	0.003 mg/l以下	モリブデン	0.07 mg/l以下
イソプロチオラン	0.04 mg/l以下	アンチモン	0.02 mg/l以下
オキシ銅 (有機銅)	0.04 mg/l以下	塩化ビニルモノマー	0.002 mg/l以下
クロロタロニル (TPN)	0.05 mg/l以下	エピクロロヒドリン	0.0004 mg/l以下
プロピザミド	0.008 mg/l以下	1,4-ジオキサン	0.05 mg/l以下
E P N	0.006 mg/l以下	全マンガン	0.2 mg/l以下
ジクロロボス (DDVP)	0.008 mg/l以下	ウラン	0.002 mg/l以下
フェノブカルブ (BPMC)	0.03 mg/l以下		

※ クロルニトロフェンについては、平成6年3月15日付け、ニッケルについては、平成11年2月22日付け環境庁水質保全局長通知により、指針値は削除された。

(2) 生活環境の保全に関する要監視項目

項目	水域	類型	指針値
クロロホルム	河川及び湖沼	生物 A	0.7 mg/l 以下
		生物特 A	0.006mg/l 以下
		生物 B	3 mg/l 以下
		生物特 B	3 mg/l 以下
	海域	生物 A	0.8 mg/l 以下
		生物特 A	0.8 mg/l 以下
フェノール	河川及び湖沼	生物 A	0.05 mg/l 以下
		生物特 A	0.01 mg/l 以下
		生物 B	0.08 mg/l 以下
		生物特 B	0.01 mg/l 以下
	海域	生物 A	2 mg/l 以下
		生物特 A	0.2 mg/l 以下
ホルムアルデヒド	河川及び湖沼	生物 A	1 mg/l 以下
		生物特 A	1 mg/l 以下
		生物 B	1 mg/l 以下
		生物特 B	1 mg/l 以下
	海域	生物 A	0.3 mg/l 以下
		生物特 A	0.03 mg/l 以下

表4 地下水の水質汚濁に係る環境基準（平成9年環境庁告示第10号）

項目	基準値	測定方法
カドミウム	0.01 mg/l以下	日本工業規格K0102（以下「規格」という。）55に定める方法
全シアン	検出されないこと。	規格38.1.2及び38.2に定める方法又は規格38.1.2及び38.3に定める方法
鉛	0.01 mg/l以下	規格54に定める方法
六価クロム	0.05 mg/l以下	規格65.2に定める方法
窒素	0.01 mg/l以下	規格61.2又は61.3に定める方法
総水銀	0.0005 mg/l以下	付表1に掲げる方法
アルキル水銀	検出されないこと。	付表2に掲げる方法
P C B	検出されないこと。	付表3に掲げる方法
ジクロロメタン	0.02 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	0.002 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1,1-ジクロロエチレン	0.02 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	0.03 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	0.01 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	0.006 mg/l以下	付表4に掲げる方法
シマジン	0.003 mg/l以下	付表5の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	0.02 mg/l以下	付表5の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	0.01 mg/l以下	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	0.01 mg/l以下	規格67.2又は67.3に定める方法
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/l以下	硝酸性窒素にあつては規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5に定める方法、亜硝酸性窒素にあつては規格43.1に定める方法
ふつ素	0.8 mg/l以下	規格34.1に定める方法又は付表6に掲げる方法
ほう素	1 mg/l以下	規格47.1若しくは47.3に定める方法又は付表7に掲げる方法
備考		
1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。		
2 「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。		
3 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。		

注 「付表」とは、水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年12月28日 環境庁告示第59号）の告示の付表をいう。



### 3 水質汚濁防止関係法令の概要

例 ㊦ 水質汚濁防止法                      ㊧ 水質汚濁防止法施行令                      ㊨ 水質汚濁防止法施行規則  
 ㊩ 排水基準を定める省令                      ㊪ 富山県公害防止条例                      ㊫ 富山県公害防止条例施行規則

法令名		規制対象工場	規制物質及び項目		
水質汚濁防止法	公共用水域	特定事業場 (特定施設を設置する工場又は事業場)	有害物質	①カドミウム及びその化合物 ②シアン化合物 ③有機燐化合物(パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、E P Nに限る。) ④鉛及びその化合物 ⑤六価クロム化合物 ⑥砒素及びその化合物 ⑦水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 ⑧アルキル水銀化合物 ⑨ポリ塩化ビフェニル ⑩トリクロロエチレン ⑪テトラクロロエチレン ⑫ジクロロメタン ⑬四塩化炭素 ⑭1,2-ジクロロエタン ⑮1,1-ジクロロエチレン ⑯シス-1,2-ジクロロエチレン ⑰1,1,1-トリクロロエタン ⑱1,1,2-トリクロロエタン ⑲1,3-ジクロロプロペン ⑳チウラム ㉑シマジン ㉒チオベンカルブ ㉓ベンゼン ㉔セレン及びその化合物 ㉕ほう素及びその化合物 ㉖ふつ素及びその化合物 ㉗アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	
		特定施設 ㊦ 2 ㊦ 2 ㊧ 1	㊦ 2 ㊦ 2 ㊦ 1 ㊧ 2	その他の項目	①水素イオン濃度 ②生物学的酸素要求量 ③化学的酸素要求量 ④浮遊物質 ⑤ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量) ⑥ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量) ⑦フェノール類含有量 ⑧銅含有量 ⑨亜鉛含有量 ⑩溶解性鉄含有量 ⑪溶解性マンガン含有量 ⑫クロム含有量 ⑬大腸菌群数 ⑭窒素含有量 ⑮燐含有量
		貯油事業場等 (特定事業場以外の工場又は事業場で貯油施設を設置するもの) 貯油施設等 ㊦ 2 ㊦ 4 ㊧ 3 の 4	油 ㊦ 2 ㊦ 4 ㊧ 3 の 3	①原油 ②重油 ③潤滑油 ④軽油 ⑤灯油 ⑥揮発油 ⑦動植物油	
	地下水	有害物質使用 特定事業場 (有害物質使用 特定施設を設置する工場又は事業場) 有害物質使用 特定施設 ㊦ 2 ㊦ 7	有害物質	法に定める物質	
		貯油事業場等 ㊦ 2 ㊦ 4 ㊧ 3 の 4	油	法に定める油	
	上水道	㊦ 3 ㊦ 3	有害物質	法に定める物質のうち①、②及び⑥	
		その他の項目	法に定める項目のうち②、③、④、⑥、⑦及び⑧		
富山県公害防止条例	公共用水域	特定施設を設置する工場又は事業場	有害物質 ㊪ 2 ㊪ 3	法に定める物質と同様	
		㊪ 2 ㊪ 4 ㊫ 2	その他の項目 ㊪ 2 ㊪ 3	法に定める項目のうち①～⑬	
	地下水	有害物質使用 特定事業場 ㊪ 2 ㊪ 5	水質関係 有害物質 ㊪ 2 ㊪ 5 ㊫ 2 の 2	法に定める有害物質と同様	

条 項 号

: : :

法 1 ② ③

基準・規則	届 出 等	行 政 措 置	そ の 他
一般基準 法 3 ①② 法 1 排出規則 法 12 ①	①施設設置届 法 5 ① ②施設使用届 法 6 ③構造等の変更届 法 7 ④氏名等の変更届及び使用廃止届 法 10 ⑤承継届 法 11 ③ ⑥事故時の措置 法 14 の 2 ①	①計画変更命令 法 8 ②改善、一時停止命令 法 13 ③事故時の措置命令 法 14 の 2 ③ ④緊急時の措置命令 法 18 ⑤罰則 法 30, 31, 32, 33, 34, 35	排出水の汚染状態の測定義務 法 14 ①
	事故時の措置 法 14 の 2 ① 事故時の措置 法 14 の 2 ②	①事故時の措置命令 法 14 の 2 ③ ②罰則 法 31	
(地下浸透基準) 法 6 の 2 排出規則 法 12 の 3	①施設設置届 法 5 ② ②施設使用届 法 6 ③構造等の変更届 法 7 ④氏名等の変更届及び使用廃止届 法 10 ⑤承継届 法 11 ③ ⑥事故時の措置 法 14 の 2 ①	①計画変更命令 法 8 ②改善、一時停止命令 法 13 の 2 ③事故時の措置命令 法 14 の 2 ③ ④地下水の水質の浄化に係る措置命令 法 14 の 3 ① ⑤罰則 法 30, 31, 32, 33, 34, 35	排出水の汚染状態の測定義務 法 14 ①
	事故時の措置 法 14 の 2 ① 事故時の措置 法 14 の 2 ②	①事故時の措置命令 法 14 の 2 ③ ②罰則 法 31	
法の基準に替えて、県内全公共用水域を対象に適用			
法の基準に替えて、県内の各河川ごとに設定			
一般基準 法 8 法 3	①施設設置届 法 9 ①、③ ②施設使用届 法 10 ③構造等の変更届 法 11 ① ④使用開始の報告 法 13 の 2 ⑤氏名等の変更及び使用廃止届 法 14 ⑥承継届 法 15 ③ ⑦改善措置報告 法 17	①計画変更命令 法 12 ① ②直罰 法 15 の 4 ③改善命令等 法 16 ③ ④事故時の措置命令 法 18 の 2 ② ⑤緊急措置要請 法 19	①測定義務 法 18 ②事故時の措置 法 18 の 2 ①
一般基準 法 8 附則 法 3	①施設設置届 法 9 ①、③ ②施設使用届 法 10 ③構造等の変更届 法 11 ① ④使用開始の報告 法 13 の 2 ⑤氏名等の変更及び使用廃止届 法 14 ⑥承継届 法 15 ③ ⑦改善措置報告 法 17	①計画変更命令 法 12 ① ②改善命令等 法 16 ③ ③事故時の措置命令 法 18 の 2 ②	
(地下浸透基準) 法 8 法 3	①施設設置届 法 9 ①、③ ②施設使用届 法 10 ③構造等の変更届 法 11 ① ④使用開始の報告 法 13 の 2 ⑤氏名等の変更及び使用廃止届 法 14 ⑥承継届 法 15 ③ ⑦改善措置報告 法 17	①計画変更命令 法 12 ① ②改善命令等 法 16 ③ ③事故時の措置命令 法 18 の 2 ②	



## 4 水質汚濁防止法に基づく届出について

届出の種類	届出を必要とする場合	届出様式	時期	届出を怠った場合等の罰則	届出者	提出部数
①特定施設の設置届 (法第5条)	工場等に特定施設を新たに設置しようとする場合	様式第1	特定施設の設置の工事着手予定日の60日前まで	届出をしなかったり、虚偽の届出をした場合 3ヶ月以下の懲役 又は30万円以下の罰金 (法第32条)	工場等から公共用水域に水を排出する者、工場等から地下へ水を浸透させる者	正副 2部
②特定施設の使用届 (法第6条)	施設が特定施設となった際、既にその施設を設置している場合	様式第1	施設が特定施設となった日から30日以内	同上 20万円以下の罰金 (法第33条)	施設を設置している者、特定地下浸透水を浸透させる者	
③特定施設の構造等の変更届 (法第7条)	①又は②の届出に係る特定施設の構造、使用方法、処理の方法、排出水の汚染状態及び量等を変更しようとする場合	様式第1	特定施設の構造等変更の着手予定日の60日前まで	同上 3ヶ月以下の懲役 又は 30万円以下の罰金 (法第32条)	①又は②の届出をした者	
④氏名等 (氏名、名称、住所、所在地、代表者氏名)の変更届 (法第10条)	①又は②の届出に係る氏名、名称、住所、所在地、代表者氏名に変更があった場合	様式第5	変更した日から30日以内	同上 10万円以下の過料 (法第35条)	①又は②の届出をした者	
⑤特定施設の使用廃止届 (法第10条)	①又は②の届出に係る特定施設の使用を廃止した場合	様式第6	廃止した日から30日以内	同上 10万円以下の過料 (法第35条)	①又は②の届出をした者	
⑥承継届 (法第11条)	①又は②の届出者の地位を継承した場合(譲受、借受、相続、合併によるもの)	様式第7	承継があった日から30日以内	同上 10万円以下の過料 (法第35条)	①又は②の届出者の地位を継承した者	

- 備考 1 届出書は、県環境保全課に提出してください。ただし、富山市については富山市環境保全課に提出してください。
- 2 届出書の用紙は、県環境保全課及び富山市環境保全課に備えてあります。
- 3 届出については、記載要領に不明な点は、提出先の県環境保全課または富山市環境保全課にお問い合わせください。
- 4 受理書は、審査のうえ届出者に交付します。

◎ 水質汚濁防止法に基づく特定施設

平成 13 年 7 月 1 日現在

- 1 鉱業又は水洗炭業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 選鉱施設      ロ 選炭施設      ハ 抗水中和沈でん施設      ニ 掘さく用の泥水分離施設
- 1 の 2 畜産農業又はサービス業の用に供する施設であって、次に掲げるもの（昭和 47 年 10 月 1 日追加）  
イ 豚房施設（豚房の総面積が 50 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）  
ロ 牛房施設（牛房の総面積が 200 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）  
ハ 馬房施設（馬房の総面積が 500 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）
- 2 畜産食料品製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設（洗びん施設を含む。）      ハ 湯煮施設
- 3 水産食料品製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 水産動物原料処理施設      ロ 洗浄施設      ハ 脱水施設      ニ ろ過施設  
ホ 湯煮施設
- 4 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設      ハ 圧搾施設      ニ 湯煮施設
- 5 みそ、しょう油、食用アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、ソース又は食酢の製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設      ハ 湯煮施設      ニ 濃縮施設      ホ 精製施設  
ヘ ろ過施設
- 6 小麦粉製造業の用に供する洗浄施設
- 7 砂糖製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設（流送施設を含む。）      ハ ろ過施設      ニ 分離施設  
ホ 精製施設
- 8 パン若しくは菓子の製造業又は製あん業の用に供する粗製あんの沈でんそう
- 9 米菓製造業又はこうじ製造業の用に供する洗米機
- 10 飲料製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設（洗びん施設を含む。）      ハ 搾汁施設      ニ ろ過施設  
ホ 湯煮施設      ヘ 蒸りゅう施設
- 11 動物系飼料又は有機質肥料の製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設      ハ 圧搾施設      ニ 真空濃縮施設  
ホ 水洗式脱臭施設
- 12 動植物油脂製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設      ハ 圧搾施設      ニ 分離施設
- 13 イースト製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ 洗浄施設      ハ 分離施設
- 14 でん粉又は化工でん粉の製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料浸せき施設      ロ 洗浄施設（流送施設を含む。）      ハ 分離施設  
ニ 渋だめ及びこれに類する施設
- 15 ぶどう糖又は水あめの製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
イ 原料処理施設      ロ ろ過施設      ハ 精製施設
- 16 めん類製造業の用に供する湯煮施設
- 17 豆腐又は煮豆の製造業の用に供する湯煮施設
- 18 インスタントコーヒー製造業の用に供する抽出施設
- 18 の 2 冷凍調理食品製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの（昭和 57 年 1 月 1 日追加）  
イ 原料処理施設      ロ 湯煮施設      ハ 洗浄施設
- 18 の 3 たばこ製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの（昭和 57 年 1 月 1 日追加）  
イ 水洗式脱臭施設      ロ 洗浄施設

- 19 紡績業又は繊維製品の製造業若しくは加工業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ まゆ湯煮施設      ロ 副蚕処理施設      ハ 原料浸せき施設  
 ニ 精練機及び精練そう      ホ シルケット機      ヘ 漂白機及び漂白そう  
 ト 染色施設      チ 薬液浸透施設      リ のり抜き施設（昭和49年12月1日追加）
- 20 洗毛業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 洗毛施設      ロ 洗化炭施設
- 21 化学繊維製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 湿式紡糸施設      ロ リンター又は未精練繊維の薬液処理施設      ハ 原料回収施設
- 21の2 一般製材業又は木材チップ製造業の用に供する湿式バーカー（昭和57年1月1日追加）
- 21の3 合板製造業の用に供する接着機洗浄施設（昭和57年1月1日追加）
- 21の4 パーティクルボード製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの（昭和57年1月1日追加）  
 イ 湿式バーカー      ロ 接着機洗浄施設
- 22 木材薬品処理業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 湿式バーカー      ロ 薬液浸透施設
- 23 パルプ、紙又は紙加工品の製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 原料浸せき施設      ロ 湿式バーカー      ハ 碎木機      ニ 蒸解施設  
 ホ 蒸解廃液濃縮施設      ヘ チップ洗浄施設及びパルプ洗浄施設      ト 漂白施設  
 チ 抄紙施設（抄造施設を含む。）      リ セロハン製膜施設      ヌ 湿式繊維板成型施設  
 ル 廃ガス洗浄施設
- 23の2 新聞業、出版業、印刷業又は製版業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの（昭和57年1月1日追加）  
 イ 自動式フィルム現像洗浄施設      ロ 自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設
- 24 化学肥料製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ ろ過施設      ロ 分離施設      ハ 水洗式破碎施設      ニ 廃ガス洗浄施設  
 ホ 湿式集じん施設
- 25 水銀電解法によるか性ソーダ又はか性カリの製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 塩水精製施設      ロ 電解施設
- 26 無機顔料製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 洗浄施設      ロ ろ過施設      ハ カドミウム系無機顔料製造施設のうち、遠心分離機  
 ニ 群青製造施設のうち、水洗式分別施設      ホ 廃ガス洗浄施設
- 27 前2号に掲げる事業以外の無機化学工業製品製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ ろ過施設      ロ 遠心分離機      ハ 硫酸製造施設のうち、亜硫酸ガス冷却洗浄施設  
 ニ 活性炭又は二硫化炭素の製造施設のうち、洗浄施設  
 ホ 無水けい酸製造施設のうち、塩酸回収施設      ヘ 青酸製造施設のうち、反応施設  
 ト よう素製造施設のうち、吸着施設及び沈でん施設  
 チ 海水マグネシア製造施設のうち、沈でん施設  
 リ バリウム化合物製造施設のうち、水洗式分別施設      ヌ 廃ガス洗浄施設  
 ル 湿式集じん施設
- 28 カーバイド法アセチレン誘導品製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 湿式アセチレンガス発生施設  
 ロ さく酸エステル製造施設のうち、洗浄施設及び蒸りゅう施設  
 ハ ポリビニルアルコール製造施設のうち、メチルアルコール蒸りゅう施設  
 ニ アクリル酸エステル製造施設のうち、蒸りゅう施設      ホ 塩化ビニルモノマー洗浄施設  
 ヘ クロロブレンモノマー洗浄施設
- 29 コールタール製品製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ ベンゼン類硫酸洗浄施設      ロ 静置分離器      ハ タール酸ソーダ硫酸分解施設
- 30 発酵工業（第5号、第10号及び第13号に掲げる事業を除く。）の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 原料処理施設      ロ 蒸りゅう施設      ハ 遠心分離機      ニ ろ過施設

- 31 メタン誘導品製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ メチルアルコール又は四塩化炭素の製造施設のうち、蒸りゆう施設  
 ロ ホルムアルデヒド製造施設のうち、精製施設  
 ハ フロンガス製造施設のうち、洗浄施設及びろ過施設
- 32 有機顔料又は合成染料の製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ ろ過施設      ロ 顔料又は染色レーキの製造施設のうち、水洗施設  
 ハ 遠心分離機      ニ 廃ガス洗浄施設
- 33 合成樹脂製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ 縮合反応施設      ロ 水洗施設      ハ 遠心分離機      ニ 静置分離器  
 ホ 弗素樹脂製造施設のうち、ガス冷却洗浄施設及び蒸りゆう施設  
 ヘ ポリプロピレン製造施設のうち、溶剤蒸りゆう施設  
 ト 中圧法又は低圧法によるポリエチレン製造施設のうち、溶剤回収施設  
 チ ポリブテンの酸又はアルカリによる処理施設      リ 廃ガス洗浄施設  
 ヌ 湿式集じん施設
- 34 合成ゴム製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ ろ過施設      ロ 脱水施設      ハ 水洗施設      ニ ラテックス濃縮施設  
 ホ スチレン・ブタジエンゴム、ニトリル・ブタジエンゴム又はポリブタジエンゴムの製造施設のう  
 ち、静置分離器
- 35 有機ゴム薬品製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ 蒸りゆう施設      ロ 分離施設      ハ 廃ガス洗浄施設
- 36 合成洗剤製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ 廃酸分離施設      ロ 廃ガス洗浄施設      ハ 湿式集じん施設
- 37 前6号に掲げる事業以外の石油化学工業（石油又は石油副生ガス中に含まれる炭化水素の分解、分離  
 その他の化学的処理により製造される炭化水素又は炭化水素誘導品の製造業をいい、第51号に掲げる  
 事業を除く。）の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ 洗浄施設      ロ 分離施設      ハ ろ過施設  
 ニ アクリロニトリル製造施設のうち、急冷施設及び蒸りゆう施設  
 ホ アセトアルデヒド、アセトン、カプロラクタム、テレフタル酸又はトリレンジアミンの製造施設  
 のうち、蒸りゆう施設  
 ヘ アルキルベンゼン製造施設のうち、酸又はアルカリによる処理施設  
 ト イソプロピルアルコール製造施設のうち、蒸りゆう施設及び硫酸濃縮施設  
 チ エチレンオキシド又はエチレングリコールの製造施設のうち、蒸りゆう施設及び濃縮施設  
 リ 2-エチルヘキシルアルコール又はイソブチルアルコールの製造施設のうち、縮合反応施設及び  
 蒸りゆう施設  
 ヌ シクロヘキサノン製造施設のうち、酸又はアルカリによる処理施設  
 ル トリレンジイソシアネート又は無水フタル酸の製造施設のうち、ガス冷却洗浄施設  
 オ ノルマルパラフィン製造施設のうち、酸又はアルカリによる処理施設及びメチルアルコール蒸り  
 ゆう施設  
 ワ プロピレンオキシド又はプロピレングリコールのけん化器  
 カ メチルエチルケトン製造施設のうち、水蒸気凝縮施設  
 ヨ メチルメタアクリレートモノマー製造施設のうち、反応施設及びメチルアルコール回収施設  
 タ 廃ガス洗浄施設
- 38 石けん製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ 原料精製施設      ロ 塩析施設
- 39 硬化油製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ 脱酸施設      ロ 脱臭施設
- 40 脂肪酸製造業の用に供する蒸りゆう施設
- 41 香料製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ 洗浄施設      ロ 抽出施設

- 42 ゼラチン又はにかわの製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 原料処理施設      ロ 石灰づけ施設      ハ 洗浄施設
- 43 写真感光材料製造業の用に供する感光剤洗浄施設
- 44 天然樹脂製品製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 原料処理施設      ロ 脱水施設
- 45 木材化学工業の用に供するフルフラール蒸りゅう施設
- 46 第28号から前号までに掲げる事業以外の有機化学工業製品製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 水洗施設      ロ ろ過施設      ハ ヒドラジン製造施設のうち、濃縮施設  
 ニ 廃ガス洗浄施設
- 47 医薬品製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 動物原料処理施設      ロ ろ過施設      ハ 分離施設  
 ニ 混合施設（第2条各号に掲げる物質を含有する物を混合するものに限る。以下同じ。）  
 ホ 廃ガス洗浄施設
- 48 火薬製造業の用に供する洗浄施設
- 49 農薬製造業の用に供する混合施設
- 50 第2条各号に掲げる物質を含有する試薬の製造業の用に供する試薬製造施設
- 51 石油精製業（潤滑油再生業を含む。）の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 脱塩施設      ロ 原油常圧蒸りゅう施設      ハ 脱硫施設  
 ニ 揮発油、灯油又は軽油の洗浄施設      ホ 潤滑油洗浄施設
- 51の2 自動車用タイヤ若しくは自動車用チューブの製造業、ゴムホース製造業、工業用ゴム製品製造業（防振ゴム製造業を除く。）、更生タイヤ製造業又はゴム板製造業の用に供する直接加硫施設（昭和57年1月1日追加）
- 51の3 医療用若しくは衛生用のゴム製品製造業、ゴム手袋製造業、糸ゴム製造業又はゴムバンド製造業の用に供するラテックス成型洗浄施設（昭和57年1月1日追加）
- 52 皮革製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 洗浄施設      ロ 石灰づけ施設      ハ タンニンづけ施設      ニ クロム浴施設  
 ホ 染色施設
- 53 ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 研磨洗浄施設      ロ 廃ガス洗浄施設
- 54 セメント製品製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 抄造施設      ロ 成型機      ハ 水養生施設（蒸気養生施設を含む。）
- 55 生コンクリート製造業の用に供するバッチャープラント
- 56 有機質砂かべ材製造業の用に供する混合施設
- 57 人造黒鉛電極製造業の用に供する成型施設
- 58 窯業原料（うわ薬原料を含む。）の精製業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 水洗式破碎施設      ロ 水洗式分別施設      ハ 酸処理施設      ニ 脱水施設
- 59 碎石業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 水洗式破碎施設      ロ 水洗式分別施設
- 60 砂利採取業の用に供する水洗式分別施設
- 61 鉄鋼業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ タール及びガス液分離施設      ロ ガス冷却洗浄施設      ハ 圧延施設  
 ニ 焼入れ施設      ホ 湿式集じん施設
- 62 非鉄金属製造業の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 還元そう      ロ 電解施設（熔融塩電解施設を除く。）      ハ 焼入れ施設  
 ニ 水銀精製施設      ホ 廃ガス洗浄施設      ヘ 湿式集じん施設
- 63 金属製品製造業又は機械器具製造業（武器製造業を含む。）の用に供する施設であつて、次に掲げるもの  
 イ 焼入れ施設      ロ 電解式洗浄施設      ハ カドミウム電極又は鉛電極の化成施設  
 ニ 水銀精製施設      ホ 廃ガス洗浄施設（塗装水洗ブースを含む。）



- 63 の 2 空きびん卸売業の用に供する自動式洗びん施設（昭和 57 年 1 月 1 日追加）
- 63 の 3 石炭を燃料とする火力発電施設のうち、廃ガス洗浄施設（平成 13 年 7 月 1 日追加）
- 64 ガス供給業又はコークス製造業の用に供する施設であって、次に掲げるもの  
 イ タール及びガス液分離施設      ロ ガス冷却洗浄施設（脱硫化水素施設を含む。）
- 64 の 2 水道施設（水道法（昭和 32 年法律第 177 号）第 3 条第 8 項に規定するものをいう。）、工業用水道施設（工業用水道事業法（昭和 33 年法律第 84 号）第 2 条第 6 項に規定するものをいう。）又は自家用工業用水道（同法第 21 条第 1 項に規定するものをいう。）の施設のうち、浄水施設であって、次に掲げるもの（これらの浄水能力が 1 日当たり 1 万立方メートル未満の事業場に係るものを除く。）  
 （昭和 51 年 6 月 1 日追加）  
 イ 沈でん施設      ロ ろ過施設
- 65 酸又はアルカリによる表面処理施設
- 66 電気めっき施設
- 66 の 2 旅館業（旅館業法（昭和 23 年法律第 138 号）第 2 条第 1 項に規定するもの（下宿営業を除く。）をいう。）の用に供する施設であって、次に掲げるもの（昭和 49 年 12 月 1 日追加）  
 イ ちゅう房施設      ロ 洗たく施設      ハ 入浴施設
- 66 の 3 共同調理場（学校給食法（昭和 29 年法律第 160 号）第 5 条の 2 に規定する施設をいう。以下同じ。）に設置されるちゅう房施設（業務の用に供する部分の総床面積（以下単に「総床面積」という。）が 500 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）（昭和 63 年 10 月 1 日追加）
- 66 の 4 弁当仕出屋又は弁当製造業の用に供するちゅう房施設（総床面積が 360 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）（昭和 63 年 10 月 1 日追加）
- 66 の 5 飲食店（次号及び第 66 号の 7 に掲げるものを除く。）に設置されるちゅう房施設（総床面積が 420 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）（昭和 63 年 10 月 1 日追加）
- 66 の 6 そば店、うどん店、すし店のほか、喫茶店その他の通常主食と認められる食事を提供しない飲食店（次号に掲げるものを除く。）に設置されるちゅう房施設（総床面積が 630 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）（昭和 63 年 10 月 1 日追加）
- 66 の 7 料亭、バー、キャバレー、ナイトクラブその他これらに類する飲食店で設備を設けて客の接待をし、又は客にダンスをさせるものに設置されるちゅう房施設（総床面積が 1,500 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）（昭和 63 年 10 月 1 日追加）
- 67 洗たく業の用に供する洗浄施設
- 68 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設
- 68 の 2 病院（医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 1 条の 5 第 1 項に規定するものをいう。以下同じ。）で病床数が 300 以上であるものに設置される施設であって、次に掲げるもの（昭和 54 年 5 月 10 日追加）  
 イ ちゅう房施設      ロ 洗浄施設      ハ 入浴施設
- 69 と畜業又は死亡獣畜取扱業の用に供する解体施設
- 69 の 2 中央卸売市場（卸売市場法（昭和 46 年法律第 35 号）第 2 条第 3 項に規定するものをいう。）に設置される施設であって、次に掲げるもの（水産物に係るものに限る。）（昭和 51 年 6 月 1 日追加）  
 イ 卸売場      ロ 仲卸売場
- 69 の 3 地方卸売市場（卸売市場法第 2 条第 4 項に規定するもの（卸売市場法施行令（昭和 46 年政令第 221 号）第 2 条第 2 号に規定するものを除く。）をいう。）に設置される施設であって、次に掲げるもの（水産物に係るものに限る。これらの総床面積が 1,000 平方メートル未満の事業場に係るものを除く。）（昭和 57 年 7 月 1 日追加）  
 イ 卸売場      ロ 仲卸売場
- 70 廃油処理施設（海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律（昭和 45 年法律第 136 号）第 3 条第 14 号に規定するものをいう。）
- 70 の 2 自動車分解整備事業（道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）第 77 条に規定するものをいう。以下同じ。）の用に供する洗車施設（屋内作業場の総面積が 800 平方メートル未満の事業場に係るもの及び次号に掲げるものを除く。）（昭和 57 年 1 月 1 日追加）
- 71 自動式車両洗浄施設

- 71 の2 科学技術（人文科学のみに係るものを除く。）に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う事業場で環境省令で定めるものに設置されるそれらの業務の用に供する施設であって、次に掲げるもの（昭和49年12月1日追加）
- イ 洗浄施設
  - ロ 焼入れ施設
- 71 の3 一般廃棄物処理施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第8条第1項に規定するものをいう。）である焼却施設（昭和54年5月10日追加）
- 71 の4 産業廃棄物処理施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項に規定するものをいう。）のうち、次に掲げるもの
- イ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第7条第1号、第3号から第6号まで、第8号又は第11号に掲げる施設であって、国若しくは地方公共団体又は産業廃棄物処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第2条第4項に規定する産業廃棄物の処分を業として行う者（同法第14条第6項ただし書の規定により同項本文の許可を受けることを要しない者及び同法第14条の4第6項ただし書の規定により同項本文の許可を受けることを要しない者を除く。）をいう。）が設置するもの（昭和57年1月1日追加）
  - ロ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第7条第12号から第13号までに掲げる施設（平成10年6月17日追加）
- 71 の5 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン又はジクロロメタンによる洗浄施設（前各号に該当するものを除く。）（平成3年10月1日及び平12年3月1日追加）
- 71 の6 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン又はジクロロメタンの蒸留施設（前各号に該当するものを除く。）（平成3年10月1日及び平12年3月1日追加）
- 72 し尿処理施設（建築基準法施行令第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が500人以下のし尿浄化槽を除く。）
- 73 下水道終末処理施設
- 74 特定事業場から排出される水（公共用水域に排出されるものを除く。）の処理施設（前2号に掲げるものを除く。）

（注）水質汚濁防止法施行規則

第1条の2 令別表第1第71号の2の環境省令で定める事業場は、次に掲げる事業場とする。

- (1) 国又は地方公共団体の試験研究機関（人文科学のみに係るものを除く。）
- (2) 大学及びその附属試験研究機関（人文科学のみに係るものを除く。）
- (3) 学術研究（人文科学のみに係るものを除く。）又は製品の製造若しくは技術の改良、考案若しくは発明に係る試験研究を行う研究所（前2号に該当するものを除く。）
- (4) 農業、水産又は工業に関する学科を含む専門教育を行う高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校、職員訓練施設又は職業訓練施設
- (5) 保健所
- (6) 検疫所
- (7) 動物検疫所
- (8) 植物防疫所
- (9) 家畜保健衛生所
- (10) 検査業に属する事業場
- (11) 商品検査業に属する事業場
- (12) 臨床検査業に属する事業場
- (13) 犯罪鑑識施設

(参 考)

富山県公害防止条例に基づく特定施設（水質関係）

施 設 の 種 類		
項	用 途	施 設 の 名 称
1	農産保存食料品製造業の用に供するもの	浸せき施設
2	納豆製造業の用に供するもの	蒸煮施設
3	繊維工業の用に供するもの	(1) のり付施設 (2) ゴム引き施設
4	造作材、合板、建築用組立材料又は家具製造業の用に供するもの	(1) のり付施設（合板製造業の用に供する接着機洗浄施設を除く。） (2) 薬品等調合施設 (3) 塗装水洗ブース施設
5	加工紙、紙製品又は紙製容器製造業の用に供するもの	のり付施設
6	出版、印刷、同関連産業の用に供するもの	(1) 印刷版洗浄研磨施設 (2) 現像施設（新聞業、出版業、印刷業又は製版業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設及び自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設を除く。）
7	化学工業の用に供するもの	(1) 反応施設 (2) 脱水施設 (3) 分離施設 (4) 精製施設 (5) 混合施設 (6) 廃ガス洗浄施設
8	舗装材料製造業の用に供するもの	アスファルトプラント
9	ゴム製品製造業の用に供するもの	(1) ゴム表面酸洗施設 (2) ゴム加硫施設（自動車用タイヤ若しくは自動車用チューブの製造業、ゴムホース製造業、工業用ゴム製品製造業（防振ゴム製造業を除く。）、更正タイヤ製造業又はゴム板製造業の用に供する直接加硫施設を除く。） (3) 混練ロール施設
10	建設用粘土製品製造業の用に供するもの	(1) 成型加工施設 (2) 混和施設 (3) 調合施設
11	研磨材、同製品製造業の用に供するもの	(1) 洗浄施設 (2) 混合施設

施 設 の 種 類		
項	用 途	施 設 の 名 称
12	石工品製造業の用に供するもの	(1) 湿式研摩施設 (2) 成型加工施設
13	石膏製品製造業の用に供するもの	湿式集じん施設
14	非鉄金属製造業の用に供するもの	(1) 反応施設（還元槽を除く。） (2) 脱水施設 (3) 分離施設
15	金属製品製造業又は機械器具製造業（武器製造業を含む。）の用に供するもの	(1) 溶剤又は洗剤洗浄施設 (2) 塗装水洗ブース施設 (3) 湿式集じん施設
16	染色機械用スクリーン製造業の用に供するもの	スクリーン定着洗浄施設
17	がん具、運動競技用具製造業の用に供するもの	のり付施設
18	プラスチック製品製造業の用に供するもの	(1) 油圧による成型施設 (2) 塗装水洗ブース施設
19	マッチ製造業の用に供するもの	原料回収施設
20	<p>飲食料品小売業又は集団給食の用に供するもの（1日の通常の排水量が50立方メートル以上のものに限る。）ただし、次に掲げる事業場に係るものを除く。</p> <p>(1) 弁当仕出屋にあつては、業務の用に供する部分の総床面積が360平方メートル以上である事業場</p> <p>(2) 共同調理場（学校給食法（昭和29年法律第160号）第5条の2に規定する施設をいう。）にあつては、業務の用に供する部分の総床面積が500平方メートル以上である事業場</p>	給食用調理施設
21	<p>動物の飼養の用に供するもの（牛に係るものにあつては牛房の総面積が200平方メートル未満であり、かつ、5頭以上の飼養の用に供するもの、豚（生後2箇月未満のものを除く。）に係るものにあつては豚房の総面積が50平方メートル未満であり、かつ、50頭（はん殖豚にあつては5頭）以上の飼養の用に供するもの、鶏（30日未満のひなを除く。）に係るものにあつては1,000羽以上の飼養の用に供するものに限る。）</p>	(1) 飼養施設 (2) 飼料調理施設（加熱するものに限る。） (3) ふん尿処理施設
22	<p>獣畜、魚介類又は鳥類の肉、皮、骨、臓器等を化製場等に供給するもの</p>	原料貯蔵施設

## 5 水質汚濁防止法に基づく一律排水基準

### (1) 有害物質

有害物質の種類	許容限度	有害物質の種類	許容限度
カドミウム及びその化合物	0.1 mg/l	1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/l
シアン化合物	1 mg/l	1,1-ジクロロエチレン	0.2 mg/l
有機リン化合物 (パラチオン、メチルパラチオン、 メチルジメトシ及びEPNに 限る)	1 mg/l	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/l
鉛及びその化合物	0.1 mg/l	1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/l
六価クロム化合物	0.5 mg/l	1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/l
ひ素及びその化合物	0.1 mg/l	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/l
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005 mg/l	チウラム	0.06 mg/l
アルキル水銀化合物	検出されないこと。	シマジン	0.03 mg/l
ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/l	チオベンカルブ	0.2 mg/l
トリクロロエチレン	0.3 mg/l	ベンゼン	0.1 mg/l
テトラクロロエチレン	0.1 mg/l	セレン及びその化合物	0.1 mg/l
ジクロロメタン	0.2 mg/l	ほう素及びその化合物	海域以外 10 mg/l 海域 230 mg/l
四塩化炭素	0.02 mg/l	ふっ素及びその化合物	海域以外 8 mg/l 海域 15 mg/l
		アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100 mg/l

- 備考 1 アルキル水銀の「検出されないこと」とは、0.0005mg/l未滿をいう。
- 2 ひ素及びその化合物についての排水基準は、水質汚濁防止法施行令及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令（昭和49年政令第363号）の施行の際、現にゆう出している温泉を利用する旅館業に属する事業場に係る排水については、当分の間、適用しない。
- 3 アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物に係る排水基準は、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量である。
- 4 別表1に掲げる有害物質の種類ごとに同表に掲げる業種に属する工場・事業場に係る排水基準は、平成21年1月31日までは同表のとおりとする。
- 5 別表2に掲げる有害物質の種類ごとに同表に掲げる業種その他区分に属する工場・事業場に係る排水基準は、平成22年6月30日までは同表のとおりとする。

別表1

有害物質の種類	業 種	許容限度 (mg/l)
セレン及び その化合物 (単位 セレンの 量に関して、 mg/l)	セレン化合物製造業	0.3

別表2

有害物質の種類	業 種 其 他 の 区 分	許容限度 (mg/l)
ふっ素及び その化合物 (単位 ふっ素の 量に関して、 mg/l)	ほうろう鉄器製造業(海域以外の水域に排出するものに限る。)	50
	うわ薬製造業(ほうろううわ薬を製造し、かつ、海域以外の水域に排出するものに限る。)	
	貴金属製造・再生業(海域以外の水域に排出するものに限る。)	
	電気めっき業(海域以外の水域に排出するものに限る。)	
	下水道業(旅館業に属する特定事業場から排出される水を受け入れている下水道終末処理施設を有するもので一定のものであり、かつ、海域以外の水域に排出するものに限る。)	80
	ほう酸製造業(海域以外の水域に排出するものに限る。)	
	金属鋳業(海域以外の水域に排出するものに限る。)	150
	粘土かわら製造業(うわ薬かわらを製造し、かつ、海域以外の水域に排出するものに限る。)	
うわ薬製造業(うわ薬かわらの製造に供するものを製造し、かつ、海域以外の水域に排出するものに限る。)		
	旅館業(温泉を利用するものに限る。)	500
ほう素及び その化合物 (単位 ほう素の量 に関して、mg/l)	化学肥料製造業(海域以外の水域に排出するものに限る。)	10
	非鉄金属精錬業・精製業(海域以外の水域に排出するものに限り、貴金属製造・再生業を除く。)	11
	ほうろう鉄器製造業(排水量50m <sup>3</sup> /日以上で、かつ、海域以外の水域に排出するものに限る。)	15
	うわ薬製造業(排水量50m <sup>3</sup> /日以上で、かつ、ほうろううわ薬を製造し、海域以外の水域に排出するものに限る。)	
	電気めっき業(排水量50m <sup>3</sup> /日以上で、かつ、海域以外の水域に排出するものに限る。)	
	旅館業(排水量50m <sup>3</sup> /日以上で、昭和49年12月1日において現に湧出している温泉を利用する旅館業に属さず、かつ、温泉を利用し、海域以外の水域に排出するものに限る。)	25
	ほうろう鉄器製造業(排水量50m <sup>3</sup> /日未満に限る。)	
	うわ薬製造業(排水量50m <sup>3</sup> /日未満で、かつ、ほうろううわ薬を製造するものに限る。)	
電気めっき業(排水量50m <sup>3</sup> /日未満に限る。)		
	旅館業(排水量50m <sup>3</sup> /日未満で、かつ、温泉を利用するもの及び昭和49年12月1日において現に湧出する温泉を利用するものに限る。)	50
アンモニア・アン モニウム化合物、 亜硝酸化合物及 び硝酸化合物 (単位 アンモニア 性窒素に0.4を乗 じたもの、亜硝酸 性窒素及び硝酸 性窒素の合計量 に関して、mg/l)	イットリウム酸化物製造業	150
	下水道業(モリブデン化合物製造業等一定の業種からの汚水等を受け入れる下水道終末処理施設を有するものに限る。)	250
	酸化コバルト製造業	400
	電気めっき業	500
	炭酸バリウム製造業	800
	畜産農業	900
	黄鉛顔料製造業	
	すず化合物製造業及びジルコニウム化合物製造業	1,800
	硝酸銀製造業、モリブデン化合物製造業及びバナジウム化合物製造業	2,000
貴金属製造・再生業	4,000	

暫定排水基準の適用については、業種等の詳細な状況について判断が必要ですので、必ず相談窓口を確認してください。

(2) その他の項目 (生活環境項目)

項 目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的 酸素要求量 (BOD)	化学的酸素 要求量 (COD)	浮遊物質 量 (SS)	ノルマルヘキサン抽出物質		フェノール 類
	海域以外 河川・湖沼 (水素指数) 5.8~8.6	海 域 (水素指数) 5.0~9.0				鉍油類	動植物 油脂類	
許容限度			mg/l 160 (日間平均 120)	mg/l 160 (日間平均 120)	mg/l 200 (日間平均 150)	mg/l 5	mg/l 30	mg/l 5

項 目	銅	亜鉛	溶解性鉄	溶解性 マンガン	クロム	大腸菌群数	窒素	りん 燐
許容限度	mg/l 3	mg/l 2	mg/l 10	mg/l 10	mg/l 2	個/cm <sup>3</sup> 日間平均 3,000	mg/l 120 (日間平均 60)	mg/l 16 (日間平均 8)

- 備考 1 「日間平均」による許容限度は、1日の排出水の平均的な汚染状態について定めたものである。
- 2 この表に掲げる排水基準は、1日当たりの平均的な排出水の量が50立方メートル以上である工場又は事業場に係る排水水について適用する。
- 3 水素イオン濃度及び溶解性鉄含有量についての排水基準は、硫黄鉍業（硫黄と共存する硫化鉄鉍を掘採する鉍業を含む。）に属する工場又は事業場に係る排水水については適用しない。
- 4 水素イオン濃度、銅含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガン含有量及びクロム含有量についての排水基準は、水質汚濁防止法施行令及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行の際（昭和49年12月1日）現にゆう出している温泉を利用する旅館業に属する事業場に係る排水水については、当分の間、適用しない。
- 5 生物化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼以外の公共用水域に排出される排水水に限って適用し、化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼に排出される排水水に限って適用する。
- 6 窒素及びりん燐含有量についての排水基準は、窒素及びりん燐が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される排水水に限って適用する。
- 7 別表に掲げる項目につき同表に掲げる業種に属する工場・事業場に係る排水基準は、平成23年12月10日までは同表のとおりとする。

・環境大臣が定める湖沼（富山県分）

項目	湖 沼 名
窒 素	な し
りん 磷	五位ダム、桑ノ院ダム、布施川ダム、子撫川ダム、有峰ダム（有峰湖）、熊野川ダム、祐延ダム、黒部ダム（黒部湖）、上市川第二ダム、上市川ダム、白岩川ダム、朝日小川ダム、室牧ダム、藤ヶ池、桜ヶ池、城端ダム、境川ダム、利賀川ダム、白中ダム、刀利ダム

・環境大臣が定める海域（富山県分）……………該当なし。

別表

項目	業 種	許容限度
亜鉛含有量 (単 位 mg/l)	金属鉱業	5
	無機顔料製造業	
	無機化学工業製品製造業（ソーダ工業、無機顔料製造業、圧縮ガス・液化ガス製造業及び塩製造業を除く。以下同じ。）	
	表面処理鋼材製造業	
	非鉄金属第一次精錬・精製業	
	非鉄金属第二次精錬・精製業	
	建設用・建築用金属製品製造業（表面処理を行うものに限る。）	
	溶融めっき業	
	電気めっき業	
	下水道業（上記業種に属する特定事業場（下水道法（昭和33年法律第79号）第12条の2第1項に規定する事業場をいう。備考第2項において「下水道芳情の特定事業場」という。）から排出される水を受け入れるものであって、一定の条件に該当するものに限る。）	
備考		
<p>1 中欄にかかがる業種に属する特定事業場（水質汚濁防止法第2条第5項に規定する特定事業場をいう。以下この項において同じ。）が同時に注欄に掲げる業種以外の業種にも属する場合においては、当該特定事業場から排出される排出水の亜鉛含有量に係る排出基準については、右欄に掲げるものを適用する。</p> <p>2 「一定の条件」とは、次の算式により計算された値が2を超えることをいう</p> $\frac{\sum Ci \cdot Qi}{Q}$ <p>この式において、Ci、Qi及びQは、それぞれ次の値を表すものとする。</p> <p>Ci 当該下水道に水を排出する下水道芳情の特定事業場ごとの排出する水の亜鉛含有量の通常値（単位 mg/l）</p> <p>Qi 当該下水道に排出する下水道法上の特定事業場ごと排出する水の通常量（単位 m<sup>3</sup>/日）</p> <p>Q 当該下水道から排出される排出水の通常量（単位 m<sup>3</sup>/日）</p>		



## 6 水質汚濁防止法に基づく上乘せ排水基準

### (1) シアン化合物並びにヒ素、カドミウム及びその化合物に係る排水基準（別表1）

#### (1)-1 従来の基準

- ・シアン化合物並びにヒ素及びその化合物

公布日 昭和47年10月16日

施行日 昭和48年1月1日

適用日 昭和48年1月1日

- ・カドミウム及びその化合物

公布日 昭和48年9月29日

施行日 昭和49年3月1日

適用日 昭和49年3月1日

#### (1)-2 一部改正基準

- ・ヒ素及びその化合物

公布日 平成6年7月1日

施行日 平成6年7月1日

適用日 平成6年7月1日

### (2) 小矢部川水域に係る排水基準（別表2）

#### (2)-1 従来の基準

- ・新設工場に係る排水基準

公布日 昭和46年10月1日

施行日 昭和46年12月1日

適用日 昭和46年12月1日

- ・既設工場に係る排水基準

公布日 昭和47年12月21日

施行日 昭和48年6月24日

適用日 昭和48年6月24日

#### (2)-2 一部改正基準

- ・新設工場に係る排水基準

〔パルプ、紙又は紙加工品の製造業に係る  
BODにつき〕

公布日 昭和51年3月27日

施行日 昭和51年6月24日

適用日 昭和52年4月1日

- ・既設工場に係る排水基準

〔食料品製造業、染色整理業、クラフトパルプ  
製造業、サルファイトパルプ製造業及びケミ  
グラントパルプ製造業に係るBODにつき〕

公布日 昭和51年3月27日

施行日 昭和51年6月24日

適用日 昭和52年4月1日

### (3) 神通川水域に係る排水基準（別表3）

- ・新設工場に係る排水基準

公布日 昭和47年3月28日

施行日 昭和47年5月1日

適用日 昭和47年5月1日

- ・既設工場に係る排水基準

公布日 昭和47年3月28日

施行日 昭和47年5月1日

適用日 昭和48年5月1日

### (4) 白岩川水域に係る排水基準（別表4）

- ・新設工場に係る排水基準

公布日 昭和47年7月6日

施行日 昭和47年8月1日

適用日 昭和47年8月1日

- ・既設工場に係る排水基準

公布日 昭和47年7月6日

施行日 昭和47年8月1日

適用日 昭和48年8月1日

### (5) 庄川水域等に係る排水基準（別表5）

- ・新設工場に係る排水基準

公布日 昭和48年9月26日

施行日 昭和49年3月1日

適用日 昭和49年3月1日

- ・既設工場に係る排水基準

公布日 昭和48年9月29日

施行日 昭和49年3月1日

適用日 昭和49年9月1日

(6) 常願寺川水域等に係る排水基準（別表6）

・新設工場に係る排水基準

公布日 昭和49年12月19日

施行日 昭和50年1月1日

適用日 昭和50年1月1日

・既設工場に係る排水基準

公布日 昭和49年12月19日

施行日 昭和50年1月1日

適用日 昭和51年1月1日

(7) 吉田川水域に係る排水基準（別表7）

・新設工場に係る排水基準

公布日 昭和49年12月19日

施行日 昭和50年1月1日

適用日 昭和50年1月1日

・既設工場に係る排水基準

公布日 昭和49年12月19日

施行日 昭和50年1月1日

適用日 昭和51年1月1日

(8) 早月川水域等に係る排水基準（別表8）

・新設工場に係る排水基準

公布日 昭和51年3月27日

施行日 昭和51年4月1日

適用日 昭和51年4月1日

・既設工場に係る排水基準

公布日 昭和51年3月27日

施行日 昭和51年4月1日

適用日 昭和52年4月1日

(9) 有峰ダム貯水池（有峰湖）水域に係る排水基準（別表9）

・新設工場に係る排水基準

公布日 平成元年3月25日

施行日 平成元年5月1日

適用日 平成元年5月1日

・既設工場に係る排水基準

公布日 平成元年3月25日

施行日 平成元年5月1日

適用日 平成元年11月1日

(10) 黒部ダム貯水池（黒部湖）水域に係る排水基準（別表10）

・新設工場に係る排水基準

公布日 平成3年3月29日

施行日 平成3年5月1日

適用日 平成3年5月1日

・既設工場に係る排水基準

公布日 平成3年3月29日

施行日 平成3年5月1日

適用日 平成3年11月1日

(11) 境川ダム貯水池（桂湖）水域に係る排水基準（別表11）

・新設工場に係る排水基準

公布日 平成13年3月26日

施行日 平成13年5月1日

適用日 平成13年5月1日

・既設工場に係る排水基準

公布日 平成13年3月26日

施行日 平成13年5月1日

適用日 平成13年11月1日

別表1 シアン化合物並びにヒ素、カドミウム及びその化合物に係る排水基準

区 分	有害物質の種類及び許容限度			適用する 区 域
	カドミウム及び その化合物	シアン化合物	ヒ素及び その化合物	
1日当たりの平均的な排水の量(以下この表において「排水の量」という。)が10,000立方メートル以上50,000立方メートル未満の工場又は事業場	0.05 mg/l	0.5 mg/l		県内の全 公共用水域
排水の量が50,000立方メートル以上100,000立方メートル未満の工場又は事業場	0.03 mg/l	0.3 mg/l		
排水の量が100,000立方メートル以上の工場又は事業場	0.01 mg/l	0.1 mg/l	0.05 mg/l	

備考 この表に掲げる有害物質に係る許容限度の検定は、排水基準を定める省令(昭和46年総理府令第35号)第2条の規定に基づき、環境大臣が定める方法によるものとする。

別表2 小矢部川水域に係る排水基準

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度					適用する区域	
		生物化学的 酸素要求量 mg/l	浮遊物質 質量 mg/l	ノルマレキサン 抽出物質含有量(動物 植物プランクトン含有量) mg/l	フェノール 類含有量 mg/l	銅含有量 mg/l		
昭和46年12月1日において既に設置されている工場又は事業場(昭和46年12月1日において既に着工されているものを含む。)	一般地域に所在するもの	食品製造業に係るもの	120(日間平均100)	100(日間平均80)				小矢部川及びこれに流入する公共用水域
		染色整理業に係るもの	120(日間平均100)	90(日間平均70)				
		クラフトパルプ製造業に係るもの	昭和54年3月31日まで85(日間平均65) 昭和54年4月1日から80(日間平均60)	110(日間平均90)				
		サルファイトパルプ製造業に係るもの	昭和53年3月31日まで120(日間平均90) 昭和53年4月1日から昭和55年3月31日まで110(日間平均80) 昭和55年4月1日から100(日間平均70)	110(日間平均90)				
		ケミグランドパルプ製造業に係るもの	昭和54年3月31日まで125(日間平均95) 昭和54年4月1日から120(日間平均90)	110(日間平均90)				
		パルプ、紙又は紙加工品の製造業(クラフトパルプ製造業、サルファイトパルプ製造業及びケミグランドパルプ製造業を除く。)に係るもの	130(日間平均100)					

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度					適用する区域
		生物化学的 酸素要求量 mg/l	浮遊物質 量 mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物含有量(動 植物油脂含有量) mg/l	フェノール 類含有量 mg/l	銅含有量 mg/l	
昭和46年12月1日 （昭和46年12月1日 において既に設置 されている工場又は 事業場）	一般地域に所在するもの	医薬品製造業又は染料医薬中間物製造業（次項において「医薬品製造業等」という。）に係るもの	120（日間平均100）	25（日間平均20）			小矢部川及びこれに流入する公共用水域
		化学工業（医薬品製造業及び染料医薬中間物製造業を除く。以下この項において同じ。）に係るもの又は化学工業及び医薬品製造業等に係るもの	50（日間平均30）	100（日間平均80）		1	
		セメント・同製品製造業又は鉱物・土石粉砕等処理業に係るもの		180			
		ガス供給業に係るもの	60（日間平均50）	50（日間平均40）			
		と畜業又は死亡獣畜取扱業に係るもの	80（日間平均60）				
		非鉄金属・非鉄金属合金圧延業、電線ケーブル製造業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、廃油処理業、自動車用燃料小売業、鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業又は自動車整備業に係るもの	25（日間平均20）	120（日間平均100）	15		

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度					適用する区域	
		生物化学的 酸素要求量 mg/l	浮遊物質 質量 mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量(動 植物油脂含有量) mg/l	フェノール 類含有量 mg/l	銅含有量 mg/l		
昭和46年12月1日において既に設置されている工場又は事業場	一般地域に所在するもの	その他の業種 (鉱業、水洗炭業、砕石製造業、砂利採取業及び洗たく業を除く。)に係るもの	25 (日間平均 20)	120 (日間平均 100)	15	1	1	小矢部川及びこれに流入する公共用水域
		水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令188号。以下「水質令」という。)別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均 30					
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均 20	日間平均 70				
	下水道整備地域に所在するもの	すべての業種 (鉱業、水洗炭業、砕石製造業及び砂利採取業を除く。)に係るもの	25 (日間平均 20)	90 (日間平均 70)	15		1	
昭和46年12月1日の後において新たに設置される工場又は事業場	一般地域に所在するもの	食料品製造業に係るもの	120 (日間平均 100)	90 (日間平均 70)				
		パルプ、紙又は紙加工品の製造業に係るもの	80 (日間平均 60)	110 (日間平均 90)				
		と畜業又は死亡獣畜取扱業に係るもの	80 (日間平均 60)					
		その他の業種 (鉱業、水洗炭業、砕石製造業及び砂利採取業を除く。)に係るもの	25 (日間平均 20)	90 (日間平均 70)	15	1	1	

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度					適用する区域	
		生物化学的 酸素要求量 mg/l	浮遊物質 量 mg/l	ノルマルヘキサ ン抽出物含有量(動 植物プランクトン含有量) mg/l	フェノール 類含有量 mg/l	銅含有量 mg/l		
昭和46年12月1日の後に設置される工場又は事業場 (昭和46年12月1日において既に着工されているものを除く。)	一般地域に所在するもの	水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均 30					小矢部川及びこれに流入する公共用水域
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均 20	日間平均 70				
	下水道整備地域に所在するもの	すべての業種(鉱業、水洗炭業、砕石製造業及び砂利採取業を除く。)に係るもの	25 (日間平均 20)	90 (日間平均 70)	15	1	1	
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均 20	日間平均 70				

- 備考
- 1 一般地域は、下水道整備地域に属さない地域の範囲とする。
  - 2 下水道整備地域は、下水道法(昭和33年法律79号)第2条第8号に規定する処理区域の範囲とする。
  - 3 「日間平均」による許容限度は、1日の排出水の平均的な汚染状態について定めたものである。
  - 4 この表に掲げる排水基準は、1日当たりの平均的な排出水の量が50立方メートル以上である工場又は事業場に係る排水について適用する。
  - 5 この表に掲げる項目に係る許容限度の検定は、排水基準を定める省令(昭和46年総理府令第35号)第2条の規定に基づき、環境大臣が定める方法によるものとする。
  - 6 この表における「その他の業種」及び「すべての業種」に係る排水基準は、昭和46年12月1日において、水質令別表第1に掲げられている施設に係る業種についてのみ適用する。

別表3 神通川水域に係る排水基準

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度				適用する区域	
		生物化学的 酸素要求量  mg/l	浮遊物質 量  mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量(動植 物油脂類含有量)  mg/l	銅含有量  mg/l		
昭和47年5月1日において既に設置されている工場又は事業場	一般地域に所在するもの	食品製造業に係るもの		100(日間平均80)			神通川、富岩運河、岩瀬運河、住友運河及びこれらに流入する公共用水域
		染色整理業に係るもの		90(日間平均70)			
		溶解サルファイトパルプ製造業に係るもの		180(日間平均140)			
		染料医薬中間物製造業に係るもの	120(日間平均100)	25(日間平均20)			
		海水マグネシア製造業に係るもの		120(日間平均90)			
		化学工業(染料医薬中間物製造業及び海水マグネシア製造業を除く。)に係るもの	60(日間平均50)	120(日間平均100)			
		生コンクリート製造業又は鉱物・土石粉碎等処理業に係るもの		180			
		ガス供給業に係るもの	60(日間平均50)	50(日間平均40)			
		と畜業又は死亡獣畜取扱業に係るもの	80(日間平均60)				
		その他の業種(パルプ、紙又は紙加工品の製造業、砕石製造業、砂利採取業及び洗たく業を除く。)に係るもの	25(日間平均20)	120(日間平均100)	15	1	
	水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30					
	水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均50	日間平均90				
	下に所在するもの	すべての業種に係るもの	25(日間平均20)	90(日間平均70)	15	1	
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均50	日間平均90			



区 分		項 目 及 び 許 容 限 度				適用する区域	
		生物化学的 酸素要求量  mg/l	浮遊物質 量  mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量(動植 物油脂類含有量)  mg/l	銅含有量  mg/l		
昭和47年5月1日の後において既に着工され、新たに設置されている工場又は事業場	一般地域に所在するもの	食料品製造業に係るもの	120(日間平均100)	90(日間平均70)			神通川、富岩運河、岩瀬運河、住友運河及びこれらに流入する公共用水域
		パルプ、紙又は紙加工品の製造業に係るもの	90(日間平均70)	110(日間平均90)			
		染料医薬中間物製造業に係るもの	80(日間平均60)	25(日間平均20)			
		化学工業(染料医薬中間物製造業を除く。)に係るもの	25(日間平均20)	60(日間平均50)			
		と畜業又は死亡獣畜取扱業に係るもの	80(日間平均60)				
		その他の業種に係るもの	25(日間平均20)	90(日間平均70)	15	1	
		水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30				
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均20	日間平均70			
	下に所在する水道整備地域の	すべての業種に係るもの	25(日間平均20)	90(日間平均70)	15	1	
水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの		日間平均20	日間平均70				

備考 別表2の備考と同じ。

別表4 白岩川水域に係る排水基準

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度				適用する区域
		生物化学的 酸素要求量  mg/l	浮遊物質 量  mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量(動植 物油脂類含有量)  mg/l	銅含有量  mg/l	
昭設(着和置昭工47さ 和さ年れ47れ8て年て 月い8い1る月る日工1も に場日のお又にをい はお含て事いむ既業て に場既に	食料品製造業に係るもの		100(日間平均80)			白岩川及びこれに流入する公共用水域
	生コンクリート製造業に係るもの		180			
	と畜業に係るもの	80(日間平均60)				
	その他の業種(石灰わらパルプ製造業、砕石製造業、砂利採取業及び洗たく業を除く。)に係るもの	25(日間平均20)	120(日間平均100)	15	1	
	水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30				
昭新(着和た昭工47に和さ 年設47れ8置年て月さ8い 1れ月る日る1もの工日 の後場にをに又お除お はいく事て業既場に	食料品製造業に係るもの	120(日間平均100)	90(日間平均70)			
	パルプ、紙又は紙加工品の製造業に係るもの	90(日間平均70)	110(日間平均90)			
	染料医薬中間物製造業に係るもの	80(日間平均60)	25(日間平均20)			
	化学工業(染料医薬中間物製造業を除く。)に係るもの	25(日間平均20)	60(日間平均50)			
	と畜業又は死亡獣畜取扱業に係るもの	80(日間平均60)				
	その他の業種に係るもの	25(日間平均20)	90(日間平均70)	15	1	
	水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30				

備考 別表2の備考第3項から第6項までと同じ。

別表5 庄川水域等に係る排水基準

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度						適用する区域
		生物化学的 酸素要求量 mg/l	化学的 酸素要求量 mg/l	浮遊物質 mg/l	ノルマルヘキサ ン抽出物質 含有量(動植物 油脂類含有量) mg/l	フェノール 類含有量 mg/l	銅含有量 mg/l	
昭和49年3月1日において既に設置されている工場又は事業場 (昭和49年3月1日において既に着工されているものを含む。)	食料品製造業に係るもの	120(日間平均100)		90(日間平均70)				内川及びこれらに流入する公共用水域(3)富山新港海域及びこれに流入する公共用水域(境川ダム貯水池(桂湖)を除く。) (2)下条川、新堀川、次に掲げる区域とする。(1)庄川及びこれに流入する公共用水域(境川ダム貯水池(桂湖)を除く。)
	染色整理業に係るもの	80(日間平均60)		90(日間平均70)				
	セメント・同製品製造業又は鉱物・土石粉碎等処理業に係るもの			180				
	染料医薬中間物製造業に係るもの	120(日間平均100)		25(日間平均20)				
	化学工業(染料医薬中間物製造業を除く。)に係るもの		50(日間平均30)			1		
	その他の業種(碎石製造業及び砂利採取業を除く。)に係るもの	25(日間平均20)	25(日間平均20)	120(日間平均100)	15	1	1	
	水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30	日間平均30					
水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均20		日間平均70					

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度						適用する区域	
		生物化学的 酸素要求量 mg/l	化学的 酸素要求量 mg/l	浮遊物質 質量 mg/l	ノルマルヘキサ ン抽出物質 含有量(動植物 油脂類含有量) mg/l	フェノール 類含有量 mg/l	銅含有量 mg/l		
昭和 49年 3月 1日 の 後 に お い て 新 た に 設 置 さ れ る 工 場 又 は 事 業 場  (昭和 49年 3月 1日 に お い て 既 に 着 工 さ れ て い る もの を 除 く。)	一般地域に所在するもの	すべての業種に係るもの	25(日間平均20)	25(日間平均20)	90(日間平均70)	15	1	1	これらに流入する公共用水域 (3)富山新港海域及びこれに流入する公共用水域 次に掲げる区域とする。(1)庄川及びこれに流入する公共用水域 (2)下条川、新堀川、内川及び
		水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30	日間平均30					
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均20	日間平均20	日間平均70				
	下水道整備地域に所在するもの	すべての業種に係るもの	25(日間平均20)	25(日間平均20)	90(日間平均70)	15	1	1	
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均20	日間平均20	日間平均70				

- 備考 1 別表2の表の備考と同じ。
- 2 生物化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼以外の公共用水域に排出される排出水に限って適用し、化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼に排出される排出水に限って適用する。
- 3 この表の適用する区域の欄第3号中「富山新港海域」とは、富山新港の東防波堤先端と西防波堤先端を結んだ線及び陸岸により囲まれた海域をいう。



別表7 吉田川水域に係る排水基準

区 分		項 目 及 び 許 容 限 度				適用する区域
		生物化学的 酸素要求量  mg/l	浮遊物質 量  mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量(動植 物油脂類含有量)  mg/l	銅含有量  mg/l	
昭和50年1月1日において既に設置されている工場又は事業場(昭和50年1月1日において既に着工されているものを含む。)	すべての業種に係るもの	昭和53年12月31日まで25(日間平均20) 昭和54年1月1日から15(日間平均10)	120(日間平均100)	15	1	吉田川及びこれに流入する公共用水域
昭和50年1月1日の後において新たに設置される工場又は事業場(昭和50年1月1日において既に着工されているものを除く。)	すべての業種に係るもの	15(日間平均10)	90(日間平均70)	15	1	
	水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30				

備考 別表2の備考第3項から第6項までと同じ。

別表 8 早月川水域等に係る排水基準

区 分			項 目 及 び 許 容 限 度				適用する区域
			生物化学的 酸素要求量  mg/l	化 学 的 酸素要求量  mg/l	浮遊物質量  mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量(動 植物油脂類含有量)  mg/l	
昭和51年4月1日において既に設置されている工場又は事業場 (昭和51年4月1日において既に着工されているものを含む。)	一般地域に所在するもの	食料品製造業に係るもの	120 (日間平均100)		90 (日間平均70)		早月川、片貝川、高橋川、入川、小川、木流川、笹川、境川及びこれらに流入する公共用水域並びに富山湾海域
		化学工業に係るもの	50 (日間平均30)	50 (日間平均30)			
		セメント・同製品製造業に係るもの			180		
		洗たく業に係るもの	120 (日間平均100)				
		その他の業種(碎石製造業及び砂利採取業を除く。)に係るもの	25 (日間平均20)	25 (日間平均20)	120 (日間平均100)	15	
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの		日間平均20	日間平均70		
	下水道整備地域に所在するもの	すべての業種に係るもの	25 (日間平均20)	25 (日間平均20)	90 (日間平均70)	15	
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの		日間平均20	日間平均70		
昭和51年4月1日の後に設置される工場又は事業場(昭和51年4月1日において既に着工されているものを除く。)	一般地域に所在するもの	すべての業種に係るもの	25 (日間平均20)	25 (日間平均20)	90 (日間平均70)	15	
		水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均30	日間平均30			
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均20	日間平均20	日間平均70		
	下水道整備地域に所在するもの	すべての業種に係るもの	25 (日間平均20)	25 (日間平均20)	90 (日間平均70)	15	
		水質令別表第1の73の項に掲げる施設のみを設置するもの	日間平均20	日間平均20	日間平均70		

- 備考 1 別表2の備考及び別表5の備考第2項と同じ。  
 2 この表の適用する区域の欄中「富山湾海域」とは、石川県と富山県の境界である陸岸の地点から、富山県と新潟県の境界である陸岸の地点に至る陸岸の地先海域であって、別表5の備考第3項に規定する富山新港海域に係る部分を除いたものをいう。

別表9 有峰ダム貯水池（有峰湖）水域に係る排水基準

区 分	項 目 及 び 許 容 限 度			適用する 区 域
	化学的酸素要求量 mg/l	浮遊物質 mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量（動 植物油脂類含有量） mg/l	
すべての業種に係る工場又は事業場	25（日間平均 20）	90（日間平均 70）	15	有峰ダム 貯水池 （有峰湖）
水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置する工場又は事業場	日 間 平 均 30			

- 備考 1 別表2の備考第3項から第5項までと同じ。  
 2 この表における「すべての業種」に係る排水基準は、平成元年5月1日において、水質令別表第1に掲げられている施設に係る業種についてのみ適用する。

別表10 黒部ダム貯水池（黒部湖）水域に係る排水基準

区 分	項 目 及 び 許 容 限 度			適用する 区 域
	化学的酸素要求量 mg/l	浮遊物質 mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量（動 植物油脂類含有量） mg/l	
すべての業種に係る工場又は事業場	25（日間平均 20）	90（日間平均 70）	15	黒部ダム 貯水池 （黒部湖）
水質令別表第1の72の項に掲げる施設のみを設置する工場又は事業場	日 間 平 均 30			

- 備考 1 別表2の備考第3項から第5項までと同じ。  
 2 この表における「すべての業種」に係る排水基準は、平成3年5月1日において、水質令別表第1に掲げられている施設に係る業種についてのみ適用する。



別表 11 境川ダム貯水池（桂湖）水域に係る排水基準

区 分	項 目 及 び 許 容 限 度			適用する 区 域
	化学的酸素要求量 mg/l	浮 遊 物 質 量 mg/l	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量（動 植物油脂類含有量） mg/l	
すべての業種に係る工場又は事業場	25（日間平均 20）	90（日間平均 70）	15	境川ダム 貯水池 （桂湖）
水質令別表第 1 の 72 の項に掲げる施設のみを設置する工場又は事業場	日 間 平 均 30			

備考 1 別表 2 の備考第 3 項から第 5 項までと同じ。

2 この表における「すべての業種」に係る排水基準は、平成 13 年 5 月 1 日において、水質令別表第 1 に掲げられている施設に係る業種についてのみ適用する。

## 7 水質汚濁防止法に基づく地下浸透基準

○施行規則第6条の2の規定に基づく環境大臣が定める検定方法（平成元年8月21日環境庁告示第39号）

項 目	浸透基準値	測 定 方 法
カドミウム及びその化合物	0.001 mg/1	日本工業規格K0102（以下「規格」という。）55に定める方法（ただし、規格55.1に定める方法にあつては、規格55の備考1に定める操作を行うものとする。）
シアン化合物	0.1 mg/1	規格38.1.2及び38.2に定める方法又は規格38.1.2及び38.3に定める方法
有機燐化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る。）	0.1 mg/1	昭和49年9月環境庁告示第64号（環境大臣が定める排水基準に係る検定方法）（以下「排水基準告示」という。）付表1に掲げる方法
鉛及びその化合物	0.005 mg/1	規格54に定める方法（ただし、規格54.1に定める方法にあつては規格54の備考1に定める操作を、規格54.3に定める方法にあつては規格54の備考3に定める操作を行うものとする。）
六価クロム化合物	0.04 mg/1	規格65.2.1に定める方法（着色している試料又は六価クロムを還元する物質を含有する試料で検定が困難なものにあつては、規格65の備考15のb）（第1段を除く。）及び規格65.1に定める方法）
砒素及びその化合物	0.005 mg/1	規格61に定める方法
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.0005 mg/1	昭和46年12月環境庁告示第59号（水質汚濁に係る環境基準について）（以下「環境基準告示」という。）付表1に掲げる方法
アルキル水銀化合物	0.0005 mg/1	環境基準告示付表2及び排水基準告示付表3に掲げる方法
ポリ塩化ビフェニル	0.0005 mg/1	環境基準告示付表3に掲げる方法
トリクロロエチレン	0.002 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	0.0005 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
ジクロロメタン	0.002 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	0.0002 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1,1,1-トリクロロエタン	0.0005 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	0.0006 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
1,3-ジクロロプロパン	0.0002 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	0.0006 mg/1	環境基準告示付表4に掲げる方法
シマジン	0.0003 mg/1	環境基準告示付表5の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	0.002 mg/1	環境基準告示付表5の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	0.001 mg/1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン及びその化合物	0.002 mg/1	規格67.2又は67.3に定める方法
ほう素及びその化合物	0.2 mg/1	規格47に定める方法又は環境基準告示付表7に掲げる方法
ふっ素及びその化合物	0.2 mg/1	規格34に定める方法又は規格34.1C）（注 <sup>6</sup> ）第3文を除く。）に定める方法及び環境基準告示付表6に掲げる方法
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	アンモニア性窒素 0.7 mg/1	規格42.2、42.3又は42.5に定める方法により検定されたアンモニウムイオンの濃度に換算係数0.7766を乗じてアンモニア性窒素の量を検出する方法
	亜硝酸性窒素 0.2 mg/1	規格43.1に定める方法により、検定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じて亜硝酸性窒素の量を検出する方法
	硝酸性窒素 0.2 mg/1	規格43.2.5に定める方法により、検定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じて硝酸性窒素の量を検出する方法

## 8 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出について

届出の種類	届出を必要とする場合	届出様式	時期	届出を怠った場合等の罰則	届出者	提出部数
①特定施設の設置届 (法第12条)	工場等に特定施設を新たに設置しようとする場合	様式第1	特定施設の設置の工事着手予定日の60日前まで	届出をしなかったり、虚偽の届出をした場合 3ヶ月以下の懲役 又は30万円以下の罰金 (法第46条)	施設を設置しようとする者	正副 2部
②特定施設の使用届 (法第13条)	施設が特定施設となった際、既にその施設を設置している場合	様式第1	施設が特定施設となった日から30日以内	同上 20万円以下の罰金 (法第47条)	施設を設置している者	
	水質施設が大気施設となった際、既にその施設を設置している場合、又は、大気施設が水質施設となった際、既にその施設を設置している場合	様式第1	水質施設が大気施設となった日、又は、大気施設が水質施設となった日から30日以内	同上 10万円以下の罰金 (法第49条)		
③特定施設の構造等の変更届 (法第14条)	①又は②の届出に係る特定施設の構造、使用方法、処理の方法等を変更しようとする場合	様式第1	特定施設の構造等変更の着手予定日の60日前まで	同上 3ヶ月以下の懲役 又は30万円以下の罰金 (法第46条)	①又は②の届出をした者	
④氏名等(氏名、名称、住所、所在地、代表者氏名)の変更届 (法第18条)	①又は②の届出に係る氏名、名称、住所、所在地、代表者氏名に変更があった場合	様式第3	変更した日から30日以内	同上 10万円以下の過料 (法第49条)	①又は②の届出をした者	
⑤特定施設の使用廃止届 (法第18条)	①又は②の届出に係る特定施設の使用を廃止した場合	様式第4	廃止した日から30日以内	同上 10万円以下の過料 (法第49条)	①又は②の届出をした者	
⑥承継届 (法第19条)	①又は②の届出者の地位を継承した場合(譲受、借受、相続、合併によるもの)	様式第5	承継があった日から30日以内	同上 10万円以下の過料 (法第49条)	①又は②の届出者の地位を継承した者	

- 備考 1 届出書は、県環境保全課に提出してください。ただし、富山市については富山市環境保全課に提出してください。
- 2 届出書の用紙は、県環境保全課及び富山市環境保全課に備えつけてあります。
- 3 届出については、記載要領に不明な点は、提出先の県環境保全課または富山市環境保全課にお問い合わせください。
- 4 受理書は、審査のうえ届出者に交付します。

◎ ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設

○ 大気基準適用施設(ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1)

号番号	施設の種類
1	焼結鉄(鉄の製造の用に供するものに限る。)の製造の用に供する焼結炉であって、原料の処理能力が1時間当たり1トン以上のもの
2	製鋼の用に供する電気炉(鋳鋼又は鍛鋼の製造の用に供するものを除く。)であって、変圧器の定格容量が1,000キロボルトアンペア以上のもの
3	亜鉛の回収(製鋼の用に供する電気炉から発生するばいじんであって、集じん機により集められたものからの亜鉛の回収に限る。)の用に供する焙焼炉、焼結炉、溶鉱炉、溶解炉及び乾燥炉であって、原料の処理能力が1時間当たり0.5トン以上のもの
4	アルミニウム合金の製造(原料としてアルミニウムくず(当該アルミニウム合金の製造を行う工場内のアルミニウムの圧延工程において生じたものを除く。)を使用するものに限る。)の用に供する焙焼炉、溶解炉及び乾燥炉であって、焙焼炉、乾燥炉にあつては原料の処理能力が1時間当たり0.5トン以上のもの、溶解炉にあつては容量が1トン以上のもの
5	廃棄物焼却炉であって、火床面積(廃棄物の焼却施設に2以上の廃棄物焼却炉が設置されている場合にあつては、それらの火床面積の合計)が0.5平方メートル以上又は焼却能力(廃棄物の焼却施設に2以上の廃棄物焼却炉が設置されている場合にあつては、それらの焼却能力の合計)が1時間当たり50キログラム以上のもの

○ 水質基準対象施設(ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2)

号番号	施設の種類
1	硫酸塩パルプ(クラフトパルプ)又は亜硫酸パルプ(サルファイトパルプ)の製造の用に供する塩素又は塩素化合物による漂白施設
2	カーバイド法アセチレンの製造の用に供するアセチレン洗浄施設(H14.8.15追加)
3	硫酸カリウムの製造の用に供する施設のうち、廃ガス洗浄施設(H13.12.1追加)
4	アルミナ繊維の製造の用に供する施設のうち、廃ガス洗浄施設(H14.8.15追加)
5	担体付き触媒の製造(塩素又は塩素化合物を使用するものに限る。)の用に供する焼成炉から発生するガスを処理する施設のうち、廃ガス洗浄施設(H17.9.1追加)
6	塩化ビニルモノマーの製造の用に供する二塩化エチレン洗浄施設
7	カプロラクタムの製造(塩化ニトロシルを使用するものに限る。)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H13.12.1追加) イ 硫酸濃縮施設、ロ シクロヘキサン分離施設、ハ 廃ガス洗浄施設
8	クロロベンゼン又はジクロロベンゼンの製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H13.12.1追加) イ 水洗施設、ロ 廃ガス洗浄施設
9	4-クロロフタル酸水素ナトリウムの製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H16.1.1追加) イ ろ過施設、ロ 乾燥施設、ハ 廃ガス洗浄施設
10	2,3-ジクロロ-1,4-ナフトキノンの製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H16.1.1追加) イ ろ過施設、ロ 廃ガス洗浄施設
11	8,18-ジクロロ-5,15-ジエチル-5,15-ジヒドロジンドロ[3,2-b:3',2'-m]トリフェノジオキサジン(別名ジオキサジンバイオレット。ハにおいて単に「ジオキサジンバイオレット」という。)の製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H14.8.15追加) イ ニトロ化誘導体分離施設及び還元誘導体分離施設 ロ ニトロ化誘導体洗浄施設及び還元誘導体洗浄施設 ハ ジオキサジンバイオレット洗浄施設 ニ 熱風乾燥施設
12	アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉、溶解炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する施設のうち、次に掲げるもの イ 廃ガス洗浄施設、ロ 湿式集じん施設
13	亜鉛の回収(製鋼の用に供する電気炉から発生するばいじんであって、集じん機により集められたものからの亜鉛の回収に限る。)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H14.8.15追加) イ 精製施設、ロ 廃ガス洗浄施設、ハ 湿式集じん施設
14	担体付き触媒(使用済みのものに限る。)からの金属の回収(ソーダ灰を添加して焙焼炉で処理する方法及びアルカリにより抽出する方法(焙焼炉で処理しないものに限る。))によるものを除く。)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H17.9.1追加) イ ろ過施設、ロ 精製施設、ハ 廃ガス洗浄施設
15	別表第1第5号に掲げる廃棄物焼却炉から発生するガスを処理する施設のうち次に掲げるもの及び当該廃棄物焼却炉において生ずる灰の貯留施設であつて汚水又は廃液を排出するもの イ 廃ガス洗浄施設、ロ 湿式集じん施設

号番号	施 設 の 種 類
16	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(昭和46年政令第300号)第7条第12号の2及び第13号に掲げる施設(廃PCB等又はPCB処理物の分解施設及びPCBの汚染物又はPCB処理物の洗浄施設又は分離施設)
17	フロン類(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律施行令(平成6年政令第308号)別表1の項、3の項及び6の項に掲げる特定物質(後述)をいう。)の破壊(プラズマを用いて破壊する方法、廃棄物混焼法、液中燃焼法及び過熱蒸気反応法)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの(H17.9.1追加) イ プラズマ反応施設、ロ 廃ガス洗浄施設、ハ 湿式集じん施設
18	下水道終末処理施設(第1号から前号まで及び次号に掲げる施設に係る汚水又は廃液を含む下水を処理するものに限る。)
19	第1号から第17号までに掲げる施設を設置する工場又は事業場から排出される水(第1号から第14号までに掲げる施設に係る汚水若しくは廃液又は当該汚水若しくは廃液を処理したものを含むもの)に限り、公共用水域に排出されるものを除く。)の処理施設(前号に掲げるものを除く。)

## 9 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排水基準

○ 水質基準適用事業場の水質排出基準値（施行規則別表第2）

号番号	施設の種類	水質排出基準
1	硫酸塩パルプ(クラフトパルプ)又は亜硫酸パルプ(サルファイトパルプ)の製造の用に供する塩素又は塩素化合物による漂白施設	10 pg-TEQ/l
2	カーバイド法アセチレンの製造の用に供するアセチレン洗浄施設	
3	硫酸カリウムの製造の用に供する施設のうち、廃ガス洗浄施設	
4	アルミナ繊維の製造の用に供する施設のうち、廃ガス洗浄施設	
5	担体付き触媒の製造（塩素又は塩素化合物を使用するものに限る。）の用に供する焼成炉から発生するガスを処理する施設のうち、廃ガス洗浄施設	
6	塩化ビニルモノマーの製造の用に供する二塩化エチレン洗浄施設	
7	カプロラクタムの製造(塩化ニトロシルを使用するものに限る。)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ 硫酸濃縮施設、ロ シクロヘキサン分離施設、ハ 廃ガス洗浄施設	
8	クロロベンゼン又はジクロロベンゼンの製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ 水洗施設、ロ 廃ガス洗浄施設	
9	4-クロロフタル酸水素ナトリウムの製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ ろ過施設、ロ 乾燥施設、ハ 廃ガス洗浄施設	
10	2,3-ジクロロ-1,4-ナフトキノンの製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ ろ過施設、ロ 廃ガス洗浄施設	
11	8,18-ジクロロ-5,15-ジエチル-5,15-ジヒドロジンドロ[3,2-b:3',2'-m]トリフェノジオキサジン(別名ジオキサジンバイオレット。ハにおいて単に「ジオキサジンバイオレット」という。)の製造の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ ニトロ化誘導体分離施設及び還元誘導体分離施設 ロ ニトロ化誘導体洗浄施設及び還元誘導体洗浄施設 ハ ジオキサジンバイオレット洗浄施設 ニ 熱風乾燥施設	
12	アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉、溶解炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する施設のうち、次に掲げるもの イ 廃ガス洗浄施設、ロ 湿式集じん施設	
13	亜鉛の回収(製鋼の用に供する電気炉から発生するばいじんであって、集じん機により集められたものからの亜鉛の回収に限る。)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ 精製施設、ロ 廃ガス洗浄施設、ハ 湿式集じん施設	
14	担体付き触媒(使用済みのものに限る。)からの金属の回収(ソーダ灰を添加して焙焼炉で処理する方法及びアルカリにより抽出する方法(焙焼炉で処理しないものに限る。))によるものを除く。)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ ろ過施設、ロ 精製施設、ハ 廃ガス洗浄施設	
15	別表第一第五号に掲げる廃棄物焼却炉から発生するガスを処理する施設のうち次に掲げるもの及び当該廃棄物焼却炉において生ずる灰の貯留施設であって汚水又は廃液を排出するもの イ 排ガス洗浄施設、ロ 湿式集じん施設	
16	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(昭和46年政令第300号)第7条第12号の2及び第13号に掲げる施設(廃PCB等又はPCB処理物の分解施設及びPCBの汚染物又はPCB処理物の洗浄施設又は分離施設)	
17	フロン類(特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律施行令(平成6年政令第308号)別表1の項、3の項及び6の項に掲げる特定物質(後述)をいう。)の破壊(プラズマを用いて破壊する方法、廃棄物混焼法、液中燃焼法及び過熱蒸気反応法)の用に供する施設のうち、次に掲げるもの イ プラズマ反応施設、ロ 廃ガス洗浄施設、ハ 湿式集じん施設	
18	下水道終末処理施設(第1号から前号まで及び次号に掲げる施設に係る汚水又は廃液を含む下水を処理するものに限る。)	
19	第1号から第17号までに掲げる施設を設置する工場又は事業場から排出される水(第1号から第14号までに掲げる施設に係る汚水若しくは廃液又は当該汚水若しくは廃液を処理したものを含むもの)に限り、公共用水域に排出されるものを除く。)の処理施設(前号に掲げるものを除く。)	

備考 排水を測定する場合にあつては日本工業規格K0312によること。

## 10 その他の基準等

### (1) 海水浴場の水質判定基準

区分	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質 AA (検出限界 2 個/100 ml)	油膜が認められない	2mg/l 以下 (湖沼は 3mg/l 以下)	全透 (1m 以上)
	水質 A	油膜が認められない	2mg/l 以下 (湖沼は 3mg/l 以下)	全透 (1m 以上)
可	水質 B	常時は油膜が認められない	5mg/l 以下	1m 未満～ 50cm 以上
	水質 C	常時は油膜が認められない	8mg/l 以下	1m 未満～ 50cm 以上
不適	1,000 個/100 ml を超えるもの	常時は油膜が認められない	8mg/l 超	50cm 未満*
測定方法	付表 1 の第 1 又は第 2 に定める方法	目視による観察	日本工業規格 K0102 の 17 に定める方法	付表 2 に定める方法

注 判定は、同一水浴場に関して得た測定値の平均による。

「不検出」とは、平均値が検出限界未満のことをいう。

透明度(\*の部分)に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。

1 判定については、上記の表に基づいて以下のとおりとする。

- (1) ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD 又は透明度のいずれかの項目が「不適」であるものを、「不適」な水浴場とする。
- (2) 「不適」でない水浴場について、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD 及び透明度によって、「水質 AA」、「水質 A」、「水質 B」あるいは「水質 C」を判定し、「水質 AA」及び「水質 A」であるものを、「適」、「水質 B」及び「水質 C」であるものを「可」とする。
  - ・各項目の全てが「水質 AA」である水浴場を「水質 AA」とする。
  - ・各項目の全てが「水質 A」以上である水浴場を「水質 A」とする。
  - ・各項目の全てが「水質 B」以上である水浴場を「水質 B」とする。
  - ・これら以外のものを「水質 C」とする。

2 「改善対策を要するもの」については以下のとおりとする。

- (1) 「水質 B」又は「水質 C」と判定されたもののうち、ふん便性大腸菌群数が、400 個/100 ml を超える測定値が 1 以上あるもの。
- (2) 油膜が認められたもの。

(2) 底質の暫定除去基準 (昭和 50 年 10 月 28 日付け環水管第 119 号 環境庁水質保全局長通達)

項 目	水 域	基 準
PCB (底質の乾燥重量当たり)	全水域	10 ppm 以上
水銀 (底質の乾燥重量当たり)	河川及び湖	25 ppm 以上
	海域	次式により算出した値 (C) 以上 (注) $C=0.18 \cdot (\Delta H/J) \cdot (1/S)$ (ppm) $\Delta H$ =平均潮差 (m) $J$ =溶出率 $S$ =安全率

注 富山湾 25 ppm 以上、富山港 (運河を含む。) 30 ppm 以上、伏木港 25 ppm 以上

(3) 土壌の汚染に係る環境基準 (平成 3 年 8 月 23 日環境庁告示第 46 号)

項 目	環境上の条件	測 定 方 法
カドミウム	検液 11 につき 0.01mg 以下であり、かつ、農用地においては、米 1kg につき 1mg 未満であること。	環境上の条件のうち、検液中濃度に係るものにあつては、日本工業規格 K0102 (以下「規格」という。) 55 に定める方法、農用地に係るものにあつては、昭和 46 年 6 月農林省令第 47 号に定める方法
全シアン	検液中に検出されないこと。	規格 38 に定める方法 (規格 38.1.1 に定める方法を除く。)
有機 <sup>りん</sup> 燐	検液中に検出されないこと。	昭和 49 年 4 月環境庁告示第 64 号付表 1 に掲げる方法又は規格 31.1 に定める方法のうちガスクロマトグラフ法以外のもの (メチルジメトンにあつては、昭和 49 年 9 月環境庁告示第 64 号付表 2 に掲げる方法)
鉛	検液 11 につき 0.01mg 以下であること。	規格 54 に定める方法
六価クロム	検液 11 につき 0.05mg 以下であること。	規格 65.2 定める方法
砒素	検液 11 につき 0.01mg 以下であり、かつ、農用地 (田に限る。) においては、土壌 1kg につき 15mg 未満であること。	環境上の条件のうち、検液中濃度に係るものにあつては、規格 61 に定める方法、農用地に係るものにあつては、昭和 50 年 4 月総理府令第 31 号に定める方法
総水銀	検液 11 につき 0.0005mg 以下であること。	昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 1 に掲げる方法
アルキル水銀	検液中に検出されないこと。	昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 2 及び昭和 49 年 9 月環境庁告示第 64 号付表 3 に掲げる方法



項 目	環境上の条件	測 定 方 法
P C B	検液中に検出されないこと。	昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 3 に掲げる方法
銅	農用地（田に限る。）においては、土壌 1kg につき 125mg 未満であること。	昭和 47 年 10 月総理府令第 66 号に定める方法
ジクロロメタン	検液 1l につき 0.02mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法
四塩化炭素	検液 1l につき 0.002mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法
1,2-ジクロロエタン	検液 1l につき 0.004mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1 又は 5.3.2 に定める方法
1,1-ジクロロエチレン	検液 1l につき 0.02mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法
シス-1,2-ジクロロエチレン	検液 1l につき 0.04mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法
1,1,1-トリクロロエタン	検液 1l につき 1mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	検液 1l につき 0.006mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法
トリクロロエチレン	検液 1l につき 0.03mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法
テトラクロロエチレン	検液 1l につき 0.01mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法
1,3-ジクロロプロパン	検液 1l につき 0.002mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法
チウラム	検液 1l につき 0.006mg 以下であること。	昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 4 に掲げる方法
シマジン	検液 1l につき 0.003mg 以下であること。	昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 5 の第 1 又は第 2 に掲げる方法
チオベンカルブ	検液 1l につき 0.02mg 以下であること。	昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 5 の第 1 又は第 2 に掲げる方法
ベンゼン	検液 1l につき 0.01mg 以下であること。	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法
セレン	検液 1l につき 0.01mg 以下であること。	規格 67.2 又は 67.3 に定める方法
ふっ素	検液 1l につき 0.8mg 以下であること。	規格 34.1 に定める方法又は昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 6 に掲げる方法
ほう素	検液 1l につき 1mg 以下であること。	規格 47.1 若しくは 47.3 に定める方法又は昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号付表 7 に掲げる方法

- 備考 1 環境上の条件のうち検液中濃度に係るものにあつては付表に定める方法により検液を作成し、これを用いて測定を行うものとする。
- 2 カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ふっ素及びほう素に係る環境上の条件のうち検液中濃度に係る値にあつては、汚染土壌が地下水水面から離れており、かつ、原状において当該地下水中のこれらの物質の濃度がそれぞれ地下水 1ℓにつき 0.01mg、0.01mg、0.05mg、0.01mg、0.0005mg、0.01mg、0.8mg 及び 1mg を超えていない場合には、それぞれ検液 1ℓにつき 0.03mg、0.03mg、0.15mg、0.03mg、0.0015mg、0.03mg、2.4mg 及び 3mg とする。
- 3 「検液中に検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 4 有機磷とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、及び EPN をいう。

#### (4) ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る基準

(単位：mg/l)

農薬名	暫定指導指針値	県指導値	農薬名	暫定指導指針値	県指導値
(殺虫剤)			(殺菌剤)		
アセフェート	0.8	0.08	ペンシクロン	0.4	0.04
イソキサチオン	0.08	0.008	ホセチル	23	—
イソフェンホス	0.01	0.001	ポリカーバメート	0.3	—
エトフェンプロックス	0.8	—	メタラキシル	0.5	0.05
クロルピリホス	0.04	0.004	メプロニル	1	0.1
ダイアジノン	0.05	0.005	(除草剤)		
チオジカルブ	0.8	—	アシュラム	2	0.2
トリクロルホン(DEP)	0.3	0.03	ジチオピル	0.08	0.008
ピリダフェンチオン	0.02	0.002	シデュロン	3	—
フェニトロチオン(MEP)	0.03	0.003	シマジン(CAT)	0.03	0.003
(殺菌剤)			テルブカルブ(MBPMC)	0.2	0.02
アズキシストロビン	5	—	トリクロピル	0.06	0.006
イソプロチオラン	0.4	0.04	ナプロパミド	0.3	0.03
イプロジオン	3	0.3	ハロスルフロンメチル	0.3	—
イミノクタジン酢酸塩	0.06	—	ピリブチカルブ	0.2	0.02
エトリジアゾール(エクロメゾール)	0.04	0.004	ブタミホス	0.04	0.004
オキシシン銅(有機銅)	0.4	0.04	フラザスルフロン	0.3	—
キャプタン	3	0.3	プロピザミド	0.08	0.008
クロロタロニル(TPN)	0.4	0.04	ベンスリド(SAP)	1	0.1
クロロネブ	0.5	0.05	ペンディメタリン	0.5	0.05
チウラム(チラム)	0.06	0.006	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.8	0.08
トルクロホスメチル	0.8	0.08	メコプロップ(MCPP)	0.05	0.005
フルトラニル	2	0.2	メチルダイムロン	0.3	0.03
プロピコナゾール	0.5	—			

備考 ・「環境省指針値」：ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針  
(平成2年5月24日付け環水土第77号、平成3年7月30日付け環水土第109号、平成4年12月21日付け環水土第187号、平成9年4月24日付け環水土第100号環境庁水質保全局長通達、平成13年12月28日付け環水土第234号環境省環境管理局水環境部長通達)

・「富山県指導値」：富山県ゴルフ場農薬安全使用指導要綱

(5) 公共用水域等における農薬の水質評価指針

(平成6年4月15日付け環水土第86号環境庁水質保全局長通達)

農薬名	種類	評価指針値 (mg/l)
イプロジオン	殺菌剤	0.3 以下
イミダクロプリド	殺虫剤	0.2 以下
エトフェンプロックス	殺虫剤	0.08 以下
エスプロカルブ	除草剤	0.01 以下
エディフェンホス (EDDP)	殺菌剤	0.006 以下
カルバリル (NAC)	殺虫剤	0.05 以下
クロルピリホス	殺虫剤	0.03 以下
ジクロフェンチオン (ECP)	殺虫剤	0.006 以下
シメトリン	除草剤	0.06 以下
トルクロホスメチル	殺菌剤	0.2 以下
トリクロルホン	殺虫剤	0.03 以下
トリシクラゾール	殺菌剤	0.1 以下
ピリダフェンチオン	殺虫剤	0.002 以下
フサライド	殺菌剤	0.1 以下
ブタミホス	除草剤	0.004 以下
ブプロフェジン	殺虫剤	0.01 以下
プレチラクロール	除草剤	0.04 以下
プロペナゾール	殺菌剤	0.05 以下
ブロモブチド	除草剤	0.04 以下
フルトラニル	殺菌剤	0.2 以下
ペンシクロン	殺菌剤	0.04 以下
ベンスリド(SAP)	除草剤	0.1 以下
ペンディメタリン	除草剤	0.1 以下
マラチオン (マラソン)	殺虫剤	0.01 以下
メフェナセツト	除草剤	0.009 以下
メプロニル	殺菌剤	0.1 以下
モリネート	除草剤	0.005 以下
(以上 27 農薬)		

(6) 下水道基準 (下水道法 昭和 33 年 4 月 24 日 法律第 79 号)

ア 下水道終末処理場 放流水基準

区 分	活性汚泥法、標準散水濾床法その他これらと同程度に下水を処理することができる方法により、下水を処理する場合	高速散水濾床法、モデファイド・エアレーション法その他これらと同程度に下水を処理することができる方法により、下水を処理する場合	沈殿法により、下水を処理する場合	その他の場合
pH	5.8～8.6	5.8～8.6	5.8～8.6	5.8～8.6
BOD (mg/l)	20 以下	60 以下	120 以下	150 以下
SS (mg/l)	70 以下	120 以下	150 以下	200 以下
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	3,000 以下	3,000 以下	3,000 以下	3,000 以下

注 水質汚濁防止法 (昭和 45 年 法律第 138 号) 第 3 条第 1 項の規定による省令により、又は同条第 3 項の規定による条例その他の条例により、この表に掲げる項目については厳しい排水基準が定められ、又はこの項目以外の項目についても排水基準が定められている場合には、その排水基準をもって水質基準とする。

イ 特定事業場 放流水基準

(ア) 有害物質等

物 質	基 準 値	物 質	基 準 値
カドミウム及びその化合物	0.1 mg/l 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/l 以下
シアン化合物	1 mg/l 以下	チウラム	0.06 mg/l 以下
有機燐化合物	1 mg/l 以下	シマジン	0.03 mg/l 以下
鉛及びその化合物	0.1 mg/l 以下	チオベンカルブ	0.2 mg/l 以下
六価クロム化合物	0.5 mg/l 以下	ベンゼン	0.1 mg/l 以下
砒素及びその化合物	0.1 mg/l 以下	セレン及びその化合物	0.1 mg/l 以下
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005 mg/l 以下	ほう素及びその化合物(海域以外) (海域)	10 mg/l 以下 230 mg/l 以下
アルキル水銀化合物	検出されないこと。	ふっ素及びその化合物(海域以外) (海域)	8 mg/l 以下 15 mg/l 以下
ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg/l 以下		
トリクロロエチレン	0.3 mg/l 以下	フェノール類	5 mg/l 以下
テトラクロロエチレン	0.1 mg/l 以下	銅及びその化合物	3 mg/l 以下
ジクロロメタン	0.2 mg/l 以下	亜鉛及びその化合物	2 mg/l 以下
四塩化炭素	0.02 mg/l 以下	鉄及びその化合物(溶解性)	10 mg/l 以下
1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/l 以下	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10 mg/l 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.2 mg/l 以下		
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/l 以下	クロム及びその化合物	2 mg/l 以下
1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/l 以下	ダイオキシン類	10 pg/l 以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/l 以下		

注 水質汚濁防止法（昭和 45 年 法律第 138 号）第 3 条第 1 項の規定による省令により、又は同条第 3 項の規定による条例その他の条例により、この表に掲げる項目については厳しい排水基準が定められ、又はこの項目以外の項目についても排水基準が定められている場合には、その排水基準をもって水質基準とする。

(イ) 生活環境項目

下水道法の規定により、条例で定められることがある。

(7) し尿浄化槽及び合併処理浄化槽における処理性能基準

(建築基準法 昭和 25 年 5 月 24 日 法律第 201 号)

し尿浄化槽又は合併処理浄化槽を設ける区域	処理対象人員 (人)	性 能	
		BOD 除去率 (%)	浄化槽からの 放流水の BOD (mg/l)
特定行政庁が衛生上特に支障があると認めて規則で指定する区域 (富 山 県)	50 以下	65 以上	90 以下
	51 以上 500 以下	70 以上	60 以下
	501 以上	85 以上	30 以下
特定行政庁が衛生上特に支障がないと認めて規則で指定する区域		55 以上	120 以下
その他の区域	500 以下	65 以上	90 以下
	501 以上 2,000 以下	70 以上	60 以下
	2,001 以上	85 以上	30 以下
1 この表における処理対象人員の算定は、国土交通大臣が定める方法により行うものとする。 2 この表において、生物化学的酸素要求量 (BOD) の除去率とは、し尿浄化槽又は合併処理浄化槽への流入水の生物化学的酸素要求量の数値からし尿浄化槽又は合併処理浄化槽からの放流水の生物化学的酸素要求量の数値を減じた数値をし尿浄化槽又は合併処理浄化槽への流入水の生物化学的酸素要求量の数値で除して得た割合をいうものとする。			

(8) 飲料水基準等

ア 水道法に基づく水質基準 (平成 15 年 5 月 30 日厚生労働省令 101 号)

	項 目	基 準 値
1	一般細菌	1ml の検水で形成される集落数が 100 以下
2	大腸菌	検出されないこと
3	カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.01 mg/l 以下
4	水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005 mg/l 以下
5	セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01 mg/l 以下
6	鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01 mg/l 以下
7	ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01 mg/l 以下
8	六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.05 mg/l 以下
9	シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、0.01 mg/l 以下
10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/l 以下
11	フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8 mg/l 以下
12	ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0 mg/l 以下
13	四塩化炭素	0.002 mg/l 以下
14	1,4-ジオキサン	0.05 mg/l 以下
15	1,1-ジクロロエチレン	0.02 mg/l 以下
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l 以下
17	ジクロロメタン	0.02 mg/l 以下
18	テトラクロロエチレン	0.01 mg/l 以下
19	トリクロロエチレン	0.03 mg/l 以下
20	ベンゼン	0.01 mg/l 以下
21	クロロ酢酸	0.02 mg/l 以下
22	クロロホルム	0.06 mg/l 以下
23	ジクロロ酢酸	0.04 mg/l 以下
24	ジブロモクロロメタン	0.1 mg/l 以下
25	臭素酸	0.01 mg/l 以下
26	総トリハロメタン (クロロホルム、ジブロモクロロメタン、 ブロモジクロロメタン及びブロモホルム のそれぞれの濃度の総和)	0.1 mg/l 以下
27	トリクロロ酢酸	0.2 mg/l 以下
28	ブロモジクロロメタン	0.03 mg/l 以下
29	ブロモホルム	0.09 mg/l 以下
30	ホルムアルデヒド	0.08 mg/l 以下

	項 目	基 準 値
31	亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0 mg/l 以下
32	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2 mg/l 以下
33	鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3 mg/l 以下
34	銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0 mg/l 以下
35	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200 mg/l 以下
36	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05 mg/l 以下
37	塩化物イオン	200 mg/l 以下
38	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/l 以下
39	蒸発残留物	500 mg/l 以下
40	陰イオン界面活性剤	0.2 mg/l 以下
41	ジェオスミン	0.00001 mg/l 以下 ※
42	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/l 以下 ※
43	非イオン界面活性剤	0.02 mg/l 以下
44	フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005 mg/l 以下
45	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	5 mg/l 以下
46	pH 値	5.8 以上 8.6 以下
47	味	異常でないこと
48	臭気	異常でないこと
49	色度	5 度以下であること
50	濁度	2 度以下であること

※平成 16 年 4 月 1 日に布設されている水道により供給される水(表中 41 項及び 42 項)については、平成 19 年 3 月 31 日までは 0.00002mg/l とする。

イ 水質管理目標設定項目

(平成 15 年 10 月 10 日付け健発第 1010004 号 厚生労働省健康局長通達)

	項目	目標値
1	アンチモン及びその化合物	アンチモンの量に関して、0.015mg/l以下
2	ウラン及びその化合物	ウランの量に関して、0.002mg/l以下(暫定)
3	ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して、0.01mg/l以下(暫定)
4	亜硝酸態窒素	0.05mg/l以下(暫定)
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l以下
6	トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下
7	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/l以下
8	トルエン	0.2mg/l以下
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.1mg/l以下
10	亜塩素酸	0.6mg/l以下
11	塩素酸	0.6mg/l以下
12	二酸化塩素	0.6mg/l以下
13	ジクロロアセトニトリル	0.04mg/l以下(暫定)
14	抱水クロラール	0.03mg/l以下(暫定)
15	農薬類 (101農薬)	検出値と目標値の比の和として、1以下
16	残留塩素	1mg/l以下
17	カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	10mg/l以上100mg/l以下
18	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.01mg/l以下
19	遊離炭酸	20mg/l以下
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/l以下
21	メチル- <i>t</i> -ブチルエーテル	0.02mg/l以下
22	有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/l以下
23	臭気強度 (TON)	3以下
24	蒸発残留物	30mg/l以上200mg/l以下
25	濁度	1度以下
26	pH値	7.5程度
27	腐食性 (ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける

ウ おいしい水の水質要件 (昭和 60 年 4 月 24 日 厚生省おいしい水研究会)

水質項目	数値	水質項目	数値
蒸発残留物	30~200mg/l	遊離炭酸	3~30mg/l
過マンガン酸カリウム消費量	3mg/l以下	臭気度	3以下
残留塩素	0.4mg/l以下	水温	最高 20℃以下
硬度	10~100mg/l		



(9) 水産用水基準 ((社) 日本水産資源保護協会 平成 18 年 3 月)

項目	基準値		
	淡水域		海域
	河川	湖沼	
有機物 COD BOD	BOD ①自然繁殖条件 3mg/l 以下(ただし、サケ・マス・アユを対象とする場合は 2mg/l 以下) ②成育条件 5mg/l 以下(ただし、サケ・マス・アユを対象とする場合は 3mg/l 以下)	COD <sub>Mn</sub> (酸性法) ①自然繁殖条件 4mg/l 以下(ただし、サケ・マス・アユを対象とする場合は 2mg/l 以下) ②成育条件 5mg/l 以下(ただし、サケ・マス・アユを対象とする場合は 3mg/l 以下)	COD <sub>OH</sub> (アルカリ性法) ①一般海域 1mg/l 以下 ②ノリ養殖場、閉鎖性内湾の沿岸域 2mg/l 以下
全窒素		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コイ、フナを対象とする場合 1.0mg/l 以下</li> <li>・ワカサギを対象とする場合 0.6mg/l 以下</li> <li>・サケ科、アユ科を対象とする場合 0.2mg/l 以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準が定める水産 1 種 0.3mg/l 以下</li> <li>水産 2 種 0.6mg/l 以下</li> <li>水産 3 種 1.0mg/l 以下</li> <li>・ノリ養殖に最低必要な栄養塩濃度 無機態窒素 0.07 - 0.1mg/l</li> </ul>
全リン		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コイ、フナを対象とする場合 0.1mg/l 以下</li> <li>・ワカサギを対象とする場合 0.05mg/l 以下</li> <li>・サケ科、アユ科を対象とする場合 0.01mg/l 以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準が定める水産 1 種 0.03mg/l 以下</li> <li>水産 2 種 0.05mg/l 以下</li> <li>水産 3 種 0.09mg/l 以下</li> <li>・ノリ養殖に最低必要な栄養塩濃度 無機態リン 0.007 - 0.014mg/l</li> </ul>
溶存酸素 (DO)	6mg/l 以上(ただし、サケ・マス・アユを対象とする場合は 7mg/l 以上)	同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6mg/l 以上</li> <li>・内湾漁場の夏季底層においては 4.3mg/l を最低限維持</li> </ul>
pH	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6.7~7.5</li> <li>・急激な変化がないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6.7~7.5</li> <li>・急激な変化がないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7.8~8.4</li> <li>・急激な変化がないこと。</li> </ul>
懸濁物質 (SS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25mg/l 以下(ただし、人為的に加えられるものは 5mg/l 以下)</li> <li>・忌避行動などの原因とならないこと。</li> <li>・水生植物の繁殖、生長に影響を及ぼさないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①貧栄養湖で、サケ、マス、アユなどの生産に適する湖沼は 1.4mg/l 以下、透明度は 4.5m 以上</li> <li>②温水性魚類の生産に適する湖沼は 3.0mg/l 以下、透明度は 1.0m 以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人為的に加えられるもの 2mg/l 以下</li> <li>・海藻類の繁殖、生長に影響を及ぼさないこと。</li> </ul>
着色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光合成に必要な光の透過が妨げられないこと。</li> <li>・忌避行動の原因とならないこと。</li> </ul>		
水温	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産生物に悪影響を及ぼすほどの水温の変化がないこと。</li> </ul>		
大腸菌類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸菌群数 (MPN) が 100ml 当たり 1,000 以下であること。ただし、生食用のカキを飼育するためには 100ml 当たり 70 以下であること。</li> </ul>		

項目	基準値		
	淡水域		海域
	河川	湖沼	
油分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水中には油分が検出されないこと。</li> <li>・水面には油膜が認められないこと。</li> </ul>		
有害物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表に掲げる物質ごとに、同表の基準値の欄に掲げるとおり。</li> </ul>		
底質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川及び湖沼では、有機物などにより汚泥床、ミズワタなどの発生をおこさないこと。</li> <li>・海域では乾泥として COD<sub>OH</sub>（アルカリ性法）20mg/g 以下、硫化物 0.2mg/g 以下、ノルマルヘキサン抽出物 0.1%以下であること。</li> <li>・微細な懸濁物が岩面、礫、又は砂利などに付着し、種苗の着生、発生あるいはその発育を妨げないこと。</li> <li>・溶出試験により得られた検液中の有害物質のうち、水産用水基準で基準値が定められている物質については、水産用水基準の基準値の 10 倍を下回ること。ただしカドミウム、全シアン、アルキル水銀、PCB については、溶出試験で得られた検液中の濃度がそれぞれの化合物の定量限界を下回ること。</li> <li>・ダイオキシン類の濃度は 150pgTEQ/g を下回ること。</li> </ul>		

別表 有害物質の基準値

項目	基準値(mg/l)		項目	基準値(mg/l)	
	淡水域	海水域		淡水域	海水域
カドミウム	検出されないこと	検出されないこと	ダイアジノン	検出されないこと	検出されないこと
全シアン	0.05	0.05	フェニトロチオン (MEP)	検出されないこと	検出されないこと
鉛	0.003	0.003	イソプロチオラン	0.04	0.04
六価クロム	0.003	0.01	オキシシン銅	0.006	—
砒素	0.01	0.01	クロロタロニル (TPN)	0.001	0.002
総水銀	0.0002	0.0001	プロピザミド	0.008	—
アルキル水銀	検出されないこと	0.001	EPN	検出されないこと	検出されないこと
PCB	検出されないこと	検出されないこと	ジクロロボス (DDVP)	検出されないこと	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02	0.02	フェノカルブ (BPMC)	検出されないこと	0.003
四塩化炭素	0.002	0.002	イプロベンホス (IBP)	検出されないこと	0.008
1,2-ジクロロエタン	0.004	0.004	クロロニトロフェン (CNP)	0.0009	0.08
1,1-ジクロロエチレン	0.02	0.02	トルエン	0.4	0.3
1,1,1-トリクロロエタン	0.5	0.5	キシレン	0.4	—
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	0.006	フタル酸ジエチルヘキシル	0.001	0.06
トリクロロエチレン	0.03	0.03	ニッケル	0.004	0.007
テトラクロロエチレン	0.01	0.002	モリブデン	0.07	0.07
1,3-ジクロロプロペン	0.002	0.002	アンチモン	0.008	0.4
チウラム	検出されないこと	—	マンガン	0.2	0.2
シマジン (CAT)	0.003	—	アンモニア態窒素	0.01	0.03
チオベンカルブ	0.001	0.02	残留塩素 (残留オキシダント)	検出されないこと	検出されないこと
ベンゼン	0.01	0.01	硫化水素	検出されないこと	検出されないこと
セレン	0.002	0.01	銅	0.0009	検出されないこと
硝酸態窒素	9	7	亜鉛	検出されないこと	検出されないこと
亜硝酸態窒素	0.03	0.06	アルミニウム	検出されないこと	0.1
ふっ素	0.8	1.4	鉄	0.09	0.2
ほう素	検出されないこと	4.5	陰イオン界面活性剤	検出されないこと	検出されないこと
ダイオキシン	1 pgTEQ/l	1 pgTEQ/l	非イオン界面活性剤	検出されないこと	検出されないこと
クロロホルム	0.05	0.06	ベンゾ(a)ピレン	検出されないこと	0.00001
1,2-ジクロロプロパン	0.06	0.06	トリブチルスズ化合物	0.000007	0.000002
p-ジクロロベンゼン	0.1	0.07	トリフェニルスズ化合物	—	検出されないこと
イソキサチオン	検出されないこと	検出されないこと	フェノール	0.008	0.2
			ホルムアルデヒド	0.5	0.04

- 備考 ・「検出されないこと」とは、項目ごとに定められた分析方法により測定した結果が、当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- ・「—」については、基準値が設定されていない。

(10) 農業用水基準 (農林省 昭和 45 年 3 月…かんがい用水の水質指標)

項 目	基 準 値	項 目	基 準 値
pH	6.0～7.5	電気伝導度 (ms/cm)	0.3 以下
COD (ppm)	6 以下	ヒ素 (ppm)	0.05 以下
SS (ppm)	100 以下	亜鉛 (ppm)	0.5 以下
DO (ppm)	5 以上	銅 (ppm)	0.02 以下
全窒素 (ppm)	1 以下		

(11) 食品中の PCB 暫定的規制値

(昭和 47 年 8 月 24 日付け環食第 442 号 厚生省環境衛生局長通達)

項 目		規 制 値
魚介類	遠洋沖合魚介類	0.5 ppm
	内海内湾 (内水面を含む。) 魚介類 (可食部)	3 ppm

(12) 魚介類の水銀暫定的規制値

(昭和 48 年 7 月 23 日付け環乳第 99 号 厚生省環境衛生局長通達)

項 目	規 制 値
総 水 銀	0.4 ppm
メ チ ル 水 銀	0.3 ppm (水銀として)

ただし、マグロ類 (マグロ、カジキ及びカツオ) 及び内水面水域の河川産の魚介類 (湖沼産の魚介類は含まない。)、並びに深海性魚介類等 (メヌケ類、キンメダイ、ギンダラ、ベニズワイガニ、エッチュウバイガイ及びサメ類) については適用しない。

(13) 悪臭防止法に基づく排出水中における特定悪臭物質の規制基準

(昭和 48 年 3 月 31 日富山県告示第 271 号、平成 18 年全改正)

ア 規制地域

以下の市町名の欄に掲げる市町の区域のうち、同表の基準日の欄に掲げる日において都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 2 章の規定による都市計画に定められている同法第 8 条第 1 項第 1 号に掲げる第 1 種低層住居専用地域、第 2 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域、第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域及び工業専用地域

市町名	基準日
高岡市	平成18年3月31日
魚津市	同上
氷見市	同上
滑川市	同上
黒部市	同上
砺波市	同上
小矢部市	同上
南砺市	同上
射水市	同上
上市町	同上
立山町	同上
入善町	同上
朝日町	同上

備考 富山市については、規制地域の指定及び規制基準の設定を独自に行っている。

イ 規制基準

排出水中における特定悪臭物質の規制基準  $C_{Lm} = k \times C_m$

$C_{Lm}$  : 排出水中における特定悪臭物質の濃度 (単位: mg/l)

k : 定数 (悪臭防止法施行規則別表第 2) (単位: mg/l)

$C_m$  : 事業場の敷地境界線の地表における規制基準 (単位: ppm)

定数 k 及び事業場の敷地境界線の地表における規制基準  $C_m$

特定悪臭物質	定数 k (単位: mg/l)			事業場の敷地境界線の地表における規制基準 $C_m$ (単位: ppm)	
	排水量 0.001 m <sup>3</sup> /s 以下	排水量 0.001 m <sup>3</sup> /s を超え、 0.1 m <sup>3</sup> /s 以下	排水量 0.1 m <sup>3</sup> /s を超える	工業専用地域	その他の 用途地域
メチルメルカプタン	16	3.4	0.71	0.004	0.002
硫化水素	5.6	1.2	0.26	0.06	0.02
硫化メチル	32	6.9	1.4	0.05	0.01
二硫化メチル	63	14	2.9	0.03	0.009

注 工業専用地域とは、規制地域のうち都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号に掲げる工業専用地域をいい、その他の用途地域とは規制地域のうち工業専用地域以外の区域をいう。

排出水中に含まれる特定悪臭物質の規制基準 $C_{Lm}$  (単位: mg/l)

排水量 規制地域	0.001 m <sup>3</sup> /s 以下		0.001 m <sup>3</sup> /s を超え、 0.1 m <sup>3</sup> /s 以下		0.1 m <sup>3</sup> /s を超える	
	工業専用地域	その他の 用途地域	工業専用地域	その他の 用途地域	工業専用地域	その他の 用途地域
特定悪臭物質						
メチルメルカプタン	0.06	0.003	0.01	0.007	0.003	0.001
硫化水素	0.3	0.1	0.07	0.02	0.02	0.005
硫化メチル	2	0.3	0.3	0.07	0.07	0.01
二硫化メチル	2	0.6	0.4	0.1	0.09	0.03

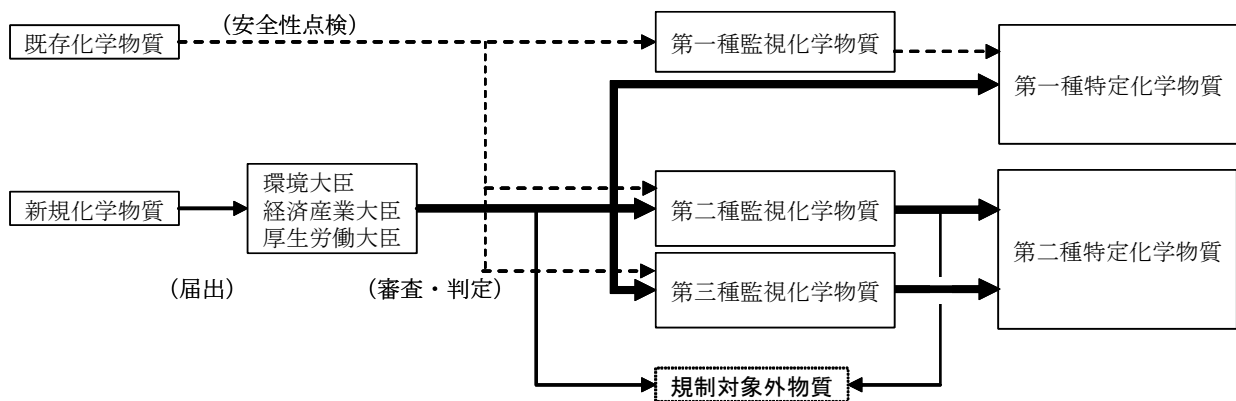
注 工業専用地域とは、規制地域のうち都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号に掲げる工業専用地域をい  
い、その他の用途地域とは規制地域のうち工業専用地域以外の区域をいう。

#### (14) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）の概要

PCB による環境汚染問題を契機として、PCB 類似の性状（難分解性、高蓄積性、人への長期毒性）を有する化学物質の規制を目的として昭和 48 年に制定された。

同法は、その後、トリクロロエチレンやテトラクロロエチレンによる地下水汚染問題等を契機に昭和 61 年に改正されている。さらに平成 15 年に化学物質管理に関する国際動向及び OECD 勧告を踏まえ、改正が行われた。

#### ア 化審法の仕組み



イ 化審法による化学物質の規制区分及び指定状況

区 分	定 義	規 制 内 容	指定化学物質数	
第一種 特定化学物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 難分解性あり</li> <li>● 高蓄積性あり</li> <li>● 人への長期毒性又は高次捕食動物への毒性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造・輸入の許可制（事実上禁止）</li> <li>● 特定の用途以外での使用の禁止</li> <li>● 政令指定製品の輸入禁止等</li> </ul>	15 物質	表 1
第二種 特定化学物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 難分解性あり</li> <li>● 高蓄積性なし</li> <li>● 人への長期毒性又は生活環境動植物への毒性あり</li> <li>● 被害の恐れが認められる環境残留</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造・輸入予定/実績数量等の届出</li> <li>● 必要に応じて、製造・輸入予定数量等の変更命令</li> <li>● 技術上の指針公表・勧告</li> <li>● 表示義務・勧告 等</li> </ul>	23 物質	表 2
第一種 監視化学物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 難分解性あり</li> <li>● 高蓄積性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造・輸入の実績数量等の届出</li> <li>● 指導・助言</li> <li>● 必要に応じ有害性調査指示 等</li> </ul>	25 物質	略
第二種 監視化学物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 難分解性あり</li> <li>● 高蓄積性なし</li> <li>● 人への長期毒性の疑いあり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造・輸入の実績数量等の届出</li> <li>● 指導・助言</li> <li>● 必要に応じ有害性調査指示等</li> </ul>	842 物質	略
第三種 監視化学物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 難分解性あり</li> <li>● 高蓄積性なし</li> <li>● 動植物への毒性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造・輸入実績数量等の届出</li> <li>● 指導・助言</li> <li>● 必要に応じ有害性調査指示等</li> </ul>	-	-
上記区分に該当しないもの		規制なし		

表 1 第一種特定化学物質

通し番号	化 学 物 質 名	指 定 年 月 日
1	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	昭和 49 年 6 月 7 日
2	ポリ塩化ナフタレン(PCN、塩素数が 3 つ以上のものに限る。)	昭和 54 年 8 月 14 日
3	ヘキサクロロベンゼン (HCB)	〃
4	アルドリノ	昭和 56 年 10 月 2 日
5	ディルドリン	〃
6	エンドリン	〃
7	DDT	〃
8	クロルデン類 (クロルデン又はヘプタクロル)	昭和 61 年 9 月 17 日
9	ビス (トリブチルスズ) =オキシド	平成元年 12 月 27 日
10	N,N'-ジトリル-パラ-フェニレンジアミン、N-トリル-N'-キシリル-パラ-フェニレンジアミン、又は N,N'-ジキシリル-パラ-フェニレンジアミン	平成 12 年 12 月 27 日
11	TTBP	〃
12	トキサフェン	平成 14 年 9 月 4 日
13	マイレックス	〃
14	ケルセン (ジコホル)	平成 17 年 4 月 1 日
15	ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン	〃

表2 第二種特定化学物質

通し番号	化学物質名	指定年月日
1	トリクロロエチレン	平成元年3月29日
2	テトラクロロエチレン	〃
3	四塩化炭素	〃
4	トリフェニルスズ=N,N-ジメチルジチオカルバマート	平成元年12月27日
5	トリフェニルスズ=フルオリド	〃
6	トリフェニルスズ=アセタート	〃
7	トリフェニルスズ=クロリド	〃
8	トリフェニルスズ=ヒドロキシド	〃
9	トリフェニルスズの脂肪酸塩（脂肪酸の炭素数が9、10又は11のものに限る。）	〃
10	トリフェニルスズ=クロロアセタート	〃
11	トリブチルスズ=メタクリラート	平成2年9月12日
12	ビス（トリブチルスズ）=フマラート	〃
13	トリブチルスズ=フルオリド	〃
14	ビス（トリブチルスズ）=2,3-ジブロモスクシナート	〃
15	トリブチルスズ=アセタート	〃
16	トリブチルスズ=ラウラート	〃
17	ビス（トリブチルスズ）=フタラート	〃
18	アルキル=アクリラート・メチル=メタクリラート・トリブチルスズ=メタクリラート共重合体（アルキル=アクリラートのアルキル基の炭素数が8のものに限る。）	〃
19	トリブチルスズ=スルファート	〃
20	ビス（トリブチルスズ）=マレアート	〃
21	トリブチルスズ=クロリド	〃
22	トリブチルスズ=シクロペンタンカルボキシラート及びこの類縁化合物の混合物（別名トリブチルスズ=ナフテナート）	〃
23	トリブチルスズ=1,2,3,4,4a,4b,5,6,10,10a-デカヒドロ-7-イソプロピル-1,4a-ジメチル-1-フェナントレンカルボキシラート及びこの類縁化合物の混合物（別名トリブチルスズロジン塩）	〃



## (15) 化学物質の内分泌かく乱作用に関する対応

環境省は、「化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応方針について（ExTEND2005）」を公表した。ExTEND2005では、特定の化学物質をリストアップするのではなく、すべての化学物質の中から規制の対象となっている物質、国内の使用実態、国際機関などの公的機関が公表した報告書などを参考に試験対象物質を選定している。また、ヒトへの影響のみならず野生生物等の生態系への影響や天然のホルモン様物質についても視野に入れて評価することなどが盛り込まれた。

### 《ExTEND2005の具体的な方針》

#### (1) 野生生物の観察

専門家による調査・研究に加えて、地域レベルの観察活動等を活用し、野生生物の変化やその前兆を継続的に把握していく。

#### (2) 環境中濃度の実態把握と暴露の測定

化学物質環境実態調査を体系的に行い、調査結果を有効に活用していく

#### (3) 基盤的研究の推進

化学物質の内分泌かく乱作用のメカニズムについては未解明な部分が多いため、生態系、個体、細胞・分子の各レベルにおいて、基礎的知見を集積し、試験評価手法を確立していく。

#### (4) 影響評価

すべての化学物質の中から、各種規制・基準に記載された物質、内分泌かく乱作用が懸念された物質等の試験対象とする物質を選定し、その物質について、ヒトあるいはヒト以外の生物種における内分泌かく乱作用を推察する。

#### (5) リスク評価

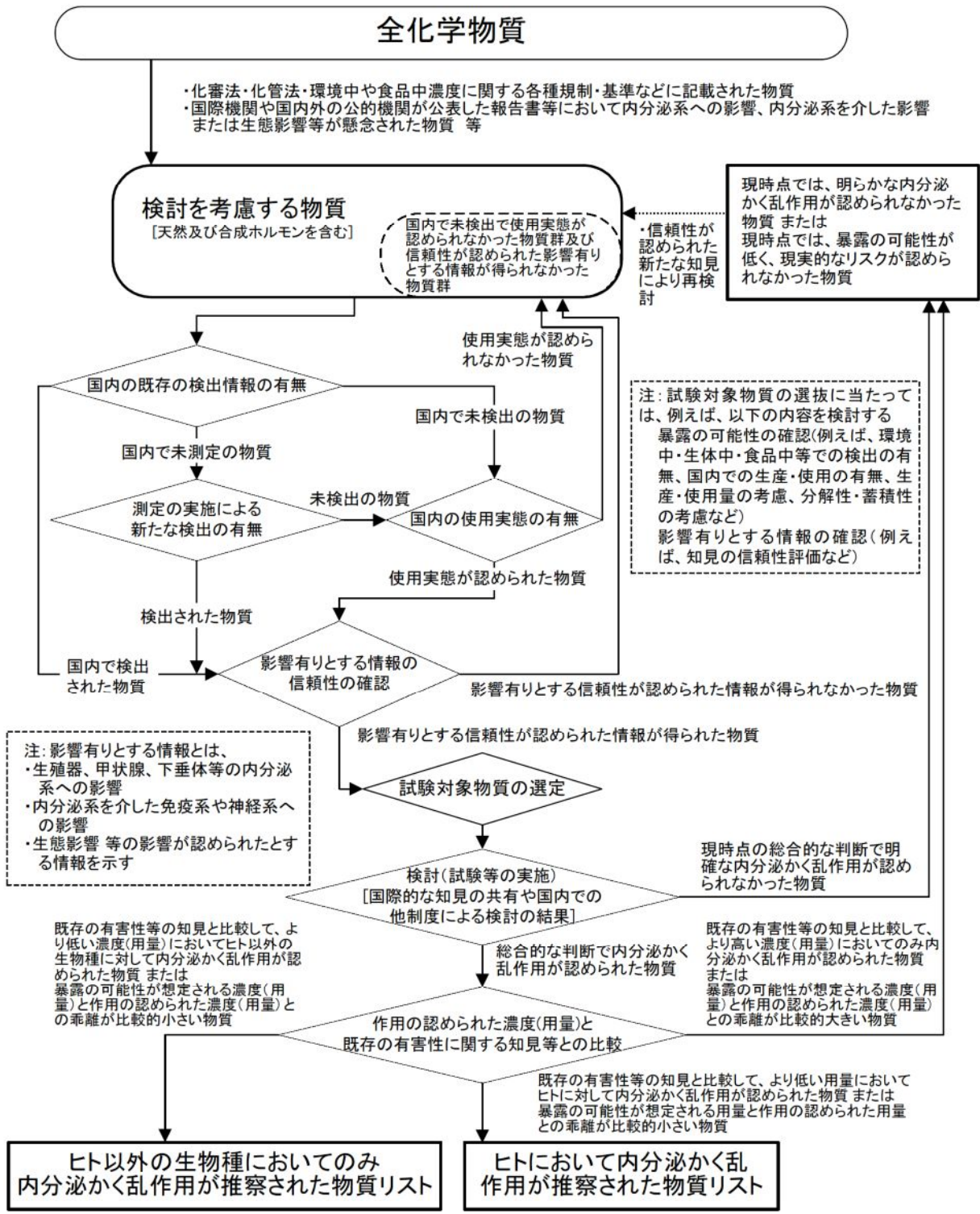
対象物質について、有害性評価と暴露評価からリスクの程度を評価する。

#### (6) リスク管理

リスク管理が必要な化学物質が判明した場合、対応を検討できる体制を整える。

#### (7) 情報提供とリスクコミュニケーションの推進

化学物質の内分泌かく乱作用に係る環境リスクの情報について、様々な立場の人々が共有できるよう、情報提供の方法等を検討し、リスクコミュニケーションを推進する。



化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験対象物質選定と評価の流れ

# 11 水質環境計画の概要

水質環境計画(クリーンウォーター計画)は、昭和 62 年 2 月に策定されてから今日に至るまで、本県の水質環境の保全を総合的かつ計画的に推進するための指針としての役割を果たしてきた。

これまでの計画は、平成 9 年 9 月に改定されたものであり、その後、平成 13 年 4 月に 21 世紀初頭における県づくりの目指すべき方向を定めた「富山県民新世紀計画」が策定されたほか、富山湾の水質汚濁の顕在化、ダイオキシン類対策特別措置法の制定など、水質環境を取り巻く状況が変化してきたことから、これに対応するため、平成 14 年 3 月に所要の改定を行った。

## 1 計画の基本的考え方

### (1) 趣旨

本計画は、これまで実施してきた施策の推進状況や各種の調査結果等をもとに、新たな環境問題への対応についても考慮のうえ、環境の世紀と言われる 21 世紀の、その初頭における本県の水質環境を保全する指針を示し、将来にわたって「水の王国とやま」を引き継いでいくための施策を明らかにするものである。

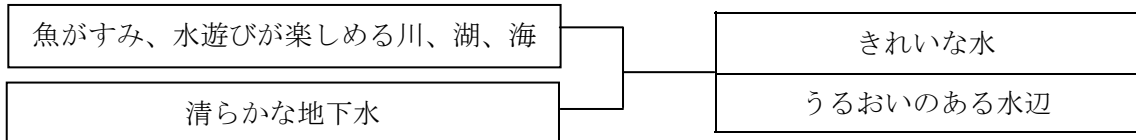
### (2) 性格

「富山県環境基本条例」に定める環境基本計画に基づく水質汚濁防止に関する個別計画であり、水質環境の保全を総合的かつ計画的に推進し、目標を実現するための施策を示すとともに、水環境を利用する際の指針となるものである。

### (3) 目標

計画の目標は、“魚がすみ、水遊びが楽しめる川、湖、海及び清らかな地下水”とする。具体的な目標は、次のとおり設定する。

<目標>



<具体的な目標>

きれいな水	公共用水域	有害物質	環境基準
		河川の水質	環境基準の B 類型相当以上※
		湖沼の水質	環境基準の A 類型相当以上
		海域の水質	環境基準の B 類型相当以上※
	地下水域	有害物質	環境基準
うるおいのある水辺	水辺空間	周辺の景観と調和が図られ、水や緑、魚などの自然と触れ合うことができ、散策など憩いの場が確保されていること	

※環境基準が A 類型や AA 類型に指定されている水域については、その環境基準の達成維持を目標とする。

### (4) 期間

計画の期間は、特に定めないものとする。なお、計画の円滑な推進を図るため、概ね 5 年を目途に、施策等の見直しを図るものとする。

### (5) 対象水域

県下全域の公共用水域及び地下水域を対象とする。

## 2 計画の施策

次頁の施策体系のとおり。

<主な改定施策>

### ① 河川水質目標のレベルアップ

河川の水質がこれまでの目標（環境基準のC類型（BOD：5 mg/λ））をすべて達成したことから、21世紀初頭における本県のよりよい水質環境の確保を目指し、目標を1ランクレベルアップする。（B類型（BOD：3 mg/λ）相当以上）

### ② 富山湾の水質改善対策の推進

富山湾に汚濁の原因である窒素、りんの水質環境目標を設定し、海域へ流入する窒素、りんの削減（生活排水、産業排水、農業排水等）対策を総合的・計画的に推進する。

富山湾海域における窒素、りんの水質環境目標

水域名	窒素	りん
小矢部川河口海域（乙）	0.17 mg/λ以下	0.016 mg/λ以下
神通川河口海域（乙）	0.23 mg/λ以下	0.017 mg/λ以下
その他の富山湾海域	0.14 mg/λ以下	0.010 mg/λ以下

### ③ 有害化学物質対策

有害化学物質による汚染実態を把握するためのダイオキシン類や環境ホルモン調査の実施や水質汚染等の浄化対策を実施するとともに、化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき工場・事業場における化学物質の適正管理を推進する。

### ④ 国際環境協力の推進

富山湾の水質保全及び「日本海学」を確立、推進するという理念のもとに環日本海地域における国際環境協力を行うとともに、北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）と連携を図り、日本海及びその周辺地域における海洋環境の保全を推進する。

## 3 計画の推進

### （1）行政、事業者、県民の役割

- ① 県は、長期的な展望に立って施策の展開を図るとともに、各種事業計画の策定に当たっては、この計画を指針とする。
- ② 市町村は、住民とともに水質環境の保全に努め、各種事業計画の策定に当たっては、地域の特性に配慮する。
- ③ 事業者は、水質環境に配慮した事業行動を行うとともに、開発行為を行うに当たっては、本計画の施策に配慮する。
- ④ 県民は、身近な水質環境の保全に努めるとともに、本計画の施策の推進に協力する。

### （2）計画の推進体制

計画の施策を、適正かつ効果的に推進するため、水質環境計画推進協議会において施策の実施状況や実施計画について協議する。

### （3）計画の進行管理

公共用水域及び地下水の水質調査等を実施し、水質環境の実態や施策の効果などを評価するとともに、施策を実施するうえで必要な情報の収集、整備に努める。

## 12 窒素・りん削減対策技術マニュアルの概要

工場・事業場からの産業系排水、生活系排水による窒素、りんの排出負荷量の削減を推進するため、削減のための基本的な考え方や生産プロセス、排水処理における改善などの事例を紹介したマニュアルを平成15年2月に作成した。

### 1 窒素・りん排出負荷量削減の基本的考え方

窒素、りんの排出負荷量を削減する方法として3つの方法があります。

#### ①生産プロセス対策

排水中に窒素、りんが排出されないように製造方法、プロセス管理を改善する方法

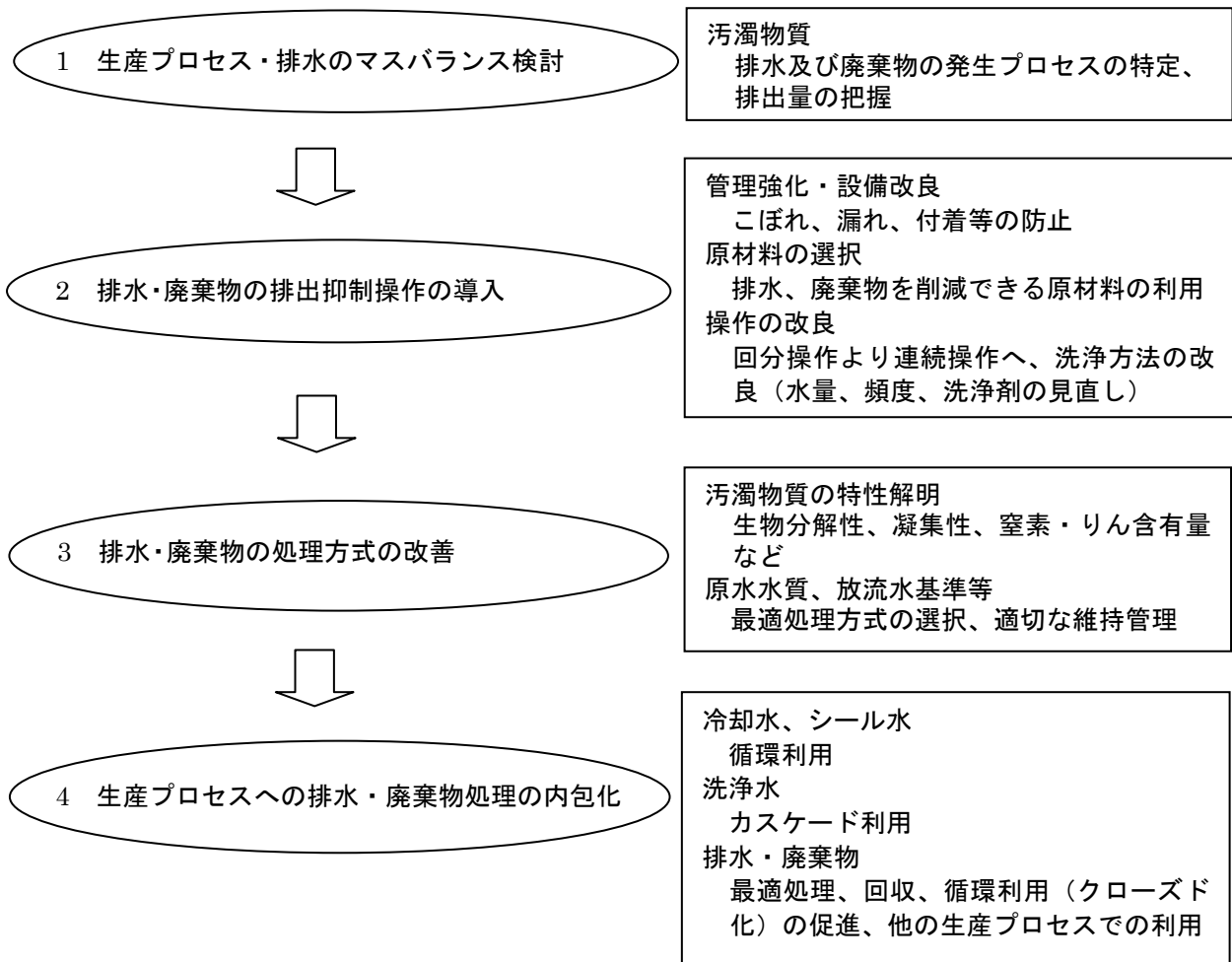
#### ②排水処理対策

排水中の窒素、りんを除去してから排出する方法

#### ③生産プロセスネットワークの構築

プロセスから使用されずに排出された窒素、りんを含む未利用物質を別の工場・事業場の生産プロセスの原料として利用する方法

### 排出負荷量削減フロー



## 2 生産プロセス対策

生産プロセス対策には3つの方法があり、インプットアウトプットモデルを活用し、オンサイト処理を考慮した処理水リサイクルの導入など窒素、リンの負荷量の削減対策について検討します。

### ①インプット対策

窒素、リンを含まない原料、使用薬品への転換、使用量の適正化

### ②生産プロセス内対策

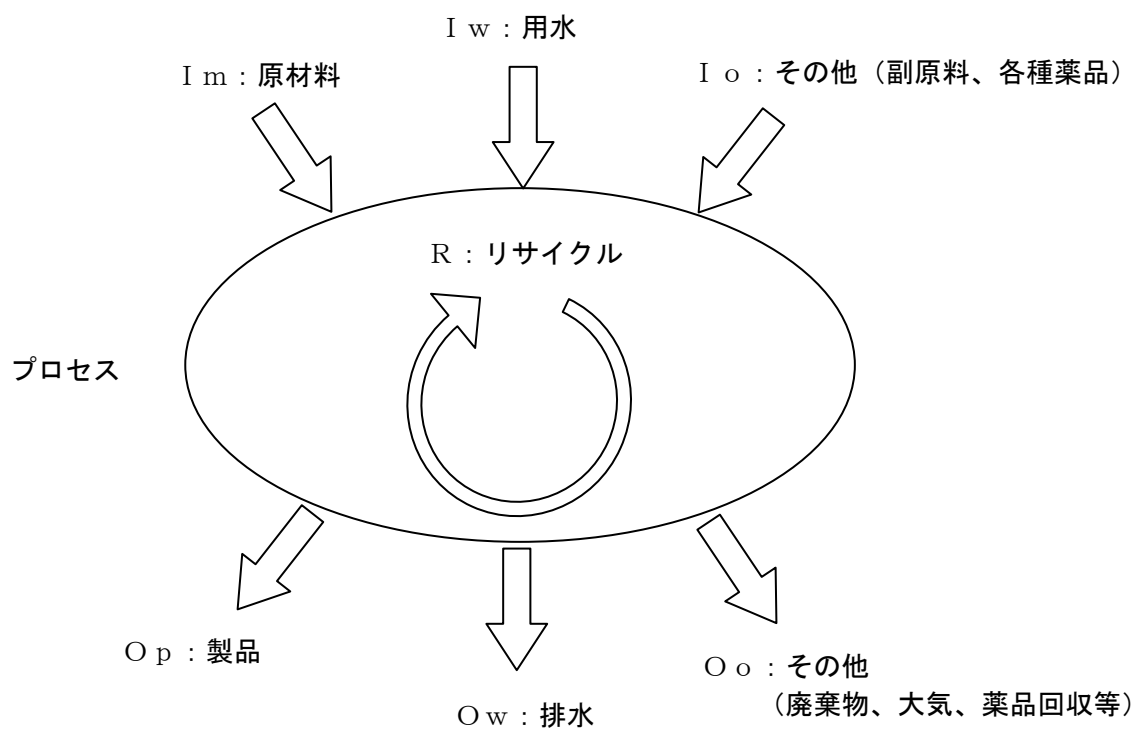
前処理、加工、仕上げ後処理、作業場・製造施設の洗浄プロセスにおける洗浄方法、製品の歩留等の改善による排水系への負荷の削減

### ③リサイクル対策

水の合理化、有効成分の回収、再利用による排水系への負荷削減

### インプットアウトプットモデル

インプット



アウトプット

### 3 排水処理対策

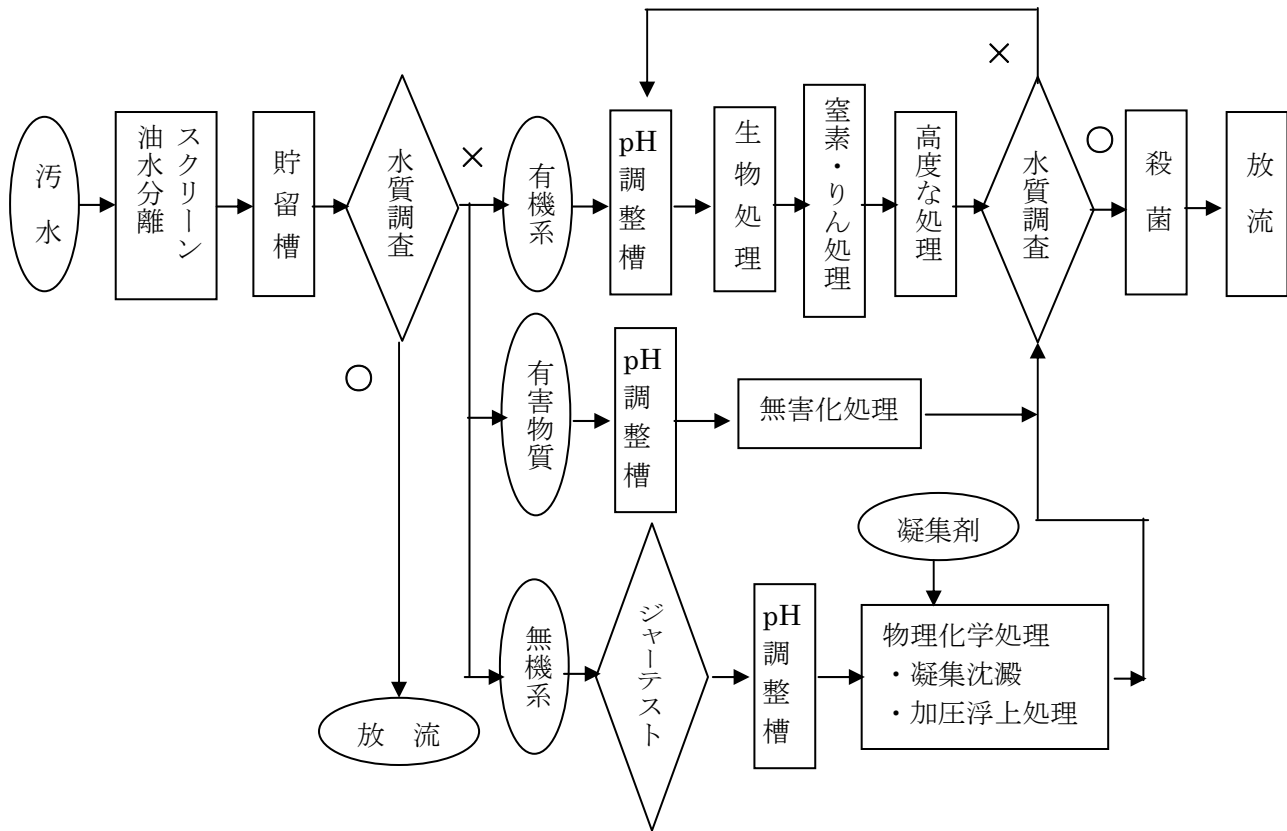
排水処理プロセスには、物理化学的処理法と生物学的処理法があり、排水処理システムの検討フローに従って排水の性状に応じた有機系処理、無機系処理、有害物質処理対策を考慮の上、処理の高度化について検討します。

また、既設の処理施設は、維持管理の改善や窒素、りん除去率の向上について検討します。

#### 主な窒素・りんの排水処理方法

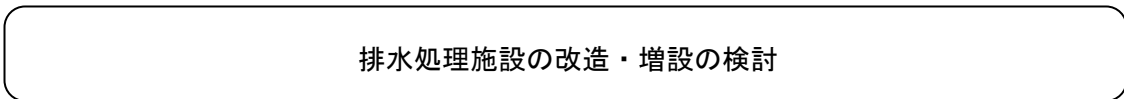
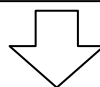
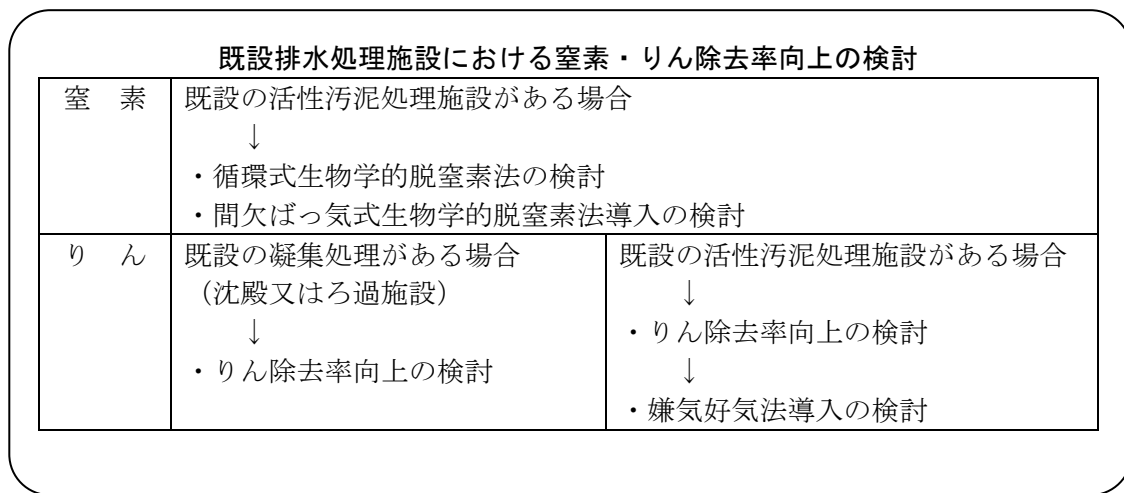
窒素・りん排水処理プロセス		BOD	窒素	りん	規模：用途
物理化学的処理法	アンモニアストリッピング法		◎		大規模：産業系排水
	不連続点塩素処理法		◎		小規模：産業系排水
	触媒湿式酸化法	○	◎		中～小規模：産業系排水
	イオン交換法		◎	○	小規模：産業系排水
	凝集沈殿法	○		◎	大～小規模：産業系排水
	晶析法			◎	中～小規模：産業系排水
	吸着法	○		◎	中～小規模：産業系排水
	MAP法 (りん酸マグネシウムアンモニウム法)		○	◎	大～小規模：生活系排水
フォストリップ法			◎	大～小規模：生活系・産業系排水	
生物学的処理法	循環式硝化脱窒法	◎	◎		大～小規模：生活系・産業系排水
	間欠ばっ気式活性汚泥法	◎	○	○	中～小規模：生活系・産業系排水
	包括固定化活性汚泥法	◎	◎	○	中～小規模：生活系・産業系排水
	回分式活性汚泥法	◎	○	○	中～小規模：生活系・産業系排水
	オキシデーションディッチ法	◎	○	○	中～小規模：生活系排水
	嫌気好気活性汚泥法 (AO 法)	◎	○	◎	大～小規模：生活系・産業系排水
	嫌気無酸素好気活性汚泥法 (A <sub>2</sub> O 法)	◎	◎	◎	大～小規模：生活系・産業系排水
凝集剤併用生物学的脱窒法	◎	◎	◎	大～小規模：生活系排水	

注 ◎（除去効果が大）及び○（除去可能）は、汚濁物質の除去程度を一応の目安として示したものである。



一般的な排水処理システムの検討フロー

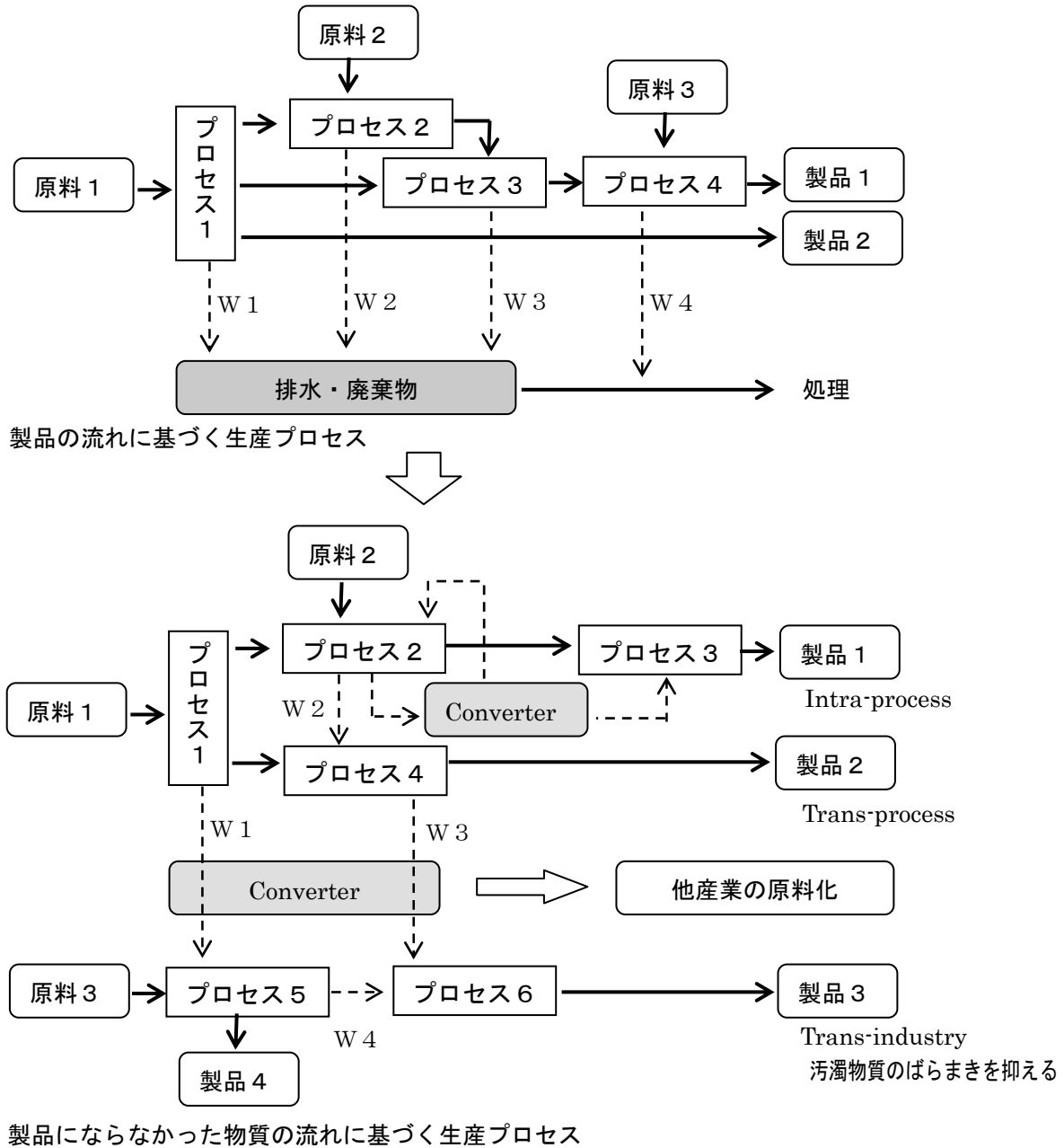
既設排水処理施設の検討





#### 4 生産プロセスネットワークの構築

廃水、廃棄物という概念を改め、生産プロセスで排出された未利用物質を利用価値がある資源として認識し、生産プロセス内での利用（Intra-process）から他部門生産プロセスでの利用（Trans-process）へ、そして他の産業での利用（Trans-industry）へと窒素・りん含有排水、廃棄物の有効利用を目指し、業種内・業種間のネットワークの構築を検討します。



※ 環境省水環境部閉鎖性海域対策室監修：第5次水質総量規制対応版、小規模事業場排水処理対策全科(2002)より抜粋

#### 5 自主管理の推進

窒素、りん的环境への排出負荷量の現状や改善効果を把握するためには、放流水の水質測定や生産プロセスのマスマランスの点検等について自主管理が必要です。

# 13 「とやまの名水」

注 ★は、環境省の「名水百選」選定名水

No.	名称	所在地	区分	説明
1	しつちやだき 七重滝	下新川郡朝日町笹川	滝	約60mの断層崖を七段に落下する雄大な滝。名勝として、古くから人々に親しまれています。
2	★すぎさわ さわ 杉沢の沢スギ	下新川郡入善町吉原	湧水	黒部川扇状地扇端部の湧水地帯。沢杉が生い茂り、沢には地下水が白砂を上げて湧き出しています。
3	たかせ ゆうすい にわ 高瀬湧水の庭	下新川郡入善町高瀬	湧水	黒部川右岸の自噴地帯における代表的な湧水で、清冷で豊富な量に恵まれています。県内外、他市町村からも多くの利用者がいます。
4	はか き しげんこうえん 墓ノ木自然公園	下新川郡入善町墓ノ木	その他	黒部川の清流や、自然をそのままの形で生かした河川敷に広がる約22haの公園であり、水と緑に親しみ、自然観察する格好の場所となっています。
5	くろべきょうこく 黒部峡谷	富山市、黒部市、 中新川郡立山町	河川	大小無数の溪流が黒部の本流となり、岩を削り、日本で最も深く、そして幽玄な峡谷美を形作っています。
6	じゆうにかんの 十二貫野用水	黒部市	農業用水	江戸時代に、椎名道三が高度な技術で開削した用水。一部の区間は、地域の文化遺産として復元・保存される予定になっています。
7	★しょうず 清水の壺	黒部市吉田 (JR生地駅)	湧水	北陸本線生地駅前に湧き出る清らかで冷たい水。御影石で作られた水飲み場が整備され、乗降客や市民ののどを潤しています。
8	★いくじ 生地の共同洗い場	黒部市生地	湧水	黒部川扇状地の豊富な湧水を利用し、地域住民が共同で管理している洗い場。主婦たちの語らいの場ともなっています。
9	めいすいこうえん しょうず 名水公園の清水	黒部市生地中区	湧水	生地漁港内の公園で「魚の駅」にも隣接していることから、毎年多くの人々が訪れており、おいしい水が飲める公園として親しまれています。
10	つきみじま しょうず 月見嶋の清水	黒部市生地山新	湧水	新治神社の境内にある月見嶋の池に湧き出す清水。12世紀ごろにあった「越之湖」の名残とされています。
11	むらつばき しょうず 村椿(飛驒)の清水	黒部市飛驒	湧水	黒部川扇状地にある豊富な水量と水の冷たさを誇る自噴井で、地域住民に愛され、大切に保全・整備されています。
12	はこね しょうず 箱根の清水	黒部市長屋	井戸	江戸時代に北陸道を行き来した旅人がのどを潤した休憩所が、宇奈月へと上がる県道の脇で現代人ののどと心を潤しています。
13	おりたて れいすい 下立の霊水	黒部市宇奈月町下立	湧水	地元地域住民はもちろん近隣市町村からも多くの人が霊水として水を汲みに訪れます。付近一帯は、とやま森林浴の森に指定され、自然環境学習の場としても利用されています。
14	こまあら いけ 駒洗い池	黒部市嘉例沢	湧水	戦国時代の武将たちが馬を洗い清めた池と伝えられ、今も美しい清水をたたえています。
15	かたかいがわ 片貝川の清流	魚津市	河川	万葉の歌人、大伴家持が「可多加比の川の瀬清く行く水の絶ゆることなくあり通ひ見む」と歌った清流です。
16	うおづえきまゑ 魚津駅前の「うまい水」	魚津市釈迦堂 (JR魚津駅)	井戸	日本一うまい水と池田弥三郎教授が折り紙をつけた魚津の水。旅行者や市民に親しまれています。
17	てんこすい てんこ水	魚津市諏訪町、本町	湧水	ちょうどごはんをてんこ盛りにしたように、川の底から水が湧き出てくるので、この名が付いたといわれます。
18	ぎょうでん きわしみず 行田の沢清水	滑川市上小泉	その他	早月川の伏流水が湧き出した清水。付近一帯は、自然林に囲まれ、市民が水と緑に親しむ格好の散策場所となっています。
19	★あなたん れいすい 穴の谷の霊水	中新川郡上市町黒川	湧水	行者が霊水として利用していたもので、近年は、この霊水を求めて全国から多くの人々が訪れます。
20	こうぼうだいし しみず 弘法大師の清水	中新川郡上市町護摩堂	湧水	弘法大師ゆかりの清水で、地域の人々に利用されてきました。これを飲むと頭がよくなるといわれています。
21	おおいわさんにつせきじ しみず 大岩山目石寺の藤水	中新川郡上市町大岩	湧水	古くから北陸の霊場として知られている大岩の不動。岩を回り出る藤水は、眼病に霊験有りと人々に信じられてきました。
22	かみいちがわえんがんえんとう 上市川沿岸円筒 ぶんすいじょうえんとう ぶんすいそう 分水場円筒分水槽	中新川郡上市町釈泉寺	農業用水	上市川の沿岸域の水争いを解決するため整備されました。地元では、先人の技術と熱意を後世に伝えるため、保存に努めています。
23	はやつきかわ 早月川の清流	中新川郡上市町 滑川市、魚津市	河川	北アルプスの剣岳に源を持ち、全国屈指の急流河川となつて、富山湾にそそいでいます。その河口の海は、ホタルイカ漁でにぎわうところです。

注 ★は、環境省の「名水百選」選定名水

No.	名称	所在地	区分	説明
24	★たてやまたまどの 立山玉殿の湧水	中新川郡立山町室堂	湧水	立山黒部アルペンルート <sup>の</sup> 立山トンネルの開通により噴出した湧水。2～5℃と非常に冷たく、水量も豊富です。
25	くろべこ 黒部湖	富山市、中新川郡立山町	湖沼	日本一の高さを誇るアーチ式ダムによる人造湖。エメラルドグリーン <sup>の</sup> 湖水に周囲の雄大な山々を映します。
26	みくりが池	中新川郡立山町室堂	湖沼	標高2,400m、立山黒部アルペンルートにある神秘的な湖。青々とした水面に映える立山の雄姿は美しい。
27	じょうがんじがわ 常願寺川の清流	富山市、中新川郡立山町	河川	長さ56km、万年雪を頂く立山・薬師岳に源を發し、日本海に注ぐ、我が国屈指の急流河川です。
28	しょうみょうだき 称名滝	中新川郡立山町芦峯寺 ブナ坂	滝	日本一の落差350mを誇る大滝。4段になって落ちるその豪快さは、訪れる人を驚嘆させます。
29	いわむろ 岩室の滝	中新川郡立山町虫谷	滝	落差24m、白布を垂らしたような滝。谷川が岩石の軟弱部を浸食後退してできたもので地質学上貴重です。
30	まつかわ 松川	富山市	河川	富山市の中心部を流れます。ニシキゴイが群泳し、桜並木と彫刻が川べりを彩る市民の憩いの川となっています。
31	いしくらまち えんめいじぞう 石倉町の延命地蔵の水	富山市石倉町	井戸	いたち川の川べりにある延命地蔵の御手洗い水。万病に効く名水ともいわれています。
32	なかのてら 中ノ寺の霊水	富山市上滝	湧水	弘法大師が祭られている祠の下から湧いている水。不老長寿、皮膚病に効く霊水といわれています。
33	ありみねこ 有峰湖	富山市有峰	湖沼	北アルプスの霊峰薬師岳に連なる山々の清流を集め、満々と水をたたえた湖です。湖面には美しい山々の姿を映します。
34	じょうさいごうくちようすい 常西谷口用水	富山市	農業用水	明治時代に、常願寺川左岸に12の用水を合併合口化してできた用水です。富山市の水道水源となっています。
35	とくましましろうず 殿様清水	富山市春日	湧水	昔、殿様が好んでこの湧水を飲んだことからこの名が付いたといわれます。今も茶人などに愛用されています。
36	やきやま 八木山の滝	富山市八木山	湧水	八木山の不動尊の祠から湧く水は、昔けものが傷をいやしたといわれ、現在は滝となり、絶えることなく落ちています。
37	じんづうきょう 神通峡	富山市	河川	飛騨盆地から富山平野に抜ける風光明媚な渓谷。県下屈指の景勝地で、県定公園となっています。
38	かつら しみず 桂の清水	富山市八尾町大玉生	湧水	大玉生八幡社横にある樹令千年といわれる桂の大木。その根元から沸き出す清冽な水で、人々の生活水として守られてきました。
39	かじすい 加持水	富山市婦中町千里	湧水	常願寺観音堂地内の湧水。聖観音が山田村から常楽寺へ移された時に湧き出てきたものと伝えられています。珍しい「ヒカリモ」があります。
40	かざんじ 花山寺の霊水	富山市山田若土	湧水	谷川沿いの岩間から湧き出る水。花山寺では水かけ地蔵を建立し、霊水として利用しています。
41	やくしょうじけ 薬勝寺池	富山市婦中町安田	湖沼	かんがい用のため池として、約500年前に作られたと伝えられています。現在は薬勝寺池公園として、地域住民の憩いの場となっています。
41	あさひ たき 朝日の滝	射水市中太閤山	湧水	この滝は、霊験があり不治の病も治すといわれ、親しまれてきました。江戸時代中期～後期には、全国から大勢の参拝者が訪れ、参道には、茶店や旅籠も立ち並んでいたといえます。
42	たんじょうじ たんじょうすい 誕生寺の誕生水	射水市島	井戸	約600年前、法華宗の開祖日隆聖人が誕生の折に湧出した清泉。聖人の産湯とされたことから「誕生水」と名付けられました。
43	ゆみ しょうすい 弓の清水	高岡市中田常国	湧水	木曾義仲が、平家との戦いのとき、部下の進言により弓矢を射ったところ湧き出た清水と伝えられています。
45	きゅうろつか しょうすい 旧六ヶ用水	高岡市滝	農業用水	地元住民と小・中学校児童の保存活動により、毎年ホタルが飛び交うようになり、観察会には多くの参加者があります。付近一帯は、県の天然記念物（ゲンジボタル等の生息地）に指定されています。
46	けたじんじや せいせん 気多神社の清泉	高岡市伏木一宮	湧水	大伴家持が住んだ万葉の里。杉木立にかこまれた岩壁から清泉が出ています。

注 ★は、環境省の「名水百選」選定名水

No.	名称	所在地	区分	説明
47	かげな 影無し井戸	高岡市末広町	井戸	高岡市の中心部にあり、約230年前、親孝行な六兵衛が掘ったと伝えられています。市民により大切に保存されています。
48	たかおかこじょうこうえん すいごう 高岡古城公園の水濠	高岡市古城	その他	前田利長の築いた城で設計者は高山右近と伝えられています。約67,000m <sup>2</sup> の水濠は満々と水をたたえ、四季を通じて美しい景観を映しています。
49	やべ ようりち 矢部の養鯉池	高岡市福岡町矢部	その他	庄川の伏流水が湧く矢部地内では、豊富な地下水を利用して、観賞用や食用のコイが盛んに養殖されています。
50	じょうにちじ かのんぼさつれいすい 上日寺の観音菩薩霊水	氷見市朝日本町	湧水	古くより、無病長寿に効く霊水といわれ、飲用されてきました。側には、国の天然記念物の大イチョウがそびえ立っています。
51	はとしみず 鳩清水	小矢部市埴生	湧水	埴生護国八幡宮の境内にあり御手洗水などに利用されています。年中枯れることなく、参拝者に潤いを与えています。
52	みやまきょう 宮島峡	小矢部市宮島	河川	小矢部川の支流、子撫川の清流に沿った谷間。小さなナイアガラといわれる。「一の滝」をはじめ、多くの滝や淵からなっています。
53	おおしょうづ 大清水	小矢部市臼谷	湧水	底から清水が白砂を上げて湧き出しています。池には、市の天然記念物に指定されているアシツキが自生しています。
54	うりわりしょうづ ★瓜裂清水	砺波市庄川町金屋	湧水	綽如上人の馬のひづめが陥没してできたという故事があります。瓜をひやしたところ、冷たくて自然に裂けたことから命名されました。
55	またべえしみず 又兵衛清水	砺波市増山	湧水	増山城築城の折、家臣の山名又兵衛が発見したと伝えられます。城跡を訪れるハイカーに親しまれています。
56	なわがいけ 縄ヶ池	南砺市蓑谷	湖沼	原生林に囲まれ、伝説を秘めた池。四季を通じて清澄な水を満々とたたえ、天然記念物のミズバショウが群生しています。
57	さくらがいけ 桜ヶ池	南砺市立野原	湖沼	池の周囲に桜の木が多いことからこの名が付けられました。春の新緑、秋の紅葉など水と緑に恵まれた自然を満喫できます。
58	なこえ 中江の霊水	南砺市中江	湧水	「水神様の水」とも呼ばれ、村の祭神「水波廻女神」を祭った社の床下から湧出している神聖な水です。
59	しょうがわきょう 庄川峡	砺波市、南砺市	河川	小牧ダム湖を中心とする周辺一帯は県定公園に指定されています。四季織りなす景観は見事です。
60	まるいけ 丸池	南砺市新屋	湧水	合掌造りで知られる越中五箇山の上平村。浄土真宗を広めた赤尾道宗の信心による湧水の池です。
61	わきたに 脇谷の水	南砺市利賀村栗当	湧水	脇谷橋の橋詰にある御地蔵様の祠から湧き出しています。住民やドライバーに飲用され親しまれています。
62	あかさぶいけ 赤祖父池	南砺市川上中	湖沼	赤祖父川の水をせき止めてできたかんがい用の貯水池。ヘラブナが放流され釣り大会等により親しまれています。
63	ふどうだまき れいすい 不動滝の霊水	南砺市大谷	湧水	岩から清らかな水が噴出しています。古くから、早魃を救った霊水として大切にされてきました。
64	ひ しょうづ 妃の清水	南砺市安居	湧水	安居寺の下を流れる御手洗川の川沿い、切り立った岩壁の割れ目から枯れることなく湧出しています。
65	おやべがわ ながとろ 小矢部川の長瀬	南砺市中河内	河川	小矢部川上流の峡谷。奇岩がそそり立ち、岩肌に松、桧が盆栽のように生える光景は水墨画を思わせます。
66	とやまわん しんそうすい 富山湾の深層水	取水地： 滑川市、入善町	その他	「富山湾の深層水」は、冷たく清浄で、ミネラル分を豊富に含んでいることから、未知の可能性を秘めた新しい地域の資源として、大きな注目を集めています。

## 14 下水道の普及状況

普及率

(単位：%)

年度 区分	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
富山県	40	42	44	49	52	54	59	63	65	68	70	72
全国	51	54	55	56	58	60	62	64	65	67	68	69

普及状況

(平成 17 年度末現在)

事業主体名	着手 年度	併用 開始 年度	認可 計画面積	污水管渠 整備面積 (ha)	処理面積 (ha)	認可 計画人口	処 理 人 口 (千人)	備考
富 山 市	S27	S37	10,651	352	8,205	426.8	339.5	公共、特環
高 岡 市	S24	S40	4,961	3,571	3,532	209.7	151.3	公共、特環
魚 津 市	S60	H1	1,181	693	693	42.3	27.9	公共、特環
氷 見 市	S50	S58	1,350	852	852	51.4	30.3	公共、特環
滑 川 市	A54	H1	860	573	573	22.7	16.3	公共、特環
黒 部 市	S52	S61	1,090	704	704	33.3	23.2	公共、特環
砺 波 市	S59	H2	1,178	858	858	29.6	22.2	公共、特環
小 矢 部 市	S57	H1	834	586	586	28.2	16.8	公共、特環
南 砺 市	S46	H1	1,897	1,651	1,651	63.3	46.9	公共、特環
射 水 市	S34	S45	2,409	2,024	2,024	86.3	78.3	公共、特環
上 市 町	H3	H4	117	107	107	4.9	3.6	特環
入 善 町	H8	H13	656	365	365	22.8	13.6	公共、特環
朝 日 町	H8	H13	264	172	172	7.9	5.2	公共、特環
中新川組合	S62	H6	1,378	796	796	39.0	26.6	公共、特環
計			28,826	21304	21118	1068.4	801.6	

注 中新川広域行政事務組合（舟橋村、上市町、立山町）

## 15 水質年表

(昭和 33 年～昭和 47 年)

年 月	内 容
33. 12	・「公共用水域の水質保全に関する法律」、「工場排水等の規制に関する法律」制定
41. 12	・小矢部川下流の底質から有機水銀検出、県、追跡調査を実施
42. 8	・「公害対策基本法」制定（水質保全の行政上の目標として環境基準を設定することとされた。）
43. 8	・厚生省、水銀による環境汚染防止暫定対策要領を都道府県知事に通達
44. 2	・国、魚津地先海域、小矢部川下流部、岩瀬運河を水質保全法のメチル水銀規制水域に指定
45. 1	・神通川の水銀汚染が表面化、発生源は福寿製薬(株)富山工場と判明
4	・「水質汚濁に係る環境基準について」閣議決定
6	・国、魚津地先海域、小矢部川下流部、岩瀬運河、熊野川下流部を水質保全法のアルキル水銀規制水域に指定
12	・国、小矢部川を水質保全法の指定水域に指定
12	・公害国会（第 64 回臨時国会）開会 （従前の法制では対処し得ないような公害の状況の中で公害関係法令の抜本的整備を図ることを主目的として召集され、公害問題に関する集中的な討議が行われた。）
12	・「水質汚濁防止法」制定（46 年 6 月施行） （水質保全法と工場排水規制法を一元化するとともに、指定水域制を廃止し全公共用水域を対象として排水規制を行うこと、排水基準違反に対しては直罰を導入すること等水質保全対策の強化を図るものとして制定された。）
46. 5	・国、小矢部川に水質汚濁に係る環境基準を設定
7	・富山県水質審議会設置
10	・県、有害物質に係る上乗せ排水基準及び小矢部川水域に係る上乗せ排水基準を設定
12	・県、小矢部川水質常時監視所を設置
12	・「水質汚濁に係る環境基準について」を環境庁告示
47. 4	・県、神通川水域の水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定及び神通川水域に係る上乗せ排水基準設定

(昭和 47 年～昭和 50 年)

年 月	内 容
47. 6	・ 大気汚染防止法及び水質汚濁防止法の一部改正 (公害被害について円滑な被害者の救済を図るために、公害に係る事業者の無過失損害賠償責任制度を導入した。)
6	・ 県、白岩川水域に係る環境基準の水域類型の指定
7	・ 県、白岩川水域に係る上乘せ排水基準設定
9	・ 水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加 (豚房施設、牛房施設、馬房施設)
10	・ 県、シアン及びひ素に係る上乘せ排水基準設定
12	・ 県、小矢部川水域に係る上乘せ排水基準設定
48. 6	・ 県、富山湾一帯の魚介類の水銀調査開始
6	・ 厚生省、魚介類に係る水銀の暫定的基準発表
6	・ 環境庁、9 水域 (水俣、八代、有明、徳山、新居浜、水島、氷見、魚津、酒田) を水銀汚染について環境調査を実施する水域として指定
7	・ 国及び県、富山湾海域産業公害総合事前調査開始
9	・ 県、庄川水域等に係る環境基準の水域類型の指定
9	・ 県、カドミウムに係る上乘せ排出基準及び排水基準設定
9	・ 県、庄川水域等に係る上乘せ排水基準設定
49. 5	・ 富山市、水質汚濁防止法に基づく政令市に指定
9	・ 国、総水銀、アルキル水銀の環境基準及び排水基準を追加
11	・ 水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加 (旅館業、試験研究施設等)
12	・ 県、常願寺川水域等に係る環境基準の水域類型の指定
12	・ 県、常願寺川水域等に係る上乘せ排水基準設定
50. 2	・ 国、PCB に係る環境基準及び排水基準を追加
5	・ 水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加 (水道施設及び中央卸売市場)

(昭和 51 年～昭和 59 年)

年 月	内 容
51. 3	・ 県、早月川水域等及び富山湾海域に係る環境基準の水域類型の指定（小矢部川水域の一部改正を含む。）
3	・ 県、早月川水域等及び富山湾海域に係る上乗せ排水基準設定（小矢部川水域の一部改正を含む。）（51 年 4 月 1 日施行）
53. 6	・ 水質汚濁防止法の一部改正（総量規制の導入）（54 年 6 月施行）
54. 5	・ 水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加（病院、一般廃棄物処理施設）
56. 2	・ 県、小矢部川水質常時監視所（機器）更新
11	・ 水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加（冷凍調理食品製造業等 8 業種 11 施設）
57. 1	・ 県、松川に係る環境基準の水域類型の指定
3	・ 「水質汚濁に係る環境基準について」の一部改正（測定方法の変更）告示
6	・ 水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加（地方卸売市場）
12	・ 国、湖沼の窒素及び磷にかかる環境基準の設定
58. 10	・ 海洋汚染防止条約（MARPOL 条約）が発効
59. 1	・ 厚生省、水道水中に含まれるトリクロロエチレン等 3 物質について、暫定水質基準を設定
7	・ 湖沼水質保全特別措置法制定
8	・ 国、環境影響評価実施要綱を閣議決定
8	・ 国、トリクロロエチレン等の排出について暫定指導指針を設定 （化学物質による広範な地下水汚染が顕在化してきたため、当面の措置としてトリクロロエチレン等 3 物質を取り扱う工場・事業場に対し、これらの物質の地下浸透の防止及び公共用水域への排出の抑制について指導することとした。）
10	・ 厚生省、ダイオキシン、水銀、トリクロロエチレン等調査研究委員会を設置
10	・ 県、水質環境管理計画策定研究会を設置し、同計画の策定について検討開始（61 年 3 月報告）
11	・ 松川への浄化用水取水施設完成
12	・ 「湖沼水質基本方針」閣議決定（今後の湖沼水質保全施策の基本的方向等を示した。）



(昭和 60 年～昭和 62 年)

年 月	内 容
60. 3	・環境庁の「名水百選」(最終)に、本県の「穴の谷の霊水」、「黒部川扇状地湧水群」、「瓜裂の清水」、「立山玉殿の湧水」を選定
4	・厚生省の「おいしい水研究会」がおいしい水道水の水質要件を公表
5	・湖沼の窒素、燐に係る排水基準を設定 (湖沼の富栄養化を防止するため、燐については 1,022 湖沼、窒素についてはそのうち 45 湖沼について排水規制を実施した。)
5	・国、黒部湖、有峰湖等の県内 10 湖沼について燐の排水基準適用を告示
7	・都道府県水質審議会が都道府県公害対策審議会に統合される (61 年 1 月施行)
12	・「湖沼水質保全特別措置法」に基づく指定湖沼及び指定地域の指定を閣議決定
61. 1	・水質汚濁防止法の一部改正により富山県水質審議会を富山県公害対策審議会に併合
2	・県、「とやまの名水」として 55 件を選定
4	・県、「とやまの名水」マップ発行
4	・県、「富山県「とやまの名水」環境整備事業費補助金交付要綱」を制定、各市町村に通知 (61 年 4 月)
6	・県、「水の王国とやま」出版
7	・知事、公害対策審議会に「水質環境管理計画」を諮問
9	・国、中央薬事審議会、シロアリ駆除剤クロルデン等の使用全面禁止を答申
9	・国、クロルデン及びヘプタクロルを化学物質審査規正法の特定物質に指定
62. 1	・国、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン等有機塩素系溶剤 6 物質を化学物質審査規正法により特定化学物質に指定
2	・県公害対策審議会、「水質環境管理計画」を知事に答申
2	・知事、県公害対策審議会に「神通川流域農用地土壌汚染対策地域の指定の一部解除」を諮問(同日、答申)
2	・県、「水質環境管理計画(クリーンウォーター計画)」を策定
2	・県、水質環境管理計画を推進するため、関係団体等からなる協議会を設置

(昭和 62 年～平成元年)

年 月	内 容
62. 5	・国、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンを化学物質審査規正法の指定化学物質に指定
12	・県自然保護協会（黒部川汚濁調査委員会）、黒部川の汚濁の原因調査結果について報告
63. 3	・小矢部川流域下水道二上浄化センター一部共用開始
3	・県、「富山県合併処理浄化槽設置推進事業実施要綱」を制定、各市町村に通知（63年4月1日より適用）
7	・知事、「有峰湖及び栃津川下流水域に係る環境基準の水質類型及び排水基準について」を公害対策審議会に諮問（63年12月15日答申）
8	・水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加（弁当製造業等4業種5特定施設）（63年10月1日施行）
9	・環境庁、「底質調査方法」を改定、全窒素、全りんの影響調査方法追加・改正
10	・環境庁、「生活雑排水対策推進指導指針」を発表
11	・環境庁、中央公害対策審議会に「地下水保全対策のあり方と事故の措置について」諮問（元年2月15日答申）
11	・県、「生活排水を考えるシンポジウム」を、新湊市で開催
元. 1	・県、ゴルフ場の農薬使用状況調査及び水質調査結果を公表
2	・環境庁、中央公害対策審議会に「水質汚濁に関する環境基準等の項目追加等について」諮問（元年2月18日答申）
3	・県、有峰ダム貯水池（有峰湖）水域及び栃津川下流水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定及び改正
3	・県、有峰ダム貯水池（有峰湖）水域に係る上乘せ排水基準設定
3	・国、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及び四塩化炭素を化学物質審査規制法の第2種特定化学物質に指定
3	・国、水質汚濁防止法施行令の一部改正、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンを有害物質に追加
4	・国、排水基準を定める総理府令の一部改正、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンの排水基準を設定

(平成元年～平成2年)

年 月	内 容
元. 4	・国、四塩化炭素の地下浸透及び排水に係る指導指針を通知
6	・国、水質汚濁防止法を改正し、有害物質の地下浸透を禁止
7	・国、熊野川ダム、上市川第2ダムをりんの規制対象湖沼に追加指定
8	・第5回全国水環境保全市町村シンポジウム（全国名水シンポ）を黒部市で開催
10	・井波町において、テトラクロロエチレンによる地下水汚染が深刻化
11	・県、土地対策要綱を改正し、50 ha以上の開発行為に環境影響評価を義務付け
2. 2	・県、公害対策審議会に、地下水の水質測定計画の策定にあたっての基本的な考え方について、諮問（2年3月27日答申）
3	・県、「富山県ゴルフ場農薬安全使用指導要綱」を制定（2年4月1日施行）
3	・中央公害対策審議会、生活排水対策に関する制度のあり方について、答申
3	・県環境保健健康調査協議会、井波町のテトラクロロエチレンによる地下水汚染に係る住民健康調査では、「テトラクロロエチレンの健康影響を疑う根拠となるものは認められなかった」と発表
3	・県、環境保全基金条例を制定
3	・県公害対策審議会、環境影響評価制度の基本的な考え方について、答申
3	・県公害対策審議会、地下水の水質測定について、答申
3	・知事、公害対策審議会に、富山県公害防止条例の改正（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンの排水基準の設定等）について、諮問（同日、答申）
5	・国、ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針を設定
6	・知事、公害対策審議会に、黒部ダム貯水池（黒部湖）水域に係る環境基準の水域類型及び排水基準について、諮問（2年12月17日答申）
6	・県、富山県環境影響評価要綱を制定（2年10月1日施行）
6	・国、水質汚濁防止法を改正し、生活排水対策を推進するための制度的枠組みを、水質汚濁防止法の体系の中に取り入れる。

(平成2年～平成5年)

年 月	内 容
2. 6	・ 県、公害防止条例を改正し、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンを有害物質に追加するとともに、有害物質の地下浸透を禁止（2年8月10日施行規則改正、10月1日施行）
3. 3	・ 県、「黒部ダム貯水池（黒部湖）水域に係る上乘せ排水基準」を設定する条例を公布
3	・ 「黒部ダム貯水池（黒部湖）水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定について」告示
5	・ 知事、公害対策審議会に「水質環境管理計画の改正」を諮問（4年3月答申）
7	・ 水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加（トリクロロエチレン又はテトラクロロエチレンによる洗浄施設及び蒸留施設）（3年10月施行）
7	・ 国、「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針」を一部改正し、対象農薬を追加
8	・ 国、土壌の汚染に係る環境基準を設定
4. 3	・ 八尾町におけるトリクロロエチレンによる地下水汚染を発見
3	・ 「富山県ゴルフ場農薬安全使用指導要綱」を一部改正し、排出水中の農薬濃度の指導値を設定（同日施行）
3	・ 県、「水質環境計画（クリーンウォーター計画）」を策定
5	・ 県、「地下水指針」を策定
9	・ 環境庁、中央公害対策審議会に「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の項目追加等について」及び「海域の窒素及びリンに係る環境基準等の設定について」諮問
12	・ 国、「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針」を一部改正し、排水中のフェニトロチオン濃度の指針値を改正
5. 2	・ 県、「富山県ゴルフ場農薬安全使用指導要綱」を一部改正し、排出水中のフェニトロチオン濃度の指導値を改定（同日施行）
3	・ 国、「水質汚濁に係る環境基準について」を一部改正し、トリクロロエチレン等15物質を水質環境基準健康項目に追加
8	・ 国、「水質汚濁に係る環境基準について」及び水質汚濁防止法施行令を一部改正し、海域の窒素及びリンに係る環境基準と排水基準を設定

(平成5年～平成8年)

年 月	内 容
5. 11	・内川浄化用水導入事業着工
11	・環境基本法制定
12	・国、水質汚濁防止法施行令を一部改正し、有害物質としてジクロロメタン等 13 物質を追加 (6年2月1日施行)
6. 1	・知事、公害対策審議会に「神通川流域農用地土壌汚染対策地域の指定の一部解除(第3回)について」及び「悪臭防止法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定について」諮問 (6年3月28日答申)
2	・環境庁、「土壌の汚染に係る環境基準について」を一部改正し、トリクロロエチレン等 15 物質を追加するとともに、鉛、砒素の基準を強化
3	・国、「特定水道利水障害の防止のための水道水源地域の水質の保全に関する特別措置法」制定
4	・国、公共用水域等における農薬の水質評価指針について通知(殺虫剤、殺菌剤及び除草剤の 27 農薬に指針値を設定)
4	・国、農薬取締法施行令の一部改正(シマジンを水質汚濁性農薬に指定、6年7月1日施行)
4	・国、「悪臭防止法施行規則」及び「悪臭物質の測定の方法」を改正(メチルメルカプタン等の排出水中における規制基準の設定及び測定方法の追加、7年4月1日施行)
7. 8	・知事、環境審議会に「富山県公害防止条例に基づく汚水又は廃液に係る規制基準の設定等について」を諮問(同日答申)
10	・北西太平洋の環境海洋モニタリングに関するワークショップを開催
11	・県、「富山県公害防止条例施行規則」を一部改正(汚水または廃液に係る規制項目の追加等、8年1月1日施行)
11	・県、「悪臭防止法に基づく規制地域の指定等について」を一部改正(酢酸エチル等悪臭 10 物質の追加及び排出水中における悪臭物質の規制基準の設定、8年1月1日施行)
12	・県、「富山県環境基本条例」を制定(同日施行)
8. 3	・県、「富山県公害防止条例施行規則」を一部改正(従業員が 10 人以上の工場等に係る事務を富山市長に委任、8年4月1日施行)
5	・環境庁、中央環境審議会に「地下水の水質の汚濁に係る環境基準の設定について」を諮問(9年3月6日答申)

(平成8年～平成11年)

年 月	内 容
8. 6	・国、水質汚濁防止法を一部改正（地下水の水質浄化のために必要な措置及び油流出事故時の措置に関する規定の整備、9年4月1日施行）
9. 2	・知事、環境審議会に「水質環境計画（クリーンウォーター計画）の改定について」を諮問（9年7月答申）
3	・県、「工場または事業場の事故に関する措置要綱」を一部改正（大気汚染防止法及び水質汚濁防止法に基づく事故の範囲が拡大されたため、事故の範囲を拡大し、適用地域から富山市を除外、9年4月1日施行）
9	・県、「水質環境計画（クリーンウォーター計画）」を改定
10. 3	・環境庁、「日本の水浴場55選」に本県の島尾・松田江浜（氷見市）を選定
6	・県、「富山湾水質保全研究会」を設置
7	・国、環境ホルモン緊急全国一斉調査を開始
9	・県、「富山県水質環境基準検討会」を設置
11. 2	・国、「水質汚濁に係る環境基準について」及び「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」を一部改正し、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素の3項目を環境基準健康項目に追加
5	・県、「環境ホルモン対策庁内連絡会議」を設置
7	・国、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）を公布（12年3月30日施行）
7	・国、「ダイオキシン類対策特別措置法」を公布（12年1月15日施行）
12	・水質汚濁防止法に基づく特定施設の追加（ジクロロメタンによる洗浄施設及び蒸留施設、12年3月1日施行）
12	・国、ダイオキシン類による水質の汚濁に係る環境基準を設定（12年1月15日から適用）
12	・国、ダイオキシン類対策特別措置法施行令により、ダイオキシン類を含む汚水または廃液を排出する特定施設を指定（7号に分類、延べ14施設）
12	・国、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則により、ダイオキシン類の水質排出基準を設定（12年1月15日施行）

(平成 12 年～平成 16 年)

年 月	内 容
12. 6	・ 県、環境審議会に「境川ダム貯水池（桂湖）に係る環境基準水域類型の指定及び排水基準の設定について」諮問
11	・ 環境審議会、「境川ダム貯水池（桂湖）に係る環境基準水域類型の指定及び排水基準の設定について」答申
12	・ 中央環境審議会、「水質汚濁防止法に基づく排出水の排出、地下浸透水の浸透等の規制に係る項目追加等について」答申（11 年 2 月 22 日諮問）
12	・ 中央環境審議会、「土壌の汚染に係る環境基準の項目追加等について」答申（11 年 7 月 14 日諮問）
13. 3	・ 県、「境川ダム貯水池（桂湖）に係る上乘せ排水基準」を設定
3	・ 国、土壌の汚染に係る環境基準についての一部改正について」を告示
3	・ 県、「境川ダム貯水池（桂湖）に係る環境基準の水域類型」を指定
6	・ 国、水質汚濁防止法施行令の一部を改正し、有害物質としてほう素等 3 物質を追加するとともに、排水基準を設定（13 年 7 月 1 日施行）
11	・ 県、環境審議会に「水質環境計画（クリーンウォーター計画）の改定について」諮問
12	・ 国、ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針を一部改正（対象農薬を 10 農薬追加）
14. 3	・ 環境審議会、「水質環境計画（クリーンウォーター計画）の改定について」答申
3	・ 県、「水質環境計画（クリーンウォーター計画）」を改定
5	・ 小矢部川の国条橋等における水質調査で、ダイオキシン類が環境基準を超えて検出
6	・ 国土交通省、県及び高岡市、小矢部川ダイオキシン類調査の実施
12	・ 県、小矢部川及び横江宮川で水質環境基準を超過するダイオキシン類が検出された主原因は、小矢部市にある染色整理業の工場であると判断
15. 11	・ 国、「水質汚濁に係る環境基準について」を一部改正し、水生生物及びその生息又は生育環境を保全する視点から、全亜鉛の基準値を設定
16. 3	・ 国、水質汚濁に係る環境基準等を見直し、要監視項目 5 項目を追加するとともに、要監視項目 2 項目の指針値を改定

(平成 16 年～平成 18 年)

年 月	内 容
16. 5	・ 県、海上保安庁（第九管区海上保安本部）と連携し、富山湾沿岸部の流入河川水の拡散状況、栄養塩類の挙動を把握することを目的として、「富山湾共同環境調査」を実施
5	・ 国、りん含有量についての排水基準に係る湖沼を追加（布施川ダム、白岩川ダム、利賀川ダム）
11	・ 飛騨市神岡地内の神通川水系流域の事業場から、約 8000ℓ の C 重油が流出する事故発生
17. 9	・ 県、「富山湾共同環境調査検討会」を設置
9	・ 県、「とやまの名水検討委員会」を設置
9	・ 県、「とやまの名水」に「富山湾の深層水」を追加選定
10	・ 国、水環境部を改組し、「水・大気環境局」を設置
11	・ 県、「富山県地下水指針」を改定
18. 3	・ 国、「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について-ExTEND2005-」を公表
4	・ 県、「とやまの名水」に 10 件追加選定
5	・ 国、「快水浴場百選」に「島尾海水浴場」及び「宮崎・境海岸」を選定
8	・ 県、改訂版「とやまの名水」を発刊
12	・ 国、「排水基準を定める省令」を一部改正し、亜鉛含有量の一律排水基準を 5mg/l から 2mg/l に強化





〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 富山県生活環境文化部環境保全課  
TEL 076-444-3146 FAX 076-444-3481  
HP : <http://www.pref.toyama.jp/>